

率先しよう

**Lead
The
Way**

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER ガバナー月信



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第2660地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

7

2006 No.1

目 次

ガバナー就任に際して ～私の方針～	岩田 宙造	1
ガバナープロフィール		5
神崎 茂直前ガバナーへの感謝の言葉	岩田 宙造	6
RI会長メッセージ	ウィリアム B. ボイド	7
ウィリアム B. ボイド氏のプロフィール		10
2006～2007年度のための地区協議会報告	久我 三郎	11
2005～2006年度春のRYLA(ライラ)報告	泉 博朗	12
2005～2006年度第2回青少年活動委員会正副委員長会議およびライラワークショップ報告 ...	泉 博朗	13
国際ロータリー第2660地区2006～2007年度地区大会のご案内	平岡 英信	15
2006～2007年度第2660地区ガバナー補佐の紹介		16
国際ロータリー主要年間行事/第2660地区年間カレンダー/報告書送付先及び送金先 ...		18
主要報告書/主要送金		19
2006～2007年度 I.M.日程一覧表/ガバナー公式訪問日程		20
第2660地区各ロータリークラブ ホームページ・E-mailアドレス		21
2006～2007年度国際ロータリー第2660地区 組織図		23
2006～2007年度国際ロータリー第2660地区 ロータリークラブ一覧表		24
文庫通信		25
2006～2007年度地区幹事担当一覧表		26
敬弔		27
月信編集委員会からのおねがい		
2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所案内		28

ガバナー就任に際して

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 岩田 宙造



『ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である』と定義されています。そして一世紀にわたるロータリアンの皆様方の数々の奉仕活動、その成果（特にポリオ・プラス・プログラムは世界的に注目されている）に対し数多くの人たちが高い評価を与え、感謝し、更なる活躍を期待しています。この度国際ロータリー第2660地区ガバナー就任にあたり、歴代ガバナーをはじめ、クラブ会員の皆様方のたゆまない努力により築き上げられた素晴らしい地区の伝統と成果に深く敬意を表しますと共にその重責を痛感しております。

この1年間皆様方のお力添えをどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ウィリアム B. ボイド RI 会長のテーマと活動方針の概略

★テーマ

ロータリーは個々の集まり以上の存在であり、多様性こそがロータリーの強みであるといわれています。よりよい未来を築くためには、寛容の精神、違いに対する容認、高い倫理的価値が成功に至る道であると前置し、

テーマとして『Lead The Way：率先しよう』を選ばれました。

テーマはロータリアンが世界を変える力を持っているというRI会長の信念を表しています。「親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために、120万人のロータリアンが力をあわせ率先していくのです。私達ロータリアンは、よりよい世界を夢見るだけでは十分でないことを知っています。よりよい世界は真のニーズを特定し慎重な計画をたて、地域社会や諸団体と協力しながら誠実な協力、ひたむきな努力をすることによってのみ実現するのです。」また、「私達ロータリアンはただ実現を待ち望むだけではありません。現状維持に甘んじることなく、生じた問題に対して解決しようじゃないかと、自ら先陣を切り「率先しよう」と立ち上がって頂きたい。」とのRI会長の思いがテーマとなっています。

★強調事項

継続の重要性からも以下の4事項が選ばれました。ただ、実践に当たっては、特に実用性を重んじ、最も必要とされているところに努力を注ぐことを付け加えられました。

①水保全 ②識字率向上 ③保健および飢餓 ④ロータリー-家族

強調事項に関連して、地区支援グループ・コーディネーター、広報支援グループの2つのグループの設置も提案されました。

★会長賞

前年度に引き続き、多くのクラブを表彰するために設けています。より良い未来へ向けてテーマ『Lead The Way: 率先しよう』を実践しましょう。着実な計画と努力をもって、活動は実用性を重視して下さい。ローターアクト会長賞も同様です。

★CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン:Club Leadership Plan)の採用を推奨

近年地区組織の効率が危機にさらされていますことから、RIは内部組織の変更を考え、DLP(地区リーダーシップ・プラン: District Leadership Plan)を考案し、2002年にはすべての地区が採用することになりました。このDLPの基本概念をクラブ・レベルに適用し、効果的なRCの管理の枠組みとしてCLPの採用を推奨し、より一層のクラブの発展を期待しています。CLPは奉仕の第2世紀においてロータリーが安定、成長、成功をとげるために極めて重要とされています。

終わりに

ビル・ボイド会長の講演の中で特に心に残った話として、引用された諺、「人に魚を一匹与えればその日の飢えをしのがせることが出来るが、釣りの技術を教えれば、一生魚に困らない生計を与えると同じことになる。」を紹介しておきます。

地区活動方針

地区として新たにテーマを設けることは禁じられていますことから

『Lead The Way: 率先しよう』を実践するにあたり、行動するための指針ともなり、または補足説明するものとして、RI会長の言葉を借りて

『ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を』を加えます。

RI会長の方針に対して地区として、大きく4つの課題が考えられます。

第1は4つの強調事項の実践

第2は会長賞への積極的参加

第3はCLPの検討

第4はIMのテーマ

であります。これらについて以下、順に説明させていただきます。

1) 強調事項について

もちろんRI会長が提案された4つの強調事項が主題ではありますが、それらの問題を考えるとき付随し、密接な関係にある親睦と教育を副題として、併せて考えていただければと思っています。

①水保全 ②識字率向上 ③保健および飢餓

3点については何れもが密接な関係にあり、切り離せない問題と考えています。継続した強調事項でもあり、活動の継続性が重視されていることも考慮し、人道的補助金プログラムの積極的な活用による奉仕活動をお願いいたします。すでに当地区は皆様方の努力により高い実績を誇っていますが、さらにニーズを見極めてお願いしたいと思います。

これに関連してどうしてもお願いせねばならないことがあります。補助金の財源となる寄付のお願いです。地区へ還元される補助金は地区の年次寄付金の額によって決まります。RIから還元される補助金（年々減額され、次年度は60%から50%にダウン）の基となる年次寄付金、資金源ですが、過去5年間、当地区の実績は会員一人平均約128ドルでしたが近年減少傾向にあります。より活発な活動を行うためにも出来ればこの平均以上の年次寄付をお願いしたいと思っています。

また、国内の身近な問題として、水保全に関しては環境保全の問題、保健に関しては薬物乱用防止等大きな問題を抱えております。これらの諸問題を解決するにはその根本の問題として、教育の重要性が再認識されています。

この点についても併せてご配慮をお願いします。

④ロータリー家族

新たに加わったものですが、これに関連しては、家族も含めての会員同士の友好・親睦を特にお願ひしたいと思っています。私も過日の国際協議会で新しく素晴らしい仲間の人たちを知ることが出来ました。皆様の仲間にも素晴らしいロータリアンが居られます。仲間同士の友好・親睦を深め、お互いに相手をよく知ることで、より一層、自分自身を高めることが出来、（今流行の品格、品位の向上と言うのでしょうか？）ロータリーをエンジョイしていただけるものと思います。明るい、楽しいロータリーは地域の人からも親愛され、仲間に入れて欲しいと思われるロータリークラブになるものと思っています。

もう一つは、若者たちの問題です。RI会長が指摘されましたように、若者たちが私たちの未来であります、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、その他、数多くの青少年のためのプログラムの重要性を理解し、支援しますと同時に将来を託せる若い人材の育成、教育についても積極的なご討論をお願いしたいと思っています。

嬉しいニュースをお伝えします。当地区インターアクトのメンバー大阪桐蔭高校2年生の鈴江祐希さんがこの度これまでの実績が評価され、薬物乱用防止の啓発運動を行う民間国連ヤング大使に、全国から6人のうちの1人として選ばれましたことは地区としても誠に名誉なことと思ひ、皆様にあらためてご披露させていただきます。

教育の重要性が再認識されています今日、我々の大先輩である元RI理事、菅生浩三パスト・ガバナーが著書に“21世紀『人間教育』への新提言”を数年前に発表されています。

是非ご参考に、ご一読をお勧めしたいと思っています。

2) 会長賞

クラブこそが、ロータリーの最も重要な仕事の担い手であり、数多くのクラブの業績を表彰することが目的とされています。積極的にクラブのプロジェクトに参加すればクラブは充実し、効果的となりクラブは成長し繁栄する可能性も高まります。申請には積極的に支援します。

ローターアクト会長賞：ローターアクト・クラブの活性化につながることから、申請には積極的に相談にのります。

3) CLP

ロータリーの綱領に基づいて四大奉仕部門があり、四大奉仕はクラブ活動の理念であり実践の枠組みであります。さらにロータリーはクラブが主体であり、多様性こそはロータリーの強みであることを前提としています。

CLPはDLP(ガバナー補佐、地区研修リーダー、各種地区委員会で構成。ロータリーを強化する構想であり、クラブへの支援をより迅速に、より綿密に行う)の基本概念をクラブ・レベルに適用し、効果的なロータリークラブの管理の枠組みとして、RI理事会が採択したものです。

CLPの採用に向けては、地区より情報は出来る限り提供させていただきますが、クラブ自身もIM内の会議等を通じて他クラブからも色々な情報を集め、それぞれのクラブの事情を十分に考慮して、CLPを検討して頂きたいと思えます。地区としてもクラブからの相談に乗れるよう専門委員会を早急に設置し、対応致します。

4) IMのテーマについて

4つの強調事項およびそれに関連する、または支援する事項について各クラブの特徴を生かしてテーマを選んでください。

終わりに

前年度の方針を引き継いで行うことを原則として、RI会長の強調事項を実践するに当って、それらに密接に関係する親睦と教育を副題として活動を進め、会長賞へは積極的に参加しCLPについてはクラブでの十分な検討をお願いし、活動のより一層の発展、充実に努めたいと思えます。そのためにも皆様方の活動への積極的な参加、ご理解、ご協力が何より重要と考えています。地区組織内はもとより皆様方同士も含めてしっかりと情報の共有に努力し、特に会長、ガバナー補佐、私どもとの間のチームの団結を図りRI第2660地区の発展に努力したいと考えていますのでどうぞ宜しくご支援の程お願い申し上げます。

『Lead The Way：率先しよう』！ です。

ガバナープロフィール

第 2660 地区ガバナー

岩 田 宙 造

生 年 月 日 1935 年 (昭和 10 年) 3 月 25 日
住 所 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目1番3-267
最 終 学 歴 大阪大学大学院薬学研究科博士課程修了、薬学博士
職 歴 1965年 9 月 米国アイオワ州立大学博士研究員
 1980年 4 月 大阪大学薬学部教授
 1982年 12 月 大阪大学附属図書館薬学部分館長
 1985年 5 月 大阪大学評議員
 1989年 6 月 大阪大学薬学部長
 1991年 4 月 日本薬学会理事
 1994年 4 月 日本学術振興会専門委員
 1995年 7 月 大阪大学薬学部附属植物園長
 1997年 4 月 日本薬学会近畿支部長
 1998年 3 月 大阪大学停年退官
 1998年 4 月 大阪大学名誉教授
 2002年 10 月 薬効ゲノム情報(株) 代表取締役社長
 2005年 10 月 薬効ゲノム情報(株) 取締役会長
 財)日本食品化学研究振興財団 評議員
 財)サントリー生物有機科学研究所 評議員
 財)先端医療振興財団 技術評価委員会委員
 社)生産技術振興協会 理事
 社)日本薬学会近畿支部 顧問
 NPOおおさか大学起業支援機構 評議員
ロ ー タ リ ー 歴 1984年 5 月 大阪南 R C 入会
 1996~97年度 社会奉仕担当理事
 1999~00年度 国際交流委員会委員長
 2001~02年度 国際奉仕担当理事
 2003~04年度 会長 エレクト
 2004~05年度 会 長

ポール・ハリス・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者(マルチプル)
 職業分類 教 育



神崎 茂 直前ガバナーへの感謝の言葉

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 岩田 宙造

神崎 茂 直前ガバナー御夫妻にとっては大変お忙しい日々であったことと思いますが本当に有り難うございました。

一昨年9月に急にGEの指名を受けられ、十分な時間もなくGの仕事につかれたのですがロータリーを心より愛するその生真面目な態度と着実な行動力で重責を全うされ立派な成果を残されました。心から敬意を表し感謝申し上げます。



カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長の「Service above self、超私の奉仕」のテーマのもと、「ロータリーは倶楽部であるべきである」、また「職業奉仕はロータリー綱領に示されているとおり中心となる理念、哲学である」という強い信念で、特にこれらの点を重点的に取り組まれ、精力的に指導力を発揮され地区の発展に尽力されました。

RI会長の強い希望でもある会長賞についても積極的に取り組まれ、50%以上のクラブがその荣誉に浴することになりました。

受賞されたクラブは「RIが目標とする効果的なクラブ」であることが証明されたことになり、Gの卓識に頭が下がりますとともに、引き継いで大いに参考にさせていただきたいと思っています。また地区運営に関して、継続事項でもある地区の改革、クラブの充実に努められ改善されてこられました。

色々な機会に私にもGとしての心がけ、地区の問題点等を教えていただき、その対応についてもご指導いただいております。益々お元気のご様子、今後はPGとしてその豊富な経験と卓越したご意見で地区発展のためにご支援くださいますようお願い申し上げます。

御夫妻のこれまでのご苦勞に感謝し、今後のご多幸を祈念しお礼の言葉とさせていただきます。



RI 会長メッセージ

ウィリアム B. ボイド2006-07年度国際ロータリー会長

率先しよう

親愛なるロータリアンの皆さんへ

ロータリーは、個々の部分の集まりである以上の存在です。クラブや地区の活動、奨学金や交換活動、大規模で多様な人道的プロジェクトなど、ロータリーのすべてのプログラムは、それぞれ目的を異にしています。世界中のどの2つのクラブをとっても同じではなく、このような多様性こそが私たちの強みとなっているのです。

世界中のどこにでも、より良い未来を築くことが可能だということ、そして、寛容の精神、違いに対する容認、高い倫理的価値は、成功への障壁ではなく、むしろ成功へ至る道なのだということを、私たちは共に世界に示していきます。

倫理的課題が山積みとなっている今日の世界においては、平和の構築にとって、国家間の協力と違いに対する容認が不可欠です。そんな中にあり、ロータリーは、人々が切に必要としている決然とした高潔さ、国際的な協力、ボランティア精神の模範を示しています。

2006-07ロータリー年度の私のテーマ、「率先しよう」は、ロータリアンが世界を変える力を持っているという私の信念を表しています。親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために、120万人のロータリアンが力を合わせて率先していくのです。

今日の世界は、スターではなく、真の英雄を必要としています。ロータリーにいる私たちは皆、多忙な日々を送りながらも、ベストを尽くそうとする、普通の人々です。私たちは、幾千にも異なる方法で、世界をより良く、より健全かつ安全にするために黙々と活動しています。私たちロータリアンは、奉仕を選ぶ際に、感情のなすがままではなく、実用と必要性に基づいて立ち上がらなければならないと、私は強く信じています。真のニーズが何であるかを見極め、柔軟で協力的な姿勢で活動に臨まなければなりません。ロータリーの奉仕は一方通行であってはなりません。すべてのプロジェクトは、私たちが援助する人々と協同して行わなければならないのです。

世界中には、数え切れないほどの途方もなく大きなニーズが存在します。ロータリアンとしてそれらすべてを満たしたいと思うのは当然のことですが、同時に私たちは実用性を重んじ、最も必要とされているところに努力を注いでいかなければならないことを心得ています。このことを踏まえて、私は、水保全、識字率向上、保健および飢餓、ロータリー家族を、2006-07年度の強調事項として選びました。

ロータリーの外では、発展途上地域で清潔で安全な飲み水が不足しているという事実に対する認識があまりに低いのが現状です。もし自然災害が1日に6千人の5歳以下の子供の命を奪ったとしたら、それは新聞の一面記事となるでしょう。しかし、水系伝染病によって、毎日、6千人の子供が命を失っている事実を知る人は少ないのです。このような問題は、地元での小規模なプロジェクトを通じて、非常に効果的に取り組むことができますし、長年にわたってロータリーのプロジェクトが取り上げ、成果を取ってきました。私は、ロータリー世界各地のクラブや地区に、この活動を引き続き展開し、必要とされている場所ならどこでも、一つ一つの地域社会に、清潔な飲み水をもたらすために活動していただけるよう奨励いたします。

本好きな家庭に生まれ育った私にとって、識字能力は大変重要であり、識字能力が社会にもたらす恩恵は測り知れないほど大きなものであると考えています。識字能力は、国家における民主主義、安定、繁栄の必要条件です。それは、貧困の輪から抜け出す可能性、そして次世代により良い生活をもたらす可能性を秘めています。識字率向上は、多くのRI会長の優先事項となってきましたし、今後もそうあり続けなければなりません。

保健および飢餓は、ロータリー・クラブが地元で行っている活動の多くで取り上げられている問題です。これらのプロジェクトはロータリーの奉仕の中核であり、ポリオ・プラスという素晴らしい業績を生み出しました。私たちは、ポリオの撲滅が実現するまでこの活動を続け、また、ロータリーの名を世界中に知らしめている数多くの多様な保健プロジェクトや飢餓救済プロジェクトを今後も実施していかなくてはなりません。

私は、今年度、再びロータリー家族を取り上げ、ロータリー家族のすべての人々に等しく思いやりの心を持つことを強調したいと思います。ロータリーの将来を健全に保つためには、青少年交換、インターアクト、ローターアクトといった青少年プログラムが不可欠です。これらのプログラムは、次世代に、誠実さ、寛容、無我の精神を育み、ロータリーの活動を助長するものです。ロータリー家族とその配偶者を思い遣ることで、ロータリーの結束力は一層強まります。

2006-07年度、ロータリーが各個人にもたらすことのできる可能性、そして各個人がロータリーにもたらすことのできる可能性を中心に取り組まれるよう、世界中のロータリアンにお願いしていく所存です。共に協力し、さらなる成功へ向けて「率先しよう」ではありませんか。また、引き続き真のニーズを特定し、地域社会や諸団体と協力しながら、これらのニーズが理想主義や夢想ではなく着実な努力と確かな知識に基づいた、実用的かつ持続可能な方法で取り組まれることをこの目で確かめていこうではありませんか。

私たちロータリアンは、より良い世界を夢見るだけでは十分でないことを知っています。より良い世界は、慎重な計画、誠実な協力、ひたむきな努力によってのみ実現するのです。

私たちロータリアンは、実現をただ待ち望むだけではありません。共に、「率先しよう」のテーマを実践していきましょう。



ウィリアム B. ボイド
2006-07年度 国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド氏のプロフィール

パ克蘭ガRC (ニュージーランド)

ウィリアム B. ボイド

ニュージーランド、オークランド市、ホーウィック
2005-2006年度国際ロータリー会長エレクト
1999-2000年度国際ロータリー財務長
1998-2000年度国際ロータリー理事
1983-1984年度地区ガバナー



ウィリアム(ビル)・ボイド氏は、ゼネラル・マネジャーを務めたニュージーランドの最大手雑誌配給会社、ゴードン・アンド・ゴッチ・マガジン社を1995年に退職しました。ボイド氏は現在、New Zealand's Trees for Survival Trust および June Gray Trust の理事、ならびに全国腎臓財団および知的障害者協会のRI代表を務めています。また氏は、長老教会の経験豊かな青少年指導者およびボーイスカウト公認指導者を務める他、31年間ラグビーの審判としても活躍してきました。また、ロータリー地域雑誌「ロータリー・ダウン・アンダー」委員会委員長として奉仕しました。

1971年来のロータリアンであるボイド氏は、現在パ克蘭ガ・ロータリークラブの会員です。国際ロータリーでは、地区ガバナー、研修リーダー、国際協議会モデレーター、委員会委員および委員長(ニュージーランド・ポリオ・プラス委員会副委員長を含む)、ポリオ・プラス・パートナー副コーディネーター補佐、実行グループのゼネラル・コーディネーター補佐、ロータリー情報顧問、ロータリー財団地域コーディネーター、RI理事および財務長を歴任しました。会長エレクトは、ロータリー財団功労表彰状および特別功労賞の受賞者でもあります。氏はまた、「ロータリー・ダウン・アンダー」から功労賞を授与されました。

ボイド氏と夫人のローナさんは、現在ニュージーランド、オークランド市のホーウィックに在住しており、お二人の間には2人の息子さんと2人の娘さん、そして10人のお孫さんがいます。

2006～2007年度のための地区協議会報告

地区協議会実行委員会委員長 久我 三郎 (大阪南 RC)

日時：2006年4月22日(土) 10:00～15:00

場所：本 会 議 リーガロイヤルホテル

部門別協議会 大阪国際会議場



岩田ガバナー年度のRI第2660地区、地区協議会は大阪南RCホストにより開催されました。

地区内86RCより次年度会長 幹事をはじめ、S.A.A. クラブ奉仕 社会奉仕 職業奉仕 青少年奉仕 国際奉仕・WCS ロータリー財団 米山奨学の委員長が各部門別に奉仕にかかわる研修を受ける為に参加しました。また菅生浩三元RI理事 10名のPG 神崎茂G 岩田宙造GE 新谷秀一GN 横山守雄GN 2名のG補佐 その他次年度G補佐 リーダー サブリーダー総数

936名の出席を得て、午前10時より神崎Gの点鐘により本会議が始まりました。

実行委員長 大阪南RC会長の挨拶の後、岩田GEから菅生元RI理事、神崎G、PGの紹介等などに続いて登録委員長より出席者数の報告がありました。これより本会議の主題でありますGEによる次年度の方針についての発表がありました。RIの次年度テーマ “Lead The Way—率先しよう” を実践するに当たり、ウィリアム B. ボイド次年度RI会長の言葉「ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力」を引用され、行動の指針としたいと述べられました。そして各クラブが四大奉仕を遂行するに当たり、CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン) について討論していく方針を発表されました。

続いて外交ジャーナリストの手嶋龍一氏の「日米関係における日本の今後のゆくえ」について講演がありました。ロータリアンも企業経営と同様に日本と諸外国との外交についても日頃から深い関心をもって欲しいと訴えておられました。私語一つない静寂の雰囲気につつまれる中、午前の本会議が12時30分に終了しました。

午後1時30分より第二部部門別協議会が9つの部屋に分かれて開催されました。ロータリー歴豊かなPGを中心に、リーダー、サブリーダーをお引き受け頂き、激動する世界の中においてロータリアンとして私達は何をすべきか、ロータリーの奉仕の重要性やその実践など各部門でテーマにそって活発に且つ熱心に討論され、実りの多い協議会となりました。出席された各RC委員長の皆さんは次年度に向かって決意も新たに研修をおえられました。

終わりにになりましたが、参加下さいましたロータリアンのご支援ご協力に心よりお礼申し上げますと共に、半年に亘る準備期間に時間や労力をおしまず努力して下さいました大阪南RCの皆様方にあらためてこの機会に深甚なる敬意を表する次第です。



2005～2006年度 春のRYLA(ライラ)報告

地区青少年活動委員会委員長 泉 博朗 (大阪住吉RC)

日時：2006年5月3日(水) 14:00～5月5日(金) 14:00

場所：大阪府立青少年海洋センター(岬町)

本年度の春のライラが吹田江坂RCのホストで「明日にチャレンジ! ひらこう未来を君たちの手で!」をテーマに実施されました。今回はロータリアン497名のご登録、青少年68名の参加、チームライラ4名(RYLA修了生)の参加で行われました。

基調講演は「日本の技術でヨーロッパは一つになった」というタイトルで、ドーバー海峡トンネル掘削を指揮した宇賀克夫氏によって行われました。

3日間好天に恵まれ、無事プログラムを終了することができました。

今回は約半数が海外よりの留学生でありまして、さながら国際ライラのようでありましたが、1日、2日と時を経ますと、まるで旧来の友人のように打ち解けた様子でありました。言葉の弊害もなく、国境をこえて屈託なく行動する彼らを見て、すべてのロータリアンが感動いたしました。まさにロータリーのめざす「世界の平和は友好から」を目の当たりに体験することができました。また近年ライラ受講生に混じってロータリーパパがカウンセラーとして共にライラを過ごすようになっております。ロータリアンと青少年とが同じ目線で3日間を過ごすわけでありまして、ついつい頑張ってしまうロータリアンや「パパ、パパ」と慕われるロータリアン、我々ロータリアンにとりましても、本当に穏やかな日々でありました。

青少年がリーダーとなるために、まず必要なことは、自分の意見を率直に友好的に相手に伝えることでもあります。これはロータリーの「4つのテスト」にも繋がることでもあります。そのためには、まず相手に対して友好的でなければなりません。友好的になれば、おのづと互いの意見を率直に交換できるのであります。その時に、より良い意見を持った者が自然とリーダーとなるわけでありまして、そして、互いに力を合わせることもできるのであります。そのプロセスをこの「ライラ」は若者に伝えようとしているのです。今回はこの目的を十分に達成した「ライラ」であったと実感いたしております。

最後になりましたが、ホストとなっていただきました吹田江坂RCの栢本会長、田中ライラ実行委員長、西上地区委員、および吹田江坂RCの皆様方、チームライラの諸君、そして「ライラ」にご理解いただきご登録をいただきましたロータリアンの皆様方あらためまして感謝申し上げます。

RYLAとは
Rotary
Youth
Leadership
Awardsの略です。
※RYLAはRIの指定事業です。

チームライラとは
ライラ修了生のボランティア
リーダーのことで、ライラを指
導することでリーダーシップ研修
を行っている青少年たちです。

地区青少年活動委員会委員長 泉 博朗 (大阪住吉RC)

日時：2006年5月13日(土) 13:00～17:00

場所：大阪南港 ATC コンベンションルーム

本年度は正副委員長会議を、例年春のライラと併設いたしておりましたが、より多くのロータリアンの参加を求めて、ロータリアンのための研修を目的とした「ライラワークショップ」と併設して行いました。

正副委員長会議には79名のご参加をいただきました。神崎ガバナー欠席のため井上パスト・ガバナーにご挨拶いただきました。議題は事前にお問い合わせしておりましたアンケート結果の報告をし、代表して数クラブの内容を詳しくご報告いただきました。アンケートの中で、新世代月間に52クラブがクラブフォーラム、卓話、その他青少年奉仕を行ったが残り34クラブは特に月間としては実施されていませんでした。(もちろん通年で青少年活動は実施していただいております。)ぜひともひとつの区切りとして、クラブフォーラムの実施をお願いいたします。クラブPRとして大阪住吉RCより子ども達に贈ることば：「勇気をもって第一歩、自信をもってもう一歩、いつかはとどく 君の夢」のポスター配布の依頼がありました。最後に前田地区青少年担当幹事の講評をいただきまして終了いたしました。

●ライラワークショップ (14:00～17:00)

初めての試みとして、青少年リーダーを指導する指導者(ロータリアン)のための研修として「ライラワークショップ」を実施いたしました。正副委員長会議参加者に加えまして約110名の参加者がありました。春のライラホストの金馬幹事(会長代理)のご挨拶をいただき、第一部の講演をいただきました。



島津義秀氏 (加治木RC)

講師は西郷隆盛さんのひ孫の西郷隆文氏で演題は「鹿児島に伝わる郷中教育の意義」でした。おどろきましたことに、加治木島津13代目当主の島津義秀氏(加治木RC)が応援にかけつけていただき薩摩武士の心の鍛錬とされる、薩摩びわの演奏および謡をご披露いただきました。大変な熱演で一同感動をもって拝聴させていただきました。島津の殿様と西郷どんを今、当に目の前にし、さながら明治維新の雰囲気漂い始めました。郷中(ごじゅう)教育はボーイスカウトの創設にも研究されたということが乃木大将の日記に記されております。

「郷中規範」の中でもその中心指標は

- 負けるな
- ウソをいうな
- 弱いものをいじめるな
- 議を言うな（一度決まったことに異を言うな、実行せい）
ということであること



西郷隆文氏

郷中教育は地域で先輩が後輩を教えることであり、5歳ぐらいから、その教育が始まるということです。このことはボーイスカウトの精神にも似通ったところがあります。かなり厳しい鍛錬であるわけですが、もうひとつの面で母親が愛情を持って育てるところにもあるようです。外での厳しさと内での優しさというバランスの中で、西郷隆盛をはじめ、大久保利通、大阪商工会議所初代会頭五代友厚、東郷平八郎、大山巖、丹下梅子、その他多くの逸材を輩出したわけであります。後日談であります、3名のロータリアンより鹿児島にその郷中教育を見学に行きたいとの申し出がありました。また西郷氏のお言葉のなかで、私は「ウソをいうな」の一言だけで子供を育ててきました。というお話は忘れない言葉のひとつとなっております。

続きまして春のライラの報告を吹田江坂RCよりしていただき、受講した交換留学生のマーク君（大阪ちゃやまちRC）、チームライラの市橋君（大阪御堂筋RC）よりライラの感想のお話をしていただきました。休憩をはさみ、各テーブルに分かれて、青少年奉仕に関しての討論を行い、その発表をいたしました。正副委員長会議では出なかったようなことも話し合うことが出来ました。と同時にロータリアンの交流がなされたことは大きな成果であったと思います。最後に井上パスト・ガバナーの講評をいただき終了いたしました。最後になりましたが、多くのご出席を賜りまことに有難うございました。

また、郷中教育についてご興味のある方は地区までお申し出下さい。



地区大会のご案内

国際ロータリー第2660地区
2006～2007年度

地区大会実行委員長 **平岡 英信** (大阪南RC)

■ 地区大会日程

- 【第1日目】 12月8日(金) 於:大阪国際会議場及びリーガロイヤルホテル
13時～17時 会長、幹事懇談会
17時～21時 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
- 【第2日目】 12月9日(土) 於:大阪国際会議場
13時～19時 分科会、本会議、記念講演会

■ 地区大会テーマ: Lead The Way

今年度 RI会長のテーマ「率先しよう」を実現すべく、楽しいなかにも意義のある地区大会を鋭意企画中です。

1日目は会長、幹事の皆様との懇談会、更にRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では、「New OSK」日本歌劇団による楽しいショーを用意しております。

2日目は13:00より各分科会に分かれて頂き、夫々興味あるテーマや担当されるテーマに参加して頂き、記念講演会では(財)日本総合研究所会長の寺島実郎氏にご講演頂く予定です。

今年の大会も皆様楽しんで頂きながらも意義のあるものにしたいと思っております。どうか皆様の多数のご登録をお待ちしております。

地区大会事務局開設のお知らせ

地区大会に関するお問合せは下記までお願い致します。

大会委員長 平岡英信 (大阪南RC)

大会幹事 鈴木慶一 (大阪南RC)

事務局員 武部稲子・矢本昌子

住所: 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60

スイスホテル南海大阪 1503号室

TEL 06-6646-5288 FAX 06-6646-5289

2006～2007年度第2660地区ガバナー補佐の紹介

(敬称略)

IM第1組

氏名	神内紘典(箕面RC)
生年月日	1940年11月27日
職業	元(株)神内電機製作所、調達
ロータリー歴	1980年箕面RC入会 1999～2000年度会長 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 米山功労者(マルチプル)



IM第2組

氏名	岩井祐造(高槻RC)
生年月日	1932年11月17日
職業	株式会社イワイ 代表取締役会長
ロータリー歴	1989年高槻RC入会 2002～2003年度会長 2004～2005年度副会長 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 米山功労者(マルチプル)



IM第3組

氏名	金森市造(くずはRC)
生年月日	1945年8月31日
職業	かなもり歯科クリニック 相談役
ロータリー歴	1986年くずはRC入会 2004～2005年度会長 2005～2006年度地区クラブ奉仕委員会委員 ポール・ハリス・フェロー 米山功労者



IM第4組

氏名	井出幸彦(東大阪西RC)
生年月日	1926年10月31日
職業	井出医院 院長
ロータリー歴	1985年東大阪西RCチャーターメンバー 1989～1990年度会長 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー ベネファクター 米山功労者(マルチプル)



IM第5組

氏名	鍛治正行(大阪梅田東RC)
生年月日	1930年12月5日
職業	(株)神尾洋行 社長
ロータリー歴	1989年大阪梅田東RC入会 2001～2002年度会長 2006～2007年度副会長 ポール・ハリス・フェロー



IM第6組

氏名	小松弘人(大阪城東RC)
生年月日	1940年8月2日
職業	栄運輸工業(株) 代表取締役社長
ロータリー歴	1981年大阪城東RC入会 1996～1997年度会長 1999～2000年度地区親睦活動委員会 委員 ポール・ハリス・フェロー ベネファクター 米山功労者(マルチプル)



IM第7組

氏名	橋本憲之(大阪南RC)
生年月日	1931年2月3日
職業	大阪YMCA 評議会委員
ロータリー歴	1976年大阪南RC入会 1982～1983年度 地区国際青少年交換委員会 委員 1983～1986年度 地区国際青少年交換委員会 委員長 1987～1988年度 地区国際青少年交換アドバイザー 1998～1999年度副会長 2002～2003年度会長



IM第8組

氏名	小山隆三(大阪阪南RC)
生年月日	1925年8月4日
職業	耳鼻咽喉科
ロータリー歴	1970年大阪阪南RC入会 1980～1981年度会長 1994～1995年度地区代表幹事 2003～2004年度会長



■国際ロータリー主要年間行事

月 日	行 事 名
2006年 8 月	会員増強および拡大月間 (Membership and Extension Month)
9 月	新世代のための月間 (New Generations Month)
10 月	職 業 奉 仕 月 間 (Vocational Service Month)
10 月	米 山 月 間 (Yoneyama Month)
11 月	ロータリー財団月間 (Rotary Foundation Month)
11月5日を含む週	世界インターアクト週間 (World Interact Week)
12 月	家 族 月 間 (Family Month)
2007年 1 月	ロータリー理解推進月間 (Rotary Awareness Month)
1月27日を含む週	追悼記念週間 (Remembrance Week)
2 月	世界理解月間 (World Understanding Month)
2月23日	ロータリー創立記念日/ 世界理解と平和の日 (Rotary Anniversary/ World Understanding & Peace Day)
3 月	識 字 率 向 上 月 間 (Literacy Month)
3月13日を含む週	世界ローターアクト週間 (World Rotaract Week)
4 月	ロータリー雑誌月間 (Rotary's Magazine Month)
6 月	ロータリー親睦活動月間 (Rotary Fellowships Month)
6月17日～20日	R I 国 際 大 会 (Rotary International Convention)

■2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 年間カレンダー

開 催 日	行 事 名	会 場
2006年 7月8日(土)	合同地区委員会	大阪YMCA会館
8月4日(金)～6日(日)	少年少女ニコニコキャンプ	寝屋川市野外活動センター (ホストクラブ:寝屋川)
8月19日(土)	地区ロータリー財団セミナー	大阪YMCA会館
10月7日(土)～9日(月)	秋のライラ	琵琶湖パレー (ホストクラブ:大阪そねざき)
12月8日(金)～9日(土)	地区大会	大阪国際会議場メインホール (ホストクラブ:大阪南)
2007年 3月10日(土)	地区チーム研修セミナー	薬業年金会館301号室
3月24日(土)	P E T S (会長エレクト研修セミナー)	薬業年金会館301号室
4月14日(土)	地区協議会	大阪国際会議場 (ホストクラブ:池田くれは)
5月3日(木)～5日(土)	春のライラ	大阪府青少年海洋センター (ホストクラブ:大阪北梅田)
6月17日(日)～6月20日(水)	2006年 国際大会	アメリカ ソルトレイクシティ

■報告書送付先及び送金先

国際ロータリー世界本部	Rotary International One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL, 60201-3698, U.S.A. TEL 1-847-866-3000 FAX 1-847-328-8554 または 1-847-328-8281
国際ロータリー日本事務局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル 1階 奉仕室 TEL(03)3903-3161 地区・クラブ関係のお問い合わせ 財団室 TEL(03)3903-3192 ロータリー財団関係のお問い合わせ 経理室 TEL(03)3903-3183 出納関係のお問い合わせ 資料室 TEL(03)3903-3194 文献・資料の注文、お問い合わせ 各室共通 FAX(03)3903-3781
財 団 法 人 ロータリー-米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL(03)3434-8681 FAX(03)3578-8281 (三井住友銀行 京橋支店 普通 0920373)
ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル4F TEL(03)3436-6651 FAX(03)3436-5956 (三井住友銀行 浜松町支店 普通 6326314)
国際ロータリー第2660地区	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階 TEL(06)6264-2660 FAX(06)6264-2661 (りそな銀行 大阪営業部 普通 0019011)
ロータリー文庫	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル3F TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

◆主要報告書

報告事項	期 日	報 告 先
1. 半期報告	7月1日 1月1日	① 国際ロータリー日本事務局 ② (写)ガバナー ③ (写)クラブに保管
2. クラブ出席率報告	翌月14日午前中 までに必着	ガバナー事務所
3. 会員数及び出席報告	毎月5日までに必着	ガバナー事務所
4. クラブ会員数および女性会員数 報告のお願い	前期 7月7日までに必着 後期 1月10日までに必着	ガバナー事務所 前期:6月30日付、7月1日付 後期:12月31日付、1月1日付
5. 物故者報告用紙	その都度	ガバナー事務所
6. クラブ細則の変更	その都度	ガバナー事務所
7. 充填未充填職業分類表	8月31日	ガバナー事務所
8. 効果的なロータリー・クラブとなる ための活動計画の指標	2006年7月1日	所定の用紙3部に記入して、ガバナー・エレクト事務所に1部 ガバナー補佐に1部、1部はクラブに保管
9. 地区大会提出・信任状証明書	2006年10月13日	直前の半期人頭分担金支払時会員数25名毎に1名または その端数13名以上の場合はさらに1名を選ぶ。 (ガバナー事務所より送付された指定用紙)
10. 新入会員、退会者、会員の住所または 種類の変更	その都度	① RI世界本部(英文・所定の用紙) ② ガバナー事務所
11. クラブ会長、幹事、例会場、日時、 事務所等の変更届	その都度	① 国際ロータリー日本事務局 ② ガバナー事務所 ③ ロータリーの友事務所
12. RI文献購入申込 各RC常備の注文用紙にて	その都度	RI世界本部(英文の文献) 国際ロータリー日本事務局(和文の文献)
13. 次年度クラブ会長、幹事報告 (公式名簿・記載資料)	クラブ役員選挙後 2週間以内に	① 国際ロータリー日本事務局 ② (写)ガバナー ③ (写)ガバナー・エレクト
14. 全国会員名簿のための校正 (送ら れてきたゲラ刷を校正し返送する)	2月	全国RC会員名簿編集室 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-4-8 ステアーズビル2階 TEL (03)5332-3605 FAX (03)5332-3606
15. 国際大会提出・信任状証明書 (会長・幹事のサインが必要)	4月	国際大会出席者の代議員またはその代理者(ガバナー・エレクトなど) 用紙はRIより直接各クラブに送付される。 会員50名以上のクラブは50名毎に1名またはその端数26名以上 の場合はさらに1名を選ぶ。(RI定款第9条第3節a)
16. 寄付増進クラブ目標報告書式	2006年4月20日	ガバナー・エレクト事務所
17. クラブ世界社会奉仕プロジェクト 活動計画書/報告書	12月	ガバナー事務所

◆主要送金

送 金	期 日	送 金 先
1. 人頭分担金1人当り半年分 \$23.50 ・7月2日より10月1日まで ・1月2日より4月1日までに中途入会した会員 \$11.75	7月1日・1月1日 10月1日・4月1日	三井住友銀行 新宿通前支店 普通 6733244 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
2. 規定審議会のための追加人頭分担金1人当り \$1.00	7月1日	
3. 「The Rotarian」の購読料 半年分 \$6.00	7月1日・1月1日	
4. ロータリー財団への寄付 年次寄付:各クラブで目標金額を設定、積立額を随時送金 恒久基金寄付:各クラブでベネファクター1名以上 大口寄付:地区で大口寄付者(累計寄付金1万ドル)1名以上 (註1)1.2.3.4.とも『米ドル建振込』の場合 但し、振込元口座もドル建であること (註2)ドル紙幣による現金書留も可	随 時	①三井住友銀行 本店営業部 普通 0968049 ②三菱東京UFJ銀行 本店 普通 1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎 三井住友銀行 新宿通前支店 普通 0000167 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
5. 地区運営資金・地区活動資金・地区大会資金 1人当り ¥22,000 1人当り 前期 ¥13,500 後期 ¥8,500 中途入会者及び新クラブ設立の場合 7月2日より10月1日まで入会した会員に対し ¥9,250 1月2日より4月1日まで入会した会員に対し ¥4,250	7月1日・1月1日 10月1日・4月1日	第2660地区会計
6. 財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付 普通寄付金は1人当り各クラブの決定額の半分 特別寄付金は随時送金	7月1日・1月1日	ロータリー米山記念奨学会
7. 「ロータリーの友」購読料 半期分¥1,260(消費税含む) (但し、中途入会者については雑誌を受け取った月より月割1部¥210) *請求書が「友」より各クラブへ送付されるので、確認してから振込のこと。	7月1日・1月1日	ロータリーの友事務局

2006～2007年度 I.M.日程一覧表

組	開催年月日	ホストクラブ	所属クラブ	クラブ数	アドバイザー(ガバナー補佐)
1	2007年 4月7日(土)	箕面中央	池田、池田くれは、箕面、箕面中央、豊中 豊中南、豊中-大阪国際空港、豊中千里	8	神内 紘典 (箕面)
2	2007年 4月28日(土)	吹田江坂	茨木、茨木東、茨木西、千里、千里メイプル 摂津、吹田、吹田江坂、吹田西、高槻 高槻東、高槻西	12	岩井 祐造 (高槻)
3	2007年 2月10日(土)	交野	大東、大東中央、枚方、くずは、門真 交野、香里園、守口、守口イブニング 寝屋川、四条畷	11	金森 市造 (くずは)
4	2007年 2月17日(土)	大阪柏原	東大阪、東大阪中央、東大阪東、東大阪みどり 東大阪西、大阪柏原、八尾、八尾中央、八尾東	9	井出 幸彦 (東大阪西)
5	2007年 2月3日(土)	大阪西北	大阪ちゃやまち、大阪中央、大阪堂島、大阪北 大阪北梅田、大阪リバーサイド、大阪西 大阪大淀、大阪西北、大阪そねざき、大阪梅田 大阪梅田東、大阪ユニバーサルシティー	13	鍛冶 正行 (大阪梅田東)
6	2007年 2月24日(土)	大阪	大阪、大阪東、大阪東淀、大阪城、大阪城東 大阪中之島、大阪大手前、大阪城北、大阪天満橋 大阪鶴見、大阪淀川、新大阪	12	小松 弘人 (大阪城東)
7	2006年 11月18日(土)	大阪本町	大阪フレンド、大阪本町、大阪御堂筋、大阪南 大阪難波、大阪なにわ、大阪南西、大阪西南 大阪船場、大阪心斎橋、大阪うつば	11	橋本 憲之 (大阪南)
8	2007年 4月21日(土)	大阪住之江	大阪阿倍野、大阪阪南、大阪平野、大阪イブニング 大阪城南、大阪咲洲、大阪住之江、大阪住吉 大阪天王寺、大阪東南	10	小山 隆三 (大阪阪南)

2006～2007年度 ガバナー公式訪問日程

8月		10月		12月	
9 水	⑦ 大阪西南	2 月	⑤ 大阪堂島	14 木	③ 門真
18 金	④ 八尾東	3 火	⑤ 大阪西北	15 金	② 摂津
21 月 ▲	⑦ 大阪心斎橋・大阪船場	4 水	⑥ 大阪城	19 火	⑧ 大阪東南
22 火	⑧ 大阪阪南	5 木	⑤ 大阪リバーサイド	1月	
23 水 ▲	④ 東大阪・東大阪中央・ 東大阪東・東大阪みどり・ 東大阪西	11 水	① 豊中千里	16 火	⑥ 大阪鶴見
24 木 ▲ ★	⑧ 大阪平野・大阪イブニング	12 木 ★	② 千里メイプル	18 木	⑥ 大阪中之島
28 月	⑥ 大阪東淀	13 金	⑤ 大阪梅田東	23 火	③ 枚方・くずは
29 火 ★	④ 八尾中央	16 月	⑤ 大阪北梅田	24 水	③ 香里園
30 水	⑥ 大阪城北	17 火	② 千里	25 木	⑦ 大阪なにわ
9月		18 水	⑧ 大阪阿倍野	26 金	③ 寝屋川
4 月	⑤ 大阪ちゃやまち	19 木	② 吹田	2月	
6 水	⑦ 大阪フレンド	20 金	⑧ 大阪城南	1 木	⑥ 大阪東
7 木	⑥ 大阪天満橋	24 火	⑦ 大阪本町	7 水	⑥ 新大阪
8 金	⑥ 大阪大手前	25 水	① 池田	8 木	⑦ 大阪難波
11 月 ★	① 池田くれは	26 木	③ 交野	9 金	① 豊中-大阪国際空港
13 水	④ 八尾	27 金	② 高槻東	14 水	③ 守口
14 木 ★	② 高槻西	31 火	② 吹田江坂	16 金	⑥ 大阪
15 金	⑥ 大阪城東	11月		19 月	⑤ 大阪西
19 火	④ 大阪柏原	8 水	⑤ 大阪北	21 水	② 高槻
21 木	⑤ 大阪中央	9 木	① 豊中南	23 金	⑥ 大阪淀川
25 月 ●	② 吹田西	10 金 ▲	⑧ 大阪住吉・大阪天王寺	3月	
26 火 ▲	⑤ 大阪大淀・大阪梅田	13 月 ▲	⑧ 大阪住之江・大阪咲洲	9 金	⑤ 大阪ユニバーサルシティー
27 水	⑦ 大阪南西	14 火 ▲	③ 大東・大東中央・四条畷	22 木 ★	③ 守口イブニング
28 木	⑦ 大阪御堂筋	16 木 ▲	② 茨木・茨木東・茨木西	27 火	⑦ 大阪南
29 金	① 箕面中央	21 火 ●	⑦ 大阪うつば		
		28 火	① 豊中		
		29 水	⑤ 大阪そねざき		
		30 木 ★	① 箕面		

▲印 合同公式訪問 ●印 例会開始18時 ★印 例会開始18時30分

第2660地区各ロータリークラブ ホームページ・E-mailアドレス

クラブ名	ホームページ	E-mail
大 東	www.daito-rc.org/	office@daito-rc.org
大 東 中 央	www9.ocn.ne.jp/~dc-rc/	dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
東 大 阪	www.kansai.ne.jp/rotary/	rcmail@lime.ocn.ne.jp
東 大 阪 中 央	—	hcrc@at.wakwak.com
東 大 阪 東	www.higashiosaka-eastrc.jp	higashiohrc@air.ocn.ne.jp
東大阪みどり	www8.ocn.ne.jp/~midorirc/	midori.1126@proof.ocn.ne.jp
東 大 阪 西	www9.ocn.ne.jp/~hon-rc/	hon-rc@soleil.ocn.ne.jp
枚 方	www.kitaosaka-cci.go.jp/rotary/	h-rc@kitaosaka-cci.go.jp
茨 木	www.ibaraki-rc.com	jimukyoku@ibaraki-rc.com
茨 木 東	www10.ocn.ne.jp/~ierotary/	ierotary@beach.ocn.ne.jp
茨 木 西	www5.ocn.ne.jp/~ibanisi/	ibanisi@theia.ocn.ne.jp
池 田	www12.plala.or.jp/ikedarc/	ikedarc@amber.plala.or.jp
池田くれは	www.ikedakureha.jp	jimukyoku@ikedakureha.jp
門 真	—	r-kadoma@amber.plala.or.jp
交 野	www9.ocn.ne.jp/~katanorc/	katanorc@oak.ocn.ne.jp
香 里 園	—	—
く ず は	www.kcat.zaq.ne.jp/kuzuha-rc/	Kuzuha-rotary@kcat.zaq.ne.jp
箕 面	www7.ocn.ne.jp/~mino-orc/	mino-orc@abeam.ocn.ne.jp
箕 面 中 央	www5.ocn.ne.jp/~minoh-c/	mc-rc@citrus.ocn.ne.jp
守 口	www2h.biglobe.ne.jp/~mrcisc/	mrcisc@mti.biglobe.ne.jp
守口イブニング	—	m-evening@msj.biglobe.ne.jp
寝 屋 川	www.neyagawa-rc.gr.jp	jimukyoku@neyagawa-rc.gr.jp
大 阪	www.osaka-rc.org/	secretariat@osaka-rc.org
大阪阿倍野	—	osaka-abeno@nifty.com
大阪ちゃやまち	—	osa.chayamachi.rc@athena.ocn.ne.jp
大 阪 中 央	www.osaka-central-rc.org/	osaka-central-rc@nifty.com
大 阪 堂 島	moriss.net/~dojimarc	dojimarc@violin.ocn.ne.jp
大阪フレンド	—	osakafriend-rc@soleil.ocn.ne.jp
大 阪 阪 南	—	osaka_hn_rc_1969@msj.biglobe.ne.jp
大 阪 東	—	osaestrc@silver.ocn.ne.jp
大 阪 東 淀	—	east-yodo_rc@happy.odn.ne.jp
大 阪 平 野	—	hiranorc@lily.ocn.ne.jp
大 阪 本 町	www.hommachi-rc.com/	hommachi-rc@ares.eonet.ne.jp
大阪イブニング	www5.ocn.ne.jp/~evening/	evening@theia.ocn.ne.jp
大 阪 城	—	hao78330@rio.odn.ne.jp
大 阪 城 南	www.osaka-johnan-rc.org	johnan25@crocus.ocn.ne.jp
大 阪 城 東	www.osaka-jrc.org	jrc@almond.ocn.ne.jp
大 阪 柏 原	www4.ocn.ne.jp/~okrotary/	okrc@pearl.ocn.ne.jp
大 阪 北	www1.newweb.ne.jp/wb/osaka-n-rc/	osaka-n-rc@mb.newweb.ne.jp
大阪北梅田	www.kita-umeda2660rc.org	info@kita-umeda2660rc.org
大阪御堂筋	www.midosujirc.com	info@midosujirc.com
大 阪 南	www15.ocn.ne.jp/~o-south/	osaka-south@alpha.ocn.ne.jp
大阪中之島	—	nakanoshima@ace.odn.ne.jp
大阪難波	—	osaka-namba@poem.ocn.ne.jp
大阪なにわ	www11.ocn.ne.jp/~naniwarc/	naniwarc@theia.ocn.ne.jp
大 阪 南 西	—	nanseirc@poppy.ocn.ne.jp
大 阪 西	www.osaka-westrc.org	osaka-w@cronos.ocn.ne.jp
大 阪 大 手 前	—	otemaerc@gaea.ocn.ne.jp
大 阪 大 淀	osaka-oyodo-rc.com/	oyodo-rc@h7.dion.ne.jp
大阪リーバーサイド	www3.ocn.ne.jp/~osriver/	osrvsdr@lily.ocn.ne.jp
大 阪 咲 洲	www18.ocn.ne.jp/~sakishim/	sakishima-rc@extra.ocn.ne.jp
大 阪 西 北	www3.ocn.ne.jp/~osknwrc/	osk1nwrc@pearl.ocn.ne.jp

クラブ名	ホームページ	E-mail
大阪西南	—	seinanrc@pearl.ocn.ne.jp
大阪船場	—	semba@cocoa.ocn.ne.jp
大阪心斎橋	—	s-rotary@galaxy.ocn.ne.jp
大阪城北	www.osaka-shirokita-rc.jp/	shirokita@s5.dion.ne.jp
大阪そねざき	—	sonezaki@alpha.ocn.ne.jp
大阪住之江	www.suminoerotary.org	osaka@suminoerotary.org
大阪住吉	www.osaka-sumiyoshi-rc.com	info@osaka-sumiyoshi-rc.com
大阪天満橋	www10.plala.or.jp/temma-rc/	temma-rc@lapis.plala.or.jp
大阪天王寺	www.tennoji-rc.gr.jp	trcosaka@sage.ocn.ne.jp
大阪東南	—	tounanrc@chive.ocn.ne.jp
大阪鶴見	www31.ocn.ne.jp/~osaka_tsurumi_rc/	rcosatrm@cf.mbn.or.jp
大阪梅田	—	umeda-rc@ace.ocn.ne.jp
大阪梅田東	—	umeda-e@kisweb.ne.jp
大阪うつば	www.osa-utsuborc.com/	utsuborc@sun-inet.or.jp
大阪淀川	www.osaka-yodogawa-rc.jp/	yodog-rc@orion.ocn.ne.jp
大阪ユニバーサルシティー	—	ucrc@nifty.com
千里	—	senri-rc@giga.ocn.ne.jp
千里メイプル	—	maplerc@lime.ocn.ne.jp
摂津	www.settsu-rc.gr.jp	info@settsu-rc.gr.jp
四条畷	—	shijyonawaterc@gamma.ocn.ne.jp
新大阪	www.shin-osakarc.com/	shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
吹田	www.suitorotary.marche.ne.jp	suitorotary@sutv.zaq.ne.jp
吹田江坂	—	esaka-rc@lake.ocn.ne.jp
吹田西	www.suita-west-rc.com	snrc1@infoseek.jp
高槻	—	—
高槻東	—	—
高槻西	homepage3.nifty.com/t-westrc/index.html	aef02524@nifty.com
豊中	www.rctoyonaka.org	jtrc2660@sun-inet.or.jp
豊中南	www.infomart.or.jp/ooaana/tsrc/	tsrc@mail.infomart.or.jp
豊中大阪国際空港	www.ae-osaka.co.jp/kuhkohrc/rotary.htm	t-airport@dance.ocn.ne.jp
豊中千里	www.orthosystems.co.jp/toyonakasenri-rc/	toyonaka_senri@ybb.ne.jp
八尾	www4.ocn.ne.jp/~yao.rc	yao.rc@cello.ocn.ne.jp
八尾中央	—	yaocentrc@iris.eonet.ne.jp
八尾東	—	—

www.rotary.org/

ロータリー・ジャパン・ウェブホームページ (日本語によるロータリーの公式ウェブサイト)

www.rotary.or.jp/

文庫通信

—225号—

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、36年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約1万9千点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお願いいたしております。

☆ 利用方法 ☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費（1枚20円+送料）でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

(貸 出 し)

- ・視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご 寄 贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせていただきます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

2006～2007年度 地区幹事担当一覧表

会 員 名	役 職
山本 博史（大阪南）	代 表 幹 事
谷 明（大阪南）	副 代 表 幹 事
木村 芳樹（大阪南）	ガバナー月信
鈴木 慶一（大阪南）	ガバナー月信
横尾 國治（大阪南）	ガバナー月信
原田 裕彦（大阪南）	ロータリーの友担当
城戸 高史（大阪南）	総 務
北川 哲（大阪南）	総 務
中島 成和（大阪南）	総 務
中北 清（大阪南）	総 務
飯井 克典（大阪南）	地 区 会 計
森 茂寛（池田くれは）	次 期 代 表 幹 事

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

富永 直樹 君 (門真RC)

平成18年4月11日逝去 (享年 93 歳)

名誉会員
会 長

ポール・ハリス・フェロー

南 喜代春 君 (大阪南RC)

平成18年6月4日逝去 (享年 82 歳)

雑誌 (文献)、出席委員長
S.A.A.、インターアクト委員長

米山功労者 (マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

梅原 豊和 君 (大阪中之島RC)

平成18年6月14日逝去 (享年 64 歳)

出席委員長、S.A.A.、会報委員長
プログラム・リング委員長
国際奉仕委員長・理事、クラブ奉仕委員長
会長エレクト

米山功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会	
・ガバナー	岩田宙造
・地区代表幹事	山本博史
・地区副代表幹事	谷 明
・担当地区幹事	木村芳樹
・担当地区幹事	鈴木慶一
・担当地区幹事	横尾國治
・事務局長	久野 均

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田	宙造
地区代表幹事	山本	博史
地区副代表幹事	谷	明
事務局長	久野	均

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日

夏季 8月12日(土)～8月17日(木)

年末年始 12月29日(金)～1月4日(木)

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL:06-6264-2660
FAX:06-6264-2661

ホームページアドレス

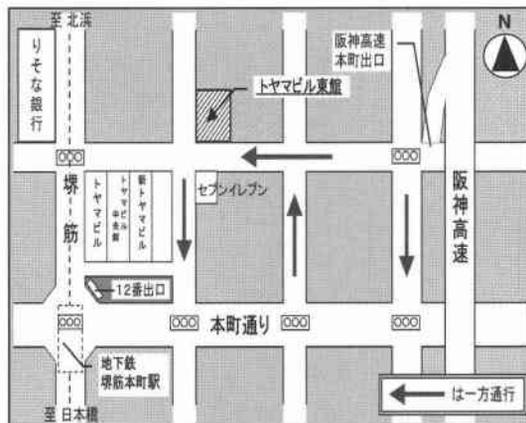
<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ



Lead The Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

Lead The Way

G GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER ガバナー月信

会員増強および拡大月間

Membership and Extension Month



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第2660地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

8

2006 No.2

目 次

会員増強および拡大月間について	岩田 宙造	1
会員増強とクラブ奉仕	川上 善司	2
2006～2007年度米山奨学生オリエンテーション報告	池田 文治	3
2005～2006年度 国際ロータリー第2660地区 ローターアクト年次大会報告	高橋 敏朗	4
マルメ、コペンハーゲン国際大会に参加して	福家 宏	5
財団学友セミナーに参加して－第97回国際ロータリー年次大会	溝畑 正信	7
ガバナー補佐便り I		9
社会奉仕事業「よろず相談室」開催報告	島 顕侑	10
文庫通信		11
各クラブ創立日・認証日一覧表		12
敬 弔／お知らせ／変更のお知らせ／ホームページの案内／訂正とお詫び		14
月信編集委員会からのおねがい		
2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所案内		15

会員増強および拡大月間について

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 岩田 宙造



暑中お見舞い申し上げます。

8月は、RCが効果的なクラブとして必要不可欠な要素の一つでもある会員増強および拡大月間であります。わが国のロータリアンの人数は約103,700人で世界で2番目ですが、残念ながら近年減少の傾向にあります。幸い当地区は2006年4月度で4,238人となり、7月期初と比較して91人増加しています。日本のおかれている厳しい環境の中でこの増加は歴代ガバナーや会員の皆様方のご努力の賜物と誠に心強く嬉しく思っています。本年度も皆様方のご支援を得て会員増強に努めたいと願っていますのでよろしくお力添えをお願い申し上げます。

前年度カール・ヴィルヘルム・ステンハマー RI会長は会員増強のために、理解しやすく到達可能な目標として、1クラブ1人の純増という目標を定められました。これはクラブが会長賞を受賞するための必須条件ともなっています。

さらに自分たちが努力すべきこととして

1. 精力的なプログラムと有意義なプロジェクトを通してクラブを興味あるものにし、
2. 会員であり続けることは自らにとってもクラブにとっても、大事なことだと感じることができるよう会員に気を配り、
3. ロータリーが成り立っている二つの基本、親睦と友情を強調するということが重要であると付け加えられています。

また私たちの先輩、戸田 孝パスト・ガバナーが3年前のロータリーの友に会員増強に関連した特集記事の中で

「ロータリーの認識を深め誇りをもつこと、それが会員増強につながる」として「私たちは100年のロータリーの歴史を育て上げられた偉大な先輩たちの実践力、組織力、生命力に敬意と感謝をささげると共にロータリーの多くの奉仕の実績を認識し先人の意思を受け継ぎ、ロータリーを発展させねばならない。会員増強の基本は次世代を担う若い会員とロータリーを共有し自己を高めあい信頼感あふれ、楽しく人のためにつくすロータリークラブを次世代に手渡そうという強い意志が大切なのである。

バーナード・ショーの『人生は、私にとって燃え盛りたいまつです。それを順送りにより良い未来をつくるために、次の世代へ燃え盛りたいまつとして手渡していきたい』に学ばねばなるまい。」と述べておられます。

何れも的を得たご意見でありこれを参考にして会員増強にご配慮頂き、ウィリアム B. ボイド RI会長の提唱されているテーマに従って『Lead The Way: 率先しよう』で活動をお願いしたいと思います。

会員増強とクラブ奉仕

地区クラブ奉仕・拡大増強委員会委員長

川上 善司 (大阪平野RC)



ロータリーはクラブが主体であり、一人一人のロータリアンのあり方とその活動が大切であります。現在ロータリーが抱えている共通の問題として「組織強化」と「クラブの活性化」そして「会員増強」であります。これらはすべて相互補完的な関係にあります。

すなわち「クラブの組織強化や活性化」を図ることにより会員増強につながり、「会員増強と退会防止」は魅力あるクラブの充実なしには、なし得ないという関係にあります。

ロータリーの組織疲労もありますが、その大部分がクラブ奉仕・拡大増強委員会の課題であり長期ビジョンの策定や、委員会の統合・再編による機能強化が重要になると考えます。

組織強化であります当地区では毎年会員の減少が続いてきました。86クラブの中で30名以下が17クラブあり全体の20%になります。会員に対して委員会数が多く、クラブの現状に合わなくなってきており委員会の統廃合などによって縮小されておりますが充分ではありません。こうした現状を踏まえ効果的なクラブ組織によりクラブ強化を図る目的で、本年度岩田宙造ガバナーより、クラブ・リーダーシップ・プラン「CLP」の検討を推奨して、より現実的なクラブ運営が出来るよう地区として各クラブの意向を尊重しながらお手伝いするツールの用意を考えております。

会員増強拡大はいかなる団体であれ、その活力を維持し発展させていく為には会員の自然減、社会減はまぬがれず常に増強し更に拡大を図ることは当然の勤めです

ロータリーも同じであり会員増強は、クラブ組織強化とクラブ運営や奉仕活動の充実に重要でありクラブの活性化につながります。又既存会員の退会防止や新クラブの拡大はさけて通れないロータリーの課題です。絶えず一人一人が適格な会員の発掘と増強を心掛け、そこから共鳴者を獲得し、共感者の輪の中から新たなロータリアンを育てることが求められます。

本年度、岩田宙造ガバナーは各クラブ純増1名の目標の達成を要請されておられます。前年度に続き地区として86名以上の純増を各クラブ増強委員会が責務として会員皆様の協力のもとに目指していただきたいと考えます。

会員数増大の法則

Membership	=	E + 3 R	Extend	拡大
			Recruit	新会員の勧誘
			Retail	退会防止
			Revitalize	再活性化

2006～2007年度米山奨学生オリエンテーション報告

地区米山奨学委員会委員 池田 文治 (大東中央RC)

日時： 2006年5月17日(水) 10:30～14:00

場所： ヴィアーレ大阪2階

出席者： 米山奨学生	35名	カウンセラー	37名
地区関係者	11名	米山学友会	1名

5月17(水)の午前10時30分より「2006年～2007年度米山奨学生オリエンテーション」がヴィアーレ大阪にて開催されましたので報告させていただきます。

今年度の全奨学生のうち継続奨学生(4名)と7月来日予定の海外学友会推薦奨学生(SY-A)(1名)を除く奨学生(35名)を対象に全員参加で開催されました。

まずは神崎 茂ガバナーよりお祝いの言葉と奨学生として心構えの挨拶があり、つづいて山本和雄地区米山奨学委員会委員長によって全国805名の奨学生の内訳やベトナムを対象に始まった「現地採用奨学制度」など奨学制度の現況について説明がされました。その後各テーブルにおいてクラブごとにカウンセラーと奨学生の間で自己紹介シートが交換され、それを見ながら相互自己紹介が行われました。

少し緊張が和らいだ頃に北川 哲地区米山副委員長より「オリエンテーション」が始まりました。

まず最初に「確約書」の内容について詳細が確認されカウンセラー制度や例会出席等々の「米山奨学制度」の特色がプロジェクターを用いて説明され、「奨学金のクラブへの送金方法と時期は何時ですか？」など、カウンセラーの皆さんからも多くの質問がありました。

オリエンテーションが終わると奨学生は、全てを理解し納得した上で「確約書」にサインしてその場で提出し、これで正式に「米山奨学生」となりました。

続いて、会場を宴会場に移し第2部の「米山奨学生懇親会」が始まりました。司会は地区米山奨学委員会岡田義昭委員で、まずは岩田宙造ガバナー・エレクトによる乾杯に続き奨学生による「3分間スピーチ(自己紹介)」が始まりました。女性の奨学生の中には「趣味が料理なので日本料理を覚えたい」とか「日本の自動車に憧れて車の勉強しに来日しました」と言う男性奨学生や「卒業したら自分の国に帰って会社を設立しロータリアンになりたい」など夢のある話をたくさん聞く事ができました。

米山学友会からは林小微幹事長に挨拶して頂きました。

最後に閉会の言葉として山本地区米山奨学委員長が挨拶をして、全ての行事が終了しました。

海外からの奨学生と接しながらいつも感じることは色々なことを吸収しようとする意欲の強さです。ロータリアンを通じて日本の文化や国民性を理解して自国に帰り、一人でも多くの奨学生が社会的地位のある活動をしてくれば、必ず「世界の平和」に通じると心から願っています。



2005～2006年度 国際ロータリー第2660地区 ローターアクト年次大会報告

地区ローターアクト委員会 委員長 **高橋 敏朗** (守口RC)

日 時：2006年5月21日(日) 10:30～16:00

会 場：ユニバーサルスタジオジャパン

出席者：神崎 茂G、井上 暎夫PG、森川 勝GA、泉 博朗地区青少年活動委員会委員長、
山内 康俊担当地区幹事、ローターアクト地区委員会委員10名、他地区ロー
ターアクト委員長他1名、RC61名、ローターアクト地区役員他219名、他地区
RAC36名、RAC36名OB、OG39名 合計370名

この年次大会はローターアクトの皆さんにとって非常に大事で大切な大会です。

ご存じのようにこのRACの年次大会はRACの皆さんがこの1年やって来た事の総決算
で自分たちの思い出や失敗を映像で見たり劇をしたりで思う存分出し切っていきます。そし
てローターアクトクラブとしてこのプログラムの完成度によって予め定められた方法によ
り、それぞれを表彰していきます。

最後に自分たちの厳しくて華やかな卒業式を行い、集まったOG、OB、RACの皆さん
に祝福をしてもらい記念撮影を撮り二次会へと行く訳です。今回USJの会場でしたので2
時間ほどの待ち時間を利用して色々で見学しました。

次の二次会は本会場と違い、これぞ青春、と言った限りで若さを燃やしていたようです。

私はRACの皆さんを見てみると与えられたルールの中でしっかりとこなしているように
思います。今のところ当地区のRAC皆さんは非常に良い若者です。

これも提唱クラブのRCの皆様のご指導の賜だと思っています。地区のRCの皆さんも含
めましてこれからもご指導のほど宜しくお願いします。あとは写真を見てください。



マルメ、コペンハーゲン国際大会に参加して

八尾中央ロータリークラブ理事

(地区財団法人道的補助金委員会委員長) **福家 宏**

2006年6月11日～14日ロータリー新世紀の第97回国際大会は初めて北欧で、2都市を結んで開催されました。(登録者数2万名) 開催地はスウェーデン・マルメとデンマーク・コペンハーゲン2カ国、2都市でした。二つの都市は海を隔てていますが、鉄道・車道・一般道の3層の橋で結ばれています。そして本大会にはBridging the Worldというスローガンが掲げられています。スローガンの意味をご説明申し上げるまでもありませんが言わばロータリーソングの「手に手つないで」の歌詞のごとしでスローガンの図案といえ、これがまたロータリアン同士が手に手をつないでそれを歌っている姿そっくりなのです。

2005年3月、当地区にはスウェーデン・マルメから5名のGSEチーム・メンバーが来阪しましたが、その際メンバーの一人インゲマル君が我家に1週間滞在し、とても親しくなりました。その彼の住むマルメが本大会の開催地となったわけで大会参加の機会に是非とも彼に再会したいと考え、4月ころから度々メール交信を行いました。6月8日夕刻私たち夫婦がコペンハーゲンの空港に着いたとき、そのインゲマル君がにこやかに我々を出迎えてくれたのです。再会の実現です。空港内にある鉄道の駅から我々は2都市を結ぶ例の橋を渡ってマルメに到着(所要20分)。マルメ中央駅からホテルまでの路上で突然「こんにちは」と日本語で声をかけられたので、声の主を見ると何とジョナサン B. マジニアベ2003～2004年度RI会長でありました。大阪大会のときの会長で、「手を貸そう」をテーマに熱く語られた様子は記憶に新しく、訪欧して最初に出会ったロータリアンがマジニアベ元RI会長とは本当に驚きました。すぐに記念撮影。ナイジェリア人と日本人とスウェーデン人が並んで写りました。RI元会長(現財団管理委員)とGSEメンバーと彼をお世話した我々が期せずして1枚の写真に納まったことの不思議さに私は感慨を深くしました。

マルメの町の美しさを現すには紙面が許しません。広々とした公園の中に町があります。何処を見ても絵になる町。絶好の季節に訪れたこともあり、どこまでも緑豊かで花が咲き乱れ、水の美しさが心に残りました。6月9日は早朝から夜までインゲマル君の案内でマルメとルンドの観光に費やしました。夕食をとったレストランは海に面し、2国を繋ぐあの橋を遠くに望み、後方にはマルメ唯一の高層ビル「ターニング・トルソー」が捩れあがってそびえ立っていました。ムール貝を白ワインで楽しみました。

6月10日夕刻、私たち夫婦は当地区財団奨学・学友委員長溝畑正信ご夫妻とともに、インゲマル君と同じGSEチーム・メンバー2人(ジェンスとソフィー)をコペンハーゲンのレストランに招待して7人で交歓会を行いました。デンマークビールを、アクアビットとと

もに乾杯。女性側は溝畑夫人、男性側はジェンスがとてもユーモラスで、笑いの絶えない愉快なひとときとなり、これもロータリーの醍醐味だろうと満足しました。昨年春GSEのホスト・ファミリーをお引き受けしたからこそ実現した素晴らしい交歓会だったと思います。

6月11日は7時から日本人親善朝食会に参加。登録者数700名。渡辺好政RI次期理事の司会で、重田政信RI理事、ウィリアム B. ボイドRI次期会長、フランク・デブリン・ロータリー財団委員長らのスピーチがありました。食後短い時間に名刺交換、写真撮影を行いました。午後1時30分くらいよいよ本会議開会式が始まりました。デンマーク皇太子ご夫妻のご臨席のもと、ピーター・バンガード大会委員長の開会宣言があり、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長は家族全員を（お孫さんまで）ステージに迎えて紹介。ロータリー家族の大切さを示されました。そして会長は07年4月、ロシアに初めて「地区」が結成されること、5月には中国のRCが10周年記念を迎えること、ベトナム、コンボ、キューバへのロータリーの拡大も実現の方向にあることを話されました。さらに、実のなる木は剪定をしなければ良い実を結ばないことを喩えに、ロータリーは若返らなければならないことを強調されました。そのあとはデンマークの童話作家、アンデルセンの物語が子供たちを中心とした劇団により演じられました。童話の根底に流れる「人生の教訓」を語りかけると同時に他者のニーズに心を配るロータリー精神を再認識させるものでした。1時間半足らずの短い開会式ではありましたが、内容は充実していました。「友愛の家」では、ナイジェリアのOregbeni RCとバナー交換。次年度ソルトレークシティー大会の宣伝を見たり、記念品を買ったり、気付けば長時間広い会場を歩き続けましたが、ホテルまでは地下鉄1本で何の混雑もなく（無料パス利用）、ゆっくりと座って帰れて、大阪やシカゴの大会とは随分違っていたように思います。

国際大会参加は、ロータリアンとしての自覚を改めて強くするだけでなく、驚きの出会い、新しい出会い、懐かしい再会の絶好の機会であり、ロータリアンならばこそその特別な旅行を楽しめる楽しい機会になるであろうと考えています。



左から妻、マジリアベ元RI会長
私、インゲマル
(マルメの街角偶然の出会い)



左からインゲマル、私、ジェンス
溝畑氏、溝畑夫人、妻、ソフィー
(GSEメンバーとの交歓会)



左からボイド夫人、ボイド次期RI会長
溝畑氏、私
(日本人親善朝食会にて)

財団学友セミナーに参加して - 第97回国際ロータリー年次大会

地区財団奨学金・学友委員会 委員長 **溝畑 正信** (東大阪東RC)

マルメ・コペンハーゲンで開催された第97回国際ロータリー年次大会に出席致しました。6月10日(土) 15:00~18:00開催の財団学友セミナーおよびレセプションの状況を中心にお伝えしたいと思います。

今年の財団学友セミナーは“The Rotary Foundation Celebrating Rotary’s Alumni”とされ、例年になく若い学友に焦点をあてたセミナーという印象を受けました。基本的にこの会の出席者はロータリアンなのですが(財団学友出身のロータリアンがかなりおられます)、今年は若い学友が多く招待され、将来を期待する財団の姿勢が伝わってきました。

まずFrank J. Devlyn 財団管理委員長が財団学友の重要性について述べ、次にYukiko Nishikawa(タイ・チュラロンコン大学、ロータリー平和および紛争解決研究のためのロータリーセンター Deputy Director)がロータリー平和および紛争解決研究プログラムについて話しました。Nishikawaさんは1998~2000年度英国ブラッドフォード大学の国際親善奨学生で、同大学でMAとPhDを取得しています。

次いで5580地区(USA/Canada) GSEチームが1999-2000年にスウェーデン2390地区に派遣された経験を報告しました。チームメンバー4人の内3人は現在地区のRCメンバーとして活躍しており、もう1人のSteven Houghton君は現在日本の国際基督教大学で世界平和フェローとして学んでいます。

2005~06年度財団学友人道奉仕賞は1957~58年度の財団奨学生(Oxford大学に留学)、John Schott氏が受賞しました。彼は発展途上国やNGOにコンサルタントとして奉仕活動をしている人で、地方自治体やNGO、国の指導者に対して協同作業、訓練計画を通して地方の地域共同体事業の改善に助力しました。Schott氏はいくつかの論文や著書を



ウィリアム B.ボイド RI 会長(2006~07)



ルイス・ビセンテ・ジアイ財団管理委員長(2006~07)



ジョン R.スコット財団人道奉仕賞受賞者(2005~06)

書いていますし数多くの栄誉賞を受けています。ハーバード大学でPhDを取得し、またウガ
ンダのMakerere Collegeにフルブライト奨学金を受け留学しました。

フロアからは活発な発言がなされ、財団学友が世界のどこにいてもその地で学友として活
躍できるようにしよう、生涯にわたって学友のフォローをし、学友のRCを創ろうといった意
見が出されました。フィリピンでは2001年に財団学友のRCを創ったと発言がありました。

我々の2660地区でも新世代を中心にした新しいRCの創設に向かっていきます。皆様のご協力を
をよろしくお願い致します。



ガバナー補佐便り-I



第1組 神内 紘典 (箕面RC)

箕面ロータリークラブに入会して25年余り過ぎ、この度ガバナー補佐を命じられ皆様から求められる限り、この1年R I並びに第2660地区の岩田宙造ガバナーの補佐としてR Iテーマ「率先しよう」に応えられるように第1組のお役に立つ努力をいたします。皆様のご支援も宜しくお

願いたします。



第2組 岩井 祐造 (高槻RC)

この度経験不足ながらガバナー補佐をご指名いただき就任致しました。ウィリアム B. ボイドR I会長の方針「率先しよう」を受け、加えて岩田宙造地区ガバナーの方針「ニーズを見極め、誠実な努力」を戴し実践するに当たり、各クラブ共通の課題「クラブの活性化」「会員増強」

に微力ではございますが、地区との連絡役として努力してまいり所存です。今期1年間、ご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



第3組 金森 市造 (くずはRC)

私は、昨年度に今年度のIM第3組のガバナー補佐として所属するクラブである我がくずはロータリークラブのご推輓をいただき岩田宙造ガバナーより委嘱状を賜りその任に就かせて頂きました。

第1回ガバナー補佐予定者会議が開かれました折に他の組の出席者のお顔を拝見してこれは、心して対処しなければならないなと強く感じました。

ロータリークラブに入会して20年目の年度という節目にあたり私と致しましても、初心にかえり心新たにロータリー人生の歩み方を学んでまいり所存です。

すでに組内の11クラブの事前訪問をさせて頂き、各クラブがいままでおのこの年輪を重ねられた重み、そこから醸し出される雰囲気を感じさせて頂きました。私は入会以来例会に出席することを、それもホームクラブ皆席を目標にして参りました。その結果自分なりにですが毎週1回同じ曜日の同じ時間に集うということは1. 健康確認 2. 感謝の確認 3. やる気の確認 が出来る場であると思っています。



第4組 井手 幸彦 (東大阪西RC)

R I第2660地区、岩田宙造ガバナーから第4組のガバナー補佐に委嘱されました井出幸彦でございます。岩田ガバナー、地区幹事、各委員の方々と連携を密にし職責を全うする所存です。第4組のロータリークラブの例会、協議会、IM幹事会、その他必要に応じてクラブを訪問する機会

が多くなるとおもいますが、RCの方々のご協力を得ながら微力ではございますが「奉仕の理想」の実現に向かって、一步一步前進する一助になれば幸いに存じます。

各ロータリークラブの健闘をいのります。

社会奉仕事業「よろず相談室」開催報告

東大阪東ロータリークラブ

2005～2006年度 会長 島 顕侑



私共 東大阪東RCは、昨年度おかげさまで40周年を迎える事が出来ました。本年度はそれらの歴史・経緯をふまえ、更に前進のころみとしてクラブ全員が関り、他の地元団体とも協力しRCの特質である職業知識を生かし、その実践の場としてクラブ史に新たなページを加える様な社会奉仕事業を成し遂げたく以下を実施致しました。

去る4月23日(日)当クラブの社会奉仕事プロジェクトの一環として多種多様の職業人の集うロータリークラブの理解を深めてもらおうと「よろず相談室」を開催しました。

社会奉仕事委員会が昨年10月頃より東大阪東地区に於ける住民の社会的ニーズを調査した結果、無料相談室の開催要望が多かったことに由来しています。

当日は東大阪東体育館に於いてクラブのメンバーはもとより当クラブの家族、事務局員、枚岡警察署、市教育委員会、人権文化部文化国際課など多数の皆様のご協力を得、午前10時から午後4時まで東大阪市長を含め約800名の来場者を迎えました。又チャリティーバザー、古本市、植木市なども賑やかに併催。又、相談受付数128件、同時開催の献血受付数68名と予想を超える成果を収めることが出来ました。

なお今回の企画についてはロータリーの公共イメージアップに大きく役立ったと思います。又、相談にこられた地域の住民の方々から「ロータリーとは？」との質問も多く、それに対して十分説明もしました。

内容は ①法律・人権 ②健康・医療 ③税務・年金 ④不動産・建築 ⑤慶弔 ⑥金融 ⑦教育（不登校・いじめなど）⑧警察（振り込め詐欺・交通問題など）⑨文化国際（外国籍住民の相談）⑩園芸など10の窓口を設け、秘密厳守・個人情報保護に十分な配慮のもと相談に応じました。又ちらし4万枚の住民回覧・諸団体配布をしてPRを事前に行いました。又、当クラブ女性メンバーが代表を務める「よさこいソーラン舞踊グループ」『舞人』による商店街練り歩きなど盛り上げて頂きました。

結果大成功であり改めてロータリークラブの奉仕事活動のすばらしさに感動をおぼえた次第です。



文庫通信

—226号—

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

広報について

- ◎「行動広報」 D.2650 2005 22p [申込先：ロータリー文庫]
- ◎「超我の奉仕（広報について）」 D.2630 2005 3p
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「動き出した広報」 武部 宏 2005 2p (D.2650月信)
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「広報と宣伝・広告のちがひ」 大久保 昇 2005 3p (D.2650月信)
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「『広報・ITに関するアンケート調査』の集計結果について」
岡本比呂志 2006 2p (D.2570月信) [申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「広報の立場から」 西村二郎 1982 1p
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーに於ける広報とは何か」 前原勝樹 1985 2p
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ロータリーを『わかる』ために一巻き込み、渦を起こすのが広報」
森 三郎 1995 16p [申込先：ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

各クラブ創立日・認証日一覧表

2006年7月1日現在

クラブ名	創立年月日	認証日	周年	入会金	年会費	ピジャ-ファイ	備考
大 東	1967年12月26日	1968年1月24日		¥150,000	¥240,000	¥3,000	
大 東 中 央	1996年3月14日	1996年4月16日		¥100,000	¥240,000	¥3,000	
東 大 阪	1957年6月4日	1957年6月17日	50周年	¥120,000	¥320,000	¥4,500	
東大阪中央	1972年2月20日	1972年3月3日		¥100,000	¥285,000	¥4,500	
東大阪東	1965年3月4日	1965年4月28日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	第2・3週は¥2,000
東大阪みどり	1998年9月24日	1998年10月28日		¥100,000	¥320,000	¥3,000	
東大阪西	1985年3月18日	1985年3月29日		¥100,000	¥300,000	¥4,000	
枚 方	1961年2月28日	1961年4月3日		¥200,000	¥250,000	¥3,000	
茨 木	1959年12月23日	1960年2月9日		¥150,000	¥280,000	¥2,000	
茨 木 東	1974年2月14日	1974年3月8日		¥100,000	¥260,000	¥3,000	
茨 木 西	1993年12月8日	1993年12月21日		¥150,000	¥290,000	¥4,000	第3週は¥2,000
池 田	1954年4月24日	1954年5月4日		¥150,000	¥300,000	¥3,500	
池田くれは	1984年4月16日	1984年4月24日		¥100,000	¥260,000	¥3,500	
門 真	1969年4月17日	1969年6月13日		¥100,000	¥300,000	¥3,500	第2・4週は¥2,500
交 野	1984年6月25日	1984年6月28日		¥150,000	¥220,000	¥3,000	
香 里 園	1995年4月29日	1995年5月31日		¥100,000	¥250,000	¥3,000	
く ず は	1974年5月30日	1974年6月25日		¥200,000	¥280,000	¥3,000	
箕 面	1969年4月17日	1969年5月9日		¥150,000	¥150,000	¥3,300	
箕面中央	1980年6月13日	1980年6月13日		¥100,000	¥336,000	¥3,800	
守 口	1961年3月20日	1961年4月24日		¥150,000	¥280,000	¥3,000	
守口イブニング	2000年11月2日	2000年11月22日		¥100,000	¥300,000	¥3,000	
寝 屋 川	1969年4月18日	1969年4月25日		¥100,000	¥290,000	¥3,000	
大 阪	1922年11月17日	1923年2月10日		¥200,000	¥320,000	¥4,700	
大阪阿倍野	1979年5月9日	1979年6月4日		¥150,000	¥300,000	¥4,500	第2週は¥2,800
大阪ちゃやまち	1992年1月27日	1992年2月20日	15周年	¥200,000	¥330,000	¥4,800	月2回は¥2,800
大 阪 中 央	1984年1月26日	1984年2月6日		¥250,000	¥300,000	¥4,000	
大 阪 堂 島	1987年6月15日	1987年6月29日	20周年	¥200,000	¥300,000	¥4,000	第2週は¥3,000
大阪フレンド	1999年6月3日	1999年6月23日		¥100,000	¥360,000	¥4,800	
大 阪 阪 南	1969年6月10日	1969年6月21日		¥100,000	¥320,000	¥4,500	第2・4週は¥2,500
大 阪 東	1957年6月6日	1957年6月17日	50周年	¥200,000	¥280,000	¥4,700	
大 阪 東 淀	1970年6月26日	1970年8月10日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大 阪 平 野	1975年2月20日	1975年3月29日		¥200,000	¥340,000	¥4,500	最終週は¥2,800
大 阪 本 町	1991年3月26日	1991年6月24日		¥100,000	¥220,000	¥4,800	
大阪イブニング	1986年1月23日	1986年2月17日		¥150,000	¥320,000	¥3,500	
大 阪 城	1988年5月11日	1988年5月30日		¥200,000	¥370,000	¥4,500	
大 阪 城 南	1969年5月30日	1969年6月13日		¥100,000	¥150,000	¥4,500	
大 阪 城 東	1973年4月27日	1973年6月7日		¥150,000	¥340,000	¥4,600	
大 阪 柏 原	1970年6月1日	1970年6月17日		¥100,000	¥280,000	¥3,000	
大 阪 北	1952年12月16日	1953年1月16日		¥150,000	¥300,000	¥4,200	
大阪北梅田	1992年1月20日	1992年2月17日		¥100,000	¥300,000	¥4,400	最終週は軽食¥3,000
大阪御堂筋	1993年1月28日	1993年3月9日		¥150,000	¥300,000	¥4,800	
大 阪 南	1952年12月16日	1953年1月16日		¥100,000	¥300,000	¥4,500	
大阪中之島	1992年10月29日	1992年11月20日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	

クラブ名	創立年月日	認証日	周年	入会金	年会費	ビターフイー	備考
大阪難波	1976年8月5日	1976年8月27日		¥100,000	¥350,000	¥4,500	最終例会日は¥2,700
大阪なにわ	1984年2月23日	1984年3月5日		¥180,000	¥360,000	¥4,800	コーヒー例会年6回¥2,500
大阪南西	1974年6月10日	1974年6月17日		¥100,000	¥300,000	¥4,500	
大阪西	1957年6月4日	1957年6月17日	50周年	¥150,000	¥270,000	¥4,000	
大阪大手前	1983年3月18日	1983年4月6日		¥200,000	¥350,000	¥4,700	
大阪大淀	1973年2月22日	1973年3月20日		¥200,000	¥320,000	¥4,800	
大阪リバーサイド	1980年4月10日	1980年4月29日		¥200,000	¥300,000	¥3,800	第2・4週は¥2,500
大阪咲洲	1995年10月11日	1995年10月31日		¥200,000	¥300,000	¥4,500	第2・4週は¥3,500
大阪西北	1969年5月27日	1969年6月13日		¥200,000	¥260,000	¥4,700	月1回は¥3,300
大阪西南	1969年5月21日	1969年6月9日		¥150,000	¥280,000	¥4,700	
大阪船場	1988年5月23日	1988年6月3日		¥150,000	¥320,000	¥4,800	
大阪心斎橋	1970年11月10日	1970年11月19日		¥150,000	¥300,000	¥4,700	
大阪城北	1977年6月29日	1977年6月20日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	月1回は¥3,300
大阪そねざき	1994年3月2日	1994年3月16日		¥250,000	¥320,000	¥4,700	月1回は¥3,300
大阪住之江	1975年3月24日	1975年4月27日		¥100,000	¥340,000	¥4,500	最終例会日は¥2,800
大阪住吉	1961年2月14日	1961年4月7日		¥150,000	¥320,000	¥4,500	
大阪天満橋	1967年11月4日	1967年12月21日		¥200,000	¥300,000	¥4,700	
大阪天王寺	1988年9月10日	1988年9月26日		¥200,000	¥340,000	¥4,500	第1・3週は¥2,800
大阪東南	1985年11月26日	1985年12月10日		¥150,000	¥120,000	¥4,600	
大阪鶴見	1984年7月10日	1984年8月6日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪梅田	1977年6月29日	1977年7月30日	30周年	¥200,000	¥320,000	¥4,800	
大阪梅田東	1988年5月20日	1988年6月1日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪うつぼ	1981年4月17日	1981年4月28日		¥100,000	¥352,000	¥4,000	※年会費に会食費を含む
大阪淀川	1961年1月14日	1961年3月28日		¥200,000	¥280,000	¥4,000	
大阪ユニバーサルシティ	2001年3月27日	2001年5月2日		¥200,000	¥240,000	¥4,000	第3週は¥3,000
千里	1973年6月12日	1973年6月28日		¥200,000	¥240,000	¥4,500	
千里メイプル	1998年6月13日	1998年6月24日		¥150,000	¥300,000	¥4,000	最終例会日は¥3,000
摂津	1970年9月26日	1970年10月9日		¥100,000	¥270,000	¥3,000	月1回は¥2,000
四条畷	1977年11月30日	1978年2月3日		¥50,000	¥200,000	¥2,000	
新大阪	1985年5月8日	1985年5月17日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
吹田	1958年12月18日	1959年4月15日		¥150,000	¥240,000	¥3,000	
吹田江坂	1990年2月27日	1990年3月15日		¥200,000	¥320,000	¥4,000	
吹田西	1980年6月12日	1980年6月13日		¥200,000	¥300,000	¥4,000	
高槻	1954年6月15日	1954年7月6日		¥120,000	¥260,000	¥3,000	
高槻東	1973年3月1日	1973年4月19日		¥120,000	¥280,000	¥3,000	
高槻西	1989年6月15日	1989年6月27日		¥120,000	¥280,000	¥3,000	
豊中	1959年6月16日	1959年6月27日		¥100,000	¥300,000	¥3,700	
豊中南	1969年6月5日	1969年6月13日		¥100,000	¥320,000	¥3,700	
豊中-大阪国際空港	1972年2月23日	1972年3月2日		¥150,000	¥300,000	¥3,000	
豊中千里	1986年2月5日	1986年2月20日		¥200,000	¥320,000	¥4,000	
八尾	1961年3月28日	1961年5月3日		¥100,000	¥274,000	¥2,500	
八尾中央	1982年12月7日	1982年12月15日		¥100,000	¥300,000	¥3,000	第3例会日 (第2例会場)は¥4,500
八尾東	1973年2月23日	1973年5月2日		¥50,000	¥270,000	¥2,500	

(注) 大阪RCは1949年4月13日に再認証

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

辻 秀哉 君 (大阪東淀RC)

平成18年6月17日逝去 (享年84歳)

チャーターメンバー

会長

米山功労者 (マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

お知らせ

大阪中之島RC会長に高島凱夫氏が就任されました。

(平成18年6月22日付)

変更のお知らせ

月信7月号

P 20

IM 日程一覧表

第2組2007年4月28日 (土)

→2007年3月17日 (土)

P 21

守口ロータリークラブ

ホームページ、E-mailアドレス

【H P】 <http://www.moriguchi-rc.jp>

【E-mail】 info@moriguchi-rc.jp

ホームページの案内

ガバナー月信編集委員会では、国際ロータリー

第2660地区の情報を広く発信するためにホームページを開設しています。

ガバナー月信の内容の他に地区内のクラブの奉仕活動なども掲載致しますので是非ご覧になって下さい。またホームページに掲載を希望される案件はtoko@ri2660.gr.jpにメールで投稿をお願いします。

訂正とお詫び

月信7月号で下記の通り誤りがありました。お詫びして訂正致します。

記

P 23

2006～2007年度国際ロータリー第2660地区組織図

国際ロータリー理事 重信政信

→国際ロータリー理事 重田政信

P 17

2006～2007年度第2660地区ガバナー補佐の紹介

IM第7組 橋本憲之ガバナー補佐

ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

米山功労者 (マルチプル)

IM第8組 小山隆三ガバナー補佐

ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

米山功労者 (マルチプル)

P 19

◆主要送金

送金先 三井住友銀行 新宿通前支店

→三井住友銀行 新宿通支店

P 24

高槻西ロータリークラブ事務所

グリーンプラザたかつき1号館402号室

→小山ビル201号

月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会	
・ガバナー	岩田宙造
・地区代表幹事	山本博史
・地区副代表幹事	谷 明
・担当地区幹事	木村芳樹
・担当地区幹事	鈴木慶一
・担当地区幹事	横尾國治
・事務局	近藤祥子

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田 宙造
地区代表幹事	山本 博史
地区副代表幹事	谷 明
事務局員	塚本 瑞香
	川端麻起子
	近藤 祥子

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日
夏 季 8月12日(土)～8月17日(木)
年 末 年 始 12月29日(金)～1月4日(木)

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪府中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL:06-6264-2660
FAX:06-6264-2661

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。
詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ

Lead The Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

Lead The Way

G GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER ガバナー月信

新世代のための月間

New Generations Month



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第2660地区
`06-`07 ガバナー 岩田宙造

9
2006 No.3

目 次

ガバナーメッセージ	
新世代のための月間について	岩田 宙造..... 1
新世代のための月間によせて	井上 暎夫..... 2
意義ある業績賞について	神崎 茂..... 3
ガバナー補佐便り II	4
2006～07年度ロータリー財団国際親善奨学生いよいよ出発	溝畑 正信..... 5
第1回 ロータリーの友委員会報告	木村 芳樹..... 6
2006～2007年度合同地区委員会報告	山本 博史..... 7
2006-07年度 第1回 クラブ世界社会奉仕委員長会議 報告	宮里 唯子..... 8
ローターアクト活動報告	高橋 敏朗..... 9
青少年交換プログラム 2007～2008年度 派遣学生募集要項	徳岡昭七郎..... 10
国際ロータリーからのお知らせ	12
2006年7月度会員数・出席報告	14
文庫通信	15
敬 弔／お知らせ	16
月信編集委員会からのおねがい	
2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所案内	17

新世代のための月間について

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 岩田 宙造



9月は「新世代のための月間」です。

若者が引き起こす凶悪事件の続く昨今、私達は未来を託す若者たちに特に目を向け彼らの多様なニーズを認識し、より良き青少年の育成に取り組まなければなりません。

ウィリアム B. ボイドRI会長は強調事項のロータリー家族でインターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、青少年交換、その他数多くの青少年のためのプログラムの重要性を掲げ「これら若者たちが、私たちの未来なのです」と強調しています。「ロータリーは常に青少年に向けてのプロジェクトを支援し、彼らのニーズに応える」という素晴らしい伝統があります。各界のリーダーであるロータリアンはモデル的な役割を果たす特別な立場であることを自覚し青少年への良き助言者であることに努めています。幸い当地区は多くのクラブが青少年プログラムに積極的に参加し国際交流も含め多くの実績、歴史を誇っています。

前年度は当地区インターアクトクラブから薬物乱用防止の啓発運動を行う民間国連ヤング大使が選出され、またローターアクトクラブの一つがRI会長賞を受賞する予定です。またローターアクトの協力も得て、ロータリー関係者の小学校4・5・6年生の児童を対象に行われる当地区独特の活動、少年少女ニコニコキャンプも好評です。

また世界平和奨学生、国際親善奨学生、研究グループ交換チーム、米山奨学生などによる国際的な人と人との交流は国と国との架け橋となり世界平和に貢献するでしょう。最近地区では新世代のためのプログラムに参加したOBを中心にした若人たちのクラブの設立が模索され、大いに期待し応援したいと思っています。明日のリーダーを育てるとともに、一方危険な状態にある若者を救うために役立つ活動への支援も含めて未来を託す新世代のための活動に『Lead The Way : 率先しよう』と願います。

第2の国際人、緒方貞子氏（国際親善奨学生）が育つことを期待しています。

新世代のための月間によせて

新世代合同委員長会議 議長 パスト・ガバナー 井上 嘆夫 (千里RC)



国際ロータリーは、30歳までの若人を育成するためのロータリー活動を支援するために、この月間を定めております。

日頃、新世代のプログラムに奉仕いただいておりますRC、ロータリアンに感謝申し上げます。

この月間、RCは「各ロータリアンは青少年の模範」という標語を使うことを奨励されていますが、殆んど目にしたことはありません。しかし、この奨励は日々のロータリー活動に重要な示唆を与えております。

私達が模範となりうるかは勿論一人ひとりの人間としての行動にかかわりますが、ロータリアンとしては職業奉仕を通じての模範を示したいものです。

－地区職業奉仕委員会の出前事業に賛同－

7月8日開催の地区合同委員会において、岩本洋子地区職業奉仕委員長は「内なる奉仕＝自己研鑽」「他者への奉仕＝ロータリアンによる出前授業の推進」を発表されましたが、新世代の育成なくして私達の未来はないとする立場から心より賛同支持を致します。

出前事業に職業分類表を持つロータリーが積極的に取り組むことは、ロータリーが誇る他の奉仕団体にはない独自の奉仕を次世代に繋げる素晴らしい方策と思います。

地区内RCが、この強調月間に地区委員会の提案について討議下さることを切望いたします。

－新世代プログラムを体験した人々による新RCの拡大－

現在に至るまで私達は新世代にかかわる幾多のプログラムを推進、実行してきました。

RYLA、RAC、IAC、GSE、青少年交換、財団学友、米山奨学です。

これらの卒業生はROTEX（青少年交換）アルムニ会（GSE）財団学友会、米山学友会などを通じてロータリーとつながりを持っておりましたが、私達の仲間を迎え入れることが出来ないかが永年の課題となっておりました。個々にはRACの卒業生がロータリアンとして活躍され、地区委員長経験者もおられます。しかし、新世代全体を対象に新クラブ拡大までは進展してなかったのが現状でした。

2年前、2780地区かながわ湘南RCの設立が伝わり、当地区での機運が新世代合同のメンバーである7委員会ですこやかに盛り上がってきました。

本年度、岩田G、諮問委員会の賛同を得て、当会議を軸に地区クラブ奉仕・拡大増強委員会の協力をえて拡大に向けて活動を開始することになりました。

実現となれば87番目7年ぶりの新クラブとなるはずですが、地区内RCとロータリアンの皆様のご理解とご協力をお願い致します。

また、本年度地区大会におきましては、新世代の若者を一堂に集まって頂く会合を計画いたしております。

2660地区の新世代プログラムに引き続きのご支援を併せてお願いいたします。

意義ある業績賞について

意義ある業績賞委員会委員長 直前ガバナー 神崎 茂 (大阪西RC)

ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、R I から「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区ガバナーは受賞クラブを選び、R I に選定を証明する手順をとることになっています。地区レベルの競争であるため、またその中から有意義なクラブ・プロジェクトを見極めるため、G が地区選考委員会を選出し、発表することが奨励されるとあります。本年度の第2660地区における選定の基準及び手順は次の通りであります。(申請手続きについては2004年版手順要覧P.69参照)



◇選定の基準

受賞資格を有するのはクラブのプロジェクトのみであること、また推薦できるのは1地区につき1クラブのみです。既に「意義ある業績賞」を受賞したことのあるプロジェクトは重ねて業績の認証を受けることは出来ません。

「R I 意義ある業績賞」に推薦するプロジェクトを選定する前に、次の選定基準を満たしているかどうか確認して下さい。

- ・プロジェクトは地元地域社会の深刻な問題やニーズに取り組むものである。
(いかに意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格がありません)
- ・プロジェクトは単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加するようなものでなければならない。
- ・プロジェクトはクラブの規模、及び利用可能な資源に釣り合ったものでなければならない。
- ・プロジェクトは地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものでなければならない。
- ・プロジェクトは他のロータリークラブの模範となりうるものである。
- ・プロジェクトは当該年度に始められたものである必要はないが現に実施中、もしくはその表彰の行われるロータリー年度に終わられるものでなければならない。

◇選定手続

地区ガバナーは8月1日迄に地区選考委員を選任し、この選考委員会が表彰プロジェクトの申請書を受理することを告知する。地区ガバナーは、その月信で(前記)選定基準と共に申請書を委員会が受理する締切日(12月21日)を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手出来る。

地区選考委員会は2月1日迄に会議を開き、5プロジェクト迄を限度として受賞候補を選び、これを3月1日迄に地区ガバナーに提出する。

選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議のうえ1プロジェクトを選定する。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2006年12月21日(木)とします。

なお、地区ガバナーは選定した通知が2007年3月15日迄に届くようR I 会長に提出することとします。R I から正式の認定状が送付されてくると、例年通りガバナーは地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰することとします。

ガバナー補佐便り - II



第5組 鍛冶 正行 (大阪梅田東RC)

クラブこそがロータリーの最も重要な仕事の担い手であると言います。岩田ガバナーの考えに沿って各クラブの活性化を図りたいと思います。城は一つ一つの石が互いに堅く結ばれて築かれており、その中心に聖域である天守閣があると武田信玄は考えていました。堅く結ばれた各々のクラブと地区の間に立つ潤滑油がガバナー補佐の役割と心得ています。

天守閣に居るRI会長の考えを各地区ガバナーが実践する役割を担っています。「ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を」によって活動方針の「率先しよう」を実践しましょう。上からではなく、下から〈各クラブ〉の活力が中心となって、地区の団結によって活動方針を実行しましょう。



第6組 小松 弘人 (大阪城東RC)

今度、大阪城東RCより推挙されガバナーより第6組のガバナー補佐を委嘱されました小松弘人であります。

今のところ各RCを順次訪問させていただいてる状況です。

ガバナー方針の中で特に

- ① 4つの強調事項の実践
- ② 会長賞への積極的参加
- ③ CLPの検討

三つの課題を重点的に取り入れる様にお話をしています。

各RCより暖かい歓迎をお受けしていますことに感謝しながら訪問を続けています。



第7組 橋本 憲之 (大阪南RC)

前任の福本桂三ガバナー補佐の真摯で熱心なご奉仕に学びつつ、それに倣って担当RCの活性化のために努めたいと思います。

目下の課題は会員増強であり、会員育成であります。

かつてのRCは地域社会の人々より一定の信望と期待を得たものでしたが、残念ながら今日これに耐え応じられていない様に思います。

品格を持つRCを保持し奉仕の理念に共鳴し集うRCであるために職業奉仕を原点とし、その理念の高揚と実践への努力を傾倒する会員とクラブでありたいと願っています。



第8組 小山 隆三 (大阪阪南RC)

新年度開始前のクラブ訪問

RI第2660地区第8組の10RCを6月中に全て訪問し、クラブ会長・幹事の方々と懇談いたしました。夫々のクラブが新年度を迎えるに当たり会長・幹事を中心として真摯にクラブ運営と奉仕活動について取り組まれつつあるお姿に接し、特に会員数が少人数のクラブに於かれても会員増強をはじめロータリー活動に真摯に努力なさっている様子は頼もしく思いました。

当第8組は2660地区内で最も会員数は少ないのですが、それなりにまとまって各クラブそれぞれが特長を持ったクラブであって欲しいと願っています。

尚、当年度各クラブ共通の課題としてCLPプランの検討について取り組もうと思っています。

2006～07年度ロータリー財団国際親善奨学生いよいよ出発

2007～08年度奨学生候補者決定

地区財団奨学金・学友委員会

委員長 **溝畑 正信** (東大阪東RC)

2006年6月24日(土)、2006～07年度ロータリー財団国際親善奨学生のための第3回オリエンテーションが薬業年金会館で開催されました。

溝畑財団奨学金・学友委員会委員長の開会の挨拶・出席者紹介に次いで、神崎茂Gが挨拶され、奨学生に選ばれたことに対するお祝いと激励、帰国後の責務を話されました。

横山守雄ロータリー財団委員長から奨学生に対し講話がありご自身の海外体験を話され、奨学金はロータリアンの浄財であり、ロータリアンの期待を胸に留学を、帰国後は地区に挨拶を、そして地区のロータリー活動に参加をと話されました。

奨学生が文化紹介プレゼンテーションを行い大阪の紹介、大阪の物作り、食べ物、日本の歴史等についてまとめました。

次いで奨学生の現況報告、顧問ロータリアンより奨学生へコメント、横山ロータリー財団委員長より奨学生へ名刺・徽章・お土産のバッジを渡し丹羽一郎副委員長がロータリーファミリーとして一生係わりを持ってほしい、健康に留意して目的を果たして下さいと挨拶し閉会しました。

引き続いてのPSC主催懇親会では先輩であるPSCメンバーに活発な質問が出、また2年間のアメリカ留学を終えMBAを取得した三原健司君の帰国報告、イタリアからの6ヶ月文化研修生Gauvain Michel君、アメリカからの財団奨学生Draper James君も参加し、日本での勉学状況を話しました。

2006～07年度ロータリー財団国際親善奨学生

杉山博昭	男	(東大阪中央)	大村啓喬	男	(豊中)
田代浩一	男	(茨木)	豊山亜希	女	(八尾)
今中舞衣子	女	(大阪住吉)	市川朝子	女	(交野)
多田将晴	男	(千里メイプル)	佐藤美里	女	(豊中)
岩村和泉	女	(吹田)			



2007～08年度ロータリー財団国際親善奨学生候補者

大西裕子	女	(箕面)	阿保崇	男	(大阪鶴見)
土井悠子	女	(箕面中央)	渡辺貴規子	女	(千里)
亀田真澄	女	(大阪本町)	杉浦清文	男	(豊中)
橋本周子	女	(大阪南)	山口真理子	女	(豊中南)



第1回 ロータリーの友委員会報告

ガバナー・常任委員・地区委員・合同会議

ロータリーの友地区委員 木村 芳樹 (大阪南RC)

日 時：2006年7月1日(土) 13:30～16:45
場 所：新高輪プリンスホテル 国際館 パミール

■第1部 地区委員・常任委員合同会議 (13:30～15:15)

出席者：神崎正陳委員長、小林聰一朗常任委員他常任委員、
34ロータリーの友地区委員、
本行輝雄事務所長、二神典子編集長、他事務所員



本行所長の司会・進行により、まず神崎委員長から開会の挨拶があり「友の新年度方針」がありました。「ロータリーの友」誌と「地区委員の役割と義務」について強調されました。続いて常任委員より挨拶があり、「ロータリーの友」編集について、テーマ、今年の編集方針等の説明がありました。続いて34地区全員のロータリーの友地区委員の自己紹介が続きました。

その後、二神編集長よりプロジェクターを使いながら「ロータリーの友ホームページ」について「友」誌と「友」ホームページの関係とその役割、そしてその特記すべき内容等詳しい説明がありました。

そして最後に質疑応答があり各地区委員より活発な質問が出され時間ぎりぎりまで討論が続きました。

■第2部 ガバナー・常任委員・地区委員・合同会議 (15:30～16:45)

出席者：来 賓：重田政信 R I 理事、渡辺好政 R I 理事

ガバナー：全国34地区ガバナー

「友」関係者：神崎委員長以下特別顧問、神崎茂顧問をはじめとした顧問、
常任委員の合計19人

地区委員：34地区委員

事 務 所：本行輝雄事務所長、二神典子編集長、他事務所員

第2部の合同会議は場所を変え、第1部のメンバーに重田、渡辺両 R I 理事はじめ全ガバナーが加わり開催されました。まず全員の紹介が行われました。ガバナーと地区委員は同じテーブルに着席して会議に臨みました。

初めに神崎「友」委員長の「新年度方針の説明」があり、引き続き「ロータリーの友」について小林常任委員より「友」誌への客観的な評価や意義について解説がありました。続いて本行事務所長から平成18年度の「ロータリーの友事務所予算」やその他の報告がありました。その後ガバナーからの質問がいくつかあり、神崎委員長他からの回答がありました。最後に上野副委員長からの閉会の挨拶があり、これをもって第1回ロータリーの友委員会の全ての会議が終わりました。

2006～2007年度合同地区委員会報告

地区代表幹事 **山本 博史** (大阪南RC)

日 時：2006年7月8日(土) 13:00～16:30

場 所：大阪YMCA会館2階ホール

2006～2007年度の合同地区委員会は、パスト・ガバナー、役員の皆様をはじめ各委員長、委員合計121名のご出席を頂き開催いたしました。プログラムでは、地区運営・地区会計・ガバナー月信・ロータリーの友についてそれぞれ皆様に理解を深めて頂くことができたと感じております。また、本年の特徴として地区のホームページ開設に取り組み、この内容や利用方法についてプロジェクターを利用して説明をさせて頂きました。地区内ロータリアンが、様々な情報をオンタイムにキャッチして頂くことの重要性や、将来のペーパーレス化に向けてなど有意義なツールとして地区運営に活かしていければと考えております。

そして、引き続き各委員長から委員会計画の発表をして頂き、本年度の委員会の活動について参加者全員が共有の認識を持って頂くことによって、それぞれのロータリー活動に取り組む気持ちを改めて強く持つ機会とできたことと感じております。

会議運営には皆様に多大なご協力を頂戴し、感謝いたしております。

ありがとうございました。

*2006～2007年度 活動計画書の訂正と変更のお願い

※記述の中で以下に誤りがございましたので、恐れ入りますがご訂正をお願い致します。

頁	訂正前	訂正後														
16	国際ロータリー第2660地区ローターアクト 2006～2007年度 地区行事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>曜日</th> <th>行事名</th> <th>ホスト</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>07</td> <td>5</td> <td>3～5</td> <td>木～土</td> <td>春のライラ</td> <td>大阪梅田RC</td> <td>淡輪</td> </tr> </tbody> </table>	年	月	日	曜日	行事名	ホスト	備考	07	5	3～5	木～土	春のライラ	大阪梅田RC	淡輪	大阪北梅田RC
年	月	日	曜日	行事名	ホスト	備考										
07	5	3～5	木～土	春のライラ	大阪梅田RC	淡輪										
39	2005～2006年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金・特別会計・地区基金会計予算	2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金・特別会計・地区基金会計予算														
40	地区審議会地区代表議員 吉川 謹司(東大阪東)	規定審議会地区代表議員														
40	ローターアクト委員会 中安 敏人(大阪西)	ローターアクト委員会 中安 敬人(大阪西)														

2006-07年度 第1回 クラブ世界社会奉仕委員長会議 報告

地区世界社会奉仕委員会 副委員長 宮里 唯子 (茨木西RC)

日 時：2006年7月15日(土) 9：30～11：30

場 所：葉業年金会館

出席者：岩田宙造G、新谷秀一GE、財団法人道的補助金委員会 福家宏委員長、
国際奉仕委員会 盛田三五委員長、
世界社会奉仕委員会 植村宏一郎委員長及び委員、
地区内クラブ国際奉仕委員長及び世界社会奉仕委員長 他

岩田Gの「当地区はWCS活動において多大な実績をあげている。WCS活動はクラブの活性化につながるので補助金を充分活用し、全クラブに独自の活動を始めて頂きたい。」とのご挨拶で会議は始まりました。

次に植村委員長より昨年度地区WCS委員会の活動実績の中から、カンボジアにおける水プロジェクトについての簡単な紹介がありました。カンボジアでは井戸を27基設置し生活水を供給すると共に、女性や子供を過酷な労働から解放することができたのです。またRIの4大強調事項のうち「ロータリー家族」を除く「水・保健・識字率」は世界社会奉仕活動そのものである、今年度も委員会ではモンゴル他各国でプロジェクトを調査・発掘する予定であり興味のあるクラブには是非お問合せ頂きたい、多くの恵まれない人々がロータリアンの支援を待っている、と締めくくられました。

続いて、福家委員長からマッチング・グラントとDDFに関する財源のご説明と、申請手続きに関して大変分かり易いご説明がありました。

その後、池田RCのベトナムと大阪東南RCのネパールにおける昨年度のプロジェクトを発表頂き、その真摯な活動報告に参加者全員感動を頂きました。

最後に新谷GEから会議を通していかにロータリーの世界社会奉仕活動が素晴らしいかを再確認した、こういった活動の財源である財団への寄付についてその必要性を再認識する必要があるのではないかという所感を頂戴し、閉会となりました。

当日、お忙しい中ご出席頂いた皆様に深く御礼申し上げますと共に実り多い人道的補助・WCS活動を計画、実施されますよう世界社会奉仕委員会一同、祈念致しております。



ローターアクト活動報告

地区ローターアクト委員会委員長

高橋 敏朗 (守口RC)



■2006～2007年度RAC提唱・未提唱ロータリークラブ第1回ローターアクト正副委員長会議

日 時：平成18年7月15日(土) 13:30～16:30

会 場：大阪YMCA会館 903号室 参加人数88名

今年も未提唱クラブの青少年委員長さんにも参加して頂きIM組ごとに分かれてプログラムに沿って討議して頂きました。岩田宙造ガバナーはじめ岩井祐造、金森市造、鍛冶正行、橋本憲之、各G補佐の皆様も参加して頂き最後に皆様の講評を頂きましたこととお礼申し上げます。今回の会議の収穫は未提唱クラブの皆様にはローターアクトの存在が少し分っていただいたようです。しかし、地区としましてはもっと積極的にPRをしなければならないと痛感しました。



■ローターアクト第1回地区連絡協議会

日 時：平成18年7月23日(日) 13:00～16:30

会 場：大阪府赤十字血液センター

参加人数56名(内RAC51名)

ホスト：大阪中央RAC

このRACの連絡協議会はRACの会長と幹事が集まり2006～2007年度の方針と各クラブ間の調整連絡、地区行事への参加、予算の内容とその問題点などを話し合いました。



■ローターアクト第1回地区献血

日 時：平成18年7月23日(日) 10:00～16:30

場 所：大阪第4ビル1F 宝くじ売り場付近

ホスト：東大阪東RAC

この運動は毎年2回夏と冬の献血の少ない時期に行っています。これは献血を通じて社会奉仕すると同時に一般の方にRACのPRをしています。今回からは400mlになり150名受付で120名分の採血がなされました。

皆様ご苦労さまでした。



青少年交換プログラム 2007～2008年度 派遣学生募集要項



地区青少年交換委員会 委員長 **徳岡昭七郎** (大阪天満橋RC)

Rotary Serviceの中で、The Most Wonderful Programです。15歳から18歳の最も感性と順応性が鋭い年代の若い人たちが、初めての外国で様々な人と接し、笑い合い、ぶつかり合い、泣き合い、許し合い、理解し合う中で生まれ変わって、大きな世界を自分の中に一杯育てて帰って来ます。ロータリーが目指すもっとも有意義な奉仕活動です。ロータリアンが、本当に理解してこのWonderful Programに参加してくださいませお願い申し上げます。

次年度(2007～2008年度)の青少年交換学生を下記の要領で募集致します。青少年交換学生には、地区内ロータリアンの子弟のみならず親戚や関係者の子弟または来日学生たちがお世話になった高等学校からの推薦などにより応募できます。ロータリアンの子弟が応募でき、心身ともに素晴らしい成長を目の当たりにできる世界で一番安全な交換プログラム、青少年交換への参加をお勧め致します。

1. 主な交換相手国

- ①カナダ ②アメリカ ③ブラジル ④メキシコ ⑤フィンランド
⑥ベルギー ⑦フランス ⑧ドイツ ⑨ハンガリー ⑩チェコ
⑪ポーランド ⑫クロアチア ⑬インド ⑭その他

2. 交換期間と募集人数

2007年8月に出発し、期間は約1年間。

募集人数は約13名を限度とし、採用及び派遣先は青少年交換委員会において決定。

3. 交換内容

各々の派遣先の家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。

現地の言葉を学び、人々と交歓し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年大使として国際理解と親善に努めます。

4. 費用

プログラム参加費(¥100,000)、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人(保護者)の負担とします。現地での生活費、教育費(高校)の全額及び少々の小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

5. 応募資格

- 1) 出発時、15～18歳の高校生であること。(交換地区によって異なります)
- 2) 健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。
学業成績は学年で1/3以内の者。(在学高校により差があるので相談に応じます)
- 3) 学校長の推薦と1年間の派遣先での修学許可が得られる学生であること。
- 4) ロータリークラブの推薦が得られる学生であること。

6. 応募期限

2006年9月30日(土)必着

7. 応募方法

応募者はスポンサークラブを通じて地区青少年交換委員会または、ガバナー事務所にお申し込みください。

なお、申込書は青少年交換事務局までご請求ください。

8. 来日学生の受入

原則として派遣学生を送出したロータリークラブは、交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。

9. 派遣帰国後の現状

帰国後の最大の関心事は大学受験です。ここ数年、論文及び面接による推薦入学制度を取り入れている傾向が多く見受けられ、欧州、東欧体験者に力点を置く大学が増えています。1年間の非常に貴重な派遣経験から人を惹きつける魅力を得た帰国学生たちにとってこの制度は非常に有利なものとなっております。この制度によって希望の大学に入学する学生が半数を占めています。(京大：1名、阪大：1名、慶応：2名、東京外大：1名、大阪外大：2名、同志社：2名、関大：2名、関学：2名、近大：2名、京都外大：1名、京都産大：1名、英知大：1名、その他海外の大学進学者もあり)

このような現状を見てもみると、帰国後の危惧は解消して頂けるのではないかと思います。十二分に1年を活用して頂き、国際感覚を身につけた若者に成長されんことを期待しております。

〈お問い合わせ〉

* 第2660地区ガバナー事務所

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F

Tel: 06-6264-2660 Fax: 06-6264-2661

担当: 川端

* 青少年交換委員会事務局

〒541-0046 大阪市中央区平野町3-5-12 東海ビル7F

Tel/Fax: 06-6222-1855

担当: 徳岡、土居

国際ロータリーからのお知らせ

クラブ会長と幹事の皆さまへ クラブ役員のための情報資料

クラブ・地区担当職員（日本事務局奉仕室職員）は、クラブを広く支援するために、情報、手段、コミュニケーション資源を提供し、RI本部事務局との連絡担当者としての役割を務めます。

ロータリーに関するご質問にお答えし、クラブ選挙、定款規定、クラブ運営、RI理事会の方針といった内容について助言いたします。

クラブの管理・運営に役立つウェブ資料をご覧になったことがありますか。

- ・クラブ会長と幹事のための参考資料が、下記ウェブサイトに掲載されています。

[http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/
club_pres_sec_resources_japdf](http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/club_pres_sec_resources_japdf)

- ・「会員アクセスページ」を利用して、クラブの会員記録を変更したり、ロータリー財団の各種報告書を閲覧したり、クラブの人頭分担金をオンラインで支払い、次期クラブ役員を報告したりする方法をご存知ですか。詳細な説明と役立つヒントは、下記のウェブサイトをご参照下さい。

<https://riweb.rotaryintl.org/ja/faq.asp>

- ・視聴覚資料、クラブ用ソフトウェア、書式、用紙類を含めたクラブ管理運営のための重要な出版物はすべて、ウェブの<http://shop.rotary.org/>（英語）から探すことができます。
- ・「クラブ会長のための月間照合表」は、クラブ会長とクラブ会長エレクトのために作成された資料であり、RIとロータリー財団プログラムの重要な期日を含め、クラブや地区の運営に関する重要事項が月ごとに記載された年間予定表です。下記のウェブサイトに掲載されています。

[http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/
pres_checklist_ja.pdf](http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/pres_checklist_ja.pdf)

- ・クラブ・リーダーシップ・プランは、クラブを活性化する新たな素晴らしい方法です。これは、効果的なロータリー・クラブのベストプラクティス（最善の実践方法）に基づいています。クラブ・リーダーシップ・プランを説明した資料が、下記ウェブサイトに掲載されています。

<http://www.rotary.org/languages/japanese/support/clubplan.html>

RI日本事務局職員は、今後皆さまのお手伝いをし、クラブの奉仕活動を支援させていただけることを楽しみにしております。RI事務局から援助が必要な場合は、当奉仕室あるいは下記担当部署までお気軽にご連絡ください。

国際ロータリー日本事務局
奉仕室長 大木 光男

〒115-0045

東京都北区赤羽2-51-3、NS3ビル1階

奉仕室：電話 03-3903-3161 経理室：電話 03-3903-3183

財団室：電話 03-3903-3192 資料室：電話 03-3903-3194

ファックス番号は各室共通：03-3903-3781

国際ロータリー日本事務局

郵便宛先： 〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階	業務時間 月～金 9：00～17：00
--	------------------------

事務局長	大島 四郎
------	-------

奉仕室 電話：03-3903-3161 ファクシミリ：03-3903-3781

室長：	大木 光男	Mitsuo.Oki@rotary.org
	白杵 大輔	Daisuke.Usuki@rotary.org
	長野 衣里	Eri.Nagano@rotary.org

- ・新クラブの加盟(ロータリー・クラブ、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊)
- ・クラブの名称・所在地域の変更の申請
- ・会員アクセスページに関する問い合わせ
- ・クラブ創立記念の認証(例、50周年、75周年)
- ・ロータリー奉仕50周年を達成したロータリアンの表彰状(要請により作成)
- ・手続きおよび定款規定についての地区ガバナー、クラブおよびロータリアンに対する助言
- ・世界本部との連絡にあたり地区ガバナー、クラブおよびロータリアンを支援
- ・クラブの最近の記録および史料記録を維持

財団室 電話：03-3903-3192 ファクシミリ：03-3903-3781

室長：	片岡 暎子	Teruko.Kataoka@rotary.org
	清水 優季	Yuki.Shimizu@rotary.org
	山本 律子	Ritsuko.Yamamoto@rotary.org

- ・寄付の認証
- ・各種申請書(奨学金、マッチング・グラント、個人向け補助金など)の受理
- ・税制上の優遇措置の手續
- ・地区補助金の申込、最終報告の受理
- ・財団プログラムの説明
- ・財団資料(セミナー・ハンドブック)の作成

経理室 電話：03-3903-3183 ファクシミリ：03-3903-3781

室長：	斎藤 愛子	Aiko.Saito@rotary.org
	花村 俊樹	Toshiki.Hanamura@rotary.org
	藤野 公三子	Kumiko.Fujino@rotary.org

- ・国際ロータリーに対する人頭分担金の徴収とその他の支払い
- ・クラブおよび地区からの次の事項に関する問い合わせについての回答
半期報告書
クラブ送金および未払い金
加盟終結処分の後で支払いが行われたことによる復帰
- ・ロータリー財団寄付の領収書の発行

資料室 電話：03-3903-3194 ファクシミリ：03-3903-3781

コーディネーター	森 智洋	Tomohiro.Mori@rotary.org
	縄田 怜	Satoru.Nawata@rotary.org

- ・国際ロータリーの文献、ビデオのご注文ならびに問い合わせ

文庫通信

—227号—

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

「出会い・友情・奉仕」

- ◎「第2世紀へのクラブ活性化の条件」 南園義一 2006 3p (D.2650 月信)
- ◎「ロータリーにおけるサービスの理念と職業活動の意義について」
菅生浩三 2006 9p (D.2690 地区大会)
- ◎「クラブ運営について」 高士雅次 他 2005 5p
(D.2660 地区大会パネルディスカッション)
- ◎「奉仕の新世紀を迎えて」 塚原房樹 他 2006 12p
(D.2510 地区大会シンポジウム)
- ◎「クラブの奉仕活動について」 岡本貴夫 2006 6p (D.2690 地区大会)
- ◎「ロータリーの夢を叶えるロータリー財団」 片岡暎子 2006 7p
(D.2510 地区大会)
- ◎「還ろう 米山梅吉の原点に」 内藤成雄 他 2006 4p
(米山梅吉記念館館報 シンポジウム)
- ◎「CLPって何だ？」 三木 靖 2006 3p (D.2730 月信)
- ◎「四大奉仕を尊重したCLPに基づいたクラブ細則例」 田中 毅 2006 5p
(D.2680 月信)
- ◎「ロータリアンのマインド調査とその課題」 小船井修一 2005 5p
(D.2500 月信)
- ◎「変わり行くロータリー」 佐藤邦夫 他 2006 12p
(D.2830IM シンポジウム)
- ◎「霧多布のエゾヤマザクラ」 道下俊一 2006 7p (D.2500 月信)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

八木 誠 君 (大阪大手前RC)

平成18年7月11日逝去(享年61歳)

幹事・副会長・国際奉仕委員長

米山功労者

ポール・ハリス・フェロー

神田 敏夫 君 (高 槻RC)

平成18年7月24日逝去(享年75歳)

幹事・親睦活動委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

古田 敬三 君 (大 阪RC)

平成18年8月5日逝去(享年86歳)

名誉会員

1988～89年度ガバナー

1978～79年度地区代表幹事

1994～95年度RI規定審議会地区代表議員
会長、幹事、国際奉仕委員会委員長・理事
副会長・理事、副S.A.A.

職業分類委員会・会員選考委員会委員長

ロータリー情報委員会、規定委員会委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

大久保國男 君 (東大阪西RC)

平成18年8月13日逝去(享年65歳)

環境保全委員長

高橋 季義 君 (大阪南RC)

平成18年8月14日逝去(享年81歳)

会長、理事・会員増強委員長

会員選考委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労法人

お 知 ら せ

ロータリーレート変更のお知らせ

1ドル=114円(8月1日より)

年会費変更のお知らせ

大阪イブニングロータリークラブ

【旧】320,000円→【新】340,000円

メールアドレス変更のお知らせ

香里園ロータリークラブ

korien-rc@aria.ocn.ne.jp

メールアドレス開設のお知らせ

yaohigashi@japan.email.ne.jp

例会場名変更のお知らせ

【旧】アンビエント堂島ホテル→

【新】堂島ホテル

月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会	
・ガバナー	岩田宙造
・地区代表幹事	山本博史
・地区副代表幹事	谷 明
・担当地区幹事	木村芳樹
・担当地区幹事	鈴木慶一
・担当地区幹事	横尾國治
・事務局	近藤祥子

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田 宙造
地区代表幹事	山本 博史
地区副代表幹事	谷 明
事務局員	塚本 瑞香
	川端麻起子
	近藤 祥子

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日
 夏季 8月12日(土)～8月17日(木)
 年末年始 12月29日(金)～1月4日(木)

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

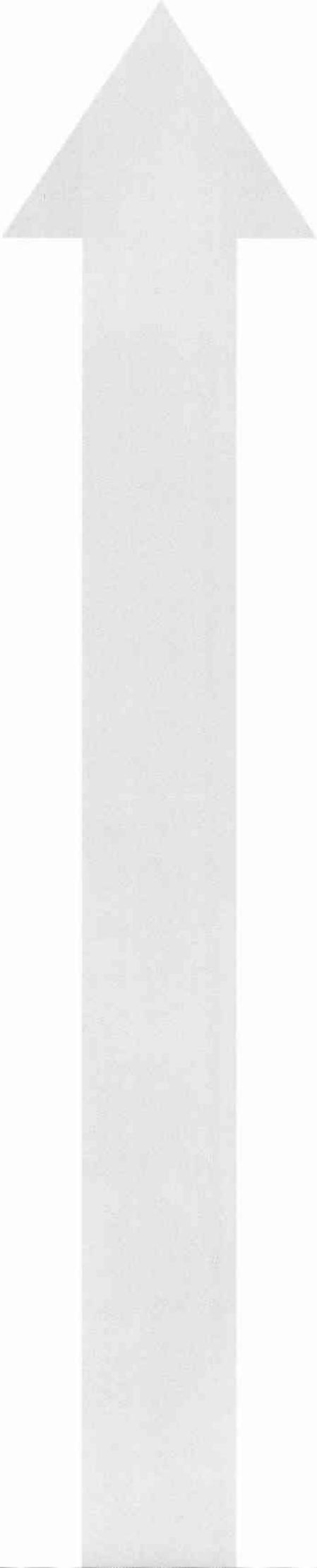
メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。
 詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ



Lead The Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

Lead The Way

G GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER ガバナー月信

職業奉仕月間 米山月間

Vocational Service and Yoneyama Month



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第2660地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

10
2006 No.4

目 次

ガバナーメッセージ 職業奉仕月間、米山月間によせて	岩田 宙造	1
2009-2010年度ガバナー・ノミニー候補者推薦について	神崎 茂	2
職業奉仕月間によせて	岩本 洋子	3
米山月間に寄せて	北川 哲	4
バスト・ガバナー 古田 敬三さんを偲んで	奥田 務	5
米山奨学事業 大学・地区情報交換会報告	磯田 郁子	6
第1回クラブ社会奉仕委員長会議報告	江上 清夫	7
少年少女ニコニコキャンプ報告	泉 博朗	8
2007年度国際大会について	盛田 三五	9
識字率向上へのご理解とご支援のお願い		10
地区米山奨学委員会より 米山功労者／米山功労クラブ		11
ロータリー財団ポール・ハリス・フェロー／ベネファクター		12
2006～2007年度地区協議会決算報告		13
2006年8月度会員数・出席報告		14
文庫通信		15
ガバナー・エレクト業務開始のご案内 敬 弔／お知らせ		16
月信編集委員会からのおねがい 2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所案内		17

職業奉仕月間、米山月間によせて

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 岩田 宙造



今月は職業奉仕月間でありまた米山月間でもあります。

最近特に企業の不正、不祥事が目立ち、これに関連してロータリーでは職業奉仕の重要性が再認識されています。

職業奉仕とはあらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法であり職業奉仕の理想として、要約して次の3点が挙げられています。

- 1.あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。
- 2.あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認める。
- 3.自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てる。

職業奉仕はロータリー・クラブとクラブ会員両方の責務であります。

1989年に職業宣言が採択され、ロータリアンに8項目の要請に応えるよう声明が出されました。その第一項には「職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘記せよ」となっています。さらに4つのテストが1932年にハーバート J.テラー元RI会長により創作されました。ビチャイ・ラタクルRI元会長は『(職業奉仕の場でこそロータリアンとして評価されます) 私たちは職業奉仕と最高水準の商業倫理に対して取り組むべきである』ことを指摘しています。

国内では企業への信頼を揺さぶる事件が相次いでいることから、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility, CSR)に関係する記事とか、これから求められる新しい企業価値観をテーマにした座談会で「企業品質(新しい概念?)の高い企業」という発言の記事を読み色々と考えさせられました。また稲盛和夫京セラ名誉会長が最近の著書「生き方」で「利他の心、美しい心」を強調されていたことも非常に印象的でした。

このような時期、ここであらためて職業奉仕についてロータリアンは熟思することも大事かと考えます。

職業奉仕としては他に 1.青少年の職業選択を援助する活動として職業指導 2.他団体の有意義なプロジェクトにも、奉仕の機会があることを理解するために創設されたロータリー・ボランティアのプログラムに参加することも期待されています。

この機会に皆様方も職業奉仕についてあらためてお考えいただきますようお願い申し上げます。

米山奨学事業についてですが、これはわが国独自のもので、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立され半世紀が経過しました。この間104カ国、12,706人の在日留学生に米山奨学金を支給し続け、当初は「困窮した留学生の生活支援」から「明日を築く優秀な留学生を支援育成」するに変わろうとしています。期待される奨学生像は明日の世界平和と豊かさに貢献できる若者であります。

事業は2006年度収支予算書によりますと、普通寄付金437,000千円、特別寄付金1,013,000千円、合計1,450,000千円が収入源の主です。学部課程は月額10万円、大学院研究科課程は月額14万円奨学金を支給し、米山奨学生は2006年度805名(中国365、韓国120、台湾59、ベトナム39、マレーシア35、その他187)です。

将来は母国と日本との架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。奨学生もすでに1万2千人を超え素晴らしい学友が国際交流・親善および平和の創造と維持に貢献してくれています。より一層の活躍のためにも学友達の新しい情報の整備とその人たちのネットワークの作成が期待されています。

昨年秋のRI理事会においてロータリー米山記念奨学会が多地区合同活動として認められたことは大変画期的なことといわれています。南園義一RI元理事は『財団のプログラムとは一線を画し、それぞれ特徴を生かした事業として前進していくことが望ましい』と指摘されていることを付け加えておきます。

2009-2010年度ガバナー・ノミネー候補者推薦について

国際ロータリー第2660地区
各ロータリークラブ会長様

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 岩田 宙造
地区ガバナー指名委員会
委員長 神崎 茂

2009-2010年度ガバナー・ノミネー候補者推薦書提出の要請

RI 細則13.010の規定及び地区ガバナー指名委員会の規定により地区内の各クラブで2009年-2010年度ガバナー・ノミネー候補者がおられましたら、10月31日までにガバナー指名委員会委員長（地区ガバナー事務所）宛に必着するよう提案して下さい。

なお、地区ガバナー・ノミネーの資格条件については、国際ロータリー細則第15条15.070、15.070.1～15.070.6の条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミネー候補者の選択を行うにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではない、ということをお承知下さい。

国際ロータリー細則第13条13.020.4（参照）

職業奉仕月間によせて



地区職業奉仕委員会 委員長 **岩本 洋子**
(大阪そねざきRC)

朗読して頂くだけで、職業奉仕月間の卓話になるような文章を2660地区のホームページに「職業奉仕のお話」として下記の目次通り掲載しています。ご覧下さい。

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

今年、2660地区のホームページが完成したのは、これもロータリーメンバーの職業奉仕活動ではないでしょうか。

各クラブの職業奉仕委員会の10月の企画・実施に期待します。

記

目 次

- | | |
|---|-----|
| 1. 毎週の例会で心を磨く | 4頁 |
| 国際ロータリー第2680地区パスト・ガバナー
深川純一先生のご講演から抜粋 | |
| 2. 仕事に愛を込める | 6頁 |
| 国際ロータリー第2680地区パスト・ガバナー
深川純一先生のご講演から抜粋 | |
| 3. 真実の広告 | 8頁 |
| 国際ロータリー第2680地区パスト・ガバナー
深川純一先生のご講演から抜粋 | |
| 4. アフターサービスと倫理 | 10頁 |
| 国際ロータリー第2680地区パスト・ガバナー
深川純一先生のご講演から抜粋 | |
| 5. 注文と生産の倫理 | 12頁 |
| 国際ロータリー第2680地区パスト・ガバナー
深川純一先生のご講演から抜粋 | |
| 6. 輪ゴムの一生・出前授業で知る教育の哲学 | 14頁 |
| 豊中ロータリークラブ 畑田耕一 | |
| 7. 頭は帽子をかぶるためではなく考えるためにある
- 小学校への出前授業の楽しみ | 16頁 |
| 豊中ロータリークラブ 畑田耕一 | |
| 8. 教育を受ける権利と義務・宿題をする権利と義務 | 18頁 |
| 豊中ロータリークラブ 畑田耕一 | |
| 9. 職業を哲学する | 20頁 |
| 哲学者・大阪大学副学長・同大学文学部大学院教授
鷺田清一（わしだ きよかず）
「働くことの意味」というご講演の抜粋 | |
| 10. 売りよし・買いよし・世間よし | 23頁 |
| 国際ロータリー第2660地区パスト・ガバナー 神崎 茂 | |

以 上

米山月間に寄せて

地区米山奨学委員会 委員長 北川 哲 (大阪南RC)



米山奨学事業が始まって半世紀がたちました。これまでに支援してきた奨学生数は13,322人(2006年4月現在)そしてその出身国は106ヶ国に及びます。

年間の新規奨学生総数は1998年の1,100人をピークに年間1,000人の採用数を維持してきましたが、2005年度より800人の留学生に奨学金を支給しております。

当地区では現在39名の米山奨学生が在籍しており2007年度も40名の採用数が決められています。申す迄もなく全国34地区に割り当てられる各地区の奨学生採用数は、ほとんど寄付金の多い地区からの順位で決められることになっています。幸いにも当地区では皆さんの献身的な努力で多くの寄付金を頂いておりますので、全国で4番目に米山奨学生が多く在籍している地区になっています。

しかしながら地区内RC数86クラブに対しまして、米山奨学生を受け入れて頂いているクラブはその半数にも満たない39のクラブであるのが現状です。そのためにも当地区では普通寄付金が減少している中、一段の皆様方の特別寄付をお願いする次第です。そして地区内の1つでも多くのクラブが米山奨学生を受け入れられ米山奨学事業の使命であります「将来日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する」という国際奉仕活動でありかつ青少年活動奉仕でもあるこの事業に積極的に参加して頂きたいと思えます。

一方、米山奨学生がこの使命に応えて将来活躍する成果は、すぐに見えるものではありません。長期間の壮大な投資であるといえます。

米山奨学事業がスタートした12年後の1968年、当時の米山記念奨学会の新田義実専務理事が次の様に寄稿しておられます。

「こうして育てられた学生が、学業成って帰国後、社会人として立派に成長し、国際親善の楔くさびとなりロータリアンが庶幾しよきする人間となって、事業に挺身するありさまに接するとき、過去の繁雑なお世話等超越して、世界にも類の少ない、崇高な国際奉仕の一つ、米山奨学会の理想達成のために一臂いっぴの力を貸したという自覚は、何にもかえがたい幸福感、満足感であると確信します。」

これは後に続く私達への「継続」へのメッセージであり又その半世紀後の今、先輩ロータリアン達の大きな成果を元米山奨学生に見るに及んで今一度私達は原点に戻り、事業理解の輪を広げる様、協力しあおうではありませんか！

パスト・ガバナー 古田 敬三さんを偲んで

大阪ロータリークラブ

会長 奥田 務

古田さんは、ロータリーを心から愛した真のロータリアンと言うべき大変立派な方でした。温厚なお人柄で人望も厚く、“古田さんの為なら”と言われる方も数多くいらっしゃいました。昨年10月の当クラブ歴代会長懇談会で古田さんとご一緒させて頂きました時に、私が会長に就任するにあたって直接、激励いただいたことが、今となってはとても大切な思い出となっております。

古田さんは1954年に大阪ロータリークラブに入会され、1964年と65年にクラブ幹事、1981年には会長、そして1988年には2660地区のガバナーを務められるなど、51年もの永きに亘りロータリー活動にご尽力下さいました。

特に、パスト・ガバナーとしてRI規定審議会の地区代表議員をお務めいただいた1994年度には、阪神淡路大震災でご自宅が大きな被害を受けられたにもかかわらず、奥様とお二人で1月23日から27日までベネズエラのカラスで開催された規定審議会に出席されるなど、非常に責任感の強い方でした。

ご在籍50年目に退会の申し出がございましたが、引き続き名誉会員としてお残り頂くようお願いし、2004年から名誉会員として出席頂いておりました。今年の2月半ばから例会を欠席され、ご自宅でご療養とのことで、心配しておりましたが以後、お目にかかれないうまのお別れとなってしまいました。

永きに亘り強い信念を持ってロータリー活動に取り組まれた古田さんの姿勢は、これからも他のロータリアンの手本として永く受け継がれるものと思います。

古田さんの、これまでの献身的なご奉仕に対しまして、大阪ロータリークラブを代表し、衷心より哀悼の意を表します。古田さん、どうか、これからもあなたが大切にされた大阪ロータリークラブを、遥か彼方から見守って下さい。大阪ロータリークラブ会員一同、心からご冥福をお祈り申し上げます。

古田 敬三君の経歴



●生年月日 大正8年10月13日

●最終学歴 昭和16年3月

慶応義塾大学法学部卒業

●職歴

昭和17年 9月 大阪商船株式会社入社

昭和22年 3月 株式会社新大阪ホテル入社

昭和32年 3月 同社取締役

昭和39年10月 同社常務取締役

昭和43年 3月 同社専務取締役

昭和48年 3月 同社取締役副社長

昭和48年 9月 株式会社ロイヤルホテルに社名変更

昭和60年 4月 同社取締役相談役

平成元 年 6月 同社相談役

平成9 年 6月 同社特別顧問

平成11年10月 同社退任

●ロータリー歴

名誉会員

昭和29年10月

大阪ロータリークラブ入会

昭和39年～41年度

幹事

昭和56年～57年度

会長

1988～1989年度

国際ロータリー第2660地区ガバナー

平成6年～7年度

RI 規定審議会 2660地区代表議員

米山奨学事業 大学・地区情報交換会報告

地区米山奨学委員 磯田 郁子 (大阪東淀RC)

日 時：平成18年7月21日 (金) 14:00～16:00

場 所：薬業年金会館402号室

参加者：岩田宙造G、新谷秀一GE、近藤雅臣PG(地区担当理事)、北川哲委員長、岡田義昭副委員長、池田文治、奥谷英夫、北川忠嗣、笠原隆之助、村橋義晃、野村泰弘、磯田郁子 各委員

大阪外国語大学、大阪教育大学、大阪経済大学、大阪工業大学、大阪産業大学、追手門学院大学、関西大学、近畿大学、梅花女子大学、摂南大学、大阪国際大学、(独)日本学生支援機構大阪日本語教育センター

今年度で2回目になる地区米山奨学委員会と大学等との情報交換会が7月21日に開催されました。2007年度の米山奨学生を選考するに当たり、その18の指定校(6校は欠席)から15名の担当者にご出席頂きました。

はじめに岩田Gから「ロータリー米山奨学生にふさわしい学生を推薦して欲しい」との挨拶があり、続いて近藤PG(米山記念奨学会地区担当理事)より米山奨学事業の趣旨や制度についての説明、岡田副委員長から地区米山選考基準について Power point を用いた説明が行われました。その後、各大学などから現在の大学内での留学生へのサポート体制や奨学金の状況、米山奨学制度に学生を推薦する時の選考方法などについての発表がありました。

各大学とも他の奨学金制度と違って米山奨学金制度には成績に加えて人物を重視し選考しているというお話でした。

その後、質疑応答があり活発な意見が交わされました。

北川委員長から「日本を理解し、ロータリーを理解しようとする人物、日本語でコミュニケーションの取れる人物がこの奨学制度にはふさわしく、単に成績が優秀であるとか研究が素晴らしいというだけではロータリー米山奨学生には適当ではない。今後とも大学側と地区米山奨学委員会で連携を取っていきたい。」という閉会の言葉で終了しました。

大学側にとっても地区米山奨学委員会にとっても非常に有意義な情報交換会となりました。



第1回クラブ社会奉仕委員長会議報告

地区社会奉仕委員会 委員長 江上 清夫（豊中千里RC）

日 時：2006年7月22日（土） 10：00～12：00

場 所：薬業年金会館301号室

出席者：大阪府赤十字血液センター

織田美夫 献血部長、小川敏彦 渉外課長、森本 実 渉外一係長、星 輔人 渉外二係長、
藤原康博 渉外係長

大阪府健康福祉部薬務課

西村 章 薬物乱用防止対策総括主査、川上一恵 麻薬毒劇物グループ主事

岩田宙造 ガバナー、戸田 孝 パスト・ガバナー、新谷秀一 ガバナー・エレクト

地区内RC社会奉仕委員長、地区社会奉仕委員

（司会：江藤光哉 社会奉仕委員） 合計105名

岩田Gをはじめ105名の参加のもとで第1回のクラブ社会奉仕委員長会議が行われました。岩田Gと江上地区社会奉仕委員会委員長挨拶の後、環境保全と交通問題のそれぞれ担当委員より本年度の方針が発表された。

また戸田PGより昨今大きな社会問題になっている自殺防止の件でRCが今後取り組まなければならない問題であり、地区社会奉仕委員会の活動の一つとして各クラブのご支援をお願いしたいという内容の講演があった。

大阪府赤十字血液センターからは、8月前半は連日の暑さで献血者が大変少なく、適正在庫の4日を大きく下回る日が続いたが、その後献血の協力願い等の対策を講じたことで在庫は適正に戻ったものの、お盆明けにはまた適正在庫を下回っているとの献血の現状についての報告がありました。

今後、各クラブ一層のご協力をお願い申し上げます。

大阪府健康福祉部薬務課からは、西村総括主査から薬物乱用の取り組み方の報告がありました。今年度の題として「子どもを守るのは大人の責任」という印象に残る大切な言葉をいただきました。



少年少女ニコニコキャンプ報告

地区青少年活動委員会 委員長 泉 博朗 (大阪住吉RC)



日 時：2006年8月4日(金)～6日(日)

場 所：寝屋川市野外活動センター

2006年8月4日(金)～6日(日)寝屋川市野外活動センター(四条畷市)にて寝屋川RCのホストで少年少女ニコニコキャンプが開催されました。

「自然に握手、友に握手-自然のもと、みんなで力を合わせて仲間になろう」とのテーマで小学生高学年(4、5、6年生)男子58名、女子36名、ローターアクター25名の参加で2泊3日の短いながら楽しく素晴らしいキャンプが実施されました。ロータリアンには312名のご登録をしていただきました。岩田宙造Gの挨拶でいよいよ楽しい時間がはじまりました。100人カレー、自然観察、天体のお話、食事作り、楽しいキャンプファイヤー、そしてみんなで考えた出し物、本当にたのしそうなキャンプでありました。

このニコニコキャンプの大きな目的のひとつに、ローターアクトのリーダーシップの養成があります。実際、リーダーとなってリーダーシップの実践研修をおこないます。

「次のニコニコキャンプに絶対行く!!」、「ローターアクターになる!!」という声を後で聞くことが出来ました。また地区ローターアクト委員会高橋敏朗委員長にもお話をいただき、問題もなく無事、新谷秀一GEの挨拶で閉会いたしました。

最後になりましたが、3日間子供たちの面倒をみてくれました寝屋川RAC、および参加RACの皆様、大東実行委員長はじめ寝屋川RCの皆様方のご尽力により、このようなすばらしく楽しいニコニコキャンプを実施することができましたことを心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



2007年度国際大会について

地区国際奉仕委員会

委員長 **盛田 三五** (大阪東RC)



第98回RI国際大会 (Rotary International Convention) が2007年6月17日～20日にアメリカ合衆国ユタ州、ソルトレイクシティ (Salt Lake City) で開催されます。

本来ルイジアナ州ニューオーリンズで開催が予定されていたが昨年のハリケーン カトリーナの大災害の為に急遽変更になったとのことです。発表された大会スケジュールと開催都市である Salt Lake City について、そして R I 国際大会参加の意義及び目的について考えてみたいと思います。

Salt Lake City はユタ州 (Utah) の州都であり、所在地はネバタ州、オレゴン州、アイダホ州、ワイオミング州との接点にあり開拓時代より西部への十字路と言われてきた街で、郊外に行けば開拓時代の西部の香りを感ずることの出来る所です。人口は181,743人 (2000年) で我々の感覚では小さな地方都市ですが、大都市の持つ機能、世界規模のホテル、娯楽、レストランそして文化を持っており、西部高原地域の経済、文化の中心地となっています。また鉱山資源が豊富で特に金の産出量では全米で1、2を争います。市の西側には Great Salt Lake (大塩湖) が広がり、ここからソルトレイクの名が由来しています。

海拔1,320mの高地であり、6月中旬の大会期間中は極めて快適な気候が期待されます。

尚ソルトレイクシティで特筆すべきことはモルモン教徒が拓いた町であり現在でも人口の60%はモルモン教徒と云われています。

大会期間中の主だったスケジュールは以下の通りです。

Preliminary Program Highlights for the 2007 RI Convention in Salt Lake City, Utah
Thursday, 14 June

- International Institute Welcome Reception
- International RYLA Meeting

Friday, 15 June

- Rotaract Preconvention Meeting
- Youth Exchange Officer Preconvention Meeting and Banquet

Saturday, 16 June

- Registration
- Rotary Foundation Alumni Reunion Seminar and Reception

Sunday, 17 June

- Interfaith Service
- Opening Plenary Session

Monday, 18 June

- Second Plenary Session
- Workshops
- President's Recognition Luncheon
- Host Hospitality Night

Tuesday, 19 June

- Third Plenary Session
- Workshops
- President-elect's Leadership Luncheon
- Rocky Mountain Rodeo

Wednesday, 20 June

- RI Convention Fun Run/Walk
- Closing Plenary Session

RI国際大会 (International Convention) は地区における地区大会と同じく全世界のロータリアンが年に1度その年度の集大成として一同に会する R I 最大の行事です。日頃のロータリーライフは所属クラブを中心とした極めてローカル性の強いものですが、国際大会はロータリーの持つ国際性を身をもって体験できる絶好の機会でもあります。日本からの参加者は開催国を除けば常に最大級の人数を誇っていますが、極めて残念ながら開会式のみに出席しその他の有益な会議 (session)、研究会 (workshop)、歓迎、親睦企画 (hospitality programs) 等への参加者が少ないのが実情です。身近な仲間との観光旅行の意義を否定するものではありませんが、是非海外の見知らぬロータリアンとも会話を交わし友好を深め、国際親善にも努力をしていただきたいと思います。たとえば、大会期間中及びその前後に地元ロータリアンの提供するホームステイプログラムを活用されることをお勧めします。たとえ一晩でもアメリカの一般家庭でその家族と過ごす経験は10箇所の観光地を廻るより貴重な体験と思いが得ることが出来ると思います。

識字率向上へのご理解とご支援のお願い

RI識字率向上タスクホース

エリアコーディネーター 藤川 享胤

ゾーンコーディネーター 中村 幸吉

第2660地区ガバナー 岩田 宙造

RIは、非識字こそ貧困をはじめとする諸悪の根源であると考え、1997年のRI理事会で7月（現在は3月）を識字率向上月間に指定しました。その後、識字問題は2005年までのRI強調事項となり、ピチャイ・ラタクルRI元会長、ジョナサン B.マジリアベRI元会長そしてグレン E.エステス・シニアRI直前会長も識字率向上のために世界120万のロータリアンに絶大な支援を要請されました。今や識字率向上運動はポリオ・プラス計画の後を継ぐRIの重要なプログラムになっております。現在の文明社会において文字文化から隔絶されて生活するということは社会から置き去りにされることを意味します。非識字者は正当な職に就けず、それに帰因する貧困はその子供たちの就学の機会を奪い、途上国において非識字と貧困は悲惨な悪循環を生み出しています。

世界には約10億の非識字者がいます。私たちには想像できない数字ではありますが、これは15歳以上の大人の4分の1に当たります。その4分の3はアジア人であるといわれ、また非識字者の3分の2は女性であります。

一方、世界で1億3千万の就学年齢児が学校に行けません。ユネスコや我々の努力にも拘わらず、この数があまり減少していません。途上国の子供が年々増え続けているので、学校に行けない子供が増加する恐れもあります。また折角入学した子供も3分の1は小学校を卒業していません。このままでは南北間の貧富の差は益々広がり、地球規模の社会不安は一層増大するでしょう。ニューヨークでの同時多発テロの原因も、結局は貧富の差に根ざしていると言われております。これは我々に強い危機感を与えます。

先進国ではメディア・イリテラシー（メディア音痴）という言葉さえ聞かれます。「メディア音痴」とはインターネットを始めとする情報技術に乗り遅れることを意味し、これではメディアを使いこなす人に決定的な差をつけられることを覚悟しなければなりません。こうした情報化社会の時代に文字さえ知らないということは何を意味するのでしょうか？このままでは世界人口の5分の1に過ぎない先進国の情報技術が益々進歩し、南北国家間の文明格差は増すばかりで、私たちは到底平穏な世界を次の世代に残すことはできないでしょう。

世界の人口は60億に達し、メキシコの人口に匹敵する約1億人の人口増加を毎年続けています。このまま人口が増え続けてゆくなれば、この地球の将来は暗いでしょう。しかも人口増加の99%は途上国です。我々は予防接種で救った子供たちを飢え死にさせてはなりません。また彼らに生きがいを持たせる教育と職業を与えなければなりません。

人口増加抑制の最大のポイントは母親たちの教育です。途上国の少女が中等教育を受けるだけで出生率が低下し、先進国並みになることが知られています。従って、教育、特に女性教育こそ我々宇宙船地球号が生き延びてゆく上で最も効果的な手段であると言えるでしょう。

これが、私たちの進めようとしている識字率向上運動の今日的意義であり、まさに「情けは人の為ならず」であります。確かに私たちは長引く不況の最中にいます。しかし今すぐに識字率向上運動を推進しなければ手遅れになるでしょう。RIの識字委員会は各途上国の委員からの確実な情報に基づき、地区レベルあるいはクラブレベルでご協力いただく最も有意義な援助プロジェクトを決定し、いずれそのリストを提供させていただきます。諸般厳しい状況下にあります。何卒識字プロジェクトの重要性をご理解賜り、RIの識字率向上運動にご協力下さいようお願い申し上げます。

合掌

地区米山奨学委員会より

2006年7月末 全国寄付金合計額 173,344,890円 (前年度比 3.33%増)
 “ 第2660地区寄付金合計額 12,566,345円 (前年度比 17.57%増)

2006年7月末 全国寄付合計トップ10

1. 第2770地区	17,448,500円
2. 第2750地区	15,702,870円
3. 第2760地区	14,186,050円
4. 第2580地区	13,724,701円
5. 第2650地区	12,661,300円
6. 第2660地区	12,566,345円
7. 第2590地区	11,882,040円
8. 第2710地区	8,398,200円
9. 第2690地区	8,392,100円
10. 第2610地区	7,997,500円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2006年7月)

氏名	回数(回目)	クラブ名
池田 一雄	1	東大阪東RC
辻 正	3	東大阪東RC
小林 一成	4	東大阪東RC
常楽寺 喜雄	5	東大阪東RC
前田 昇治	5	東大阪東RC
島 顕侑	6	東大阪東RC
米島 末次	1	東大阪西RC
松尾 治	2	東大阪西RC
松井 繁	4	東大阪西RC
谷村 佳昭	4	東大阪西RC
田中 喜佐雄	1	池田くれはRC
北村 幸郎	1	大阪阿倍野RC
小谷 一郎	1	大阪阿倍野RC
大和 正代	2	大阪阿倍野RC
横田 喜久雄	13	大阪東淀RC
志水 慶一	1	大阪中之島RC
本多 純一	1	大阪難波RC
夏 明義	1	大阪難波RC
杉山 宗央	1	大阪大淀RC
杉村 章二	3	大阪大淀RC
中川 韶造	4	大阪大淀RC
米川 和作	2	大阪天王寺RC
木野 廣一	1	大阪梅田東RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2006年7月)

クラブ名	回数(回目)
池田くれはRC	18
香里園RC	1
大阪中之島RC	9
大阪住之江RC	21

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2006)

家高 健志	枚 方 RC	7/21
若林 尚史	く ず は RC	7/21
伊藤 勲	大 阪 RC	7/14
河合 蘭子	大 阪 平 野 RC	7/14
藤野千代磨	大 阪 城 南 RC	7/28
川中 義裕	大 阪 城 東 RC	7/28
尾井 豊	大 阪 城 東 RC	7/28
本多 純一	大 阪 難 波 RC	7/21
中林 邦友	大 阪 大 手 前 RC	7/31
中村 不二	大 阪 大 手 前 RC	7/31
勝亦 良彰	大 阪 西 北 RC	7/31
三宅 有	大 阪 西 北 RC	7/31
勝根 慶治	大 阪 住 之 江 RC	7/21
加里本清治	大 阪 ユニバーサルシティ RC	7/14
右松 強	吹 田 西 RC	7/31

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2006)

宮永 憲一	2 回目	東 大 阪 西 RC	7/28
前田 昇治	2 回目	東 大 阪 東 RC	7/28
溝辺 明夫	4 回目	交 野 RC	7/21
辻川 功一	5 回目	大 阪 中 央 RC	7/6
塚田 康策	4 回目	大 阪 平 野 RC	7/28
北濱 貞雄	1 回目	大 阪 城 東 RC	7/28
夏 明義	1 回目	大 阪 難 波 RC	7/21
大藤 政勝	1 回目	大 阪 大 手 前 RC	7/31
畑 守人	2 回目	大 阪 大 淀 RC	7/14
井原 巖	4 回目	大 阪 大 淀 RC	7/14
福光 一七	1 回目	大 阪 西 北 RC	7/31
藤井 進次	3 回目	大 阪 西 北 RC	7/31
松村 楠敏	3 回目	大 阪 西 北 RC	7/31
高林 辰行	3 回目	大 阪 西 北 RC	7/31
梶山 高志	1 回目	吹 田 西 RC	7/31

ロータリー財団

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2006)

小林 一成	東 大 阪 東 RC	7/31
伊藤 勲	大 阪 RC	7/14
杉本 浩一	大 阪 平 野 RC	7/14
三木 一良	大 阪 阿 倍 野 RC	7/28
飯田 順雅	大 阪 難 波 RC	7/21
有山 茂	大 阪 城 東 RC	7/28

2006～2007年度地区協議会決算報告

日 時：2006年4月22日（土）
場 所：大阪府立国際会議場
ホスト：大阪南ロータリークラブ

収入の部

科目	04/05 実績	05/06 実績	06/07 決算	コメント
R C 登録料	11,180,000	11,180,000	11,180,000	
	(130,000 × 86 R C)	(130,000 × 86 R C)	(130,000 × 86 R C)	
			28,000	次年度幹事予定者 参加のため
			(7,000 × 4 池田くれば)	
受け取り利息			4	
収入合計	11,180,000	11,180,004	11,208,000	

支出の部

科目	04/05 実績	05/06 実績	06/07 決算	コメント
会場費				
室料	2,622,790	1,299,060	1,528,090	国際会議場：メインホール他
設営費		892,280		ク：本会議他施設使用料 音響設備・映像設備・PC
		871,069		ク：各委員会別録音他音響設備
			70,350	ク：録音技術要員
昼食費	4,291,006	3,748,899	2,384,035	ロイヤルH：弁当・ペットボトル他
設営費			2,106,265	ク：室料、マイク、ピアノ他設営費
計	6,913,796	6,811,308	6,088,740	
講演費				
	686,666	110,000	300,000	手嶋龍一氏 講演料
			50,000	交通費
			17,500	宿泊費 ロイヤルホテル
計	686,666	110,000	367,500	
会合費				
	271,083	86,625	151,294	実行委員会・事前打合せ会議
計	271,083	86,625	151,294	
印刷費				
	541,090	301,018	296,100	案内文・プログラム
			231,000	出席証明付名札
計	541,090	301,018	527,100	
通信費				
	64,143	21,590	16,440	郵送料
計	64,143	21,590	16,440	
記録費				
	1,245,300	558,587	1,245,300	編集・印刷・送料（事務局まで）
			220,500	テープおこし料、編集費
計	1,245,300	558,587	1,465,800	
雑費				
	29,059	60,684	192,666	損害保険料、コピー代など
計	29,059	60,684	192,666	
予備費	0	0	0	
支出合計	9,751,137	7,949,812	8,809,540	

剰余金	1,428,863	3,230,192	2,398,460	
-----	-----------	-----------	-----------	--

2006年8月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月初会		8月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I M組	クラブ名	7月初会		8月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
		全員	女性	全員	女性									全員	女性								
I M 第1組	池田	41	41	2	0	0	0	4	77.86	70.68		大阪北	150	151	0	2	1	1	4	83.82	68.28		
	池田くれは	45	45	2	0	0	0	3	88.23	83.33		大阪北梅田	43	45	2	2	0	2	3	86.36	68.94		
	箕面	33	33	0	0	0	0	4	96.00	75.00		大阪西	87	88	0	1	0	1	3	89.59	73.44		
	箕面中央	32	32	0	0	0	0	3	81.30	69.80		大阪大淀	47	49	0	2	0	2	4	79.88	72.56		
	豊中	44	44	2	0	0	0	4	94.44	84.03		大阪リバーサイド	32	32	3	0	0	0	4	84.26	74.07		
	豊中南	36	36	1	0	0	0	4	87.49	76.56		大阪西北	63	64	0	1	0	1	4	90.89	77.12		
	豊中-大阪国際空港	24	24	0	0	0	0	3	78.26	69.56		大阪そねざき	59	59	34	1	1	0	4	95.26	78.51		
	豊中千里	38	41	4	3	0	3	4	94.00	88.00		大阪梅田	48	50	0	2	0	2	4	89.75	78.85		
	小計	293	296	11	3	0	3		87.20	77.12		大阪梅田東	36	37	0	1	0	1	3	91.88	73.87		
I M 第2組	茨木	28	29	3	1	0	1	4	89.77	75.00		大阪エニバーサルシティ	25	25	5	0	0	0	3	80.30	68.18		
	茨木東	47	46	3	0	1	-1	4	88.20	68.75		小計	708	719	48	13	2	11		87.50	73.07		
	茨木西	33	33	5	1	1	0	4	100.00	84.85		大阪	260	265	0	7	2	5	3	76.98	59.63		
	千里	49	50	0	1	0	1	4	84.56	71.00		大阪東	117	119	0	3	1	2	3	94.90	67.88		
	千里メイプル	24	25	2	1	0	1	4	94.00	88.00		大阪東淀	41	42	6	1	0	1	3	82.41	74.07		
	摂津	35	35	0	0	0	0	4	95.16	72.58		大阪城	13	13	0	0	0	0	4	78.85	71.16		
	吹田	70	70	5	0	0	0	4	97.55	87.26		大阪城東	44	45	3	1	0	1	3	83.72	77.03		
	吹田江坂	43	44	3	1	0	1	4	91.18	75.74		大阪中之島	31	33	0	2	0	2	4	95.15	86.18		
	吹田西	50	50	0	1	1	0	3	100.00	80.00		大阪大手前	51	50	0	1	2	-1	3	86.51	80.95		
	高槻	48	50	2	3	1	2	4	84.46	82.43		大阪城北	61	62	1	1	0	1	4	72.90	69.80		
	高槻東	44	44	0	0	0	0	3	94.30	80.47		大阪天満橋	81	80	0	0	1	-1	4	79.17	73.66		
	高槻西	31	31	0	0	0	0	4	88.70	75.70		大阪鶴見	42	42	1	0	0	0	4	88.71	83.87		
小計	502	507	23	9	4	5		92.32	78.48		大阪淀川	30	30	1	0	0	0	3	100.00	70.60			
I M 第3組	大東	53	53	0	0	0	0	4	93.75	82.64		新大阪	29	43	0	14	0	14	3	97.63	87.60		
	大東中央	29	30	9	1	0	1	4	83.61	75.85		小計	800	824	12	30	6	24		86.41	75.20		
	枚方	44	45	0	1	0	1	4	88.46	83.33		大阪フレンド	20	20	7	0	0	0	4	80.55	75.00		
	門真	32	33	2	1	0	1	4	91.67	79.55		大阪本町	32	31	2	0	1	-1	4	81.04	65.52		
	交野	32	33	1	1	0	1	4	80.31	78.03		大阪御堂筋	36	36	0	0	0	0	4	90.91	78.79		
	香里園	25	26	0	1	0	1	4	91.31	77.17		大阪南	131	134	0	5	2	3	4	83.57	66.67		
	枚方くずは	52	54	0	2	0	2	4	79.17	68.55		大阪難波	48	51	0	3	0	3	4	98.81	71.08		
	守口	53	53	3	0	0	0	4	85.11	69.65		大阪なにわ	32	32	1	0	0	0	4	96.00	85.00		
	守口イブニング	25	25	4	0	0	0	4	75.00	67.00		大阪南西	28	28	4	0	0	0	4	91.67	81.24		
	寝屋川	40	40	3	0	0	0	3	92.11	78.94		大阪西南	95	95	13	0	0	0	4	100.00	77.27		
	四条畷	17	17	0	0	0	0	4	87.82	83.66		大阪船場	45	45	0	1	1	0	3	94.00	76.00		
	小計	402	409	22	7	0	7		86.21	76.76		大阪心斎橋	43	43	0	0	0	0	3	95.23	70.47		
	I M 第4組	東大阪	76	76	0	0	0	0	4	83.80	73.61		大阪うつぼ	45	45	7	0	0	0	4	96.12	79.83	
東大阪中央		47	47	0	0	0	0	3	82.35	78.73		小計	555	560	34	9	4	5		91.83	75.17		
東大阪東		76	76	2	0	0	0	4	90.95	76.30		大阪阿倍野	26	27	4	1	0	1	4	91.67	75.00		
東大阪みどり		32	32	2	0	0	0	4	82.81	64.84		大阪阪南	47	47	1	0	0	0	4	91.25	77.50		
東大阪西		52	51	0	0	1	-1	3	95.16	63.01		大阪平野	37	37	6	0	0	0	4	97.80	80.31		
大阪柏原		38	38	4	0	0	0	4	93.54	83.87		大阪イブニング	21	21	4	0	0	0	4	89.29	83.33		
八尾		83	87	0	4	0	4	4	98.94	78.52		大阪城南	65	65	0	0	0	0	3	100.00	83.33		
八尾中央		29	29	2	0	0	0	4	83.04	79.46		大阪咲洲	21	23	1	2	0	2	3	93.79	78.36		
八尾東		39	39	5	0	0	0	3	62.60	59.60		大阪住之江	28	28	0	0	0	0	3	98.72	82.33		
小計		472	475	15	4	1	3		85.91	73.10		大阪住吉	40	41	3	1	0	1	3	92.93	67.03		
I M 第5組	大阪ちゃやまち	18	18	0	0	0	0	3	92.59	66.67		大阪天王寺	25	25	0	0	0	0	3	90.48	73.02		
	大阪中央	61	62	3	1	0	1	4	95.08	75.86		大阪東南	54	54	0	0	0	0	4	92.59	74.54		
	大阪堂島	39	39	1	0	0	0	3	77.78	73.50		小計	364	368	19	4	0	4		93.85	77.48		
合計	クラブ数	7月初会全員	7月初会女性	8月末全員	8月末女性	入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	合計	クラブ数	7月初会全員	7月初会女性	8月末全員	8月末女性	入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
	86	4096	4158	184	79	17	62		88.9	75.8													

※今年度はI M組毎に分類させていただきます。

文庫通信

—228号—

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

記念講演から

- ◎「人生を考える」 稲盛和夫 2005 23p (「奉仕の心」)
- ◎「道草をくいながら」 岸田今日子 2006 5p (D.2790 地区大会)
- ◎「高く遠い夢～70歳、エベレスト登頂～」 三浦雄一郎 2005 9p (D.2540 地区大会)
- ◎「私が出会った挑戦者たち」 国井雅比古 2005 14p (D.2550 地区大会)
- ◎「斬り口の向こうに未来が見える」 猪瀬直樹 2005 14p (D.2670 地区大会)
- ◎「どうせやるなら精一杯、喜んで」 木村進次 2006 14p (D.2540 地区大会)
- ◎「最新の国際情勢について」 古森義久 2005 9p (D.2660 地区大会)
- ◎「みんなの幸せのために」 江原啓之 2005 9p (D.2660 地区大会)
- ◎「脳は若返るか」 養老孟司 2005 8p (D.2660 地区大会)
- ◎「バカの壁」 養老孟司 2006 9p (D.2510 地区大会)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

ガバナー・エレクト業務開始のご案内

ガバナー・エレクト

新谷 秀一 (池田くれは RC)

次期地区代表幹事

森 茂寛 (池田くれは RC)

10月1日よりガバナー・エレクト業務をスタート致しました。

●所在地

〒541-0052

大阪府中央区安土町1-5-11

トヤマビル東館6F

TEL: 06-6264-2662

FAX: 06-6264-2661

E-mail: elect@ri2660.gr.jp

●執務時間

月曜～金曜 9:30～17:00

※土・日・祝祭日は休ませて頂きます。

●事務局員

藤本 緑

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

西尾 隆善 君 (大阪船場RC)

平成18年8月24日逝去(享年55歳)

幹事

米山功労者

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

例会場移転のお知らせ

豊中-大阪国際空港ロータリークラブ

新例会場: 大阪国際空港ターミナル

中央ブロック2階 会議室

〒560-0036

豊中市蛍池西町3-555

TEL 06-6856-6737

ホームページ開設のお知らせ

大阪平野ロータリークラブ

<http://www.geocities.jp/hiranorc06/>

訂正とお詫び

月信9月号で下記の通り誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

記

P16

メールアドレス開設のお知らせ

八尾東ロータリークラブ

yaohigashi@japan.email.ne.jp

例会場名変更のお知らせ

大阪うつぼロータリークラブ

【旧】アンビエント堂島ホテル→

【新】堂島ホテル



月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会	
・ガバナー	岩田宙造
・地区代表幹事	山本博史
・地区副代表幹事	谷 明
・担当地区幹事	木村芳樹
・担当地区幹事	鈴木慶一
・担当地区幹事	横尾國治
・事務局長	今井貢二
・事務局	近藤祥子

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田 宙造
地区代表幹事	山本 博史
地区副代表幹事	谷 明
事務局長	今井 貢二
事務局員	塚本 瑞香
	川端 麻起子
	近藤 祥子
	栗正 久美
	春名 志保
	藤本 緑

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日

夏季 8月12日(土)～8月17日(木)

年末年始 12月29日(金)～1月4日(木)

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

所在地・電話・ファックス

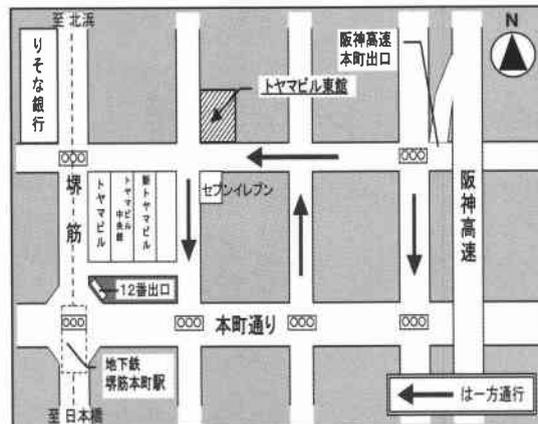
〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ

Lead
The
Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

**Lead
The
Way**

G GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER ガバナー月信

ロータリー財団月間

Rotary Foundation Month



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第 2660 地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

11
2006 No.5

目 次

ガバナーメッセージ	
ロータリー財団月間・世界インターアクト週間によせて	岩田 宙造 …… 1
ロータリー財団月間によせて	佐藤 俊一 …… 3
インターアクト週間によせて「タイ研修旅行を振り返って」	田中 啓之 …… 4
ロータリー少年少女ニコニコキャンプ報告会	
新世代月間事前研修会報告	
2006年度国際ライラ大会参加報告	泉 博朗 …… 6
米山奨学委員長会議及びカウンセラー研修会報告	奥谷 英夫 …… 8
地区ロータリー財団セミナー報告	佐藤 俊一 …… 10
2006～2007年度 青少年交換委員長会議報告	徳岡昭七郎 …… 11
2007～2008年度ロータリー財団国際親善奨学生	溝畑 正信／
第1回オリエンテーション及びPSC例会・懇親会報告	河野真一郎 …… 12
鶴見区民祭り参加と国際交流のつどい開催報告	宇野 滋 …… 13
2006～2007年度 会員増強セミナー報告	川上 善司 …… 14
第8回日韓親善会議報告	神崎 茂 …… 16
モンゴル・水プロジェクトについて	植村宏一郎 …… 18
地区大会参加のお願い	平岡 英信 …… 20
地区米山奨学委員会より／米山功労者／ 米山功労クラブ／ロータリー財団	21
2006年9月度会員数・出席報告	22
文庫通信	23
敬 用／お知らせ	24
月信編集委員会からのおねがい	
2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所案内	25

ロータリー財団月間・世界インターアクト週間によせて

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 岩田 宙造



〈ロータリー財団月間〉

今月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団は1917年、アーチ C. クランフRI元会長が『全世界的な規模で慈善・教育・その他の社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金を作ろう』と提案したことに始まり、1931年に信託組織に、1983年に非営利財団法人となりました。ロータリー財団は構成する法人会員が国際ロータリーのみであり、正式な名称は国際ロータリーのロータリー財団と呼ばれています。

財団の使命は地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解の平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することにあります。それは具体的に言いますと、RI理事会と管理委員会が、ポリオ・プラス・プログラムを完遂することでポリオ撲滅の目標を達成し、友好と理解を助長する教育的および文化的プログラムを強調し充実させ、世界のあらゆる地域において人道的ニーズを満たす補助金を支給し、人々の間の平和な関係を深めるためにプログラムを拡大することにあります。

今年6月22日には、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー RI元会長によって小泉純一郎総理（当時）にポリオ撲滅チャンピオン賞が贈られました。この賞はポリオ撲滅活動において指導力を発揮した個人、国家元首、厚生労働大臣を対象にした大変名誉な賞であります。

ロータリー財団は財団の目標を助長する明確かつ効果的な手段として以下のプログラムを承認しています。

ロータリー財団国際親善奨学金、国際問題研究のためのロータリー・センター、大学教員のためのロータリー補助金、研究グループ交換、地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラント、保健、飢餓追放および人間性尊重補助金、ブレーン地域社会予防接種補助金、ポリオ・プラス、ポリオ・プラス・パートナー

ロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化、増大していくためには奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要であります。奉仕活動と資金調達は車の両輪で、両者のバランスが十分によく取れてこそはじめて貧困や飢餓、疾病や障害に悩み、苦しんでいる全世界の人たちのために奉仕し、世界理解に貢献するという私たちの目的が達成できるのです。

この6月28日には米国で慈善団体の評価を行う大手組織チャリティー・ナビゲーターから、ロータリー財団の会計管理における信頼性に対し、最高を表す4つ星の評価をいただきましたことをお知らせしておきます。

皆様方のロータリー財団へのご理解とご支援をお願いします。

〈世界インターアクト週間〉

皆様にインターアクト・クラブの重要性について、これを機会に再認識していただくことを願って、以下にテキストよりその要点を転記させていただきました。ご一読お願いいたします。

インターアクト・クラブは、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青少年に与えるために結成される。インターアクト・クラブに入会できるものは高校に在学中または年齢14歳から18歳までの若い人。

目標

- 1) 建設的な指導力を養成し、自己の完成を図ること
- 2) 他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること
- 3) 家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること
- 4) 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと
- 5) 個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であると強調すること
- 6) すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること
- 7) 地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること
- 8) 国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこと

2005～2006年度第13代『民間国連ヤング大使』に、当地区・大東ロータリークラブ提唱の大阪桐蔭高校インターアクトクラブの鈴江祐希さんが選ばれましたことは大変うれしいことでした。



中央が鈴江祐希さん

ロータリー財団月間によせて

地区ロータリー財団委員会 委員長 **佐藤 俊一**
(大阪鶴見RC)



11月はロータリー財団の強調月間ですが、まず最初に私個人と財団との関わりから話すのをお許しいただきます。

私は22年前に創立の大阪鶴見ロータリークラブのチャーターメンバーですが、入会当初は財団のことなど皆目わからず、担当者にいわれるまま年会費と同じく会員の義務と思い財団に寄付をしていました。3年目の時、GSE（研究グループ交換）プログラムと出会い、当時の「西ドイツ」からの団員をホームステイ受入れしたのが財団プログラムに関わるきっかけとなりました。その後、当クラブより地区GSE委員長が2人も輩出することなどがあり、GSEメンバーの来日の折にはホームステイや職業研修に同行することが多々ありました。そんなことで、一人でヨーロッパ旅行をした時には彼らの家に泊めてもらい旧交をあたためた思い出もあります。

もうひとつのきっかけは、当クラブがはじめての国際親善奨学生のスポンサークラブとなったのが縁で、その後地区ロータリー財団奨学金・学友委員会の一員となり、国際親善奨学生の選考、オリエンテーション、PSCなどに携わり、また来日した国際親善奨学生や文化研修生のカウンセラーなども経験しました。

昨年はクラブのWCS活動としてベトナムを訪問する機会にも恵まれました。地区補助金を申請し受領した額は正直たいした金額ではありませんでしたが、現地ではその金額さえ貴重な財源であることを身をもって知りました。

さて、財団の歴史を思い起こせばアーチ C. クランフが財団を提唱したのが約90年前です。今やRI財団は世界理解・国際平和を実現しようとする崇高な目的をもつまでに発展してきました。

たとえ個々人の奉仕は微々たるものであっても、全世界のロータリアン120万人が協力し、ポリオ撲滅を果たしつつある実績を考えると、その貢献は国際的にも大いなるものがあります。

一方、教育的プログラムなどは、その実績が目に見えるものではありません。それはより良き未来に思いを馳せるロータリアンのロマンかも知れません。

どんなかたちであれ会員ひとりひとりが財団のプログラムに関わっていただくことで、国際社会の一員としてのロータリアンであるとの自覚を持っていただくことを願っています。

インターアクト週間によせて「タイ研修旅行を振り返って」

地区インターアクト委員会 委員長 田中 啓之 (大東RC)

<ASSEUMPTION高校で交流開始>

8月3日 早朝IACのタイ研修旅行に全員元気に出発しました。現地タイ空港にはIAの皆様約20名が出迎えてくれました。ホテル到着後、約2時間生徒全員が踊りと唄の特訓を受けました。これが後の交流に大変役に立ちました。

8月4日 ASSEUMPTION高校を訪問し、約30名のIAの皆様との交流が始まりました。皆大変人懐こい笑顔で、両手をあわせて“サワッデイクラップ”と言われると、ついこちらも両手をあわせて挨拶してしまいます。

校長先生やIAの方からIACの活動状況などの報告をうけたあと、タイ学生によるタイ古典舞踊があり、新鮮ですばらしい踊りでした。われわれIAも全員ハッピー姿でソーラン節を披露し、大喝采を受けました。そのあと校内の教室を案内していただきましたが、そのころには皆が自然に話し合い、交流が始まっていました。

<3350地区IAとRCの合計150名と活発に交流>

8月4日 夕食会は両地区IACの交流会となり、3350地区IA123名とガバナーはじめ各RC会長などタイ側150名がわれわれ日本側35名を迎えてくださいました。想定以上の人数に日本側生徒が戸惑うかと思いましたが、動じることもなく対応できたのは立派でした。ここでもタイの学生が美しい衣装を纏って、美しい古典舞踊を披露してくれました。われわれIACのメンバーも、再びハッピー姿でソーラン節を元気よく踊りました。また“世界にひとつだけの花”を合唱すると、全員の手拍子を受け、カメラ撮影の放列でおおいに盛り上がり、大きな交流を果たしました。

何よりも良かったのは、そのあと生徒全員がタイ側IAの皆様と積極的に交流したことです。この交流は言葉の壁を感じさせないすばらしいものになりました。参加費は、IAが200パーツ(600円)、RCが250パーツ(750円)で、飲み物は水、食事はバイキング方式でしたが、これですばらしい交流ができたのは大変有意義でした。

<IAの皆様の案内でタイ研修>

8月5～6日 タイIAの皆様20名の案内で、王宮、エメラルド寺院、アユタヤ遺跡などを訪問し、壁画や建物の説明を聞きました。タイはこれからどのような道を進むのかと思いつつ、明るくて親しみやすい国タイを後にしました。

夜遅く空港に見送りに来てくれた7～8名のIAの皆様ありがとうございました。3350地区のIACとRCの皆様、大変親切にさせていただいてありがとうございました。感謝申し上げます。

<とても良かったこと>

生徒全員が積極的に対話し交流することができ、皆の目が生き生きしていました。また人懐こいタイの皆様の笑顔に接し、タイの風習を少しでも体感できたことです。



ロータリー少年少女ニコニコキャンプ報告会 新世代月間事前研修会報告 2006年度国際ライラ大会参加報告

地区青少年活動委員会 委員長 泉 博朗 (大阪住吉RC)

日 時：2006年8月24日(木) 15:00～17:00

場 所：大阪YMCA会館10F会議室

8月24日(木)岩田Gをはじめ各クラブ正副青少年委員長等ロータリアン69名の参加で標題の報告会を行いました。

①ロータリー少年少女ニコニコキャンプ報告会

ニコニコキャンプの状況を下記次第にて報告いたしました。

ホストの寝屋川RC実行委員長	大東 豊治
寝屋川RAC実行委員長	白井 茂康
寝屋川野外活動センター所長	酒井 洋幸
寝屋川野外活動センター主事	佐藤 眞史
参加児童(4年生)	阿部 明樹

ホストとして苦勞はあったものの、多くの児童のみならず多くの参加者に恵まれ、有意義な行事であったとのこと、また児童が将来RACになるというようなメールをいただいたことに感動したこと等が報告されました。次にセンター側より、このような行事は子供たちにとって大変有益なことで継続を願うとのことでした。最後に実際参加した児童より、「とにかく楽しかった」と、ロータリークラブに感謝の気持ちが発表されました。地域社会に対し、ロータリーの広報がなされたことを確信いたしました。今後とも多数の参加をお願いいたします。

②新世代月間事前研修会報告

9月の新世代月間に向けての研修会を下記次第にて実施いたしました。

演題：「現場からみた幼児虐待」

大阪市阿倍野区役所 地域保健福祉課 足立 香 担当係長

要約：児童虐待とは

心身的虐待、心理的虐待、養育怠慢、拒否(ネグレクト)、性的虐待

児童虐待防止ネットワークについて

阿倍野区の状況について

虐待防止には特に母親が育児、しつけに悩んでいる時に解決することが大切であり、行政としては各地区に相談窓口があるので、遠慮なく活用して欲しいとのことでした。

③2006年度国際ライラ大会参加報告

2006年6月デンマークで行われました国際大会に先立ちまして、6月8日～11日までスウェーデンのマルメにて「国際ライラ大会」が行われました。本地区として、日ごろのライラに企画運営いたしております「チームライラ」のうち3名を派遣いたしました。

「チームライラ」とは初級、上級ライラを受講し、ライラの企画運営に参加しているライリアンのことでもあります。

派遣者：市橋典宣（大阪御堂筋RC）、北山京（大阪中央RC）、菅原小理恵（大阪船場RC）

（ ）内はライラ受講時推薦RC



国際ライラ大会に参加して

北山 京

スウェーデンの Helsingborg で開催された国際ライラ大会に参加しました。

RIのもとに36カ国から120人の若者が集まって過ごした3日間は、リーダーシップについて考えるだけでなく、ロータリーを通じて世界に触れた素晴らしいものでした。魅力あふれる同年代の若者たち、人生の先輩であるロータリアンとの出会いは、刺激的で忘れることができない一生の思い出となりました。

一日の流れとしては朝のモーニングアクティビティの後は、ロータリアンの講話を聞き、その講話をもとにグループで実践できるワークショップが用意されていました。中でも私が一番印象に残っているリーダー研修の講話の内容は、Leadership Action、6Cの話でした。6つのCとは① Courage（勇気）② Confidence（自分の力を信じること）③ Charisma（自分が人に伝えられる魅力を持つ）④ Communication（よく聞き、よく考える）⑤ Character（自分のキャラクターを画一すること）そして⑥が Commitment（責任を持つこと）です。この6つのCを聞いたとき、今の自分に足りないのは二つ目の Confidence（自分の力を信じること）と思いました。大切なことは自分の意見を持っていることとそれを伝えたいという熱意だと実感しました。今の自分の力に自信を持って堂々と話せば、もっともっと得られることがあると思いました。6Cを意識して、さらに磨いてゆくことで自分も成長し続けることができると思います。大変良い勉強をさせていただくことができました。

国際ライラで体験したことや感じたことを2660地区のライラで活かしていきたいと思っています。この貴重な体験をさせていただき、神崎直前Gをはじめとするロータリアンの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を無駄にすることのないよう、今後も努力してまいりますので今後ともよろしく願いいたします。

ありがとうございました。



米山奨学委員長会議及びカウンセラー研修会報告

地区米山奨学委員会 委員 奥谷 英夫 (千里RC)

日時：2006年8月25日(金) 14:00～16:10

場所：薬業年金会館 401、402号室

出席者：岩田宙造 G、近藤雅臣地区担当理事 PG、新谷秀一 GE、横山守雄 GN、
神内紘典、井出幸彦、小山隆三各ガバナー補佐、北川哲米山奨学委員長、他委員8名、
飯井克典地区幹事 参加人数 97名

岩田ガバナーの「民間で最大の奨学金制度である米山奨学金制度は留学生にとって意義は大きい。本日のクラブ委員長とカウンセラーの会議の討議に期待している。」とのご挨拶で会議は始まりました。

次に地区担当近藤理事から米山奨学事業の趣旨や、今年から導入されたベトナム人を対象とした現地採用2名の奨学金プログラムに関する詳しい紹介がありました。

続いて北川委員長から本日の研修会の主旨に関する挨拶の後、岡田副委員長から討議の進め方について説明があり、3つの討議テーマを6グループに分かれて約50分間、活発な討議が行われ、その後、事前に指名させていただいたリーダーから討議結果の発表が約30分間ありました。

当日のグループ別の討議テーマは、第1、2班「カウンセラーとしての問題点」、第3、4班「米山奨学制度のクラブ内部での啓蒙」、第5、6班「米山奨学会と寄付金について」で、クラブ委員長とカウンセラーがそれぞれグループ討議に加わりやすいように班分けに配慮した結果、熱のこもった討議と意見交換が行われました。

グループごとに集約した意見は、おおむね次のような内容でした。

第1班：カウンセラーとしての問題はない。CYの継続を希望するクラブがある。

第2班：中国人留学生に対するロータリアンの心情。奨学生に日本の習慣、風習、文化、作法をもっと教えるべきだ。

第3班：寄付集めに関心が高いクラブは寄付も多い。委員長が頑張れば寄付は増える。

第4班：寄付額に目標を立てない。普通寄付には領収書がない。

第5班：奨学生が中国に偏りすぎている。米山奨学生募集対象は本来は東南アジアではないのか。毎月例会に出てこない奨学生がいる。寄付金は枠を決めているクラブが多い。

第6班：米山奨学事業豆辞典は参考になる。奨学生の採用は成績第一か、それとも国籍重視か。

リーダーの発表に対して、岡田副委員長から個人的な意見として、最後に次のような回答がありました。

*応募資格の拡大とCY継続に関しては奨学会で決定するので、意見として提案していただく。

*日本の風習、習慣、文化に従うように指導するのは難しい。

*選考基準は、日本に来た目的が明確か、日本語を話せるか、国際感覚を持ち、協調性があり、将来母国と日本の橋渡しの人物になれそうな人である。

*合格者の国籍バランスは常に配慮しているが、2006年度は中国人留学生の合格率は全国平均より低かったし、最近の合格者は北東アジアから東南アジアにシフトしている。

今回の研修会場が手狭で、参加者の方々にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。



地区ロータリー財団セミナー報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 佐藤 俊一 (大阪鶴見RC)

日 時：2006年8月19日 (土) 13:00～16:30

場 所：大阪YMCA会館

去る8月19日(土)大阪YMCAにて各クラブ会長、幹事、財団委員長を対象にした当地区主催のロータリー財団セミナーが開催されました。

山本博史地区代表幹事の司会進行のもと、最初に岩田宙造Gより財団への協力と参加者への謝辞があった後、地区ロータリー財団委員会委員長より財団セミナーの目的について話がありました。また、今年度は特に充実しつつある2660地区のホームページを紹介し、財団に関する情報はすべてこのホームページで紹介され、誰でもがその資料を閲覧し入手できるとの説明がありました。

地区財団情報・増進委員会井川孝三委員長よりロータリー財団の歴史、組織、財団のプログラム、財団への寄付の種類、当地区年次寄付の実績について資料をもとに説明がありました。

財団法人道的補助金委員会福家宏委員長より、最初にポリオの撲滅に関する現状および世界的活動における国際ロータリーの役割についての話があり、2006年の初めには4カ国を除いて原生ポリウイルスの感染が絶たれたことを世界地図で紹介されました。

引き続き、社会奉仕活動(国内、国外)に使用できる地区補助金についての詳細かつ具体的内容の紹介がありました。

地区ロータリー財団奨学金・学友委員会溝畑正信委員長より国際親善奨学金プログラム、委員会の任務、世界平和フェローシップ、ロータリー平和および紛争解決プログラム、財団学友の説明があり、その後、国際親善奨学生の大垣加代子、三原健司両名の帰国報告がありました。

地区財団研究グループ交換委員会(GSE)の加藤隆委員長より今年度実施されるトルコアンカラ地区との交換事業の概略の話に続いて、スウェーデンとのGSEより帰国の西野博子団長、梅辻真希・永野里実団員の報告がありました。



2006～2007年度 青少年交換委員長会議報告

地区青少年交換委員会 委員長 **徳岡昭七郎** (大阪天満橋RC)

日 時：2006年8月26日 (土) 15:00～17:00

場 所：フェイスゲストハウス 月華殿

出席者：岩田宙造G、新谷秀一GE、横山守雄GN

徳岡昭七郎地区青少年交換委員会委員長、地区青少年交換委員

地区内RC青少年交換委員長

たくさんの関係者の方々のご参加を頂き、青少年交換委員長会議を開催出来たことに感謝しております。岩田G、新谷GE、横山GNを始めとし、各RC青少年交換委員長約60数名が出席されました。

今年度は目で観て判り易くするため少し趣向を変え、青少年交換プログラムで1年間の交換を満了した帰国学生の集まりである、ROTEX(ローテックス:ROTary EXchange students)を招き、その生の経験を皆様の前で話してもらい、また進行を手伝ってもらいました。交換中に様々な問題を乗り越え成長し、更に自身の経験を元に現在の交換学生のサポートをしている彼らの姿を見ると同時に、実際来日している学生の様子をビジュアルに伝える為の視覚資料を用意し、このMost Wonderful Programへのロータリアン子弟の参加を呼び掛けました。質疑応答も活発になされ、各委員長の皆様の関心が強く感じられました。

会議終了直前に、別会場で開催されておりました帰国学生報告会及び来日学生オリエンテーションの学生たちがどっと会議場に来て登壇し、皆様の前で滞在中の経験やこれからの目標などを語りました。来日学生は来日1週間前後という身であるにもかかわらず、全員日本語で挨拶を行い、その積極的な姿勢から彼らの今後の進歩に大きな期待が感じられました。

青少年交換委員長の皆様は次年度に向けて興味を示され、会議後に開催されました歓迎会にも参加して頂き交流を楽しんで頂きました。歓迎会では帰国学生は夫々の派遣国の言葉で、1年の成果とは信じられない程の流暢さでスピーチを行いました。彼らは各々の成長ぶりを十分に披露し、出席者の皆様にプログラムの素晴らしさを満喫して頂いたと思います。



2007～2008年度ロータリー財団国際親善奨学生 第1回オリエンテーション及びPSC例会・懇親会報告

地区財団奨学金・学友委員会 委員長 **溝畑 正信** (東大阪東RC)
委員 **河野真一郎** (大阪北RC)

2007～2008年度ロータリー財団国際親善奨学生のための第1回オリエンテーションが2006年9月2日(土)に薬業年金会館で開催されました。

地区財団奨学金・学友委員会委員長の開会の挨拶と出席者の紹介について、岩田宙造Gが挨拶され、奨学生に選ばれた8名にお祝いの言葉を贈り激励をされました。続いて奨学生候補者並びに顧問ロータリアンが自己紹介をおこなった後、委員長がロータリー財団及び国際親善奨学金プログラムについて、また梅崎副委員長が国際親善奨学生の責務と顧問ロータリアンの責務について話しました。その後、岩田宙造Gから奨学生誓約書署名・認定書・顧問ロータリアン委嘱状が贈呈されました。

休憩を挟んで、若林紀男PGが「ロータリーについて」、元財団奨学生で現在千葉大学大学院社会文化科学研究科公共研究センター・フェローの上村雄彦氏が「いつまでも夢を追い続けて～カナダ留学から16年経って～」のテーマでお話をされ、奨学生一同大いに励まされました。続いて梅崎副委員長が学友会について、PSCの中原陽子さんがPSCについて説明されたのち閉会いたしました。

引き続きPSC主催で開催された懇親会では、先輩PSCメンバーの帰国報告、先輩PSCへの質問や奨学生へのアドバイスなどが活発におこなわれる中、和気あいあいのうちに終了いたしました。



鶴見区民祭り参加と国際交流のつどい開催報告

大阪鶴見ロータリークラブ 国際奉仕活動委員長 宇野 滋

日 時：2006年9月10日（日） 10：00～15：00 / 18：00～20：00

場 所：鶴見緑地公園／太閤園

今年も恒例となりました鶴見区民祭と国際交流のつどいが9月10日（日）、快晴の中で行われました。今年で17回目となりました鶴見区民祭への参加は毎年社会奉仕活動委員長の指揮のもと、実行委員会を組織し、準備、運営をいたしております。

今年も9名の地区交換留学生、15名の日本語教育センターの留学生、地域の横堤中学校の生徒の皆様、ローテックスと我々ロータリアンが一緒になって、パンケーキと飲み物のセットを販売しました。買っていただいた方にくじ引きをしてもらい、会員の協力で集まった景品をプレゼントして、今年も楽しく盛況のうちに終了することができました。

夕方6時より場所を太閤園に移し、国際交流のつどいを開催致しました。この会は国際奉仕委員会と親睦活動委員会が協力して企画運営し、昼間区民祭に参加した留学生は勿論、小松G補佐、地区青少年交換委員の方々をはじめ、ホストファミリー、カウンセラーの皆様、ローテックス約100名が参加されました。20ヶ国からの留学生が参加という賑やかな、まさに国際交流のつどいに相応した集いになりました。

会長、G補佐が挨拶され、前地区青少年交流委員長の乾杯があり、交換留学生の初々しい日本語での自己紹介、ホストファミリーのエピソードも交えての紹介と日本語教育センターの留学生の紹介が行われました。またサモアの留学生が他国の仲間達と一緒にサモア民族の踊りを披露いたしました。

最後に全員が輪になり“手に手つないで”を大合唱し、今年も楽しい意義のある国際交流のつどいが終了致しました。

参加いただいた皆様には一人でも多くの友人をつくっていただき、日本での生活をエンジョイしていただきますよう祈念致します。



2006～2007年度 会員増強セミナー報告

地区クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長 川上 善司 (大阪平野RC)

日 時：2006年9月9日（土） 13：00～16：00

場 所：大阪厚生年金会館 ウェルシティホール 7F フロールの間

ロータリーの最大の資産は個々のロータリアンであり、その源となるエネルギーは会員増強にあります。今年度の地区増強セミナーは、各クラブ純増1名を目標に掲げ、多様化する地域社会の中で増強を確実に達成するには、今後どのように取組んでいくべきかをテーマに開催されました。岩田宙造G、新谷秀一GE、横山守雄GN、8名のG補佐と地区内86クラブの会長、会員増強委員長の皆様とRI会員組織地区コーディネーター亀岡弘第2640地区PG、そしてオブザーバーとして山本博史地区代表幹事や、地区委員の方々総数190名のご出席を頂きました。

岩田Gより、当第2660地区の現状と、会員の自然減は免れない為、絶えず一人一人が会員の発掘と増強を心掛け多くの共感者を獲得し、新たなRnを育てることが求められており、多様化する社会の中で各クラブが目標を達成出来るよう、会員皆様の協力をもって目指して頂きたいとの挨拶がありました。

亀岡RRIMCからは、会員組織を強化し増強を図るためにはロータリーの基本理念、奉仕の原点を生かす行動として、

- (1) 人を助けるという「心」
- (2) 奉仕したいという「意思」と「願望」
- (3) ロータリー精神を「他人と分かち合う」こと

これらを行動に移し、魅力あるクラブ作りをする。魅力あるクラブは組織強化や会員増強につながる。それには会員の研鑽と共に、昨今の地域社会に合ったRCの有り方や、勧誘方法が今後は重要である、という内容でスクリーンを使用して各項目ごとに説得力のある講演を頂きました。

第2部として、IM毎にテーマを決め、G補佐にコーディネーターをお願いして、バズセッションを行いました。

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1) 増強ムードを高める為の具体的な方策 | IM 1、3、7組 |
| 2) 会員増強に効果的であった勧誘方法 | IM 2、5、6組 |
| 3) いかにして女性会員を迎えるべきか | IM 4、8組 |

各テーブルリーダーよりテーマ毎の報告をして頂きましたので下記の通りまとめました。

- 1) 会長・幹事・増強委員長が一体となり、会員増強ムードを盛り上げる主役に立つ。会長がリーダーシップを発揮し増強目標を明確に打ち出す。

年一回の会員増強月間のみではなく、月一回又は年数回の割で卓話、会合、委員会を開催し増強を呼びかけていきたいとの意見が多かった。

- 2) 日頃から地域での奉仕活動を地道に行い、ロータリーの知名度を深める事が大切である。具体的な方法として効果的な勧誘のパフレット、CDやインターネットでのクラブの活動や紹介が勧誘方法の取組みとして必要になると考えられる。

勧誘方法の原点は会員（家族も含め）候補者との人間関係が最大のポイントとなる。

- 3) 女性会員のRnの比率は全世界で13%、日本ではわずか3.6%であり、全体数が減っても女性会員は増加の一途をたどっており退会者も少ない。

当地区では女性の未加入クラブが40クラブも有り、今後女性会員の増強に前向きな取組みが望まれる。女性会員を阻む問題として、クラブ長老の反対がある、風紀が乱れる、セクハラが心配だ等々の未加入クラブからの意見もあった。入会されているクラブからは全くそのような心配は取り越し苦労であり、男女の差はなく活発に活動されており、返って和やかになったとの意見が多かった。

テーマ毎の情報を共有することが出来たこと、理解や信頼が深められたことなど、今回のバズセッションを通じて各クラブの増強のお役に立てれば幸せです。



第8回日韓親善会議報告



国際ロータリー第2660地区

直前ガバナー **神崎 茂** (大阪西RC)

日韓両国間の一般の人的交流は40年前の1965年には年間1万人であったものが、今日では1日1万人に拡大しています。

政治的雰囲気の冷却化が進行するなかで、去る9月8日～9日の2日に亘って日韓親善会議が韓国ソウル グランドハイアットホテルで行われました。

「新世代の親善交流を一層高めよう」をテーマとし、青少年交換その他の新世代を中心として交流を活発にしようということで会議は進められました。同時に昨今の政治的状況を克服して、過去27年間続けてきた日韓ロータリー間の親密な関係を再構築するべく、一層の交流を促進する必要性が強調される会議でありました。

当日発表された登録者数は日本から25地区、120クラブから330人の参加で、韓国から17地区、300クラブから722人の合計1,052人であり、予想以上の参加者がありました。因みに当第2660地区からは10人の出席でした。

まず初めに日韓それぞれの現況報告があり、李御寧氏（元文化庁長官）の特別講演で日本、中国、韓国の三ヶ国に共通の子供の遊びであるジャンケンを中心に、両国の文化の歴史の共通点と相違点について感銘深い話がありました。

引き続き「朝鮮通信使」「400年目の帰郷」と題した講演が行われ、日本側から今井鎮雄RI元理事の記念講演があり、又「韓国女性ロータリアンの現況」について南星姫PDGの報告があり、韓国ではすでに2人の女性地区ガバナーが誕生しているとのことでもあります。

今回の会議で韓国側よりもう一つ重大なアピールが行われました。

それは2009年の国際大会が当地ソウルで開催される予定であり、5万人の参加者を目標としており、日本のロータリアンの積極的な参加をお願いしたいと強調されました。ソウル大会を目標通り成功させるために特に日本のロータリアンの出席が重要であり、日本側としても今から準備が必要です。

韓国に於けるロータリーの誕生は1927年京城RC（東京RCのスポンサーによる）の創立によって始まり78年の歴史を有しています。現在の状況は17地区1,305クラブ、会員数51,966人、内5,745人（11%）が女性会員です。又両国の姉妹提携締結数は269クラブに及んでいます。

今回の2日間の会議のなかで多くの両国間の歴史について学ぶことが出来、大変有意義でありました。次回第9回日韓親善会議は来年2007年9月7日～8日、日本の青森で開催の予定です。今回を上回る多くの参加者を得て今後とも両国間のロータリアンの交流が盛んになり、両国はもとより世界の親善と平和への貢献が期待されます。



モンゴル・水プロジェクトについて

地区世界社会奉仕委員会 委員長 **植村宏一郎** (大阪平野RC)

2006年9月14日、当委員会では、モンゴル国会議員であり、ロータリー会員、また自ら慈善団体を率いるオユンさんの歓迎会及びモンゴルにおける水プロジェクトのプレゼンテーションを主催しました。オユンさんとは委員会が04-05年度に現地をプロジェクト調査発掘を目的に視察旅行で訪れた際にご協力やアドバイスを頂戴したのがきっかけで、その後メールなどを通してお付き合いを頂いて参りました。オユンさんはモンゴルの民主化運動のリーダーとして活躍され、不幸にも暗殺された非業の政治家であるゾーリグ氏の遺志を継承され、公私共にモンゴルの民主化、貧困救済、そして識字率の向上に日夜活躍されておられる素晴らしいロータリアンです。この度、来阪されるとのご連絡を頂き、政治家、あるいはロータリアンとしての視点で貴重なお話しをお聞かせ頂こうと歓迎会を催しました。日程が急遽決まった事もあり、十分な準備ができなかったにもかかわらず、大森パスト・ガバナーご夫妻はじめ、地区国際奉仕関連の委員の方々や、2640地区世界社会奉仕委員会委員長にもご参加頂き御礼を申し上げます。ここに当日オユンさんからご紹介頂きました、貴重な水プロジェクトをご紹介させて頂き、今期のWCS活動が未定のクラブにおかれましては、是非ご参加頂ければと考えております。

以下簡単にプロジェクトの概要をご説明させて頂きます。詳細は地区世界社会奉仕委員会までお問合せ下さい。プロジェクト予算が1万ドルに満たない為にマッチング・グラントや地区補助金は使えませんが、わずかの予算であっても複数のクラブが力を合わせれば実施は可能です。多くのクラブのご支援をお願い致します。

ゲル集落における貯水タンク設置プロジェクト：

1999年以降の異常気象で家畜のほぼ3分の1が死滅し、放牧民族として生活が成り立たなくなりました。また、ウランバートルに集中する医療や教育、あるいは職を求めて貧困な人々が都市部に流入し続け、市内周辺にゲル集落を作り暮らしている。今やウランバートルの人口の半数がゲル集落の人々である。ゲル集落は全くインフラが整備されておらず、ガス、電気、水道の設備は無い。中でも水は深刻で、場合によっては女性や子供が整備されていない氷土の上を1キロ以上、水を運ぶ作業を日常的に行っている。

現在、モンゴル政府も各集落に貯水タンクを設置し、給水トラックによる配水を行っているが、寒さの厳しい国であるが故に、凍結等を防ぐ為に建設設置が高額であるのと共に、ゲル集落が増え続けている為に設置が間に合わないのが現状である。

そこでバンヤンズーク100ロータリークラブ（オユンさんのホームクラブ）では第2660地区内クラブに対し、貯水タンクの建設設置プロジェクトを提案している。ゲル集落の人々に衛生的で十分な生活水を供給するものです。

プロジェクト概要：

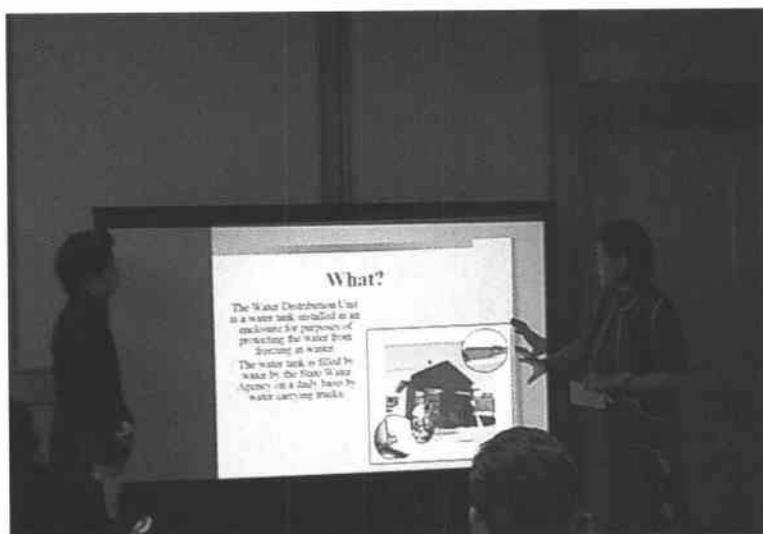
- 実施地 - Songgino Khaikhan 地区 第16小区 ゲル集落
(ウランバートル西部)
- 居住者 - 約1,500家族 3,500人
- 予算 - US \$7,600



オユンさんと地区WCS植村委員長



植村委員長挨拶



水プロジェクト プレゼンテーション

地区大会参加のお願い

国際ロータリー第2660地区
2006～2007年度

地区大会実行委員長 平岡 英信 (大阪南RC)

国際ロータリー第2660地区の2006～2007年度地区大会は、RI会長代理として李 東建氏をお招きして2006年12月8日(金)と9日(土)に大阪国際会議場とリーガロイヤルホテルを会場として開催します。

今年度のRI会長のテーマ『Lead The Way』を实践すべく、楽しいなかにも意義のある地区大会を下記の通り企画しています。

一日目は会長・幹事の皆様と懇談会、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では「New OSK」日本歌劇団による楽しいショーを用意しています。

二日目は午後1時より各分科会に分かれて、それぞれ興味あるテーマや担当されるテーマに参加して頂くことにしています。記念講演では(財)日本総合研究所会長の寺島実郎氏にご講演を頂くことにしています。この記念講演は参加ロータリアン以外にも開放することにしていきますので、お知り合いの方々をお誘い合わせのうえご参加下さい。

今年度の大会も皆様に楽しんで頂きながら意義のあるものとするべく準備をしています。多数の皆様のご参加を心からお待ちしています。

12月8日(金)

会長・幹事懇談会(大阪国際会議場)

14:00 登録・受付

14:30 開会

15:10 シンポジウム

17:00 閉会

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

(リーガロイヤルホテル)

17:00 登録・受付

18:00 開宴・歓迎催し

18:40 来賓紹介・ガバナー挨拶

RI会長代理挨拶

20:50 閉宴

12月9日(土) (大阪国際会議場)

12:00 登録・受付

部門別事例研究会・家族の集い

13:00 開会

松平定知氏 「歴史から見た大阪」

岡野雅行氏 「明日への発想学」

木山啓子氏 「情熱が世界を変える」

村田兆治氏 「生涯現役」

14:15 閉会

本会議

14:30 開会

17:00 閉会

記念講演

17:15 開会

寺島実郎氏 「世界潮流と日本の進路」

18:45 閉会

地区米山奨学委員会より

2006年8月末 全国寄付金合計額 316,704,060円 (前年度比 4.61%増)
 “ 第2660地区寄付金合計額 15,383,560円 (前年度比 12.25%増)

2006年8月末 全国寄付合計トップ10

1.	第2750地区	21,069,370円
2.	第2770地区	21,012,500円
3.	第2650地区	19,118,730円
4.	第2760地区	18,498,050円
5.	第2580地区	17,801,701円
6.	第2590地区	16,019,040円
7.	第2660地区	15,383,560円
8.	第2710地区	12,135,200円
9.	第2690地区	11,742,650円
10.	第2610地区	10,202,500円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2006年8月)

氏名	回数(回目)	クラブ名
木村 繁雄	3	東大阪東RC
奥林 繁一	5	東大阪東RC
山本 峰雄	3	東大阪東RC
安積 曜夫	3	枚方RC
堀岡 晃	3	枚方RC
磯田 隆平	3	枚方RC
諏訪 正美	3	枚方RC
内藤 喬皓	2	大阪城南RC
山下 健三	1	大阪城南RC
中谷 庄八	5	大阪西北RC
田中 潤治	5	大阪西北RC
新酒 武	13	大阪城北RC
前田 春樹	4	大阪住之江RC
乗光 孝明	4	大阪住之江RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2006年8月)

クラブ名	回数(回目)
東大阪東RC	34
大阪西北RC	35

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2006)

北村 薫	大阪中之島RC	8/18
北村 哲夫	大阪中之島RC	8/18

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方はマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2006)

岡本 吉富	1回目	大阪中之島RC	8/18
-------	-----	---------	------

ロータリー財団

ベネファクター

次の方にベネファクターの称号が贈られました。(2006)

石井 賢治	守口RC	8/11
-------	------	------

2006年9月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期 初会	9月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	I M組	クラブ名	7月期 初会	9月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
			全員	女性										全員	女性						
I M第1組	池田	41	41	2	0	0	0	4	73.57	65.00	I M第5組	大阪北	150	151	0	3	2	1	4	82.33	63.83
	池田くれは	45	45	2	0	0	0	3	85.28	75.48		大阪北梅田	43	45	2	2	0	2	3	88.64	76.52
	箕面	33	33	0	0	0	0	4	94.00	83.00		大阪西	87	87	0	1	1	0	3	89.47	75.78
	箕面中央	32	32	0	1	1	0	5	78.10	71.40		大阪大淀	47	49	0	2	0	2	4	75.00	62.80
	豊中	44	44	2	0	0	0	4	95.14	82.64		大阪リバーサイド	32	32	3	0	0	0	4	87.37	69.35
	豊中南	36	36	1	0	0	0	4	82.02	70.31		大阪西北	63	64	0	1	0	1	3	93.47	76.94
	豊中-大阪国際空港	24	24	0	0	0	0	3	74.78	73.04		大阪そねざき	59	59	34	1	1	0	4	95.62	75.00
	豊中千里	38	41	4	3	0	3	4	96.60	85.30		大阪梅田	48	51	0	3	0	3	4	94.33	83.69
	小計	293	296	11	4	1	3		84.94	75.77		大阪梅田東	36	37	0	1	0	1	5	84.86	71.34
													大阪エバーサルティー	25	24	5	0	1	-1	4	82.95
I M第2組	茨木	28	29	3	1	0	1	4	90.91	63.64	小計	708	720	50	18	6	12		87.09	72.08	
	茨木東	47	47	3	1	1	0	4	81.94	71.37	大阪	260	267	0	10	3	7	5	74.85	57.82	
	茨木西	33	33	5	1	1	0	4	93.73	79.55	大阪東	117	119	0	3	1	2	4	95.73	65.85	
	千里	49	50	0	1	0	1	4	84.83	72.32	大阪東淀	41	42	6	1	0	1	3	85.19	75.00	
	千里メイプル	24	25	2	1	0	1	4	90.00	87.00	大阪城	13	13	0	0	0	0	4	78.85	69.23	
	摂津	35	35	0	0	0	0	5	95.48	78.06	大阪城東	44	45	3	1	0	1	5	89.40	77.76	
	吹田	70	70	5	0	0	0	4	98.53	86.77	大阪中之島	31	33	0	2	0	2	4	89.16	84.16	
	吹田江坂	43	44	3	1	0	1	4	93.38	80.15	大阪大手前	51	50	0	1	2	-1	5	91.43	83.33	
	吹田西	50	51	0	2	1	1	3	100.00	91.87	大阪城北	61	62	1	1	0	1	4	70.10	68.70	
	高槻	48	51	2	4	1	3	4	83.25	73.83	大阪天満橋	81	81	0	1	1	0	4	77.68	66.59	
I M第3組	高槻東	44	44	0	0	0	0	4	99.15	93.10	大阪鶴見	42	42	1	0	0	0	4	86.29	71.78	
	高槻西	31	31	0	0	0	0	3	89.20	76.30	大阪淀川	30	31	1	1	0	1	5	100.00	63.30	
	小計	502	510	23	12	4	8		91.70	79.50	新大阪	29	43	0	14	0	14	3	95.35	84.50	
	大東	53	53	0	0	0	0	4	91.67	84.03	小計	800	828	12	35	7	28		86.17	72.34	
	大東中央	29	30	9	1	0	1	4	79.46	68.74	大阪フレンド	20	22	7	2	0	2	4	78.49	70.99	
	枚方	44	45	0	1	0	1	4	91.67	85.90	大阪本町	32	31	2	1	2	-1	4	77.89	65.46	
	門真	32	33	2	1	0	1	4	87.12	70.03	大阪御堂筋	36	36	0	0	0	0	4	93.94	77.27	
	交野	32	33	1	1	0	1	4	76.52	70.46	大阪南	131	136	0	7	2	5	4	79.43	63.17	
	香里園	25	26	0	1	0	1	4	92.39	79.35	大阪難波	48	50	0	3	1	2	4	98.30	69.95	
	くずは	52	54	0	2	0	2	4	82.45	75.00	大阪なにわ	32	32	1	0	0	0	4	91.00	80.00	
I M第4組	守口	53	53	3	0	0	0	4	79.17	69.05	大阪南西	28	30	5	2	0	2	4	86.54	78.85	
	守ロイブニング	25	25	4	0	0	0	4	69.00	64.00	大阪西南	95	95	13	0	0	0	4	100.00	80.38	
	豊屋川	40	40	3	0	0	0	5	93.51	85.95	大阪船場	45	44	0	1	2	-1	3	93.00	78.00	
	四条厩	17	17	0	0	0	0	4	94.23	75.17	大阪心斎橋	43	43	0	0	0	0	4	97.86	79.75	
	小計	402	409	22	7	0	7		85.20	75.24	大阪うつぼ	45	45	7	0	0	0	4	91.41	78.91	
	東大阪	76	77	0	1	0	1	4	80.29	69.74	小計	555	564	35	16	7	9		89.81	74.79	
	東大阪中央	47	47	0	0	0	0	3	88.22	77.45	大阪阿倍野	26	27	4	1	0	1	4	90.00	75.00	
	東大阪東	76	76	2	0	0	0	3	94.26	82.19	大阪阪南	47	47	1	0	0	0	4	90.00	73.75	
	東大阪みどり	32	32	2	0	0	0	4	77.34	66.41	大阪平野	37	37	6	0	0	0	4	99.24	79.55	
	東大阪西	52	51	0	0	1	-1	3	95.12	60.98	大阪イブニング	21	21	4	0	0	0	4	84.52	73.81	
大阪柏原	38	37	3	0	1	-1	4	93.33	83.33	大阪城南	65	65	0	0	0	0	4	100.00	88.89		
I M第5組	八尾	83	87	0	4	0	4	4	96.11	76.39	大阪咲洲	21	23	1	2	0	2	4	88.64	77.27	
	八尾中央	29	29	2	0	0	0	4	83.03	74.10	大阪住之江	28	28	0	0	0	0	3	100.00	82.00	
	八尾東	39	39	5	0	0	0	5	54.70	49.10	大阪住吉	40	41	3	1	0	1	5	91.18	77.06	
	小計	472	475	14	5	2	3		84.71	71.08	大阪天王寺	25	25	0	0	0	0	5	87.62	80.95	
	大阪ちゃやまち	18	18	0	0	0	0	3	85.19	62.96	大阪東南	54	57	0	3	0	3	4	92.59	74.83	
	大阪中央	61	64	5	4	1	3	4	93.44	70.34	小計	364	371	19	7	0	7		92.38	78.31	
	大阪堂島	39	39	1	0	0	0	3	79.49	76.92	合計	86	4096	4173	186	104	27	77		87.7	74.9
												クラブ数	7月期 初会	9月末 会員数	女性 会員数	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例会数	平均 出席率	平均 出席率
												86	4096	4173	186	104	27	77		87.7	74.9

※今年度はI M組毎に分類させていただきます。

文庫通信

—229号—

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

青少年のために

- ◎「ロータリーとRYLA」 今井鎮雄 2005 4p
(「D.2750 第1回RYLAセミナー報告書」)
- ◎「人を育てる」 深川純一 2005 22p
(「ライラワークショップレポート」)
- ◎「如何に育てん我らの新世代」 藤川享胤 2005 10p
(D.2620 地区大会)
- ◎「異文化を超えて」 水野正人 2006 6p
(「第11回ロータリー青少年交換研究会東京会議報告書」)
- ◎「星野の人づくり」 星野仙一 2006 12p
(D.2690 地区大会)
- ◎「スポーツにみるリーダーシップ」 小幡日出男 2005 10p
(D.2780 地区大会)
- ◎「生かそう日本の心」 童門冬二 2006 15p
(D.2530 地区大会)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

櫻井 彰 君 (茨木西RC)

平成18年7月22日逝去(享年56歳)

出席委員長、米山記念奨学会委員長
環境保全委員長、国際奉仕委員長
交通対策委員長、ボランティア委員長

米山功労者 (マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

前田 信夫 君 (大阪難波RC)

平成18年9月27日逝去(享年83歳)

チャーターメンバー
会長
ロータリー情報委員長、プログラム委員長
クラブ奉仕委員長・理事、創立10周年実行委員長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

井戸 公夫 君 (大阪船場RC)

平成18年9月28日逝去(享年75歳)

SAA 理事
米山功労者
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

小西 祐謙 君 (大阪天王寺RC)

平成18年10月3日逝去(享年83歳)

会長
ロータリー情報委員長、会員選考委員長
職業分類委員長、国際交流委員長

米山功労者 (マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

植田 耕作 君 (大阪天王寺RC)

平成18年10月9日逝去(享年57歳)

副SAA、国際交流委員長
SAA、副幹事、理事

米山功労者 (マルチプル)
ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

RI 会長ノミニー選出

韓国・ソウル漢江ロータリークラブ (RC) 会員の李東建 (Dong Kurn Lee) 氏が、国際ロータリー (RI) 会長指名委員会にて、2008～09年度RI会長ノミニーに選出されました。対抗候補者が出ない限り、12月1日をもって、正式にRI会長ノミニーに指名されます。

李氏は、ソウルの製造会社 Bubang Co., Ltd. および Bubang Techron Co., Ltd. の会長であり、ソウル銀行の元理事です。また、2005年に韓国政府から国際親善大使に任命されました。

1971年にRCに入会し、ガバナー、RI理事(2001～03)、RI財務長(2002～03)、ロータリー財団管理委員(2003～04)などを歴任されています。

事務所移転のお知らせ

大阪イブニングロータリークラブ
〔新住所〕

〒543-0054

大阪市天王寺区南河堀町9-38

天王寺タウンハウス305号室

(電話、FAX およびEメールアドレス
は変更ありません。)

ホームページ、Eメールアドレス 変更のお知らせ

八尾ロータリークラブ

ホームページ:

<http://www.yaorc.com/>

Eメールアドレス:

info@yaorc.com

東大阪ロータリークラブ

ホームページ:

<http://www16.ocn.ne.jp/~horotary/>

訂正とお詫び

月信10月号で下記の通り誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

記

P14

2006年8月度 会員数・出席報告
クラブ名

枚方くずは→くずは

月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

① 月信編集委員会 ①	
・ガバナー	岩田宙造
・地区代表幹事	山本博史
・地区副代表幹事	谷 明
・担当地区幹事	木村芳樹
・担当地区幹事	鈴木慶一
・担当地区幹事	横尾國治
・事務局長	今井貢二
・事務局	近藤祥子

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田	宙造
地区代表幹事	山本	博史
地区副代表幹事	谷	明
事務局長	今井	貢二
事務局員	塚本	瑞香
	川端	麻起子
	近藤	祥子
	栗正	久美
	春名	志保
	藤本	緑

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪府中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

執務時間

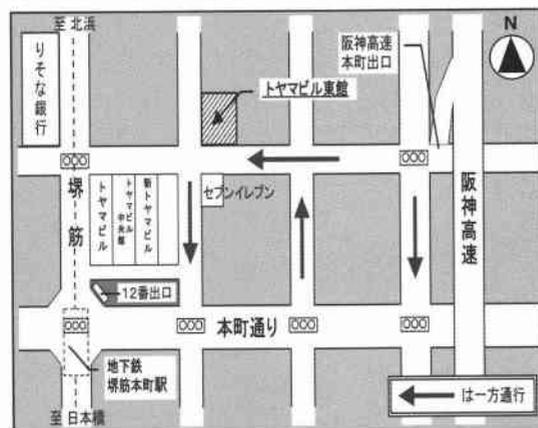
月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日
夏季 8月12日(土)～8月17日(木)
年末年始 12月29日(金)～1月4日(木)

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ

Lead
The
Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

**Lead
The
Way**

G GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER ガバナー月信

家族月間

Family Month



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第2660地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

12
2006 No.6

目 次

ガバナーメッセージ 家族月間について	岩田 宙造	1
家族月間によせて 池田くれはRC2006年家族会の報告	壇 信義	2
大阪南RC家族会の報告	井上 通敏	2
クラブ職業奉仕委員長会議報告	岩本 洋子	3
秋のライラ報告 第1回クラブ青少年奉仕委員会正副委員長会議報告	泉 博朗	4
米山奨学生レクリエーション大会報告	笠原隆之助	5
第2660地区ガバナー杯野球大会報告	中林 邦友	6
地区米山奨学委員会より／米山功労者／ 米山功労クラブ／ロータリー財団		7
2006年10月度会員数・出席報告		8
文庫通信		9
お知らせ／敬 弔		10
月信編集委員会からのおねがい 2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所案内		11

家族月間について

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 岩田 宙造



12月は家族月間です。今年度、ウィリアム B. ボイド R I 会長が強調事項の一つとして新たに加えられたのがロータリー家族であります。

2003～2004年度にジョナサン B. マジリアベ R I 元会長によって始められたロータリー家族推進計画は、2004～2005年度グレン E. エステス シニア R I 直前会長に引き継がれました。そして R I 理事会はその家族に手を差し延べ、それらの人々をロータリーに参加させる理想的な時期として12月を家族月間と決められました。「奉仕の機会としての知り合いを広めること」というロータリーの綱領の第一を強調するために導入されました。エステス氏はロータリーの一番いいところは親睦ですと述べられ、ロータリー家族委員会は1) 退会防止のために重要な役割を果たすにとどまらず、2) 斬新で充実した奉仕プロジェクトを促進し、3) クラブの中でお互いに関心と思いやりの機運を高め、4) 社会的なイベントや奉仕プロジェクトに家族も参加してもらえればロータリーは会員にとって人生を豊かにし、満足のいく生き生きとしたものになると話されています。多くのクラブはロータリアンの奉仕活動ならびに R C の諸活動に協力しそれを支持、支援するロータリアンの親族の恩恵に浴してきました。

ボイド会長が強調事項に選んだ理由は、何十年先のロータリーの将来を考えたとき、今ロータリアンになったばかりの会員、若い職業人の多くは、子育て、仕事と家庭との両立に奮闘しており、毎日時間に追われる生活を送っている今日、自分の家族もロータリーの一部として受け入れてほしい、との会員の切望から強調事項に選んだとのこと。経済的に負担にならないように、家族全員が参加して楽しい友好、親睦の会、さらには奉仕プロジェクトを考えることが望まれています。年齢にかかわらず、すべての人々を快く受け入れることのできるようなクラブの雰囲気づくりに努めて頂きたいとのこと。

また若者たちのことも重要な課題です。インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年育成プログラム、青少年交換、その他数多くの青少年のためのプログラムの重要性をしっかりと心にとめてくださいとのこと。これからの若者たちが私たちの未来であることを理解し、若者たちの多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確かなものとするため、ことに彼らの生活力を高めることによって、将来への準備をさせることが大事と考えます。基本的なニーズは健康、人間の価値、教育、自己啓発であります。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

家族月間によせて

〈池田くれはRC2006年家族会の報告〉

池田くれはRC 会長 壇 信義

池田くれはRCの家族会は、10月12日に大阪梅田のシンボルともなっているハービスエントの中に新設された劇団四季専用の「大阪四季劇場」で、柿落とし公演の「マンマ・ミーア」を鑑賞しました。この劇場は東京以外で「四季劇場」の名称を付した初めての劇場だそうです。

題名の「マンマ・ミーア」とはイタリア語で「なんてこった!」という感嘆詞です。ストーリーは、エーゲ海に浮かぶ小島で母一人に育てられた娘が、結婚式を挙げるにあたり、父親とバージンロードを歩きたくて、父親らしき3人に招待状を出し、その3人全員が現れたことから母親は昔の恋人たちにとまどい、そこから笑いと涙の大騒動が……。ドタバタコメディが最後はハッピーエンドに収まるという物語で、なるほど英国、カナダ、豪州、米国、日本など、世界中で観客動員数1,700万人といわれるミュージカルだと納得しました。

その後、楽しかったミュージカルの余韻に浸りながら、しゃれた店舗が並ぶハービスでウィンドショッピングなどをいたしました。

ミュージカル鑑賞者は会員、家族を合わせて60名が参加し、その後の親睦会は52名がホテル阪神での洋食バイキングで夕食を楽しみました。会員および家族が和気あいあいと楽しい時を過ごしました。帰路はホテル阪神からバスで池田文化会館と池田市役所前まで帰り、解散いたしました。

〈大阪南RC家族会の報告〉

大阪南RC 会長 井上 通敏

例年は秋の家族会を企画実行しておりましたが、今年は上村 豊 友好委員会委員長の企画立案により、夏休みの8月17日に京セラドーム大阪で野球観戦を開催致しました。雨が降っても大丈夫なように、特に場所は京セラドーム大阪と致しました。元阪神タイガース球団社長の野崎勝義様のご配慮により、70席のロイヤルシートでの観戦となりました。ちょうどバックネット裏での観戦で、小学生や中学生には特に人気がありました。主催者冥利の一日でした。

応援グッズのメガホンを片手に持ち、参加者全員でエールを送りました。阪神タイガースVS横浜ベイスターズの試合は、黄色い声援も空しく接戦の末、残念ながら阪神タイガースの敗北に終わりましたが、良いことも沢山ありました。会員のお子さんとお孫さんの3世代にわたる応援でしたが、一致団結しての愉快なひと時でした。会員同志の絆と家族の絆を確かめあった本当に有意義な3時間でした。



球団が用意してくれたお弁当とお茶を楽しみながら家族会の名に相応しい企画となりました。参加された会員の皆様に感謝して頂き、主催者としてホッと一安心した次第です。岩田Gにもお忙しい中ご参加頂き、感謝申し上げます。

今後も、会員と家族に喜んで頂けるように「家族会」を素晴らしいものに育てたいと心から思いますので、更に発展させて行きたいと考えております。

クラブ職業奉仕委員長会議報告

地区職業奉仕委員会 委員長 **岩本 洋子** (大阪そねぎRC)

日 時：2006年9月30日（土）13：00～15：00

場 所：葉業年金会館

9月30日（土）の職業奉仕委員長会議は岩田G、新谷GE、横山GNのご出席を頂き、2680地区パスト・ガバナーの弁護士深川純一先生に「職業奉仕・各論」というテーマでご講演頂きました。

深川先生曰く

「時計を買ったときに、故障をしたら、購入時から1年間無料で修理しますという補償約束があったとします。では、1年と1週間後に故障したらどうでしょうか。1年を過ぎていますから有料です、というのは契約の世界、法律の世界です。

ロータリアンならば、1週間過ぎていても、わずかな期間オーバーですから、無料で修理して差し上げましょう、というのが取るべき態度です。ロータリーの職業奉仕は倫理の世界だからです。

「契約・法律さえ守っていればコンプライアンスを遵守していると考えるのは、ロータリーが考える職業奉仕には不足です。」

というお話をされました。その他、職業奉仕・各論をいろいろお話し頂きました。

コンプライアンスを掲げて活動をされている企業家に、もう一步、倫理的職業観を提示する会議でした。



秋のライラ報告

第1回クラブ青少年奉仕委員会正副委員長会議報告

地区青少年活動委員会 委員長 泉 博朗 (大阪住吉RC)

〈秋のライラ報告〉

日時：2006年10月7日（土）～9日（月）
場所：琵琶湖バレー（滋賀県）
ホストクラブ：大阪そねざきロータリークラブ
参加者：初級参加者 77名
 上級参加者 10名
 登録ロータリアン 414名
テーマ：「SKY, WIND and HARMONY」（空と風と調和）



今回は大阪そねざきRCに実施していただきました。大阪成蹊大学でおこなわれました開講式の後、九重親方の基調講演を拝聴し、参加者は滋賀県琵琶湖バレーに向かい、滋賀県にある「びわこ成蹊スポーツ大学」のご協力を得てリーダーシップ研修を行いました。最終日に「なにわで活躍する女性リーダーたち」（大阪そねざきRC女性会員5名）のパネルディスカッションを行い、青少年の心に感動を与えました。

上級ライラでは武奈ヶ岳でトレッキングツアーをして、厳しいながら充実した実習を行いました。この上級ライラは世界に類が無く2660地区特有のもので、上級ライラ修了生が「チームライラ」となって、実際にライラの企画運営をしています。1度のライラ研修に終わることなく、長期的に青少年リーダーの育成を図っています。また、国際ライラにも派遣しています。初級を受講したライリアンを上級にご推薦お願いいたします。

このライラはこれまでも、多くの若者たちに感動を与えてまいりました。特に今回は最終の発表のなかで「感謝」という言葉をたくさん聞くことが出来ました。このように充実したライラ（RYLA）を実施しています。多くの参加者をご推薦願います。

最後になりましたが、ホストとなっておりました大阪そねざきRCの中会長、山田実行委員長、谷間地区委員、および大阪そねざきRCの皆様、ご奉仕していただきましたびわこ成蹊スポーツ大学の黒澤先生はじめリーダーの皆様、チームライラの諸君、そして「ライラ」にご理解いただき登録をいただきましたロータリアンの皆様方、あらためまして感謝申し上げます。

〈第1回クラブ青少年奉仕委員会正副委員長会議報告〉

日時：2006年10月7日（土）
場所：大阪成蹊大学 12：30～15：00
参加者：正副委員長 84名

秋のライラの基調講演（九重親方）を拝聴し、その後、各クラブの本年度活動に対するアンケートの報告およびクラブにおける青少年奉仕のあり方について意見交換をいたしました。



米山奨学生レクリエーション大会報告

地区米山奨学委員会 委員 笠原 隆之助 (茨木RC)

日時：2006年10月15日（日）11：00～17：30

場所：宝塚大劇場

2006年10月15日（日）秋晴れの日、米山奨学生レクリエーション大会が宝塚大劇場において行われました。奨学生、学友会、ロータリアン、それぞれの家族、合わせて106名が参加し、大変有意義な大会になりました。観劇後の懇親会の席上で、岩田ガバナーより「世界平和に貢献出来る人材を育て、母国と日本の架け橋になってもらいたい」とのご挨拶があり、また近藤パスト・ガバナーからは「ベトナムへ出向いて現地で面接をしたおかげで、優秀な人材に来ていただくことが出来ました。」とのお話がありました。また北川委員長から「奨学生の皆様のご精進とご健勝をお祈りします。」とのお言葉があり、引続き奨学生とカウンセラーのスピーチに移りました。

スピーチを要約しますと、

- ・宝塚歌劇は大変豪華で魅力的であり、驚きまた感激しました。
 - ・ロータリーの例会に出席でき、学校の勉強以外にいろいろな日本の社会についての勉強になりました。
 - ・米山奨学金のおかげでアルバイトをしなくてもよいので、勉強に専念でき、心から感謝しています。（この意見は多く聞かれました。）
 - ・お金の援助だけでなくカウンセラーの人たちが親身になって世話をしてくれ、また京都を始めいろいろな所へ行って日本の文化に触れることが出来て楽しい。
 - ・将来、自分に「力」が出来れば、日本で働くとか、他の方法でも恩返しをしたい。
 - ・母国に帰ってから日本語の教師をして、日本文化の橋渡しをしたい。
 - ・中国では北京・上海にロータリークラブができたので、将来メンバーになりたい。
- 以上のような意見がありました。

カウンセラーの人たちも、自分たちの子供や孫と接するような暖かい支援をしてもらえるのが、スピーチを通して感じられました。米山奨学金は、清く、正しく、公平に使われ、偉大な未来を背負った若人に大いに役立っているのを実感しました。



第2660地区ガバナー杯野球大会報告

大阪大手前RC 中林 邦友

秋晴れの10月15日(日)、18回目を迎える第2660地区ガバナー杯野球大会が、茨木市にある履正社高校の野球専用グラウンドにて幕を開けました。甲子園出場を果たした高校の専用グラウンドですから設備もグラウンドのメンテナンスも素晴らしく、出場するロータリアンはワクワク・ソワソワです。

第一試合の前に岩田Gの始球式が行われましたが、流れる様なフォームから放たれた白球は綺麗な弧を描いてキャッチャーミットにノーバウンドで収まり見事な「ストライク!」でした。岩田Gのあまりの上手さに全員拍手喝采しながら「岩田Gどっかで練習してはったんちゃうかな?」と囁きあっていました。

当日は4試合が行われ、歴史的?大差の試合あり、手に汗握る僅差の試合あり、とバラエティに富んだ試合内容でした。昨年の古傷を少々痛めた人はおられましたが、大きな事故・アクシデントも無く大会一日目は終了しました。

あと残り5日間試合がありますが、天候に恵まれ、怪我無く皆が和気あいあいと試合を楽しんで大会が終了する事を祈っております。



地区米山奨学委員会より

2006年9月末 全国寄付金合計額 382,528,933円 (前年度比 2.87%増)
 〃 第2660地区寄付金合計額 18,826,275円 (前年度比 13.36%増)

2006年9月末 全国寄付金合計トップ10

1. 第2770地区	28,903,730円	6. 第2580地区	19,904,194円
2. 第2750地区	24,966,370円	7. 第2660地区	18,826,275円
3. 第2650地区	24,715,450円	8. 第2690地区	13,746,510円
4. 第2590地区	23,331,540円	9. 第2710地区	13,708,700円
5. 第2760地区	22,752,550円	10. 第2610地区	12,844,500円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2006年9月)

氏名	回数(回目)	クラブ名	氏名	回数(回目)	クラブ名
金子 泰輔	5	東大阪東RC	霧山 勝弘	4	池田くれはRC
北川 忠嗣	2	東大阪東RC	巽 多津子	4	池田くれはRC
表 康之	4	東大阪東RC	山内 邦夫	1	池田くれはRC
山田 隆教	4	東大阪東RC	山口 伊太郎	1	くずはRC
土方 正英	3	茨木東RC	柴田 俊明	13	大阪なにわRC
木本 誠一	1	茨木東RC	藪 英昭	3	大阪城北RC
矢野 克吉	3	茨木東RC	岡田 義昭	42	大阪淀川RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2006年9月)

クラブ名	回数(回目)	クラブ名	回数(回目)
くずはRC	14	大阪RC	78
箕面中央RC	15	大阪なにわRC	19

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2006)

山口伊太郎	くずはRC	9/15
栗田 正憲	豊中千里RC	9/8

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2006)

野村 正勝	2回目	箕面中央RC	9/8
塚田 康策	5回目	大阪平野RC	9/29
津崎 正幸	1回目	大阪阪南RC	9/1
中本 和洋	2回目	大阪城南RC	9/1
光信 昌明	2回目	大阪城南RC	9/1
永井 正美	1回目	大阪城南RC	9/22
山内 久生	4回目	摂津RC	9/8

ロータリー財団

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2006)

佐伯 崇邦	大阪なにわRC	9/15
村司 辰朗	豊中RC	9/29

ロータリー財団

メモリアル・コントリビューター

次の方はメモリアル・コントリビューターです。(2006)

古田 昌子	大阪RC	9/15
-------	------	------

2006年10月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初会員		10月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I M組	クラブ名	7月期初会員		10月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
		全	女	全	女									全	女	全	女						
I M第1組	池田	41	41	2	0	0	0	0	4	76.43	70.72	I M第5組	大阪北	150	151	0	3	2	1	4	84.58	66.04	
	池田くれは	45	47	2	2	0	2	4	79.58	76.76	大阪北梅田		43	45	2	2	0	2	4	84.09	70.45		
	箕面	33	33	0	0	0	0	4	83.00	77.33	大阪西		87	90	0	4	1	3	4	90.11	72.26		
	箕面中央	32	32	0	1	1	0	4	84.40	75.00	大阪大淀		47	49	0	2	0	2	4	78.75	68.75		
	豊中	44	44	2	0	0	0	5	94.44	79.44	大阪リバーサイド		32	33	3	1	0	1	4	85.10	66.14		
	豊中南	36	37	1	1	0	1	4	86.90	80.01	大阪西北		63	64	0	1	0	1	5	90.86	77.82		
	豊中-大阪国際空港	24	24	0	0	0	0	4	79.35	70.67	大阪そねざき		59	60	34	2	1	1	3	95.40	78.60		
	豊中千里	38	41	4	3	0	3	4	94.10	82.40	大阪梅田		48	51	0	3	0	3	4	93.75	86.25		
	小計	293	299	11	7	1	6		84.78	76.54	大阪梅田東		36	37	0	1	0	1	4	87.83	68.24		
														大阪ユニバーサルシティ	25	24	5	0	1	-1	4	83.33	67.86
I M第2組	茨木	28	29	3	1	0	1	4	90.48	70.51	小計	708	724	50	23	7	16		87.23	70.67			
	茨木東	47	47	3	1	1	0	4	86.81	68.05	I M第6組	大阪	260	266	0	11	5	6	4	70.86	53.21		
	茨木西	33	33	5	1	1	0	4	96.14	78.36		大阪東	117	120	0	4	1	3	4	95.18	68.07		
	千里	49	50	0	1	0	1	4	76.79	63.39		大阪東淀	41	42	6	1	0	1	3	83.33	75.93		
	千里メイプル	24	25	2	1	0	1	4	91.00	78.00		大阪城	13	13	0	0	0	0	3	74.36	69.23		
	摂津	35	35	0	0	0	0	4	93.54	75.80		大阪城東	44	46	4	2	0	2	4	94.28	68.34		
	吹田	70	69	5	0	1	-1	4	97.06	82.84		大阪中之島	31	36	0	5	0	5	4	92.39	82.27		
	吹田江坂	43	44	3	1	0	1	5	94.12	80.59		大阪大手前	51	50	0	1	2	-1	4	90.48	81.55		
	吹田西	50	51	0	2	1	1	4	100.00	87.80		大阪城北	61	64	1	3	0	3	4	68.70	64.90		
	高槻	48	52	3	5	1	4	3	85.02	80.61		大阪天満橋	81	81	0	1	1	0	4	79.39	71.93		
高槻東	44	44	0	0	0	0	4	95.70	86.20	大阪鶴見		42	43	1	1	0	1	4	90.62	81.25			
高槻西	31	31	0	0	0	0	4	83.80	74.20	大阪淀川	30	31	1	1	0	1	4	100.00	75.50				
小計	502	510	24	13	5	8		90.87	77.20	新大阪	29	43	0	14	0	14	4	91.86	85.46				
I M第3組	大東	53	52	0	0	1	-1	4	94.45	84.72	小計	800	835	13	44	9	35		85.95	72.97			
	大東中央	29	30	9	1	0	1	4	78.57	70.53	I M第7組	大阪フレンド	20	22	7	2	0	2	4	81.25	71.25		
	枚方	44	45	0	1	0	1	4	88.46	82.05		大阪本町	32	31	2	2	3	-1	5	83.12	66.14		
	門真	32	33	2	1	0	1	4	87.88	76.52		大阪御堂筋	36	37	0	2	1	1	4	92.08	74.83		
	交野	32	33	1	1	0	1	4	81.06	73.49		大阪南	131	134	0	7	4	3	4	82.55	67.45		
	香里園	25	26	0	1	0	1	4	91.67	71.74		大阪難波	48	51	0	4	1	3	4	98.89	71.57		
	くすは	52	54	0	2	0	2	4	87.77	69.68		大阪なにわ	32	32	1	0	0	0	4	92.00	76.00		
	守口	53	53	3	0	0	0	4	73.91	63.25		大阪南西	28	30	5	2	0	2	3	83.33	75.64		
	守口イブニング	25	26	5	1	0	1	4	68.35	64.39		大阪西南	95	95	13	0	0	0	4	100.00	76.64		
	寝屋川	40	40	3	0	0	0	4	90.75	74.22		大阪船場	45	44	0	1	2	-1	4	95.00	83.00		
四条畷	17	17	0	0	0	0	4	83.15	66.28	大阪心斎橋		43	44	0	1	0	1	4	100.00	80.15			
小計	402	409	23	8	1	7		84.18	72.44	大阪うつぼ	45	45	7	0	0	0	4	91.88	80.00				
I M第4組	東大阪	76	78	0	2	0	2	4	82.35	71.96	小計	555	565	35	21	11	10		90.92	74.79			
	東大阪中央	47	47	0	0	0	0	4	78.68	75.00	I M第8組	大阪阿倍野	26	27	4	1	0	1	4	95.00	83.75		
	東大阪東	76	76	2	0	0	0	4	91.82	80.61		大阪阪南	47	47	1	0	0	0	5	92.31	79.49		
	東大阪みどり	32	33	2	1	0	1	4	77.27	66.67		大阪平野	37	37	6	0	0	0	4	80.64	97.66		
	東大阪西	52	52	0	1	1	0	4	95.21	58.71		大阪イブニング	21	21	4	0	0	0	4	78.57	67.86		
	大阪柏原	38	37	3	0	1	-1	5	93.33	83.33		大阪城南	65	64	0	0	1	-1	4	100.00	86.63		
	八尾	83	87	0	4	0	4	3	95.28	69.94		大阪咲洲	21	23	1	2	0	2	4	90.91	77.27		
	八尾中央	29	29	2	0	0	0	5	81.43	72.86		大阪住之江	28	27	0	0	1	-1	4	96.15	80.72		
	八尾東	39	40	5	1	0	1	4	64.20	61.10		大阪住吉	40	41	3	1	0	1	4	86.77	72.79		
	小計	472	479	14	9	2	7		84.40	71.13		大阪天王寺	25	23	0	0	2	-2	4	90.17	84.04		
													大阪東南	54	57	0	3	0	3	4	91.23	70.62	
I M第5組	大阪ちゃやまち	18	18	0	0	0	0	4	94.44	58.33	小計	364	367	19	7	4	3		90.18	80.08			
	大阪中央	61	63	5	4	2	2	4	93.97	70.65													
	大阪堂島	39	39	1	0	0	0	4	71.79	67.31													
合計	クラブ数	7月期初会員数	月末会員数	女性会員	入会者数累計	退会者数累計	増減					平均出席率	平均出席率										
	86	4096	4188	189	132	40	92					87.3	74.5										

※今年度はI M組毎に分類させていただきます。

文庫通信

—230号—

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

クラブ活動の資料として（1）

- ◎「DLPとCLPの重要性について」 南園義一 防府RC 2006 8p
- ◎「ロータリー第二世紀への船出—充実したクラブ奉仕活動が基本」
板橋敏雄 2005 12p (D.2610 地区大会)
- ◎「ロータリーは率先する人の集まりです」 渡辺好政 2006 1p
(D.2690 月信)
- ◎「ロータリー第2世紀を迎えて」 田中作次 2006 3p
(第34回ロータリー・ゾーン研究会報告書)
- ◎「職業奉仕の核にあるもの」 深川純一 2006 17p (八戸RC週報)
- ◎「魅力あるロータリークラブとなるために」 西村栄時 2006 4p
(D.2710 月信)

[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]

※必読の書(復刻版)増刷出来る 領価1500円(送料別)

『ロータリー・モザイク』

ハロルドT.トーマス著;松本兼二郎訳

本書は、1905～1970年代までのロータリーの思想の移り変わりを解説している。ロータリーの生い立ちと進歩発展の歴史を元RI会長が綴ったロータリアンの質的成長の記録でもある。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

お知らせ

直前ガバナー 神崎 茂

〈新刊書紹介〉

国際ロータリー第2660地区 パスト・ガバナー 戸田 孝著

「ロータリークラブに入ってよかった！

素晴らしい出逢い

よき師、よき友は人生の宝」

筆者の戸田孝パスト・ガバナーは1961年八尾RCに入会されて以来今日まで45年となり、当2660地区最古参のパスト・ガバナーとして現在もかくしゃくとして活躍されておられます。

その間、ロータリーにおいて数多くの重責を果たされており、今も地区内外から講演の依頼が数多く寄せられ、ロータリーの真髄に触れた卓話に啓発され感動した数多くのロータリアンがおられます。

今回、長年のロータリーの卓話、その他の御講演の原稿をまとめて出版されました。当地区のホームページで御覧頂けますので御利用下さるようお願い致します。

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

中川 孝雄 君 (大阪住之江RC)

平成18年10月22日逝去(享年61歳)

出席委員長、社会奉仕委員長・理事
親睦活動委員長、国際奉仕委員長・理事

鍛冶 正行 君 (大阪梅田東RC)

平成18年11月13日逝去(享年75歳)

会長、副会長、職業奉仕委員長

米山功労者

ポール・ハリス・フェロー

辻本 善保 君 (八尾中央RC)

平成18年11月15日逝去(享年64歳)

副幹事、会計担当

西村 實 君 (大阪東淀RC)

平成18年11月19日逝去(享年81歳)

ロータリー財団委員長

クラブ史編纂委員長

ポール・ハリス・フェロー

メールアドレス開設のお知らせ

高槻東ロータリークラブ

takatsukieast@yahoo.co.jp

訂正とお詫び

月信11月号で下記の通り誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

記

P 8

出席者：金森市造ガバナー補佐を追加

月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

① 月信編集委員会		②
・ガバナー	岩田宙造	
・地区代表幹事	山本博史	
・地区副代表幹事	谷 明	
・担当地区幹事	木村芳樹	
・担当地区幹事	鈴木慶一	
・担当地区幹事	横尾國治	
・事務局長	今井貢二	
・事務局	近藤祥子	

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田 宙造
地区代表幹事	山本 博史
地区副代表幹事	谷 明
事務局長	今井 貢二
事務局員	川端麻起子
	近藤 祥子
	栗正 久美
	春名 志保
	藤本 緑

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日
夏 季 8月12日(日)～8月17日(金)
年 末 年 始 12月29日(金)～1月4日(木)

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL:06-6264-2660
FAX:06-6264-2661

ホームページアドレス

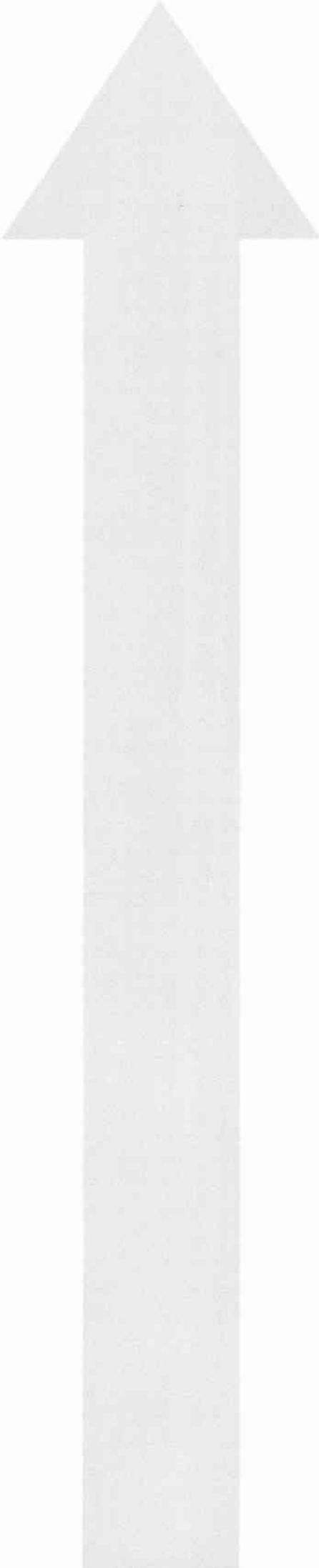
<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ



Lead The Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

Lead The Way

G GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER ガバナー月信

ロータリー理解推進月間

Rotary Awareness Month



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

国際ロータリー第2660地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

1
2007 No.7

目 次

ガバナーメッセージ	
ロータリー理解推進月間によせて	岩田 宙造 …… 1
ロータリー理解推進月間にあたって	戸田 孝 …… 2
追悼記念週間によせて	菅生 浩三 …… 3
国際ロータリー第2660地区	
2009～2010年度 地区ガバナー・ノミニー候補の推薦	…… 4
国際ロータリー第2660地区	
2009～2010年度 ガバナー・ノミニーの宣言	…… 4
地区委員会に関するRI第2660地区の新方針	岩田 宙造 …… 5
2006～2007年度 クラブ国際奉仕委員長会議報告	盛田 三五 …… 8
2006～2007年度 クラブロータリー財団委員長会議報告	井川 孝三 …… 9
2006～2007年度 クラブ情報・広報委員長会議報告	左藤 孜 …… 10
大阪府薬物乱用防止功労者知事感謝状贈呈式報告	江上 清夫 …… 11
ガバナー補佐 鍛冶正行さんのご逝去を悼む	…… 12
新ガバナー補佐の紹介	…… 13
地区米山奨学委員会より／米山功労者／米山功労クラブ	…… 14
ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー／ベネファクター	…… 15
2006年11月度会員数・出席報告	…… 16
文庫通信	…… 17
お知らせ／敬 弔	…… 18
月信編集委員会からのおねがい	
2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所案内	…… 19

ガバナーメッセージ

ロータリー理解推進月間によせて

国際ロータリー第2660地区

ガバナー 岩田 宙造

新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えになりましたことと、心よりお喜び申し上げます。

今月はロータリー理解推進月間であります。

あらためて再確認のためにもロータリーの目的とサービスについて資料を調べてみました。ロータリーでは、社会生活における成功と幸福は、他人に対する思いやりと他人を助けることにあり、各自の職業を通じての「奉仕の理想」を目的としています。ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、4項目を鼓吹育成することであり、さらに、自分の行動は“四つのテスト”に照らすように決められています。公式標語としては「超我の奉仕」、「最もよく奉仕する者が最も良く報いられる」で、前者が第一標語と記されています。

そこで、最近のロータリーの友の特集記事（ロータリー理解推進月間、平成18年1月号）と、これに関連したお二人の元R I会長のメッセージをいずれも一部ですがご紹介させていただきたいと思っております。

先ず、特集記事ですが、

国際ロータリーには広告予算がありませんが、その代わりに2つの大きな強みがあります。それは地球規模のネットワーク力と多種多様な目標です。ポリオ撲滅というロータリーの組織的な公約にとどまらず、ロータリアンはエイズ対策から清潔な水の供給に至るまでたくさんの問題に情熱を注いでいます。それぞれのクラブがそれぞれの活動をしています。その一つ一つがロータリーとは何か、また何をするとところなのかという認知度を高めています。ロータリーを知っていただく（ロータリー情報を得る）ための方法として、1）新会員には例会に出席すること、『友』を読むこと。2）数年たった会員には地区大会、国際大会へ出席すること。3）会長・幹事には『ガバナー月信』を読むことを勧めています。

次に、元R I会長のメッセージの紹介ですが、

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー 2005-2006 R I会長のメッセージ「ロータリーを知る」より：
会員自らが「ロータリーは平和と、人々の間のより良い理解のために働く組織である」というロータリーの目標をよく認識していることが肝要です。また、当該年度の強調事項を知ること、また私たちが活動する上で、168の国と120万人のロータリアンがいることを、私たちのすべてが認識することも大切です。ロータリーを理解するためには、私たちの組織以外の人々との情報を共有する必要があります。ロータリーは素晴らしいネットワークを持っている指導者たちのグループです。超我の奉仕を通し、世界に国際ロータリーの素晴らしい指導体制を示すことによって、私たちは内外共にロータリーへの理解を高めることが出来るのです。

ジョナサンB.マジアベ 2003-2004 R I会長のメッセージ「ロータリーを学びましょう」より：
ロータリーを学ぶために費やされた時間は、未来への投資です。ロータリーに精通している会員は、その知識で他のロータリアンを啓発し会員になることの意味を伝えることが出来ます。ロータリーについての理解はその歴史だけにとどまることなく、私たち未来についても同様のことが言えます。ロータリーの歴史は深遠で、大きく成長をとげました。120万人のロータリアンは奉仕の精神にあふれた同僚とのネットワークを活用することができます。また、親睦や倫理的行動を促し、世界の平和と理解を進め、人道的奉仕を提供する、練り上げられたプログラムに取り組むことができます。

以上をご紹介させていただいて、ロータリーにより一層のご理解をいただきますと共に、国際ロータリー第2660地区の発展にご支援を賜りますようお願いいたします。

「Lead The Way：率先しよう」です。

本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。



ロータリー理解推進月間にあたって



パスト・ガバナー 戸田 孝 (八尾RC)

新しい年を迎え、ロータリアン皆さまのご健勝とご活躍をお祈りいたします。1月はロータリー理解推進月間です。ウィリアム B.ボイドRI会長は、テーマとして“LEAD THE WAY”(率先しよう)を掲げられました。ロータリーは100年にわたり繁栄してきたのは、親睦、友情、世の中のお役に立つことを実行し、誠実、寛容の精神、他人を尊重する原則を守ってきたからです。これからもロータリーは社会のニーズに対応できる力量が存在する限り進展し続けるのです。多様性こそが私たちの強みです。立ち向かうべき課題は常に存在し、個々のロータリアンの力を必要としています。私たちの組織がもつ多様性こそが強みの源です。より良いロータリー、より良い地域社会を築くため「率先しよう (Lead The Way)」です。他人に対する関心、寛容の精神などはロータリーの永遠の価値であり、この心が着実にロータリーを発展させるのです。私たちは偉大な先人の築いたロータリーを変質させることなく伝えなければなりません。常に口にしている奉仕の理想は「人の身になって考え、人のお役に立とうとする心」で古来より人間社会に存在する最高の倫理観であり、ロータリーの綱領の本文に「有益な事業の基礎に奉仕の理想をしっかりと定着させ、力強く育てあげること」は事業の正しい繁栄の基本なのです。決議23-34の第1に、「ロータリーは、利己と利他の調和を目的とする人生哲学である」は、人間の志すべき道を示しています。「ロータリーは何をしてくれたか」の間に「もし、ロータリーのお陰で、人生とか人間に対して温かい見方をすることができるようになったとしたら、そしてもしも全てに対して広い心を持ち、他人の長所を認め、人生の喜びと美しさを自分にも他人にも施す人と付き合うことができるならば、ロータリーに期待している全てを我々に与えてくれた事になる。」ロータリーの素晴らしさを知るには、ロータリーを理解することである。

追悼記念週間によせて



パスト・ガバナー 菅生 浩三 (大阪北RC)

毎年1月27日（ロータリーの創始者ポール P. ハリスが逝去された日）を含む1週間が、「追悼記念週間」であります。

トルコのコナックRCの提案に基づき、1988年10月のRI理事会は、各RCが物故会員の冥福を祈り、生前のロータリーに対する貢献を記念する公式の週間として、この1週間を「追悼記念週間」“Rotary Commemoration Week”に指定しました。

各RCが、この週間を迎えることによって、会員が自分のクラブの物故会員のありし日を想起し、その活動や貢献について認識を深め、クラブの充実や発展の資とするよう努めることは、大変意義深いことでもあります。

もちろん、ロータリーに人間愛を血肉として生命を与えたポール P. ハリス、その人間愛をサービスの理念という基本原理のソフトに構築したアーサー・シェルドン、ロータリーに確固とした組織と運営の基礎のハードを与えたチェスリー・ペリー、ロータリーの活動にロータリー財団という強力な財政の基盤を用意したアーチ・クランフなど、ロータリーの今日を築き上げた偉大な先輩ロータリアンを追悼してその実績を記念することは、極めて有意義であります。

しかしながら、ロータリーの核心は、各RCにあります。その各RCの物故された先輩会員には、色々な方がおられたことでしょう。人様のことをしっかりと考えていた方、仕事を立派に遂行された方、地域や他国の人々のために素晴らしい活動の成果を残された方、管理面で活躍された方、指導力を発揮された方、理論に強かった方、実行力に優れていた方、情操の深かった方、着想のすばらしかった方、趣味に恵まれていた方、面倒見のよかった方、弁舌の立った方、お付き合いが豊かであった方、物静かに周囲を見つめておられた方など、多くの個性豊かな立派な方がおられたことと思います。

これらの方々は、各RCの宝であり、含み資産であります。現役の会員が、そのような物故された先輩を思い出し、その事蹟の反芻に努めることは、知らず知らずのうちに、クラブの人間関係や活動に深みと広がりを与えることとなりましょう。このような意味で、どうか各RCにおかれましては、この週間を迎え、クラブの物故会員を想起してその冥福を祈り、ありし日の実績を記念することに努めていただきたいと存じます。

国際ロータリー第2660地区 2009～2010年度 地区ガバナー・ノミニー候補の推薦

地区ガバナー指名委員会の規約に基づき、2006年11月1日に開催した当指名委員会において慎重審議の結果、大阪西南ロータリークラブ会員、大谷 透君を2009～2010年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定致しました。

ガバナー月信10月号において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をお願いしましたが、期日までに規約に該当するお申し出がありませんでしたので、国際ロータリー細則第13条に基づき、当指名委員会により選出された同君を上記年度のガバナー・ノミニーとして推薦致します。

2006年11月16日

2006～2007年度
地区ガバナー指名委員会

国際ロータリー第2660地区 2009～2010年度 ガバナー・ノミニーの宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、大阪西南ロータリークラブ会員、大谷 透君を2009～2010年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニーとして宣言します。

2007年1月10日

国際ロータリー第2660地区
2006～2007年度
ガバナー 岩田 宙造

大谷 透（おおたに とおる）君の略歴



- 生年月日 1935年7月7日
- 勤務先 大谷 透 内科
- 所在地 〒537-0025 大阪市東成区中道1-4-2-205
- 経歴
 - 1965年 大阪大学大学院 (腫瘍生化学) 終了、医学博士
 - 1965年 米国テキサス・ベイラー大学研究員

- 1988～1989年度 職業奉仕委員長
- 1991～1992年度 世界社会奉仕委員長
- 1996～1997年度 国際奉仕委員長
- 1998～1999年度 米山奨学委員長
- 1999～2000年度 規定委員長
- 2001～2002年度 副会長・クラブ奉仕委員長
- 2003～2004年度 会長
- 2004～2005年度 世界社会奉仕委員長
- 2005～2006年度 国際奉仕委員長
- 2006～2007年度 米山奨学委員長

- 1968年 大阪府立成人病センター消化器内科医員
- 1987年 同 消化器集団検診科部長
- 1993年 同 消化器内科部長
- 1997年 同 附属高等看護学院長兼務
- 2004年 大谷透内科開設 現在に至る

- R I 第2660地区
 - 1997～2002年度 財団法人道的援助委員会委員長
 - 1998～2002年度 ロータリー財団委員会委員
 - 2002～2004年度 財団法人道的補助金委員会委員
 - 2005～2007年度 国際大会記念事業委員会委員

●職業分類 医師

●その他 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
米山功労者(マルチプル)

- ロータリー歴
 - 1977年2月16日 大阪西南RC入会
 - 1980～1981年度 雑誌委員長

以上

地区委員会に関するRI第2660地区の新方針

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 岩田 宙造

1. 地区委員会に関する新方針制定の目的

現在、当地区には地区委員選出方法・任期・選考基準等に関して成文化された明確な規定がありません。そこで2006-2007年度においては、地区委員非選出クラブが28クラブに達しているため、地区委員不在のクラブでは地区活動の動向が適切に伝わりにくいという問題があります。今後は各クラブから少なくとも一名の地区委員を選出し、地区委員には各クラブと地区とのパイプ役としての役割も果たしていただき、両者間の連携をより緊密化して行く必要があります。

また、地区リーダーシップ・プランの目的の一つに地区レベルで活躍できる「人材の養成」という点がありますが、当地区では地区委員の任期が一部で長期化し、委員のローテーションがスムーズに進まないため、地区各委員会・委員のリフレッシュ化と、新たな人材の発掘・登用が望まれております。

当地区の将来のリーダーとなる人材を、計画的に発掘・育成していくためには、各クラブから有望な中堅・若手の会員を幅広く地区委員に選出し、地区委員会活動を通じて長期的に人材の養成に努めて行かなければなりません。当地区の将来的なロータリー活動の充実、発展のためには先ず有望な人材の確保が先決です。

各クラブから推薦された地区委員は、3-5年間の地区活動を通じてロータリー活動に一段と磨きがかかり、将来の地区リーダーの予備軍、即ち、人材バンクが整備されることとなります。ガバナー補佐やその他の地区委員の選出にあたっては、その人材バンクから適任者を選出することも出来ます。

2. 地区委員の任期

- ① 委員長を含む地区委員の任期は、RIのDLPに関する規定では3年間となっておりますが、当地区においては、地区委員を経て、副委員長或いは委員長へ就任の場合は、1年間の任期延長を、副委員長を経て委員長へ就任の場合は、更に1年間、任期延長が出来ることにします。
- ② 同一地区委員会における地区委員の任期は、委員・副委員長・委員長、通算で最長5年間とし、各委員会で毎年地区委員のローテーションを計画的に実施することにします。
- ③ ロータリー財団の規定による地区ロータリー財団委員長職は3年間とします。
- ④ 各地区委員会の次年度地区委員長・副委員長の選考は、地区ガバナー、ガバナー・エレクト及び当年度地区委員長が協議の上、ガバナー・エレクトが任命します。

3. 地区委員の公募数

地区委員の総数は各年度のガバナー・エレクトが地区活動の状況に応じて定めます。
2007-2008年度の総数は126名とし、各クラブから次の目標数で選出します。

86クラブから各クラブ1名 = 86名

会員100名以上の4クラブ：+3名 = 12名

会員70名以上、100名未満の6クラブ：+2名 = 12名

会員50名以上、70名未満の16クラブ：+1名 = 16名

合計：126名

4. 各クラブにおける地区委員候補者選考方法

- ①地区ガバナーは各クラブ会長に対し地区委員候補者の推薦をそれぞれの年度の必要数に応じて毎年10月までに要請します。
- ②各クラブ会長は地区委員候補者をクラブ理事会に諮り地区ガバナーに推薦します。
- ③各クラブ会長は地区委員推薦の際に候補者のクラブ及び地区での活動歴、配属希望委員会、その他の必要事項を「地区委員候補者推薦状」に記入し、地区ガバナーに提出します。
- ④地区委員候補者の選出条件
 - *クラブの瑕疵なき会員で3年以上の在籍者
 - *委嘱された地区委員の職務を、熱意をもって遂行する意思と能力を有する者
 - *将来の地区指導者として有望な者
- ⑤各クラブから推薦された地区委員候補者の各委員会への配属先は地区ガバナー及びガバナー・エレクトが地区委員会各委員長と協議の上で決定します。

5. 地区委員会の指導と管理

当地区のCLP/DLPの運営をより効果的なものにするため、地区委員会活動に対して適切な指導を行い、各部門の管理業務を担当するアドバイザーを設置します。
地区ガバナーはガバナー・エレクトと協議の上、下記の部門を担当するアドバイザーとして、元ガバナー及び元ガバナー補佐の中から適任者を選出し、各年度それぞれ任命します。
各部門担当のアドバイザーは地区委員会とガバナー補佐が緊密に連携して各クラブを適切に指導できるように両者間のコーディネーターとしての役割も担っていただきます。

各部門担当アドバイザー：

- ①会員増強・維持・クラブ拡大
- ②広報・情報
- ③奉仕プロジェクト：職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕 各部門
- ④ロータリー財団
- ⑤米山奨学
- ⑥地区管理：地区委員及びガバナー補佐選考、研修

6. 地区委員会に関する新方針の実施期間

2006-2007年度に決定し、運用は2007-2008年度開始とします。

以上

地区委員候補者推薦状

年 月 日

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 岩田宙造 殿

ロータリークラブ

会長 _____

当クラブの下記会員を地区委員候補者として推薦いたします。

会員氏名：（ふりがな）	生年月日：
住所：	電話/Fax：
勤務先名：	所在地：
勤務先電話/Fax：	E-Mail：
入会年月日：	職業分類：
活動経歴：	
推薦理由：	
被推薦者が配属を希望する地区委員会：①	
②	③
堪能な外国語：	

備考:地区委員の配属先は各委員会・委員の構成状況によりますので希望委員会に委嘱されない場合があります。

2006～2007年度 クラブ国際奉仕委員長会議報告

地区国際奉仕委員会 委員長 **盛田 三五** (大阪東RC)

日時：2006年10月13日(金)15:00～16:30 ガバナー事務所会議室

2006年10月20日(金)15:00～16:30 ガバナー事務所会議室

出席者：若林紀男PG、山本博史地区代表幹事、城戸高史地区幹事、盛田三五地区国際奉仕委員長、
島井宏子地区国際奉仕副委員長、佐野吉彦委員、乗光孝明委員、
藤村達夫委員、他地区内クラブ国際奉仕委員長(代理を含む) 合計70名

本年度は、従来の地区委員会からの事例報告等の One Wayの会議ではなく、各クラブの委員長に国際奉仕委員会活動に於ける問題点等を議論して頂き、空洞化の懸念のある委員会活動を活性化する目的で慣例とは異なる形式により開催致しました。

若林 PGより CLP、DLP、地区組織の簡素化、RIにおける最新の情報についてのお話を頂きました。引き続き委員長より委員長会議開催の主旨説明がありました。その要旨は、地区内において約70%のクラブでは世界社会奉仕、青少年交換等の本来国際奉仕委員会に属していた委員会活動が独立した委員会構成となり、国際奉仕委員会としての主たる活動は海外提携クラブとの友好促進と国際会議への参加推奨、WCS委員会等に対するオブザーバー的な関与とくらいになってしまい、四大奉仕委員会の一隅を担う委員会として新たな委員会活動を検討すべき必要があるのではないかと云う観点で主旨説明がありました。

引き続き全員参加の Buzz Sessionに入り、委員会に先立ち回収したアンケートを基に議論を展開しました。議論の主たるテーマは WCSに関する事に集中し、国際親善、海外提携クラブとの友好促進に関しては残念ながら低調でした。

地区委員会より、新たな委員会活動のひとつとして RIが発信するロータリー関係の情報を地区ホームページ及び RIの Web Siteより入手し、その情報を必要に応じて他の国際関係の委員会に提供したり又はクラブ全体に情報提供をする等の活動が提案されました。具体的な情報入手方法及び情報実例をパワーポイントを使用してデモンストレーションを行いました。特に WCSのデータベース、R財団に対する個人別の寄付情報、海外提携クラブを探したり、海外での Make Upを易くさせる全世界のRCの例会場所在地一覧表、話題の E Clubへのアクセス及び Make Up の方法等を説明しました。



2006～2007年度 クラブロータリー財団委員長会議報告

地区財団情報・増進委員会 委員長 井川 孝三 (八尾RC)

日時：2006年10月21日(土) 13:00～16:30

場所：OMMビル 2F会議室

岩田G、新谷GE、横山GNはじめ各組ガバナー補佐、地区財団各委員長、地区委員、各クラブ財団委員長の出席を得て2006～2007年度 クラブロータリー財団委員長会議を開催しました。

岩田Gより、ロータリー財団は1917年アーチC.クランプ氏(1916～1917年RI会長)の提案で始まったこと、今日までの財団の歩み、使命について話されました。また、奉仕活動と資金調達は車の両輪の関係であることを強調され、「財団に対してのご理解とご支援をお願い致します。」と挨拶されました。

〈委員長会議趣旨説明〉 ロータリー財団委員会 佐藤委員長
「本日の会議は、クラブ財団委員長が主役です。11月のロータリー財団月間では、皆様方がどのように取り組むべきか、寄付金をどのようにして集めるかなどのアイデア等についてディスカッションして下さい。」と、ミーティングの趣旨説明をされました。また、ロータリークレジットカードの入会案内をしました。

〈寄付金について〉 財団情報・増進委員会 委員長
11月の財団月間では、年次寄付についての話を中心になると思いますが、恒久基金(ベネファクター)、大口寄付についてもよろしくお願い致します。

〈補助金説明〉 財団人道的補助金委員会 福家委員長
現況報告の後、補助金は地区補助金とMGが皆さんにとって関係が深いプログラムです。今年度の地区補助金申請件数が少ないので、まだ申請されていないクラブの皆様には、是非地区補助金の活用を検討してくださいますようお願い致します。

〈地区ホームページの紹介〉 第2660地区 木村地区幹事
映像を使って地区ホームページの紹介をしました。「本年度、財団部門ホームページの内容が、特に充実しておりますので、活用して下さい。」と説明されました。

- 〈ミーティングの発表要旨〉**
- ・ 補助金の申請手続きが難しいので簡単にならないか？
 - ・ 財団の活動が理解しにくい。
 - ・ 補助金申請については理事会レベルで動かないと難しい。
 - ・ 元国際親善奨学生に卓話を依頼する。
 - ・ 財団の今日までの活動を理解してもらうためにビデオを見てもらう。
 - ・ 年次寄付を米ドルでなく日本円で目標額を設定したほうが集めやすい。



- 〈年次寄付〉**
- ・ 全員同額で集めています。
 - ・ 年会費と一緒に集めています。
 - ・ ニコニコと同様に集めています。

〈閉会の挨拶〉
「本日は、財団について勉強をしていただきましたが、これらを参考にさせていただいて、財団月間での活動をよろしくお願い致します。」と挨拶があり、閉会いたしました。



2006～2007年度 クラブ情報・広報委員長会議報告

地区情報・広報委員会委員長 左藤 孜(大阪南RC)

日時:2006年11月11日(土)10:00～12:00

場所:薬業年金会館 601号室

2006年11月11日(土)、薬業年金会館に於いて岩田宙造G、新谷秀一GEをはじめ、各クラブの委員など70名の出席のもと委員長会議を開催しました。

会議は西村副委員長の司会で進められ、岩田Gの挨拶に続いて委員長が今期の委員会の活動方針を報告しました。この中で“RC”をより活性化するためには情報を共有すると共に、IT化時代にふさわしいネットワーク作りにつとめ、クラブ間の交流をより活発にしたいと提案しました。また外向きのPRにも力を入れマスコミ等の協力を得られるよう努めたいと報告しました。

こうした方針のもとで引続き、IT化に精通した木村地区情報・広報委員がプロジェクターを使って、ホームページ等の作成について詳しく説明すると共に、先に各クラブに協力を求めたITアンケートの結果について報告しました。

続いて講師として招いた桑野時事通信社元大阪支社長が「地方自活と広報」と題して講演しました。この中で桑野氏は「マスコミに情報を提供して報道してもらおうというパブリシティ活動が企業も自治体も盛んです。特にマスコミの性格を知って広報することが大切です。」とマスコミOBの立場から報道のあり方について話されました。

最後に新谷GEが会議を総括し、情報広報の必要性を強調して閉会しました。

当日下記の資料を配付しました。

- ・Eメール並びにインターネット環境に関する調査結果
- ・マスコミ各社の一覧表



大阪府薬物乱用防止功労者知事感謝状贈呈式報告

地区社会奉仕委員会 委員長 江上 清夫（豊中千里RC）

日 時：2006年11月22日（水）11：00～11：30

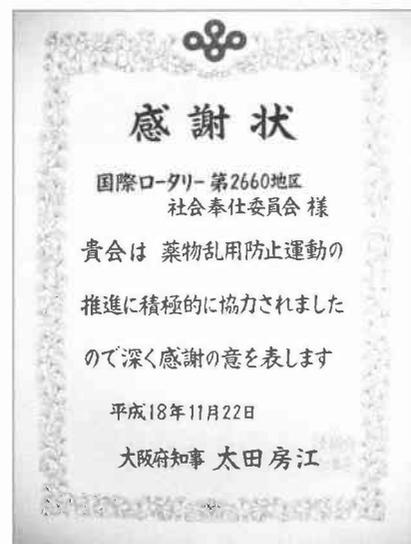
場 所：大阪府庁 知事公館

2006年11月22日（水）大阪府庁知事公館において、大阪府が提唱している「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止運動に当第2660地区が協力・推進してきたことに対して、大阪府薬物乱用防止功労者知事感謝状が授与されました。

大阪府高杉豊副知事は、現在深刻な問題となっている薬物使用の実態とその現状、並びに低年齢化する薬物使用の問題の危機感を訴えておられ、ロータリークラブとして何が出来るのか真剣に取り組んで行かなければならないことを痛切に感じた次第であります。

また、本年度は同時に大阪そねぎきRCと大阪城北RCに対し、「大阪府知事感謝状」が授与されました。

なお、地区社会奉仕委員会樋上幸夫前年度委員長には薬物乱用防止運動に積極的な取り組みをされたことに対し、個人として「大阪府知事感謝状」が授与されました。



大阪梅田東ロータリークラブ

会長 木野 廣一

この11月13日、我が大阪梅田東RCの副会長兼会長エレクトであり、又地区のガバナー補佐を務めておられた鍛冶さんが急逝されました。

鍛冶さんは9月中旬体調を崩され、当初肺炎の疑いという事で京都市民病院に検査入院されました。そこは鍛冶さんのお嬢さんのご主人が医師で勤務しておられ、安心して任せられるという事で決められたのです。

しかし検査の結果がなかなか出ず私共も心配していたのですが、最初にお見舞に伺った頃には「早く退院してガバナー補佐訪問のスケジュールをこなさなければ」と気にして、元気に話しておられました。

入院が長引いてどうも肺炎ではなく肺ガンの疑いがあると云う事で、驚いて病院へ伺ったのですが、院内の散髪屋へ行っておられたりして意外にお元気で、私の帰りを引止めて話をしたがっておられる程でした。

しかしガバナー補佐訪問の予定先にご迷惑を掛け、又当大阪梅田東RCの会長エレクトの方も、次年度役員理事の決定もずれ込んでしまっているのです、鍛冶さんに話をして急拠ガバナー補佐の代りを決め、又会長エレクトの方も早急に選考をする事になりました。

その後、別の環境設備の良い病院に移る様に申込をしているというお話を奥様から伺って、この際ゆっくりと療養された方がいいですねと申し上げておりました。ところが急に病状が革まり直前に駆けつける閑もなく急逝されたのです。

鍛冶さんは2001～2002年度の当クラブの会長を務められ、本年度も副会長兼会長エレクトとして、再度の会長就任の予定でした。

更に又第2660地区のガバナー補佐として我クラブから出て頂き、熱心に活動に当っておられました。

クラブ訪問をむしろ楽しみにしておられて、「各クラブによって色々特色があって参考になりますよ」とおっしゃって、「訪問先のクラブに他クラブの参考事例等お話してお役に立ちたい。岩田ガバナーがおっしゃっている様に先づ個々のクラブそして委員会活動が基本であって、自分はその活性化の為の縁の下の力持ちの仕事をしたい」と常々云っておられました。

鍛冶 正行君の経歴

- 生年月日 1930年12月5日
- 職業 (株)神尾洋行 社長
- ロータリー歴
1989年
大阪梅田東RC入会
1997～1998年度
職業奉仕委員長
2001～2002年度
会長
2006～2007年度
副会長
2006～2007年度
第2660地区ガバナー補佐
- ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



鍛治さんとしても昨年会社のオ一線を退かれ、「今年はロータリー活動に専念したい。岩田ガバナーを支えて文字通りガバナー補佐としてしっかり頑張りたい」と意欲を燃やしておられたのに、大変ご無念な事と存じます。

鍛治さんは中国天津の生れで、ご父君が貿易をやっておられた縁で戦後神戸に引揚げてこられました。その後大阪大学に進まれ昭和29年法学部をご卒業、丸物百貨店を経て伊藤忠商事に入り枢要な仕事を担当して、広く流通業界の再編にも係わってご活躍になりました。

その後はミラ・ショーンの副社長としてファッション業界で名を馳せられ、流通・ファッション業界でその顔の広さは大変有名でした。

大陸風の鷹揚でとぼけた風貌、言動で人づき合いが良く、色んなグループのまとめ役、世話役として活動され“紹介屋鍛治”の異名がありました。

私自身も鍛治さんとはずっと永いおつき合いで、大変親しくして頂き何でも相談し合う仲でした。同年配でもあり余計に悲しく淋しい気持で一杯です。

鍛治さんのご冥福をお祈りし、我第2660地区の発展をお誓いして弔辞と致します。

新ガバナー補佐の紹介 (敬称略)

IM第5組 ^{イチカフ}市川 ^{ヒロキ}寛城 (大阪梅田東RC)

鍛治正行ガバナー補佐のご入院・ご逝去に伴い、急遽クラブの推薦を受け、ガバナーより11月1日付でガバナー補佐を委嘱されました。訪問等についてご迷惑をおかけしている点もある事と思いますが、前任者の意志に沿うよう地区との潤滑油の役割を果す所在です。何卒微力ではございますが、第5組の各クラブの皆様方のご教導を頂き努力いたす決意です。どうかよろしくお願い申し上げます。

IM第5組	
氏名	市川寛城(大阪梅田東RC)
生年月日	1936年1月19日
職業	トーシンファシリティーズ株式会社 代表取締役
ロータリー歴	1988年大阪梅田東RC入会
	1994~1995年度 幹事
	1997~1998年度 副会長
	2000~2001年度 会長
	ポール・ハリス・フェロー
	米山功労者
	ベネファクター



地区米山奨学委員会より

2006年10月末 全国寄付金合計額
 〃 第2660地区寄付金合計額

550,266,412円 (前年度比6.33%増)
 30,805,775円 (前年度比2.15%増)

2006年10月末 全国寄付合計トップ10

1. 第2770地区	40,908,730円	6. 第2660地区	30,805,775円
2. 第2650地区	38,896,217円	7. 第2580地区	27,942,194円
3. 第2750地区	33,787,370円	8. 第2640地区	19,707,971円
4. 第2760地区	31,886,550円	9. 第2620地区	18,240,250円
5. 第2590地区	31,640,040円	10. 第2610地区	18,183,500円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2006年10月)

氏名	回数(回目)	クラブ名	氏名	回数(回目)	クラブ名
福岡康民	2	東大阪中央 RC	木本武雄	3	大阪北 RC
横啓一	3	東大阪中央 RC	森輝彦	3	大阪北 RC
中村興志夫	3	東大阪中央 RC	中村順一	1	大阪北 RC
吉江純	5	東大阪西 RC	長田英機	1	大阪北 RC
笠原隆之助	1	茨木 RC	大澤壽文	1	大阪北 RC
中西勝	2	茨木 RC	緒方満	2	大阪北 RC
大森慈祥	5	茨木 RC	清水英明	2	大阪北 RC
堀裕	1	茨木東 RC	杉原俊一	1	大阪北 RC
夜久正治	1	茨木東 RC	田中真人	1	大阪北 RC
池田吉清	1	池田くれば RC	上高一泰	1	大阪北 RC
檀信義	4	池田くれば RC	山本賢三	2	大阪北 RC
飯島照輝	1	寝屋川 RC	八木一雄	2	大阪北 RC
上村章	1	寝屋川 RC	安部潤一	2	大阪御堂筋 RC
羽間平安	6	大阪 RC	荒川雅行	2	大阪御堂筋 RC
羽鳥敬彦	1	大阪 RC	川崎二郎	2	大阪御堂筋 RC
眞鍋禮三	4	大阪 RC	木戸敏	1	大阪御堂筋 RC
藤村達夫	1	大阪東 RC	近藤貞彦	2	大阪御堂筋 RC
入船禎三	1	大阪東 RC	宮岸隆	2	大阪御堂筋 RC
和泉豊	1	大阪東 RC	箕手孝次郎	4	大阪御堂筋 RC
片山勉	4	大阪東 RC	森田和明	2	大阪御堂筋 RC
湖崎克	1	大阪東 RC	小倉康秀	1	大阪御堂筋 RC
倉田裕司	4	大阪東 RC	重田秀義	2	大阪御堂筋 RC
三原敏彰	1	大阪東 RC	谷本隆広	2	大阪御堂筋 RC
中島博司	4	大阪東 RC	山田耕司	2	大阪御堂筋 RC
丹羽一郎	2	大阪東 RC	佐戸信男	2	大阪西 RC
野村良男	1	大阪東 RC	清水美博	1	大阪西 RC
佐藤勉	1	大阪東 RC	上田茂久	1	大阪西 RC
瀬戸孝太郎	1	大阪東 RC	吉村健	1	大阪西 RC
塩谷真治	4	大阪東 RC	中山正隆	1	大阪リバーサイド RC
田中経久	2	大阪東 RC	有村善雄	2	大阪船場 RC
土井孝夫	3	大阪東 RC	平山明彦	2	大阪船場 RC
山本嘉一	1	大阪東 RC	カンタートレドメニコ	2	大阪船場 RC
平井敬子	1	大阪平野 RC	岡田富二	2	大阪船場 RC
喜多敏明	2	大阪平野 RC	甚田隆康	2	大阪船場 RC
小島美恵子	1	大阪平野 RC	谷口隆義	2	大阪船場 RC
島田喜代司	11	大阪平野 RC	富本亨	2	大阪船場 RC
杉本浩一	3	大阪平野 RC	廣田敦善	4	大阪城北 RC
谷村満智子	1	大阪平野 RC	太田修	1	大阪城北 RC
井土賢一	2	大阪城東 RC	上堀博三	8	大阪城北 RC
岸本和久	2	大阪城東 RC	井伊圭一郎	2	吹田西 RC
黒松克行	3	大阪城東 RC	石崎克弘	3	吹田西 RC
大道一弘	2	大阪城東 RC	水間正一	2	吹田西 RC
佐藤伸夫	1	大阪城東 RC	宮川藤一郎	5	吹田西 RC
佐々木多喜子	3	大阪城東 RC	永田昌範	3	吹田西 RC
世良醸治	1	大阪城東 RC	大藤辰弘	1	吹田西 RC
杉野政史	2	大阪城東 RC	岡信行	2	吹田西 RC
古市実	4	大阪北 RC	渋谷清明	1	吹田西 RC
橋本崇志	1	大阪北 RC	鈴木基弘	6	吹田西 RC
廣田元孝	2	大阪北 RC	瀧川紀征	6	吹田西 RC
井上亮一	3	大阪北 RC	勝健一	2	高槻 RC
加納繁照	2	大阪北 RC	津久田康成	2	高槻 RC
片瀬貴文	3	大阪北 RC			

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2006年10月)

クラブ名	回数(回目)	クラブ名	回数(回目)
大阪東 RC	66	大阪平野 RC	22
大阪城東 RC	37	大阪北 RC	61
大阪御堂筋 RC	13	大阪淀川 RC	27

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2006)

川又	章藏	東大	大阪	東	RC	10/13
辰己	裕胤	東大	大阪	東	RC	10/13
朝田	正	東大	大阪	東	RC	10/31
山元	英樹	門		真	RC	10/20
三谷	武久	門		真	RC	10/20
平橋	久光	門		真	RC	10/20
河瀬	久隆	門		真	RC	10/20
村上	幸史	大	阪	東	南	RC
小田	泰清	大	阪	東	南	RC
山田	政立	大	阪	心	齋橋	RC
岡田	精三	大	阪	心	齋橋	RC
大藤	信行	吹	田	西	RC	04/12/21
阪口	辰弘	吹	田	西	RC	10/31
	道倫	吹	田	西	RC	10/31

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2006)

吉江	純	1回目	東大	大阪	西	RC	10/27
溝畑	正信	4回目	東大	大阪	東	RC	10/13
越智	幸雄	3回目	枚		方	RC	10/31
か外	レトコ	3回目	大	阪	船	場	RC
平山	明彦	2回目	大	阪	船	場	RC
井澤	武尚	2回目	大	阪	船	場	RC
甚田	隆康	3回目	大	阪	船	場	RC
北野	克巳	2回目	大	阪	船	場	RC
侯野	富美	2回目	大	阪	船	場	RC
松谷	廣信	1回目	大	阪	船	場	RC
西村	文延	1回目	大	阪	船	場	RC
岡田	富二	2回目	大	阪	船	場	RC
斧原	秀夫	2回目	大	阪	船	場	RC
齊藤	憲司	2回目	大	阪	船	場	RC
齊藤	満久	3回目	大	阪	船	場	RC
澤田	宗	3回目	大	阪	船	場	RC
武田	實	2回目	大	阪	船	場	RC
谷口	隆義	2回目	大	阪	船	場	RC
富本	亨	2回目	大	阪	船	場	RC
山本	雅之	2回目	大	阪	船	場	RC
林	銑吉	2回目	大	阪	東	南	RC
伊藤	武定	1回目	大	阪	東	南	RC
木村	行雄	2回目	大	阪	東	南	RC
北田	耕一	1回目	大	阪	東	南	RC
前田	義雄	1回目	大	阪	東	南	RC
松本	豊	2回目	大	阪	東	南	RC
中造	和夫	1回目	大	阪	東	南	RC
野崎	瞭一	2回目	大	阪	東	南	RC
下宮	義弘	1回目	大	阪	東	南	RC
田中	敬一	4回目	大	阪	東	南	RC
前田	敏弘	2回目	大	阪	東	南	RC
秀島	博規	1回目	大	阪	鶴	見	RC
西村	貞一	2回目	大	阪	東	RC	
小野	佳彦	1回目	大	阪	難	波	RC
清水	英文	1回目	大	阪	リ	パー	サイド
水邊	康徳	1回目	大	阪	心	齋橋	RC
芦木	務孝	1回目	大	阪	心	齋橋	RC
岩田	喜義	1回目	高	槻	東	RC	
村上	元昭	1回目	高	槻	東	RC	

ロータリー財団

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2006)

松井	研次	大	阪	東	南	RC	10/6
森	泰輔	大	阪	心	齋橋	RC	10/27
田村	成明	四	条	駿	RC	10/27	
齊藤	昇男	高	槻	東	RC	10/31	

2006年11月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月初会	11月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I M組	クラブ名	7月初会	11月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
			全員	女性										全員	女性						
I M第1組	池田	41	41	2	0	0	0	5	77.71	65.66	I M第5組	大阪北	150	152	0	4	2	2	5	81.70	62.40
	池田くれは	45	47	2	2	0	2	4	82.63	70.83		大阪北梅田	43	45	2	2	0	2	4	85.80	69.89
	箕面	33	33	0	0	0	0	4	89.00	80.00		大阪西	87	93	0	7	1	6	4	86.89	72.65
	箕面中央	32	32	0	1	1	0	3	77.10	71.90		大阪大淀	47	49	0	2	0	2	4	78.75	66.25
	豊中	44	47	2	3	0	3	4	92.95	85.26		大阪リバーサイド	32	33	3	1	0	1	3	87.36	67.82
	豊中南	36	37	1	1	0	1	4	85.59	78.02		大阪西北	63	64	0	1	0	1	4	94.01	76.62
	豊中-大阪国際空港	24	24	0	0	0	0	2	73.92	60.87		大阪そねざき	59	60	34	2	1	1	5	91.72	68.62
	豊中千里	38	41	4	3	0	3	4	87.50	83.10		大阪梅田	48	51	0	3	0	3	4	91.88	79.38
	小計	293	302	11	10	1	9		83.30	74.46		大阪梅田東	36	36	0	1	1	0	2	86.29	79.42
I M第2組	茨木	28	28	3	1	1	0	4	91.61	70.24	燻エバーカレッジ	25	24	5	0	1	-1	3	93.65	79.37	
	茨木東	47	47	3	1	1	0	4	85.26	64.72	小計	708	727	50	27	8	19		87.57	71.67	
	茨木西	33	33	5	1	1	0	4	88.02	75.76	大阪	260	268	0	14	6	8	3	75.63	53.63	
	千里	49	50	0	1	0	1	4	85.72	70.54	大阪東	117	120	0	4	1	3	4	96.98	66.99	
	千里メイプル	24	25	2	1	0	1	4	86.00	78.00	大阪東淀	41	44	8	4	1	3	4	78.40	71.02	
	摂津	35	35	0	0	0	0	2	95.16	74.19	大阪城	13	12	0	0	1	-1	5	73.85	63.97	
	吹田	70	68	5	0	2	-2	4	99.50	89.52	大阪城東	44	46	4	2	0	2	2	81.42	71.73	
	吹田江坂	43	43	3	1	1	0	3	92.16	84.31	大阪中之島	31	36	0	5	0	5	4	92.64	80.88	
	吹田西	50	51	0	2	1	1	4	100.00	92.07	大阪大手前	51	50	0	1	2	-1	3	91.05	77.24	
I M第3組	高槻	48	52	3	5	1	4	5	81.60	73.60	大阪城北	61	64	1	3	0	3	4	70.20	68.90	
	高槻東	44	45	0	1	0	1	3	94.47	90.00	大阪天満橋	81	81	0	2	2	0	4	78.60	70.56	
	高槻西	31	31	0	0	0	0	4	85.50	81.50	大阪鶴見	42	43	1	1	0	1	4	88.29	81.25	
	小計	502	508	24	14	8	6		90.42	78.70	大阪淀川	30	31	1	1	0	1	3	100.00	62.90	
	大東	53	53	0	1	1	0	4	95.27	77.70	新大阪	29	43	0	14	0	14	3	84.49	84.49	
	大東中央	29	30	9	1	0	1	5	80.00	70.00	小計	800	838	15	51	13	38		84.30	71.13	
	枚方	44	44	0	2	2	0	4	93.00	87.90	大阪フレンド	20	22	7	2	0	2	5	72.00	65.00	
	門真	32	32	2	1	1	0	4	91.67	76.52	大阪本町	32	32	2	3	3	0	4	80.54	60.13	
	交野	32	33	1	1	0	1	4	85.61	79.55	大阪御堂筋	36	37	0	2	1	1	3	94.34	76.48	
I M第4組	香里園	25	27	0	2	0	2	5	93.91	73.91	大阪南	131	134	0	9	6	3	4	84.04	65.01	
	くさは	52	54	0	2	0	2	5	84.26	74.04	大阪難波	48	51	0	4	1	3	4	98.75	69.61	
	守口	53	53	3	0	0	0	4	77.98	70.24	大阪なにわ	32	32	1	0	0	0	3	88.00	78.66	
	守口イブニング	25	26	5	1	0	1	4	71.16	66.34	大阪南西	28	30	5	2	0	2	5	88.00	74.61	
	寝屋川	40	40	3	0	0	0	2	90.75	74.33	大阪西南	95	95	13	0	0	0	4	100.00	76.20	
	四条畷	17	17	0	0	0	0	5	91.21	77.43	大阪船場	45	44	0	1	2	-1	4	95.00	84.00	
	小計	402	409	23	11	4	7		86.80	75.27	大阪心齋橋	43	44	0	1	0	1	3	97.06	75.49	
	東大阪	76	78	0	2	0	2	4	80.26	66.96	大阪うつぼ	45	45	7	0	0	0	4	89.85	81.25	
	東大阪中央	47	47	0	0	0	0	3	76.47	72.55	小計	555	566	35	24	13	11		89.78	73.31	
I M第5組	東大阪東	76	76	2	0	0	0	4	93.54	81.90	大阪阿倍野	26	27	4	1	0	1	4	92.00	71.00	
	東大阪みどり	32	33	2	1	0	1	4	77.27	66.67	大阪阪南	47	46	1	0	1	-1	4	92.95	74.36	
	東大阪西	52	52	0	1	1	0	4	95.24	59.53	大阪平野	37	37	6	0	0	0	4	98.44	78.91	
	大阪柏原	38	37	3	0	1	-1	4	90.00	88.33	大阪イブニング	21	22	5	1	0	1	3	80.30	75.76	
	八尾	83	87	0	4	0	4	5	95.14	72.65	大阪城南	65	64	0	0	1	-1	3	96.90	80.62	
	八尾中央	29	28	2	0	1	-1	3	82.01	73.59	大阪咲洲	21	23	1	2	0	2	5	84.54	65.46	
	八尾東	39	40	5	1	0	1	3	75.70	62.60	大阪住之江	28	27	0	0	1	-1	4	96.15	76.46	
	小計	472	478	14	9	3	6		85.07	71.64	大阪住吉	40	41	3	1	0	1	3	87.26	72.55	
	大阪ちゃやまち	18	18	0	0	0	0	4	90.28	61.11	大阪天王寺	25	23	0	0	2	-2	3	93.33	83.33	
大阪中央	61	63	5	4	2	2	4	95.08	75.69	大阪東南	54	57	0	3	0	3	4	94.74	66.67		
大阪堂島	39	39	1	0	0	0	4	75.00	72.44	小計	364	367	20	8	5	3		91.66	74.51		
合計											クラブ数	7月初会	11月末会員数	入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	平均出席率		
											86	4096	4195	192	154	55	99	87.4	73.8		

※今年度はI M組毎に分類させていただきます。

文庫通信

—231号—

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2005～2006年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	23,788	雇用保険料預り金	10,700
普通預金	2,773,411	社会保険料預り金	175,690
定期預金	10,000,000	未 払 金	1,348,095
		負債合計	1,534,485
		正味財産	
現預金合計	12,797,199	次期繰越剰余金	11,262,714
合 計	12,797,199	合 計	12,797,199

(収支計算書)

収 入		支 出	
会費収入	30,144,150	委員会費	2,290,407
雑収入	1,426,295	業 務 費	2,556,494
		賃貸管理費	10,209,722
		人 件 費	16,397,433
		予 備 費	3,771,810
当期合計	31,570,445	当期合計	35,225,866
前期繰越収支差額	14,918,135	当期収支差額	△ 3,655,421
収入合計	46,488,580	次期繰越収支差額	11,262,714

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

宮崎 啓吾 君 (大東RC)

平成18年10月6日逝去(享年80歳)

会長、幹事
クラブ奉仕委員長

米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

松崎 雄二郎 君 (大阪北RC)

平成18年12月11日逝去(享年77歳)

米山功労者
ポール・ハリス・フェロー

宮脇 敬治 君 (大阪難波RC)

平成18年12月18日逝去(享年70歳)

ロータリー情報委員長
青少年交換委員長
プログラム委員長
出席委員長

米山功労者
ポール・ハリス・フェロー



お知らせ

メールアドレス開設のお知らせ

●高槻ロータリークラブ
takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

●地区内すべてのロータリークラブに
メールアドレスが開設されました。

ロータリーレート変更のお知らせ

1ドル = 118円(11月1日より)

※RIウェブサイト上で毎月のロータリー為替レートを確認できます。

(<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html>)

また、地区ホームページにもロータリー為替レートを掲載しています。

訂正とお詫び

月信12月号で下記の通り誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

記

P10
敬弔 鍛冶正行 君 → 鍛治正行 君

P8
2006年10月度 会員数・出席報告

	誤		正	
	出席率	ホーム クラブ 出席率	出席率	ホーム クラブ 出席率
大阪平野	80.64	97.66	97.66	80.64
IM第8組 小計	90.18	80.08	91.88	78.38
合 計	87.3	74.5	87.5	74.3

月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

① 月信編集委員会

・ガバナー	岩田宙造
・地区代表幹事	山本博史
・地区副代表幹事	谷 明
・担当地区幹事	木村芳樹
・担当地区幹事	鈴木慶一
・担当地区幹事	横尾國治
・事務局長	今井貢二

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田 宙造
地区代表幹事	山本 博史
地区副代表幹事	谷 明
事務局長	今井 貢二
事務局長	川端麻起子
	栗正 久美
	春名 志保
	藤本 緑

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日
年末年始 12月29日(金)～1月4日(木)

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。
詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ



Lead The Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

Lead The Way

G GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER ガバナー月信

世界理解月間

World Understanding Month



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第2660地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

2
2007 No.8

目 次

ガバナーメッセージ 世界理解月間によせて	岩田 宙造	1
ガバナー補佐に関するRI第2660地区の新方針	岩田 宙造	2
ガバナー・エレクト研修セミナー報告	新谷 秀一	6
環境問題に関する研修会報告	宮田 明	7
2006～2007年度 I. M. 第7組報告	櫻井 勲	8
ロータリー財団地域セミナー出席報告	佐藤 俊一	9
RI第2660地区2006～2007年度地区大会報告	平岡 英信	10
インドネシア・ジャワ島中部・南西沖地震災害 「国立小学校再建プロジェクト」中間報告	植村宏一郎	11
2006年12月度会員数・出席報告		12
文庫通信		13
地区米山奨学委員会より／米山功労者／米山功労クラブ.....		14
ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー／ベネファクター.....		15
お知らせ／敬 弔		16
月信編集委員会からのおねがい 2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所案内		17

世界理解月間によせて

国際ロータリー第2660地区

ガバナー **岩田 宙造**



今月は世界理解月間です。世界中のロータリアンが国際奉仕プロジェクトについて考える時だと言われています。

そこで、ピチャイ・ラタクル元 RI 会長（2002 - 2003）のメッセージ「世界に踏み出す」の一部（ロータリーの友 Vol.51, No.2, p12 - 13）を紹介したいと思います。

ロータリーの強さは会員が自我を超え、国境の先に視点を向け、人類に奉仕することに支えられています。国際奉仕は、青少年交換学生を支援すること、ロータリー世界平和奨学生のスポンサーとなることなど、あるいは、ポリオ・プラスに貢献することや世界社会奉仕プロジェクトを実施することなど、とても多くの重要な機会を提供してくれています。

多くのロータリアンは国際プロジェクトに参加して、初めてロータリーの意味を本当に理解することができたと話しています。その経験によって、親睦、理解、そして奉仕に対して、新たな広がりをもたらします。国際ロータリーの最も活発なプログラムは世界社会奉仕（WCS）です。毎年、RC は WCS に充てるため、お金と品物あわせて推定米貨 2,600 万ドルを拠出しています。WCS プログラムは、援助を必要とする国々と、労力や資金を喜んで提供する人々とを結びつけるのです。

世界理解月間はロータリアンが他の国々のクラブとの関係を築き、共にプロジェクトを立ち上げる機会です。この混乱した時代の中で慈愛の種をまき、国際理解を推進することはこれまで以上に重要なことです。ロータリーが平和をリードする勢力となることです。ロータリーの青少年交換学生、国際親善奨学生、ロータリー・ボランティア、研究グループ交換（GSE）のチームは、すべてグローバルな相互理解に貢献します。最新の取り組みとして、平和と紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンターは、国際関係や紛争の調停・解決について研究する奨学生のために 2 年間の修士課程プログラムを提供しています。草の根レベルのロータリアンにお願いしたいのは、外国のロータリアンと出会ったときに、平和の親善大使として振る舞ってほしいということです。

1981 年最初の『ロータリー世界理解平和賞』を受賞した日本の岩村昇博士のことは、「平和へと進もう。人々の中で生き、人々から学び、人々とともに工夫し、人々とともに働こう。人々が知っていることから始め、人々が持っているものを土台に建設しよう」を紹介しています。

ウィリアム B. ボイド RI 会長は、ロータリーが長い年月繁栄してきたのはロータリーが親睦、友情それに、世の中の役に立つことを実行してきたからであり、さらに新しい地域社会や新しい国々から歓迎され続けているのは、順応すること、対応すること、異なる文化を受け入れること、そして、誠実さ、寛容の精神、他人を尊重するといった基本的な原則を守ることを恐れなかったからとしています。

以上、あらためて、ご理解いただければと思いご紹介させていただきました。



Service Above Self — They Profit Most Who Serve Best

Rotary International District 2660

2007年1月10日

各クラブ会長・幹事 各位

国際ロータリー第2660地区
ガバナー **岩田 宙造**

各クラブ会長・幹事の皆様には上半期のロータリー活動に何かとご協力賜り、心から感謝申し上げます。残り下半期も引き続きクラブ及び地区活動の一段の活性化のためにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

さて、先般の地区大会の会長・幹事懇談会の際には、“クラブリーダーシップ・プラン”のパネルディスカッションにご参加いただき、CLPに対するクラブ会長・幹事各位の一層のご理解が得られたのではないかと存じます。そして地区大会本会議において、各クラブへのCLP推奨が大会決議案として正式に採択されました。

そのCLPを支えて参りますのが“地区リーダーシップ・プラン”でございます。当地区のDLPは2002 - 03年度に導入され4年が経過いたしました。この間いろいろな問題点も出ているため、この度CLPを各クラブへ推奨するにあたりまして、地区DLP検討委員会において、その必要な見直し作業を進めて参りました。

その結果、当地区の「地区委員会に関する新方針」と「ガバナー補佐制度に関する新方針」を決定し、逐次実施に移すことにいたしました。尚、「地区委員会に関する新方針」につきましては、ガバナー月信1月号の原稿締切日の関係もありまして、既に1月号で発表いたしました。これから2月号に発表いたします「ガバナー補佐制度に関する新方針」と共に、会長・幹事の皆様に予めお送りいたしますので、何分のご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます。

つきましては、クラブ会員の皆様にも、当地区のDLPに関する新方針の趣旨について、例会の会長の時間にでもご説明くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴クラブの下半期の活動が一段と盛んになりますよう祈念申し上げます。



Service Above Self — They Profit Most Who Serve Best
Rotary International District 2660

2006年12月1日

ガバナー補佐に関する RI 第 2660 地区の新方針

DLP の導入は 2000 - 01 年度 RI 理事会決定により、世界各地区での義務的採用が決定され、当地区は 2002 - 03 年度に DLP の新たな組織構成の一環として IM 単位のガバナー補佐 8 名を設け、運用が開始されました。その後 4 年が経過しましたが、この間当地区のガバナー補佐制度について、クラブ及び地区レベルで様々な問題が指摘されております。

当地区としては、現行の問題点を改善するため、新方針を下記の通り定めることにします。

1. 新方針制定の目的

当地区ではガバナー補佐制度の導入にあたり、ガバナー補佐の選考は IM ホストクラブの判断に 100% 委ねられました。IM ホストクラブの中から順番にガバナー補佐を選出するというシステムでは、クラブ単位のごく限られた狭い範囲内で選ばれるガバナー補佐の中には、RI が定める資格基準を満たせない方が出てくる可能性がありました。各クラブにおいて、特に小規模クラブや歴史の浅いクラブでは、ガバナー補佐の資格条件に合致した人材の不足や、またクラブ内のどの会員を、どの様な方法でガバナー補佐として選出したらクラブ会員全体のコンセンサスが得られるかという問題もあり、各年度の IM 担当クラブにとっては大きな悩みになっております。中小規模のクラブからは、IM グループ内の全体のクラブの中から適任者を地区サイドで選出して頂きたいという要望が多く、当地区では会員数 40 名以下のクラブが過半数を超えている現状に鑑み、その様なクラブ側からの要請に対して適切に対応して行く必要が出て参りました。

一方、地区サイドから見ますと、当地区の現行の選出方式では、IM ホストクラブのオプションで選ばれたガバナー補佐が、RI が定める資格条件を備え、また熱意をもって各クラブを指導できる候補者であるのか、任命権者のガバナーには判断の余地が残されておられません。

IM ホストクラブは、クラブ規模、クラブ歴の長短、活動状況、適切な人材の有無といった点に関しては様々な状況にあります。大変重要な職務執行とリーダーシップが要求されるガバナー補佐の選考にあたり、これを全てのクラブから一律均等に、且つクラブ側の判断のみで選考するというこれまでの選出方法を次年度から次々年度にかけて見直すことになりました。

大規模クラブは別として、中小規模クラブの場合、クラブ側の問題と負担があまりにも大きくなっておりますので、当地区としてはガバナー補佐選考の範囲を広げて IM グループ全体のクラブ内で最適の候補者を選び、その中で可能な限り各クラブから公平にガバナー補佐が選出されるように運用面で考慮して行くことにします。

2. 現行ガバナー補佐制度の改善策

(1) ガバナー補佐の選考方法

現職ガバナー補佐が主催する IM グループ単位の「クラブ会長・幹事会」において、ガバナー補佐の資格条件に沿った1名の候補者を選考し、地区ガバナーに推薦します。

地区ガバナー、ガバナー・エレクト、及びガバナー・ノミニーは、その候補者が当地区のガバナー補佐に関する職務規定を受諾できるかどうか、その諾否を確認し、地区ガバナーが次期ガバナー補佐を任命します。

(2) ガバナー補佐の選考時期

- ① 現行のガバナー補佐の選考時期は就任年度のおよそ6ヶ月前で、ガバナー補佐として、本人が十分な心構えと、担当クラブ、及び地区活動全般について十分な知識が得られない中で、短期間のうちに就任という状況にあります。

また、ガバナー補佐が任命されたあと、或いは就任後に、健康上、業務上、或いは何らかの理由でガバナー補佐職を辞任されるケースが出てきております。

一方では、ガバナー補佐が一時的に職務を果たせないケースもあり、その場合のバックアップ体制も必要になっております。

- ② これらの問題点を改善するため、ガバナー補佐エレクトを毎年 IM グループ単位で1名選出し、就任前年度は準備・研修期間とします。
- ③ ガバナー補佐がその職を任期途中で辞任された場合は、ガバナー補佐エレクトがガバナー補佐に代わりその職務を担当することにします。そして新たなガバナー補佐エレクトを直ちに選出することにします。
- ④ ガバナー補佐がその職務を何らかの理由で一時的に果たせない場合はガバナー補佐エレクトが代行することにします。
- ⑤ ガバナー補佐エレクトの選考はガバナー補佐就任年度の1年半前までに行います。
尚、経過処置として、2007 - 08年度のガバナー補佐エレクトの選考は就任年度の1年前までに行います。

(3) ガバナー補佐の資格条件

- ① 地区内クラブ所属の瑕疵なき会員で3年以上の在籍者
- ② クラブ会長を全期務めた者、或いはその予定者
- ③ 地区レベルでの活動経験を有する者
- ④ 将来の地区指導者として有望であること
- ⑤ ガバナー補佐の責務を受諾する意思と能力を備えた者

(4) ガバナー補佐・職務規定の整備

現在、当地区ではガバナー補佐の担当クラブへの訪問時期、頻度、職務内容等について、各年度に共通した明確な規定がありません。地区ガバナーの下でガバナー補佐が組織的に、また同質水準の職務を遂行するために、IM 8グループ間の統一的な職務規定を明確化することにします。

またガバナー補佐の各年度のクラブ訪問形態や指導方法が各年度により異なりますと、受け入れクラブ側にとっても戸惑いが出てくることとなりますので、同時にガバナー補佐の職務内容はガバナー補佐の指導を受ける各クラブに対しても、十分な周知を図ります。

① クラブ訪問に関する職務

RIの規定によりますと、ガバナー補佐は各クラブへ少なくとも年4回訪問し、指導することになっております。当地区ではその訪問時期、及び頻度は原則次の通りとします。

第1回目：ガバナー補佐エレクトは前年度ガバナー補佐と共に各クラブの最終の新旧合同クラブ協議会にオブザーバーとして出席し、担当クラブの現況と問題点を把握します。

第2回目：ガバナー補佐はガバナーの公式訪問2週間前のクラブ協議会に出席し、ガバナー訪問に備えたクラブ現況報告をガバナーに提出します。

第3回目：下半期の適当な時期にクラブ会長・幹事との懇談会をもち、クラブ活動計画の進捗状況を確認します。

第4回目：担当年度の最終新旧合同クラブ協議会にガバナー補佐エレクトと共に出席し併せて新旧ガバナー補佐の業務引継ぎを行います。

その他必要がある場合は各クラブ会長・幹事と協議の上、クラブ訪問を行います。

② 地区行事への出席

ガバナー補佐及びガバナー補佐エレクトは各クラブでの指導をより効果的なものにするため、次の地区行事に出席します：

- * ガバナー補佐及びガバナー補佐エレクト合同月例会議
- * 地区チーム研修セミナー、及びガバナー補佐研修セミナー
- * PETS
- * 地区協議会
- * 合同地区委員会
- * 地区各委員会のクラブ委員長会議
- * ロータリー財団セミナー
- * 地区大会
- * IM グループ会長・幹事会
- * 担当 IM の準備会議及び本会議
- * 招待された各クラブの周年行事
- * 地区ガバナー・地区委員会から要請のある場合はその他の会合にも出席します。

③ ガバナー補佐の基本的責務

- * RI 会長及び地区ガバナーの年度方針を三者一体で共有し、担当クラブに浸透させるようにします。
- * 各クラブの活動目標とその達成方策についてクラブリーダーと協議し、助言を与えます。
- * 地区各委員会と緊密に連携し各クラブの活動を支援します。
- * ガバナー補佐定例会議を通じて各クラブの活動状況や問題点をガバナーに的確に報告し、ガバナーと共に問題の解決にあたります。
- * 将来の地区指導者となる人材を見出し、育成を奨励します。特に将来のガバナー補佐候補者、及び地区委員候補者について訪問先のクラブリーダーと協議することにします。

3. ガバナー補佐制度に関する新方針の実施時期

2007 - 08 年度から 2008 - 09 年度にかけて実施することにします。

以上

ガバナー・エレクト研修セミナー報告

国際ロータリー第2660地区 ガバナー・エレクト **新谷 秀一** (池田くれはRC)

第35回ロータリー・ゾーン研究会は、招集者重田政信 RI 理事 (高崎北 RC)、渡辺好政 RI 理事 (児島 RC) の両理事と、中島保実行委員長 (岡山南 RC) のもとに、ウィリアム B. ボイド RI 会長 (ニュージーランド)、ルイス ビンセンテ ジアイ TRF 管理委員長 (アルゼンチン)、金光泰 RI 理事 (韓国)、ノラセス バトマナンド RI 理事 (タイ)、日本全国から PG、G、GE、GN 及びそれぞれの配偶者が参加され、11月24日(金)～26日(日)の3日間にわたってホテルグランヴィア岡山において開催されました。

前日23日には、ロータリー財団地域セミナーが開かれ、ルイス ビンセンテ ジアイ TRF 管理委員長のロータリー財団展望の講演のあと、財団の財政・重要性・活動全般について終日講演が行われました。大会初日の24日は、地区研修リーダーセミナーのほか諸会合のあと、18:00より RI 会長ご夫妻・TRF 管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会が開かれ、25日から本会議が配偶者同伴でスタートいたしました。開会式につづき RI 会長の基調講演がおこなわれ、第1セッションから第9セッションまで2日間に亘る講演・討議が行われました。25日は RI 近況報告、RI 財政5ヶ年計画等々の諸報告、東アジアにおけるロータリーの課題をテーマに韓国・タイ・日本のパネリストによるディスカッション、ポリオ撲滅に向けての講演、5部門に分かれての分科会が行われ、26日は規定審議会への期待をテーマにフォーラム、各種報告、分科会の報告、RI 会長・RI 理事等によるオープンフォーラム、と多彩なプログラムで大変密度の濃いセミナーでした。閉会式は日本 RI 理事・RI 会長等の挨拶のあと、閉会点鐘、RC ソング「手に手つないで」で締めくくられました。



(写真提供 ロータリーの友事務所)

環境問題に関する研修会報告

地区社会奉仕委員会 委員 宮田 明 (くずはRC)

日時 : 2006年11月20日(月) 13:30~15:30

場所 : 千里阪急ホテル

出席者 : 岩田宙造G、新谷秀一GE、地区社会奉仕委員会委員7名、
地区内RC社会奉仕委員長65名 合計74名

当日は平日の20日(月)という参加者には出にくい日でありましたが、各クラブ社会奉仕委員長の皆様に多数参加していただきました。本年度の研修会は、平成18年度“おおさか環境賞”事業部門大賞を受賞されました積水ハウス株式会社に環境問題に対する取組み方についてお話をうかがいました。積水ハウス(株)からは、京阪奈学研都市の中にある展示スペースでの研修会というお話もありましたが、場所や時間的な点を検討し、今回は講演をしていただく事にいたしました。

大阪府環境水産部みどり・都市環境室地球環境課企画・環境活動推進グループ 岩谷和雄氏より、大阪府の環境保全に関する取組みについて約30分間の話をいただきました。その後積水ハウス(株)環境推進部 森谷守部長より“サステナブル社会(現在、生きる地球上のすべての人々が幸せな生活を送る事に加えて、将来世代にとってもより良い地球と生活環境を確保する—という考え方で「持続可能性」と訳される。)という内容で中身の濃い講演をしていただきました。質疑応答の時間もとる事ができました。

江上清夫地区社会奉仕委員長より地区委員会の報告を行い、新谷ガバナー・エレクトから閉会の辞を述べていただき研修会を終了いたしました。



2006～2007年度 I.M.第7組報告

IM第7組実行委員長 櫻井 勲(大阪本町RC)

この度、私どもクラブは2006～2007年度国際ロータリー第2660地区第7組インターシティーミーティングのホストクラブを担当いたしました。

今から9年前の1997年2月にホストクラブを担当した時は“I.M.を楽しもう”というスタンスを維持することがクラブ内では当然のことと考えられておりました。そのため今回は7組の皆様にとどのような企画が喜ばれるのか、またI.M.開催当日の11月18日(土)は会場に多数のロータリアンが集まっているだけなのか我々の最大の課題でありました。

RCは全人類に誇る立派な歴史と綱領を持ち、世界に誇る国際組織を運営しております。しかしそこに潜在する全会員のエネルギーがいかに地域社会に活用されているのだろうか？ 拡大し、変革する現在の地域社会にRCの存在感はどうだろうか？ と、はたして疑問を抱くのは実行委員長である私ひとりなんだろうか？ 誇れる歴史と綱領を掲げても行動力が欠如すれば無と同じではなからうか、など考えました。

当日は7組のロータリアン全員が一同に会し、地域社会に奉仕の行動を起こす雄叫びを上げるには今回の会場にご参集頂いた200名余のエネルギーの結集が欲しかったのです。直木賞受賞作家 渡辺淳一氏の講演は、我々の年齢を「プラチナ世代」と呼び、その生き方を楽しく語り、そして興味深い世界に引き込んでくれました。その後昼食を取りながらのテーブルミーティングでは7組全体で出来る奉仕活動について真剣に語り合っていました。渡辺淳一氏自筆の署名入り著書が20名に当たるお楽しみのお福引きをガバナーにお願いし、趣向を凝らした番号合わせで愉快に会を終えることが出来ました。特筆すべきことは、20名の当選者のために21回カードをひいただけだったことと、中途退席者がほとんどなく、それに用意いたしました218人分の昼食が残らなかったことでした。I.M.を楽しんでいただきありがとうございました。



ロータリー財団地域セミナー出席報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 佐藤 俊一(大阪鶴見RC)

日時：2006年11月23日(木)

場所：ホテルグランヴィア岡山

国際ロータリー財団からの新しい情報を伝えるために、通常8月と11月ごろに日本の全地域の関係者を対象に地域セミナーが開催される。

今期の2度目の地域セミナーが11月23日、岡山のホテルグランヴィアで開催された。

2660地区からは岩田宙造ガバナー、新谷秀一ガバナー・エレクト、佐藤俊一ロータリー財団委員会委員長、溝畑正信財団奨学金・学友委員会委員長、井川孝三財団情報・増進委員会委員長、福家宏財団人道的補助金委員会委員長、横井憲二財団人道的補助金委員会副委員長、それに春名志保・栗正久美・藤本緑ガバナー事務所事務局長が出席した。特に新人の3事務局長に勉強していただいたのはよかった。

当日は国際ロータリーよりロータリー財団管理委員会委員長のL.V. ジアイ氏、フタ RI 事務総長をはじめ日本の国際ロータリーの役員の方々が多数出席されていた。

セミナーの内容については配布資料であるセミナーハンドブックを地区ホームページに全文掲載しているので、それを参考にしていきたい。

個人的に印象に残った話としては、ロータリーカード入会者がいまだ全国レベルでも5000人に達せず、そのため買い物をして0.3%がロータリー財団にペイバックする条件を満たしていないという状況にあり、当地区でもわずか32人の入会者であるので、多くの会員にカードに入会していただくためのキャンペーン活動の必要性を感じた。その後、過日開催された地区大会でもおおいにPR活動をすすめたが、果たして良い結果が出ることを期待している。

その他にセミナーの中で、大口寄付の推進の要望があったが、大口寄付をしようとする人をどのように発掘していくかが地区としてもこれからの課題であろう。



RI 財団管理委員長 ジアイ氏(元 RI 会長)と
佐藤ロータリー財団委員会委員長



ジアイ氏と溝畑財団奨学金・学友委員会委員長

RI第2660地区2006～2007年度地区大会報告

地区大会実行委員長 **平岡 英信**(大阪南RC)

国際ロータリー第2660地区の地区大会が無事終了致しました。これも偏に、多くの会員の皆様とご家族、関係者各位のご理解とご協力のお蔭であることに心より感謝申し上げます。

去る12月1日RI会長ノミニーにご就任されました李東建氏をRI会長代理としてお迎えし開会できましたことは、大変名誉なことであり嬉しく思います。

今回、久方振りに大阪南RCからGが出ることになり、地区大会をお引き受けすることになりました。大阪南RCからのPGはすでにお亡くなりになり過去の経験が生かされず、毎日が不安の連続でした。

地区大会運営事務局にもご迷惑をかけ、準備の段階でも、まさに開会の前日までご迷惑をおかけ致しました。そのような状態の中、開会の1週間前になるとクラブ会員の士気も高まり、業務を遂行し当日を迎えることができました。しかし不備もあり、一部PGにご迷惑をおかけ致しました。誠に申し訳ないことであります。それでも全体としては、皆様のご協力で不備を補い何とか無事に遂行できたと思います。

特に李東建氏は、厳しい方だと伺っていたのですが、ご帰国の際「大阪南RCの名誉会員にして下さい」とのお申し出があり、大変光栄なことで感激致しました。

本会議に登録していただいた方々は2705名でした。各分科会も満席になり、多数お越し下さり有難うございました。また晩餐会においては、お集まりが悪いのではと懸念致しておりましたが、登録者が320名というほぼ満員の状態で開催することができました。その一方で、一部の会員の方にはお断りをしなければならないことになり、ご迷惑をおかけし申し訳ないことであります。

最後になりましたが、本大会を支えて下さいました多くの会員及びご家族の皆様方、関係者各位のご理解とご協力により何とか無事大会を終えることが出来ました。心より深く感謝申し上げます。



インドネシア・ジャワ島中部・南西沖地震災害 『国立小学校 再建プロジェクト』中間報告

地区世界社会奉仕委員会 委員長 **植村 宏一郎**(大阪平野RC)

2006年5月27日、7月17日と立て続けに、インドネシアにおいてジャワ島中部地震(M6.3)及びジャワ島南西沖地震(M7.7)が発生しました。現地第3400地区のジョグジャカルタRCが中心となるYogyakarta Disaster Rehabilitation Project Team(ジョグジャカルタ災害復興プロジェクトチーム)からの報告によると、ジョグジャカルタや中央ジャワ周辺の損害だけでも、死者・負傷者がそれぞれ5,000人以上、倒壊した建物は45,000件以上にのぼっています。当2660地区では、早速地区内86クラブより義捐金400万円余りが寄せられました。

当地区内では、茨木RCがインドネシアで長年にわたり人道的補助活動や親睦に真摯に取り組まれてきており、現地RCや地区と大変密なコミュニケーションをはかっておられることから、神崎 茂PGはこの義捐金をもって、地区として現地救済の為の大型プロジェクトに取り組めないものかと発案されました。結果、茨木RCの協力を得て、地区世界社会奉仕委員会が中心となり、倒壊した小学校の再建に取り組むこととなりました。

2006年8月頃より、ジョグジャカルタRCに依頼し、対象校の調査、工事費用の見積り、インドネシア政府文部省との折衝等を始め、9月にはプロジェクト提案書を手、当委員会における検討を経て、岩田Gに承認を頂き、11月に現地に義捐金全額を送金しました。12月には早くも、工事進捗状況の中間報告を手し、工事が予定より順調に進んでいることを確認しています。

2007年4月末には面積754㎡、教室6室、校長室1室、医務室1室の校舎が完成する予定であり、教員・生徒350名ほどが学び舎に戻れる日も遠くはありません。5月の寄贈式には当地区関係者も参加させて頂き、現地の人々と共に喜びを分かち合いたいものです。

周知のように、ロータリーでは識字教育は人道的補助活動の要であります。現地の地震災害は人類にとって悲しむべき悲劇であったことは事実ですが、地区内から寄せられた全会員の浄財により、迅速な支援ができたことを大変嬉しく思っています。岩田G、神崎PG、茨木RC、そして地区内全てのロータリアンに、深く御礼申し上げる次第です。



テントで勉強する子供達



再建中のラゲンサリ小学校

2006年12月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月初 期会	12月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率	I M組	クラブ名	7月初 期会	12月末会員数		入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	例会数	出席率	ホーム クラブ 出席率
			全員	女性										全員	女性						
I M第1組	池田	41	41	2	0	0	0	3	72.38	66.66	I M第5組	大阪北	150	151	0	4	3	1	3	79.34	62.81
	池田くれは	45	46	1	2	1	1	3	77.58	76.89		大阪北梅田	43	45	2	2	0	2	4	92.05	75.56
	箕面	33	33	0	0	0	0	4	83.00	80.00		大阪西	87	93	0	9	3	6	4	86.47	74.38
	箕面中央	32	31	0	1	2	-1	4	78.90	71.90		大阪大淀	47	49	0	2	0	2	3	82.50	77.50
	豊中	44	47	2	4	1	3	3	95.83	85.83		大阪リバーサイド	32	33	3	1	0	1	4	83.62	73.28
	豊中南	36	37	1	1	0	1	3	92.70	82.29		大阪西北	63	61	0	1	3	-2	3	89.85	78.25
	豊中-大阪国際空港	24	23	0	0	1	-1	4	79.35	68.48		大阪そねざき	59	61	34	3	1	2	3	91.74	82.93
	豊中千里	38	41	4	3	0	3	4	87.50	80.20		大阪梅田	48	48	0	3	3	0	4	91.03	83.98
	小計	293	299	10	11	5	6		83.41	76.53		大阪梅田東	36	35	0	2	3	-1	4	88.32	75.31
I M第2組	茨木	28	26	2	1	3	-2	3	95.00	85.00	堀ノ内バーサリティ	25	23	4	0	2	-2	3	90.48	76.19	
	茨木東	47	49	3	3	1	2	3	89.47	76.32	小計	708	718	50	32	22	10		87.54	75.12	
	茨木西	33	33	5	1	1	0	3	96.97	82.80	大阪	260	267	0	17	10	7	1	70.45	55.22	
	千里	49	50	0	1	0	1	4	89.29	75.00	大阪東	117	120	0	6	3	3	3	95.57	70.65	
	千里メイプル	24	26	2	2	0	2	3	89.74	87.18	大阪東淀	41	42	8	4	3	1	4	84.21	73.32	
	摂津	35	35	0	0	0	0	4	95.16	83.87	大阪城	13	12	0	0	1	-1	4	85.42	75.00	
	吹田	70	66	5	0	4	-4	3	97.96	86.39	大阪城東	44	46	4	2	0	2	4	79.99	74.45	
	吹田江坂	43	43	3	1	1	0	3	95.10	76.47	大阪中之島	31	36	0	5	0	5	3	91.22	89.29	
	吹田西	50	50	0	2	2	0	4	100.00	84.44	大阪大手前	51	51	0	2	2	0	4	89.88	81.55	
I M第3組	高槻	48	51	2	5	2	3	3	83.82	74.58	大阪城北	61	66	1	5	0	5	3	78.90	76.50	
	高槻東	44	44	0	1	1	0	4	99.15	87.25	大阪天満橋	81	80	0	2	3	-1	3	86.84	83.04	
	高槻西	31	31	0	0	0	0	3	94.60	78.50	大阪鶴見	42	43	1	1	0	1	4	83.60	76.57	
	小計	502	504	22	17	15	2		93.86	81.48	大阪淀川	30	31	1	1	0	1	4	100.00	70.70	
	大東	53	52	0	1	2	-1	4	91.22	81.08	新大阪	29	43	0	14	0	14	4	84.88	83.72	
	大東中央	29	30	9	1	0	1	3	80.95	77.38	小計	800	837	15	59	22	37		85.91	75.83	
	枚方	44	44	0	2	2	0	4	91.57	85.06	大阪フレンド	20	22	7	2	0	2	3	85.00	76.67	
	門真	32	33	2	2	1	1	3	92.93	81.82	大阪本町	32	31	2	3	4	-1	3	81.61	66.67	
	交野	32	31	1	1	2	-1	3	82.83	80.81	大阪御堂筋	36	37	0	2	1	1	3	95.24	84.76	
I M第4組	香里園	25	23	0	2	4	-2	3	92.75	79.71	大阪南	131	133	0	9	7	2	3	85.08	64.13	
	くずは	52	54	0	2	0	2	3	88.65	73.76	大阪難波	48	51	0	5	2	3	3	96.19	76.71	
	守口	53	52	3	1	2	-1	4	77.98	70.24	大阪なにわ	32	32	1	0	0	0	4	88.00	80.00	
	守口イブニング	25	24	5	1	2	-1	3	67.52	61.11	大阪南西	28	29	5	2	1	1	4	85.57	75.97	
	寝屋川	40	40	3	0	0	0	4	89.86	83.79	大阪西南	95	97	14	2	0	2	4	100.00	82.69	
	四条畷	17	16	0	0	1	-1	4	89.18	74.54	大阪船場	45	44	0	1	2	-1	4	97.00	91.00	
	小計	402	399	23	13	16	-3		85.95	77.21	大阪心斎橋	43	42	0	1	2	-1	4	97.73	82.69	
	東大阪	76	78	0	2	0	2	4	81.25	72.32	大阪うつぼ	45	45	8	1	1	0	3	91.91	78.79	
	東大阪中央	47	45	0	0	2	-2	4	74.26	71.33	小計	555	563	37	28	20	8		91.21	78.19	
I M第5組	東大阪東	76	76	2	0	0	0	4	96.99	87.50	大阪阿倍野	26	22	3	1	5	-4	3	90.00	73.33	
	東大阪みどり	32	33	2	1	0	1	3	73.74	68.69	大阪阪南	47	45	1	0	2	-2	3	93.16	80.34	
	東大阪西	52	52	0	1	1	0	3	95.24	67.46	大阪平野	37	38	6	1	0	1	1	96.97	77.78	
	大阪柏原	38	36	3	0	2	-2	3	92.59	85.18	大阪イブニング	21	22	5	1	0	1	3	81.82	71.21	
	八尾	83	87	0	4	0	4	3	98.56	75.09	大阪城南	65	64	0	0	1	-1	4	95.93	85.46	
	八尾中央	29	28	2	0	1	-1	3	81.06	79.01	大阪咲洲	21	23	1	2	0	2	3	90.69	84.34	
	八尾東	39	35	4	1	5	-4	4	70.50	55.30	大阪住之江	28	27	0	0	1	-1	3	100.00	83.21	
	小計	472	470	13	9	11	-2		84.91	73.54	大阪住吉	40	41	3	1	0	1	3	91.18	64.71	
	大阪ちゃやまち	18	18	0	0	0	0	4	90.28	62.50	大阪天王寺	25	23	0	0	2	-2	4	96.25	86.25	
大阪中央	61	62	6	5	4	1	3	96.72	84.06	大阪東南	54	58	0	4	0	4	4	93.10	71.98		
大阪堂島	39	39	1	0	0	0	4	75.64	69.87	小計	364	363	19	10	11	-1		92.91	77.86		
合計	クラブ数	7月初 期会 会員数	7月初 期会 会員数	12月末 会員数	12月末 会員数	女性 会員	女性 会員	入会 者数 累計	入会 者数 累計	退会 者数 累計	退会 者数 累計	増減	増減	例会数	例会数	出席率	出席率	平均 出席率	平均 出席率		
	86	4096	4153	189	179	122	57									88.2	77.7				

※今年度はI M組毎に分類させていただきます。

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

クラブ活動の資料として (2)

- ◎ 「ロータリーが今直面している問題点—日本におけるロータリーを中心に」
川尻政輝 2006 10p (D.2750 地区大会)
- ◎ 「クラブ組織のあり方について」 加来浩二 2006 2p (D.2750 I.M.)
- ◎ 「都心クラブにおける地域密着の社会奉仕活動について」 片倉章雄
2006 2p (D.2750 I.M.)
- ◎ 「規定審議会『ロータリー第2世紀のルール』」 田中 毅 2006 6p
(第34回ロータリー・ゾーン研究会報告書)
- ◎ 「CLP資料」 吉田正和 2006 6p (D.2740 月信)
- ◎ 「C.L.P地区研修セミナーより」 成田育夫 2006 4p
(D.2500 月信)
- ◎ 「C・L・Pの“流れ”“考え方”“進め方”」 藤川享胤 2006 1p
(D.2800 月信)
- ◎ 「家庭、地域社会から子どもの心を変える二つのアプローチ」 武笠和夫
2002 11p (学校経営第47巻6号)
[上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎ 「ロータリーこの麗しきもの—クラブ会長・幹事さんのために」 塚原房樹
2006 41p [申込先:塚原房樹 FAX(011)642-7560]
- ◎ 「研修のための私たちが理解するロータリーの組織」 川尻政輝・坂本俊雄
2006 101p [申込先:揺籃社 TEL(042)620-2615]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

地区米山奨学委員会より

2006年11月末	全国寄付金合計額	685,291,124円	(前年度比1.01%減)
〃	第2660地区寄付金合計額	41,833,329円	(前年度比0.78%増)
2006年11月末	全国寄付合計トップ10		
1. 第2650地区	48,360,924円	6. 第2590地区	39,708,281円
2. 第2770地区	45,138,730円	7. 第2580地区	34,222,194円
3. 第2660地区	41,833,329円	8. 第2640地区	25,458,711円
4. 第2750地区	40,962,870円	9. 第2820地区	25,427,700円
5. 第2760地区	40,265,217円	10. 第2780地区	22,899,500円

米山功 労 者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2006年11月)

氏名	回数(回目)	クラブ名	氏名	回数(回目)	クラブ名
坂井孝彦	3	東大阪RC	佐々木 宏	5	大阪大手前RC
里見 博	4	東大阪RC	青木達也	4	大阪西南RC
竹中照次	5	東大阪RC	古里龍一	5	大阪西南RC
立岡寛次	6	東大阪RC	石田 秀	2	大阪西南RC
地引 啓	4	東大阪RC	亀井築美	3	大阪西南RC
礪波恵真	1	東大阪RC	神戸鐵夫	4	大阪西南RC
青江 彪	1	茨木西RC	小川嘉誉	4	大阪西南RC
赤田邦男	5	茨木西RC	四宮孝郎	4	大阪西南RC
馬場孝志	4	茨木西RC	庄司信一	4	大阪西南RC
別處了一	3	茨木西RC	高澤富士子	3	大阪西南RC
角谷真枝	3	茨木西RC	廣瀬雄二郎	1	大阪心斎橋RC
中小路悦子	1	茨木西RC	岩佐 厚	2	大阪心斎橋RC
中竹 正	4	茨木西RC	竹田正司	2	大阪心斎橋RC
野地龍夫	4	茨木西RC	田中 等	2	大阪心斎橋RC
佐々木良高	4	茨木西RC	津乘宏通	4	大阪心斎橋RC
小路三郎	4	茨木西RC	米田文郎	2	大阪心斎橋RC
須川就三	2	茨木西RC	長谷川正幸	1	大阪梅田東RC
山本高司	2	茨木西RC	岡村幸男	1	大阪梅田東RC
北川順清	1	くずはRC	福井宏有	2	大阪淀川RC
早川 徹	1	大阪RC	津本清次	2	大阪淀川RC
磯辺真幸	1	大阪RC	三好一則	4	摂津RC
伊藤順吉	2	大阪RC	田中美春	2	摂津RC
木村直樹	7	大阪RC	家村一弥	1	吹田RC
黒田章裕	2	大阪RC	岩田喜好	1	吹田RC
太田黒尚雄	1	大阪RC	井波静孝	3	吹田RC
塩野秀作	1	大阪RC	石田弑二	3	吹田RC
若山 繁	2	大阪RC	井村卓治	4	吹田RC
山田一郎	1	大阪RC	谷 康司	1	吹田RC
播磨章一	5	大阪堂島RC	上本 博	4	吹田RC
片岡亥一郎	3	大阪堂島RC	吉野繁夫	3	吹田RC
中野和子	1	大阪堂島RC	東 秀夫	4	吹田江坂RC
西尾恒太	6	大阪堂島RC	速見 憲	4	吹田江坂RC
梅本 弘	5	大阪堂島RC	堀田 稔	4	吹田江坂RC
山本英樹	1	大阪城南RC	長澤義雄	4	吹田江坂RC
笠井靖彦	1	大阪柏原RC	渡邊 眞	4	吹田江坂RC
西尾寛一	6	大阪柏原RC	福盛康友	1	豊中RC
谷口和宏	3	大阪柏原RC	馬場一雄	8	豊中RC
寺田信正	4	大阪柏原RC	枇榔五郎	2	豊中RC
植田 勤	7	大阪柏原RC	木村正治	2	豊中RC
安田千恵子	3	大阪柏原RC	澤木政光	4	豊中RC
遠藤友一郎	1	大阪難波RC	西田尚道	1	豊中千里RC

米山功 労 ク ラ ブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2006年11月)

クラブ名	回数(回目)	クラブ名	回数(回目)
大阪RC	80	摂津RC	17
大阪西RC	48	吹田RC	46
大阪西南RC	62	吹田江坂RC	19
大阪心斎橋RC	27		

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2006)

堀 裕	茨 木 東RC	11/10
大津 隆文	大 阪RC	11/24
平岡 龍人	大 阪RC	11/24
樋口 信治	大 阪RC	11/24
井村 達男	大 阪RC	11/24
早嶋 茂	大 阪RC	11/24
平井 敬子	大 阪 平 野RC	11/17
児嶋美恵子	大 阪 平 野RC	11/17
北島 茂治	大 阪御堂筋RC	11/10
松岡 忠幸	大 阪 北RC	11/24
中村 順一	大 阪 北RC	11/24
野瀬 幸	大 阪 北RC	11/24
杉原 俊一	大 阪 北RC	11/24
上島 一泰	大 阪 北RC	11/24
古武 敏彦	大 阪 北RC	11/24
清水 美溥	大 阪 西RC	11/17
田中 義久	大 阪 西RC	11/17
津本 清次	大 阪 淀 川RC	11/17

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2006)

矢野 克吉	1回目	茨 木 東RC	11/17
文箭 安雄	1回目	大 阪RC	11/24
小橋 鴻三	2回目	大 阪RC	11/24
眞鍋 禮三	1回目	大 阪RC	11/24
島田喜代司	7回目	大 阪 平 野RC	11/17
荒川 雅行	1回目	大 阪御堂筋RC	11/10
川崎 二郎	1回目	大 阪御堂筋RC	11/10
久我 四郎	1回目	大 阪御堂筋RC	11/10
重田 秀義	1回目	大 阪御堂筋RC	11/10
高原 正巳	1回目	大 阪御堂筋RC	11/10
谷本 隆広	1回目	大 阪御堂筋RC	11/10
森 信二	1回目	大 阪御堂筋RC	11/10
古野 清賢	2回目	大 阪 北RC	11/24
井上 亮一	2回目	大 阪 北RC	11/24
木本 武雄	2回目	大 阪 北RC	11/24
桐山 輝彦	1回目	大 阪 北RC	11/24
森 禎良	2回目	大 阪 北RC	11/24
緒方 満	1回目	大 阪 北RC	11/24
田中 一朗	2回目	大 阪 北RC	11/24
山川善一郎	2回目	大 阪 北RC	11/24
廣田 元孝	1回目	大 阪 北RC	11/24
河田 一彦	1回目	大 阪 北RC	11/24

ロータリー財団

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2006)

中西 勝	茨 木RC	11/17
高橋亜紀央	大 阪 中央RC	11/17
益田 照夫	大 阪 中央RC	11/17
辻 幸雄	大 阪 中央RC	11/17
木本 武雄	大 阪 北RC	11/24
福井 宏有	大 阪 淀 川RC	11/24

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

中野 繁則 君 (大阪東淀RC)

平成18年12月15日逝去(享年63歳)

青少年委員長

ポール・ハリス・フェロー

牟田 實 君 (大阪心斎橋RC)

平成18年12月17日逝去(享年84歳)

チャーターメンバー

会長

クラブ奉仕委員長・理事

国際奉仕委員長・理事

会員増強委員長、会員選考委員長

米山奨学委員長、青少年委員長

米山功労者(マルチプル)

ポール・ハリス・フェロー

佐野 千代造 君 (大阪梅田HRC)

平成18年12月26日逝去(享年83歳)

チャーターメンバー

会長

国際奉仕委員長・理事

ロータリー財団委員長

会報委員長、職業分類委員長

雑誌委員長、友好委員長

会員選考委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

お知らせ

事務局移転

大阪天満橋 RC

大阪市北区梅田1丁目9番20号

大阪マルビル 第一ホテル 2925号室

↓
1713号室

郵便物は「大阪マルビル 第一ホテル内」
でお願いいたします。

電話・FAX は変更ありません。

メールアドレス変更のお知らせ

●八尾ロータリークラブ

info@yaorc.com

ホームページアドレス変更のお知らせ

●東大阪ロータリークラブ

<http://www16.ocn.ne.jp/~horotary/>

※最新のロータリーレートは

RI ウェブサイト上でご確認下さい。

(<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html>)

月信編集委員会からのおねがい

○ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

○物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

○投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。

○今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

◎ 月信編集委員会 ◎

・ガバナー	岩田宙造
・地区代表幹事	山本博史
・地区副代表幹事	谷 明
・担当地区幹事	木村芳樹
・担当地区幹事	鈴木慶一
・担当地区幹事	横尾國治
・事務局長	今井貢二

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田	宙造
地区代表幹事	山本	博史
地区副代表幹事	谷	明
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	藤本	緑

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日
夏季 2007年8月13日(月)～8月16日(木)
年末年始 2007年12月29日(土)～2008年1月4日(金)

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ

Lead
The
Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

**Lead
The
Way**

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER ガバナー月信

ロータリー雑誌月間

Rotary's Magazine Month



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第2660地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

4

2007 No.10

目 次

ガバナーメッセージ 雑誌月間によせて	岩田 宙造	1
雑誌月間と『ロータリーの友』	木村 芳樹	2
2006～2007年度 I.M.第3組報告「家族と語る地域の環境」	奥 嘉隆	3
2006～2007年度 I.M.第5組報告「少子化を考える」	平野 誠治	4
国際ロータリー第2660地区ローターアクト下期活動報告	高橋 敏朗	6
米山奨学生終了者歓送会報告	野村 泰弘	8
大阪ちゃやまちロータリークラブ創立15周年記念式典報告	米田 秀実	9
3世代合同例会・懇親会の報告	小林 君夫	10
茨木RC国際奉仕活動報告	長澤 利治	11
DDF(地区財団活動資金)シェア会議報告	井川 孝三	12
地区米山奨学委員会より／米山功労者／米山功労クラブ		
ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー		13
ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー／ベネファクター		14
2007年2月度 会員数・出席報告		15
文庫通信		16
お知らせ／敬 弔		16
月信編集委員会からのおねがい		
2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区【ガバナー事務所案内】		17

ガバナーメッセージ

雑誌月間によせて

国際ロータリー 第2660地区

ガバナー **岩田 宙造**



4月はロータリー雑誌月間です。ロータリー雑誌は世界に開かれた情報の窓です。

国際ロータリー (RI) は今日ほかに例を見ない独特なコミュニケーション・ネットワークを持っています。「THE ROTARIAN」は、アメリカ・イリノイ州エバンストンにある RI 世界本部で発行 (出版) されている英語の RI 公式雑誌で、約 50 万部発行されています。また、世界の各国で 31 の地域雑誌が 23 ヶ国で発行され、130 ヶ国の人々に読まれています。その部数は 766,000 部にもなります。これら「THE ROTARIAN」と地域雑誌を合わせた 32 の雑誌を総称して「ロータリー・ワールド・マガジン・プレス」と呼んでいます。このコミュニケーション・ネットワークはロータリーとともに着実に成長してきました。地域雑誌は RI によって始められたのではなく、それぞれの国のロータリアンによって始められたのです。地域雑誌はその地域情報も交えつつ、RI からの情報も提供しているロータリー情報の宝庫で、その多くは発行されている国の言葉で書かれています。(ロータリーの友、2005、53、p16 より)

『友』編集長が、『雑誌とウェブ ふたつのロータリーの友』と題して解説を書かれています。ウェブの速報性を生かしていち早く情報を伝えること。ホームページにはロータリアン以外の人々も参加していること。雑誌の『友』はいつでもどこでも読むことができること。国際的に知名度の高い TOMO を利用して日本の情報を世界に発信していること、が述べられています。(ロータリーの友、2004、52、p14 より)

RI 会長 ウィリアム B. ボイド氏の『ロータリーの雑誌から世界を見る』と題して書かれた記事の一部を紹介します。

ロータリーの雑誌がなければ世界のロータリーの活動を知ることはできません。もし自分のクラブを通してしかロータリーを知ることができなければ、ロータリーが真に国際的であることを認識することによってもたらされる多くの感動や満足感を味わうことはありません。ロータリーの雑誌には新しい奉仕活動の事例が詰まっています。雑誌を読むもうひとつの理由は、クラブの自治に関係があります。もし、私たちが自分たちのクラブだけにしか目を向けていないとしたら、いとも簡単に居心地のよさに陥って、以前に実施したことのあるやり易い奉仕活動を繰り返すだけになってしまいます。これでは会員にとって奉仕活動が面白いものでなくなり、地域社会が何を求めているかすらよく分からなくなってしまうでしょう。

どれだけ長い間ロータリアンであったとしても、私たちロータリーの雑誌を読む必要があるのです。新入会員にとっては教材となり示唆に富むものです。熟練したロータリアンたちには自分たちがなぜロータリアンであるのかを思い出させてくれます。ロータリー雑誌は楽しみとアイデアの源としてお読みください。そうすれば、あなたのクラブは有意義な楽しいものになるでしょう。そして、ロータリー雑誌があなたにお届けする並び称されるものがない国際組織の一員として誇りを保つために読んでいただきたいのです。(ロータリーの友、2004、52、p12 より)

この機会にもう一度『ロータリーの友』に目を通してください。

雑誌月間と『ロータリーの友』

ロータリーの友地区委員 木村 芳樹 (大阪南RC)



ポール・ハリスによる「合理的ロータリニアズム」(ロータリー電子文庫収録)が発表されたのは1911年1月25日に機関紙として創刊された『THE NATIONAL ROTARIAN』(『THE ROTARIAN』の前身)です。その日を記念して1月25日を含む1週間を雑誌週間としていましたが、1978-79年度から雑誌週間は4月に移され、1983-84年度に特別月間として4月がロータリー雑誌月間に指定されそれが現在までつづけられています。

その『THE NATIONAL ROTARIAN』発刊から約40年後の1952年4月に大阪市で開かれた地区大会で、次年度(1952-53年度)から日本が二つの地区に分割することが決まっており、二地区になってからも連絡を緊密にするための共通の機関紙の創刊が企画され、第1回準備会が大阪で開かれ、いろいろ論争があり、1952年8月岐阜で開催された第2回準備会で名称は『ロータリーの友』、横書きで創刊は1953年1月とする等、骨子がきまりました。これが『ロータリーの友』の始まりです。1952年の12月まで定価は100円、その後1974年12月まで定価110円、そして1975年1月号から200円となり現在まで続いています。(本体価格200円、消費税10円)ちなみに創刊当初は横書きではじまりましたが、いずれ縦書き、横書き混在となり、1972年1月から現在の縦組みと横組みに分けた現在の形になりました。

『ロータリーの友』はロータリー地域雑誌です。ロータリーの正会員はRIの機関雑誌(『THE ROTARIAN』)または地域雑誌(RI理事会承認)の有料購読者となり、会員であるかぎり購読を続けることが会員であること条件となっています。『ロータリーの友』は1980年7月号より日本のロータリーのための公式地域雑誌としてRI理事会より指定されました。

地域雑誌として指定をうけるにはいくつかの条件があります。その一つに雑誌委員会による適切な監督を受け入れるという項目があります。「ロータリーの友委員会」は常任委員と各地区で任命されたロータリーの友地区委員から構成されていますがこれが先の「雑誌委員会」にあたります。ロータリーの友地区委員は各地区ガバナーの代理として「ロータリーの友委員会」に参加しているわけです。つまり地域雑誌である『ロータリーの友』は34地区ガバナーからの依頼を受け、管理監督されて発行している機関紙といえます。私が岩田ガバナーよりロータリーの友地区委員として指名をいただいたときはそこまで考えがいたらず気楽にお受けしてしまい、今あらためて、責任の重さを痛感しています。

地域雑誌のもう一つの条件として、編集内容はRIの方針に合致し、50%以上はロータリーあるいはロータリーと関連する記事でなければならないとあります。『ロータリーの友』には「横組み」のRI会長メッセージや特集記事、「縦組み」のロータリー・ネットワークなどロータリー情報が満載です。『ロータリーの友』はロータリーの情報誌であり、世界の、日本のロータリーの状況や活動などについての情報やロータリアンの思いを共有し分かちあう場でもあります。

『ロータリー雑誌月間』、この機会に『ロータリーの友』をもう一度開いてご覧ください。新たな発見がきっと得られます。

最後になりましたが『ロータリーの友』へのますますのご投稿をお願いします。第2660地区からの投稿はかなり多く、かなりの頻度で『友』に掲載されていますが、まだ投稿されたことのないクラブはぜひ投稿していただき、ロータリー情報を発信し、分かちあってください。

2006～2007年度 I.M. 第3組報告 「家族と語る地域の環境」

I.M. 第3組 実行委員長 奥 嘉隆 (交野 RC)

ホスト：交野ロータリークラブ (会長：小林 杲)

日 時：2007年2月10日 (土) 13:30～16:20

場 所：交野市保健福祉総合センター「ゆうゆうセンター」

参加クラブ：大東 RC, 大東中央 RC, 枚方 RC, 門真 RC, 香里園 RC, くずは RC, 守口 RC,
守口イブニング RC, 寝屋川 RC, 四條畷 RC, 交野 RC (以上 11 クラブ)

登録者数：483名 (来賓 28名、ロータリアン 411名、家族 44名)

出席者数：369名 (来賓 21名、ロータリアン 265名、家族 48名、一般参加 35名)

交野 RC ホストによる本年度の第3組 I.M. は、岩田 G の IM 指針の中から「ロータリー家族」と「水保全」の二つを採択し、上記のスローガンで金森 G 補佐・統括リーダーの元で開催されました。ご家族を交えての I.M. という初めての試みに、期待と不安な気持ちを持ちながらの大会でした。

最近の I.M. は、地元地域と一体化する流れがあり、いま誰もが関心のある環境、特に「水保全」に絞ったこともあって、48名のご家族、市長はじめ市幹部、一般市民の方々を含め、多数の参加者で大変盛り上がった雰囲気での始まりでした。

先ず交野 RC から、「地域の環境、森と水」をテーマに約 50 分にわたり映像を使って地域環境の変化とその破壊による怖さを発表しました。続いて交野 RC を除く I.M. 第3組の RC を 3 つのブロックにわけ、枚方グループは「淀川は永久に流れる」、大東グループは「大東市環境基本条例について」、守口グループは「安全で良質な水を求めて」と、それぞれ特徴のある興味深い内容で発表して頂きました。

温暖化を中心とする環境破壊問題に対する関心は、今年の暖冬の影響もあり、ここに来て急速に高まってきており、国家や国際社会が地球ぐるみで抜本的な行動を起こさなければならぬところまで来ています。熱心な参加者は、「地球温暖化や温室効果ガスといった優しい表現は現状に相応しくない。地球破壊、地球分解という言葉の方が実感がある。」と言われます。ロータリーの環境保全委員会が単なる一委員会活動ではなく、国際ロータリーを核として、かつてのポリオプラス活動のように継続的で中心的活動になる必要性を感じます。

本年度 I.M. はご家族にも参加頂き、友情と親睦を更に高め、地域に密着した会となりました。これからの I.M. も家族参加が引き継がれることを切望致します。



2006～2007年度 I.M. 第5組報告 「少子化を考える」

I.M. 第5組 実行委員長 **平野 誠治** (大阪西北 RC)

ホスト：大阪西北ロータリークラブ

日 時：2007年2月3日(土) 14:00～18:10

場 所：ヒルトン大阪5F 桜の間

出席者：岩田宙造 G、市川寛城 G 補佐、三村恵造ホスト RC 会長

講 師：小林 栄 大阪府生活文化部次世代育成支援室長

吉岡真知子 東大阪大学こども学部教授・こども研究センター長

ご来賓：管生浩三 PG、宮田宏章 PG、神崎 茂 PG、岩井祐造第2組 G 補佐

井出幸彦第4組 G 補佐、小松弘人第6組 G 補佐

参加 RC：大阪ちゃやまち、大阪中央、大阪堂島、大阪北、大阪北梅田、大阪西、大阪リバーサイド、大阪大淀、大阪そねざき、大阪梅田、大阪梅田東、大阪ユニバーサルシティー、大阪西北

参加者数：193名(会員数708名)

本年のテーマは、I.M. 第5組の各 RC の幹事の方々と十分に議論を重ね、講師の先生方に「少子化」についてのお話をお願いし、出席会員の全員参加のバズセッション方式も決めていました。

ホスト RC の三村会長も開会の挨拶のなかで触れられていましたが、私達のミーティングの数日前の某大臣の発言により、改めて日本社会における重大なテーマとして浮上し、認識されました。

岩田 G の挨拶でも丁寧な言い回しの中で少子化と高齢社会の中での人口減少による社会保障などの将来に向けての不安を表現され、参加会員全員の討議、討論について期待を込められ、明日のロータリーの活動につながるようにとのお言葉でした。

講師の小林室長は行政の責任者として、詳細なデータを理解しやすいグラフや表にして会場の全参加者に資料を配られ「少子化の動向」及び「少子化対策」について短時間で明解に説明されました。人口減少社会に転じた日本について、日本各地の出生率を示しながら、今後数十年の人口減少は食い止められないこと、少子化がもたらす国家的課題に政府と地方公共団体はどう取り組むべきかを、少子化先進国のスウェーデンやフランスの状況を説明しながら、これに学ぶことや経済的不安定や男性の労働状況が少子化に大きく関係していることなど、今後の対策の方向を示唆する説明をされました。



岩田ガバナー

吉岡先生は、「少子化を考える」だけでなく、少子化は極度に進んでいるとの立場で、大学内のこども研究センターへの来所家族の例を中心に、現代は子も親も家族全体の人間関係が不足しており、社会との関わり合いが稀薄で、特に子は本来の父親像を知らずに成長するのが多いとも話され、人間が人間らしく成長しなくなり、次世代の労働力の質の低下に関係するとも説明されています。三十年前に育児支援の施策が始められた頃にもっともっと色々の支援を積極的に行なっていれば…、との思いも吐露されました。今となっては社会全体で子育てをやって行かねばならない。少ないこどもをロス無く立派な大人に社会が育てようと強調されました。

お二人の先生のご講演の後すぐに、参加者全員が20のテーブルに分かれバズセッションに入りました。

サブテーマも選んでいただきました。

1～4テーブル 少子化に対してロータリアンとしての役割

5～8テーブル 働く女性の育児休業の重要性について

9～12テーブル 少子化に対して政府に望むこと

13～16テーブル 少子化による将来の社会保障・労働力について

17～20テーブル どうすれば出生率が高まると思いますか

の5テーマです。

各テーブルにはホストクラブのロータリアンがそれぞれのバズの意見を取りまとめ、サブテーマを中心に意見と提言が発表されました。残念ながら余りにも討論の場の盛り上がりが大きく、発表のための時間が充分にとれず、20バズのうち半分の10テーブルの発表でまとめに入りました。

まとめは吉岡先生にお願いしました。「少子化を食い止めることは出来ないだろうけれども、とにかくお金の問題、労働形態の問題、地域社会のありようとかに話が凝縮しました。発表にありました『夢のもてる社会をつくろう』というのがまとめの合言葉になると思いました。」とまとめて頂きました。

全体の講評をI.M.第5組の市川寛城G補佐から頂き、ホストクラブの一同は非常に丁寧に我々の計画、進行、取りまとめをよく見ておられたと感激いたしました。

次年度ガバナー補佐（大阪西北RC 平林武昭P会長）紹介と次年度ホストクラブ（大阪大淀RC）の紹介を行い第1部は無事終了となりました。

休憩の後、第2部音楽と食事に入り、参加ロータリアン全員が楽しく親睦を深めました。



小林室長



吉岡教授

国際ロータリー第2660地区ローターアクト下期活動報告

地区ローターアクト委員会委員長 **高橋 敏朗** (守口RC)

○ 2006～2007年度 RAC 提唱・未提唱ロータリークラブ第2回ローターアクト正副委員長会議

日 時：平成 19 年 1 月 27 日 (土) 13:00～16:30

会 場：OMMビル 201号室 参加人数 65名

ホスト：地区ローターアクト委員会

未提唱クラブの青少年委員長の参加も定着してきました。前回では、未提唱クラブの皆様はローターアクトのことが殆ど分からないと言うことでしたので、2660地区ローターアクトガイドブックをお渡ししてガイドブックに沿って30分ほど説明しました。事前アンケートの中にローターアクトクラブを作りたいと言うところが3クラブほど有りました。このことはPRしてきて良かったと思います。今後も新クラブ実現に努力したいと思っています。その後IM組ごとに分かれてプログラムに沿って討議して頂きました。岩田ガバナーはじめ岩井ガバナー補佐も参加して頂きましたことをお礼申し上げます。今回の会議の収穫は未提唱クラブの皆様の中からガイドブックを注文したいといっているところがあったことです。皆さんも是非ガイドブックをお読み下さい。ローターアクトの存在が少し分かっていただいたようです。地区としてももっと積極的にPRをしなければならないと思っています。

○ 4地区合同情報交換・交流会 (2640, 2650, 2660, 2680)

日 時：平成 19 年 2 月 4 日 (日)

会 場：チサンホテル 新大阪2階

ホスト：国際ロータリー 2660地区

参加人数：156名 (内ロータリアン28名)

久しぶりに4地区合同情報交換交流会が開催されました。この開催は4地区のガバナーの承認が要ります。今回は沢山の人が集まって情報交換が出来ました。そしてチャリティーでは盛り上がり、バッチの売り上げも入れて18万円ほど集まりました。それをベトナムのホーチミン第11地区の養護施設の子供達に送ります。

○ ローターアクト第2回地区連絡協議会

日 時：平成 19 年 2 月 18 日 (日) 13:00～16:30

会 場：大阪府赤十字血液センター

ホスト：大阪西南 RAC

参加人数：56名 (内 RAC50名)

この RAC の第 2 回連絡協議会は RAC の会長と幹事が集まり 2006～2007 年度の前期の反省と後期の取り組みとを会長部門と幹事部門に分かれて協議しました。



○ ローターアクト第2回地区献血

日 時：平成19年2月18日（日） 10:00～16:30

場 所：大阪梅田 ヨドバシカメラ前、ハップファイブ前

ホスト：大阪御堂筋 RAC

この運動は毎年2回夏と冬の献血の少ない時期に行っています。これは献血を通じて社会奉仕すると同時に一般の方に RAC の PR をしています。

・ヨドバシカメラ前：400ml 受付 86 名採血 72 名、200ml 受付 2 名採血 2 名、合計受付数 88 名採血数 74 名

・ハップファイブ前：400ml 受付 74 名採血 53 名、200ml 受付 8 名採血 8 名、合計受付 82 名採血数 61 名

2カ所合計 400ml 受付 160 名採血 125 名、200ml 受付 10 名採血 10 名、合計受付数 170 名採血 135 名の採血が行われました。皆様ご苦勞様でした。

○ 第20回全国ローターアクト研修会

日 時：平成19年2月24日（土）～平成19年2月25日（日）

場 所：石川県立音楽堂

参加人数：795名（内訳 RAC453、ホスト RAC191、RC54、ホスト RC97）

ホ ス ト：国際ロータリー 2610 地区ローターアクト

この研修はアクトの代表、代表ノミニー、RA 地区幹事、RA 地区幹事ノミニーと一般とに分かれてその時の議題を以って研修されます。そして RC 地区ローターアクト委員長会議はこれもホストの議題として出てきます。まず初日は各地区レベルでの発言があります。二日目は前日の質問と意見交換でした。ローターアクトは西の地区の方が熱いと言われています。それは圧倒的に西の方がアクトの数が多いからです。この様に今は温度差がありますが、この研修会を通じて RAC の皆さんが友情を貰って地区に帰り、また頑張って盛り立てていっているようです。

○ 今後の行事

ロータリーの皆さん是非下記の行事にご参加下さい。

新旧理事役員研修会：平成19年4月15日（日）

ホスト 枚方 RAC

春のライラ：平成19年5月3日（木）～5日（土）

ホスト 大阪北梅田 RC

地区年次大会：平成19年5月20日（日）

ホスト 池田 RAC

リーダーシップフォーラム・新人研修会：平成19年6月10日（日）

ホスト 大阪淀川 RAC



米山奨学生終了者歡送会報告

地区米山奨学委員会 委員 **野村 泰弘** (大阪西 RC)

日 時：2007年2月4日(日) 11:30～14:00

場 所：大阪厚生年金会館

出席者：岩田宙造 G、近藤雅臣 PG、地区米山奨学委員 10名、米山奨学生 24名、指導教官 5名、
 カウンセラー 21名、クラブ会長 4名、クラブ米山奨学委員長 8名、学友会 3名

計 77名

〔歡送会〕	司会	地区米山奨学委員会 委員	笠原隆之助
1. 来賓・地区役員紹介		〃	〃
2. 歡送の言葉		ガバナー	岩田 宙造
3. 委員長挨拶		地区米山奨学委員会 委員長	北川 哲
4. 終了生の紹介		〃	〃
5. 終了証書・記念品贈呈		ガバナー	岩田 宙造
6. 祝辞・乾杯		パスト・ガバナー	近藤 雅臣
7. 会食・懇談			

①指導教官、カウンセラーのお話

(指導教官) ロータリークラブのお陰で、奨学生が自分の研究ができて大変感謝しております。

(カウンセラー) 優秀な奨学生をお世話させて頂き、光栄に思います。

楽しい思い出と貴重な体験をさせて頂きました。

②終了生の所感

皆様の励ましと援助のお陰で無事終了し、本当に感謝しております。

今後は日本と母国の架け橋となるべく、努力したいと思います。

③学友会のお話

皆さんは、この1年間、たっぷり充電、勉強されたことと思います。

これからは、学友会に入会して頂き、共に社会に奉仕していきましょう。

8. 閉会のことば

地区米山奨学委員会 副委員長

岡田 義昭

皆様のスピーチを聞かせて頂き、本当に感動しました。

また、お世話くださいました指導教官、各クラブのロータリアンの皆様、本当にありがとうございました。



大阪ちゃやまちロータリークラブ創立15周年記念式典報告

大阪ちゃやまちロータリークラブ 会長 米田 秀実

日 時：2007年1月22日（月）17:00～20:00

場 所：ホテル阪急インターナショナル 花風の間

出席者：曾根崎警察署 巡査部長 奥田修久、夫人 奥田美穂子

大阪北消防署 消防司令 門林正義、夫人 門林伸江

IM 第5組 G 補佐 市川 寛城、大阪北 RC 会長 木本 武雄

創立時特別代表補佐 荒井敬一郎

元会員9名、会員13名、会員家族1名、事務局1名、合計31名

大阪ちゃやまち RC は、大阪北 RC をスポンサークラブとして、1992年1月27日に創立会員62名で創立総会を開催し、同年2月20日に RI の一員として正式に承認されました。

当クラブ創立15周年を迎えるに当り、この記念すべき式典に多数のご来賓において頂きまして、心から感謝申し上げます。

創立15周年の記念事業としまして、日頃より地域の少年の健全育成、救助・火災予防など、市民生活の安全に尽力しておられる曾根崎警察署と北消防署のお二方に感謝状をさしあげました。

創立以来の様々な活動のスライド上映を見ながら、仲間と共に活動してきたことを振り返りますと、我々を支えていただいた大阪北 RC のおかげと深く感謝いたします。そして記念式典にご出席いただいた OB の皆様方をはじめ、たくさんの諸先輩方にお世話になり、多くのロータリアンの皆様の努力の積み重ねで、今日があるのだという思いでいっぱいになります。

残念ながら、創立当初の会員数が3分の1に減少してしまいましたが、少人数なりに出来ることから、実際に体を動かし、身の丈に合った活動に取り組んでいます。

ここ数年は、特別養護老人ホーム「喜久寿苑」のクリスマス会のお手伝いや、車イス、車イス用オーバーテーブルの寄贈、知的障害者施設「中津更生園」の春の一日旅行の支援、献血活動などを行い、地域に密着したボランティア活動をしています。

また、中国、韓国からの米山奨学生の受け入れや、ハンガリー、アメリカ・ミネソタへの青少年交換学生の派遣と受け入れなどを行い、青少年の文化交流と勉学の支援をしております。

祝宴では、元会員が率いるバンドの演奏を楽しみ、和やかな雰囲気の中に15周年記念式典を無事終了することができました。小さな式典ではございましたが、懐かしい諸先輩方の顔を拝見し、近隣 RC との友好親善と会員相互の絆を深め、「率先しよう」の理念に基づく奉仕活動に一層の精進を志すよう心を新たにいたしました。当クラブの15周年に際し、ご協力ご支援をいただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



3 世代合同例会・懇親会の報告

大阪大手前 RC 親睦活動委員長 小林 君夫

1月26日(金)岩田宙造 G、小林弘人 G 補佐にもご出席いただき、帝国ホテル大阪「吉野の間」において3世代 RC の合同例会・懇親会が開催され盛会裡に終了することができました。

2006年3月に大阪天満橋 RC(親クラブ)、大阪大手前 RC(子クラブ)、大阪中之島 RC(孫クラブ)の3クラブは、この3クラブの名前を3世代 RC と呼称することとし、①共同で地域に密着した社会奉仕事業を行うこと②親睦交流を深めるために毎年1回合同例会・懇親の集いを持つこと、が決定されました。そして初年には、天満橋 RC の担当でロータリー創立100周年を記念して3クラブの「ボランティア基金」を創設することが決定され、2年目は中之島 RC の担当で「天満天神 繁昌亭」に3クラブの名前の入った提灯を贈る」という事業が実施されました。

3回目の今回は、大手前 RC がホスト役を担当することとなり、下記の社会奉仕事業を実施したい旨を提案し全クラブの賛同が得られたので、その実施に向けて目下諸準備を進めているところであります。

★「出羽海親方と力士を招いての肢体不自由児を励ます餅つき大会」の開催

1. 日時 平成19年3月2日(金)15:00～

1. 会場 大阪府立中津整肢学院

今回の1月26日の例会は、天満橋 RC と中之島 RC とが例会日を金曜日に変更されて、3クラブが一堂に会して合同例会を開くことができました。G と G 補佐が例会の最初から懇親会閉宴の時までご臨席いただいたこと、3クラブの奉仕活動の中から天満橋 RC は「ローターアクトクラブ」に関して、中之島 RC は「ベトナム医療奉仕事業」に関して、大手前 RC は「大手前整肢学園児のプロ野球京セラドーム大阪球場への観戦招待」に関して、それぞれの担当者から中味の濃い報告があり、感銘を受けたことなどがとても嬉しいことで記憶に残りました。

参加いただきました各位に感謝申し上げるとともに3世代クラブの今後一層の交流と奉仕活動の充実を祈念いたします。



茨木RC国際奉仕活動報告

茨木RC元WCS委員長 長澤 利治

茨木RCは8年前よりインドネシア・ジョグジャカルタRCとともにWCS活動を活発に展開してきました。活動範囲もジャカルタ、デンバサーへと広がっています。

我がクラブは社会奉仕として3年前より府立茨木養護学校への奉仕活動をおこなってきました。その一環として、養護学校の生徒の絵画などを東南アジアの養護学校に届け、その学校との友好関係を結ぶ橋渡しをしてきました。昨年11月にマレーシアのアンパンRC（クアラルンプールの中心のRC）の方がこの計画に対して親切に対応していただきました。その後、元米山奨学生のリザ・ムヒダ君（インドネシア）がマレーシア国際イスラム大学の工学部助教授になっており、アンパンRCとは大変近いゴンバックRCの会員にもなっていたことから、リザ・ムヒダ君を通じてアンパンRCとの接触を続け、現地の養護学校を選んでいただきました。その結果、2月15日に茨木養護学校の生徒によるコンピューターで描いた作品を現地に持参しました。

養護学校はSpastic Children's Association of Selangor & Federal Territory (SCAS & FT) でした。マレーシアでは一番古い学校で、国からの援助が20%、その他さまざまなスポンサーからの援助により運営されています。スタッフは学校をリタイアした元先生で、ボランティアで学校運営をサポートしているとのことでした。

学校を訪れたとき、校内を見学するだけと思っていましたら、全生徒、先生、父兄ともども体育館に集合しており、当日は前マレーシア首相マハティール氏の義妹の誕生日とのことでした。体育館では生徒による音楽、歌などのあとに私たちの紹介があり、マレーシアの学校から生徒が作成したネコの刺繍を預かってきました。アンパンRCおよびゴンバックRC両方の例会に出席し、大変有意義でした。

帰国後、すぐに茨木養護学校を訪ね、マレーシア訪問の報告をいたしました。教頭先生より、「普通校の場合は最近他国の高校との交流が活発におこなわれているが、養護学校の場合は例がないとのことで、これを機会に是非マレーシアと交流をおこないたい。」との話がありました。

このように、WCS活動とは違ったやり方でロータリーを通じての国際交流ができました。



DDF (地区財団活動資金) シェア会議報告

財団情報・増進委員会 委員長 井川 孝三 (大阪西 RC)

日 時：2007年2月20日 (火) 15:00～17:00

場 所：ガバナー事務所

出席者：岩田宙造G、新谷秀一GE、佐藤俊一ロータリー財団委員会委員長、北村譲財団情報・増進委員会副委員長、福家宏人道的補助金委員会委員長、辻川功一人道的補助金委員会委員、溝畑正信財団奨学金・学友委員会委員長、田中潤治研究グループ交換委員会副委員長、宮里唯子世界社会奉仕委員会副委員長、簡仁一世界社会奉仕委員会委員

2008～2009年度のためのシェア会議を行いました。決定事項は下記の通りです。

D-2660 DDF バランスシート

ロータリー財団委員会
2007.02.20
単位：US\$

	2006-7年度予算	2007-8年度予算	2008-9年度予算
前年度 DDF 繰越額	133,140.14	61,579.84	81,208.71
TRF 新規 DDF 配分額	297,439.70	351,628.87	294,997.60
DDF 利用可能総額	430,579.84	413,208.71	376,206.31

プログラム別 DDF 配分表 (支出)

配分・分野	2006-7年度予算	使用見込	2007-8年度予算		2008-9年度予算	
<人道的分野>						
地区補助金	55,000	40,000	55,000		50,000	
WCS MG	60,000	60,000	60,000		65,000	
<教育的分野>						
国際親善奨学生	10名 260,000	234,000	7名 182,000		9名 207,000	
GSE プログラム強化	0	0	0		0	
<寄贈分野>						
Rセンター平和フェロー	25,000	25,000	25,000		25,000	
ロータリー平和および紛争解決研究プログラム					5,000	
ポリオプラス	10,000	10,000	10,000		10,000	
分野別・配分総額	410,000	369,000	332,000		362,000	
次年度への繰越予定額	20,579.84	61,579.84	81,208.71		14,206.31	

参考 *各年度の新規 DDF 配分額は TRF より確認があった金額。当年度配分額が未使用となった場合、DSG 以外は次年度への繰越金となる。
* TRF 帳簿残高(配分額が実際に引き落とされた金額)と本表予算残高とは計上時点の相違があり必ずしもマッチしない。
*(未)は現時点では未使用であるが下半期に使用予定

地区米山奨学委員会より

2007年1月末 全国寄付金合計額 1,081,385,150円 (前年度比1.22%増)
 “ 第2660地区寄付金合計額 64,138,679円 (前年度比1.05%増)

2007年1月末 全国寄付合計トップ10

1. 第2650地区	82,500,697円	6. 第2770地区	57,309,190円
2. 第2750地区	64,952,370円	7. 第2580地区	45,209,445円
3. 第2660地区	64,138,679円	8. 第2780地区	39,504,500円
4. 第2590地区	58,020,281円	9. 第2820地区	39,005,500円
5. 第2760地区	57,732,817円	10. 第2640地区	38,244,411円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2007年1月)

氏名	回数(回目)	クラブ名	氏名	回数(回目)	クラブ名
城阪勝喜	2	池田くれはRC	芳賀修	2	大阪梅田RC
菅野忠彰	7	守口RC	本庄正史	1	大阪梅田RC
中田八朗	6	大阪東淀RC	池田佳弘	1	大阪梅田RC
友藤昭弘	1	大阪平野RC	井上直次	2	大阪梅田RC
田中義信	1	大阪イブニングRC	金延宏明	2	大阪梅田RC
山内康俊	1	大阪西RC	熊谷貞俊	1	大阪梅田RC
井出成信	3	大阪大手前RC	三好庸隆	2	大阪梅田RC
飯田都	3	大阪大手前RC	宮脇茂樹	3	大阪梅田RC
松浦貞男	3	大阪大手前RC	村上稔	1	大阪梅田RC
三木元昭	1	大阪大手前RC	神寶敏夫	1	大阪梅田RC
佐々木宏	6	大阪大手前RC	園侯一	3	大阪梅田RC
高折忠太	8	大阪大手前RC	鈴木達郎	1	大阪梅田RC
山岡桂造	3	大阪大手前RC	山本雅昭	1	大阪梅田RC
相原克偉	1	大阪梅田RC			

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2007年1月)

クラブ名	回数(回目)	クラブ名	回数(回目)
大阪東淀RC	31	大阪大手前RC	24

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2007)

小川 泰彦	大阪梅田RC	1/26
大矢 喜昭	大阪梅田RC	1/26
芳賀 修	大阪梅田RC	1/26
米田 猛	大阪西RC	1/26
田中 明男	豊中千里RC	1/26
石黒 嘉弘	八尾RC	1/19
大坪 勤	八尾RC	1/19

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2007)

石崎 義公	1回目	東大阪	西RC	1/26
久保 義誓	1回目	茨木	RC	1/19
大森 保子	3回目	茨木	西RC	1/19
清水 達也	1回目	茨木	西RC	1/19
中竹 正	3回目	茨木	西RC	1/19
西尾 忠夫	1回目	茨木	西RC	1/19
別處 了一	2回目	茨木	西RC	1/19
都田 慶一	1回目	茨木	西RC	1/19
後藤 孝吉	2回目	八尾	RC	1/19
片桐 正信	1回目	八尾	RC	1/19
中川 廣次	1回目	八尾	RC	1/19
坂本 憲治	3回目	八尾	RC	1/19
高橋 一郎	2回目	八尾	RC	1/19
田中 昌之	3回目	八尾	RC	1/19
田中 義明	1回目	八尾	RC	1/19
山本 勝彦	1回目	八尾	RC	1/19
山本 昌市	1回目	八尾	RC	1/19
山本 義治	3回目	八尾	RC	1/19
吉田 義行	1回目	八尾	RC	1/19
堀内 顕	2回目	八尾	東RC	1/26
池本 繁喜	3回目	八尾	東RC	1/26
木村 久一	3回目	八尾	東RC	1/26
桑田タア子	1回目	八尾	東RC	1/26
真野 鐵生	2回目	八尾	東RC	1/26
森下 慶治	2回目	八尾	東RC	1/26
中西 義治	2回目	八尾	東RC	1/26
奥田 長二	2回目	八尾	東RC	1/26
辻 吉和	3回目	八尾	東RC	1/26

ロータリー財団

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2007)

垣内 康弘	大阪リバーサイドRC	1/26
筒井 重之	八尾 東RC	1/26

2007年2月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初 会員数	2月末会員数		入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率	I M組	クラブ名	7月期初 会員数	2月末会員数		入会者数 累計	退会者数 累計	増減	例回数	出席率	ホーム クラブ 出席率
			全員	女性										全員	女性						
I M第1組	池田	41	41	2	0	0	0	4	69.29	62.85	I M第5組	大阪北	150	152	0	5	3	2	4	82.85	63.84
	池田くれは	45	45	1	2	2	0	3	72.55	66.66		大阪北梅田	43	45	2	2	0	2	3	76.74	63.57
	箕面	33	33	0	0	0	0	4	83.00	69.33		大阪西	87	92	0	9	4	5	3	90.55	74.63
	箕面中央	32	31	0	1	2	-1	4	80.60	75.00		大阪大淀	47	49	0	2	0	2	4	78.85	68.59
	豊中	44	48	2	5	1	4	4	97.50	81.25		大阪リバーサイド	32	33	3	1	0	1	4	76.72	57.76
	豊中南	36	40	1	4	0	4	4	88.14	74.81		大阪西北	63	61	0	1	3	-2	4	90.90	77.26
	豊中一大阪国際空港	24	23	0	0	1	-1	4	79.55	71.59		大阪そねざき	59	61	34	4	2	2	4	92.80	69.21
	豊中千里	38	39	4	3	2	1	4	93.20	86.20		大阪梅田	48	48	0	3	3	0	4	93.75	80.63
	小計	293	300	10	15	8	7		82.98	73.46		大阪梅田東	36	35	0	2	3	-1	4	87.85	73.56
I M第2組	茨木	28	26	2	1	3	-2	4	92.10	71.10	大阪エコーパルシティ	25	24	4	1	2	-1	4	81.82	64.77	
	茨木東	47	49	3	3	1	2	4	85.81	68.92	小計	708	717	50	36	27	9		85.64	69.14	
	茨木西	33	33	5	1	1	0	4	92.56	82.36	大阪	260	270	0	21	11	10	4	76.15	55.60	
	千里	49	50	0	1	0	1	4	82.14	68.75	大阪東	117	125	0	11	3	8	4	95.88	67.42	
	千里メイプル	24	27	3	3	0	3	4	88.79	83.18	大阪東淀	41	42	8	4	3	1	3	84.69	74.77	
	摂津	35	36	0	1	0	1	4	91.41	78.12	大阪城	13	12	0	0	1	-1	4	70.84	64.59	
	吹田	70	66	5	0	4	-4	4	96.88	85.11	大阪城東	44	45	4	2	1	1	4	79.53	72.89	
	吹田江坂	43	43	3	1	1	0	4	89.40	73.49	大阪中之島	31	36	0	5	0	5	4	90.43	81.61	
	吹田西	50	49	0	2	3	-1	3	100.00	84.60	大阪大手前	51	50	0	2	3	-1	4	97.56	87.19	
	高槻	48	48	2	5	5	0	4	95.52	86.04	大阪城北	61	66	1	5	0	5	4	72.40	70.80	
高槻東	44	44	0	1	1	0	4	100.00	88.38	大阪天満橋	81	80	0	2	3	-1	4	77.28	70.91		
高槻西	31	31	0	0	0	0	4	82.40	81.50	大阪鶴見	42	43	1	1	0	1	4	78.90	71.87		
小計	502	502	23	19	19	0		91.42	79.30	大阪淀川	30	35	2	5	0	5	4	100.00	71.50		
I M第3組	大東	53	53	0	2	2	0	4	95.40	82.90	新大阪	29	42	0	14	1	13	2	85.71	80.95	
	大東中央	29	32	9	3	0	3	4	75.00	69.16	小計	800	846	16	72	26	46		84.11	72.51	
	枚方	44	45	0	3	2	1	3	88.89	83.76	大阪フレンド	20	22	7	2	0	2	4	65.00	63.00	
	門真	32	32	2	2	2	0	4	89.14	81.37	大阪本町	32	32	2	4	4	0	4	76.73	60.34	
	交野	32	30	1	1	3	-2	4	89.52	75.19	大阪御堂筋	36	37	0	2	1	1	4	90.00	77.14	
	香里園	25	23	0	2	4	-2	4	94.05	73.82	大阪南	131	132	0	9	8	1	4	77.10	63.85	
	くずは	52	55	0	3	0	3	4	84.43	78.74	大阪難波	48	51	0	5	2	3	4	99.42	72.06	
	守口	53	52	3	1	2	-1	4	70.83	65.48	大阪なにわ	32	34	1	2	0	2	4	87.03	82.97	
	守口イブニング	25	24	5	1	2	-1	4	79.17	64.59	大阪南西	28	29	5	2	1	1	4	78.00	68.00	
	寝屋川	40	42	3	2	0	2	4	87.18	78.21	大阪西南	95	97	14	2	0	2	4	100.00	79.46	
四条畷	17	16	0	0	1	-1	4	89.56	63.00	大阪船場	45	46	0	3	2	1	3	98.00	84.00		
小計	402	404	23	20	18	2		85.74	74.20	大阪心齋橋	43	42	0	1	2	-1	4	95.45	88.64		
I M第4組	東大阪	76	78	0	2	0	2	4	77.23	66.52	大阪うつぼ	45	45	8	1	1	0	4	89.85	74.22	
	東大阪中央	47	45	0	0	2	-2	3	73.63	68.75	小計	555	567	37	33	21	12		86.96	73.97	
	東大阪東	76	76	2	0	0	0	4	86.21	68.11	大阪阿倍野	26	22	3	1	5	-4	4	93.75	81.25	
	東大阪みどり	32	32	2	1	1	0	4	73.44	58.59	大阪阪南	47	45	1	0	2	-2	4	90.79	79.61	
	東大阪西	52	52	0	1	1	0	3	95.24	65.08	大阪平野	37	38	6	1	0	1	4	97.73	83.33	
	大阪柏原	38	36	3	0	2	-2	4	91.37	88.79	大阪イブニング	21	25	6	4	0	4	4	76.19	72.83	
	八尾	83	88	0	5	0	5	4	96.78	68.83	大阪城南	65	63	0	0	2	-2	4	97.67	85.47	
	八尾中央	29	28	2	0	1	-1	4	83.33	72.22	大阪咲洲	21	23	1	2	0	2	4	86.90	78.57	
	八尾東	39	34	4	1	6	-5	4	66.40	62.10	大阪住之江	28	27	0	0	1	-1	3	98.72	74.86	
	小計	472	469	13	10	13	-3		82.63	68.78	大阪住吉	40	41	3	1	0	1	4	83.82	69.86	
I M第5組	大阪ちゃやまち	18	18	0	1	1	0	3	90.74	58.33	大阪天王寺	25	23	0	0	2	-2	4	100.00	88.75	
	大阪中央	61	61	6	5	5	0	3	93.75	72.72	大阪東南	54	58	0	4	0	4	4	93.10	72.42	
	大阪堂島	39	38	1	0	1	-1	3	75.69	73.98	小計	364	365	20	13	12	1		91.78	78.70	
合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員数	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減		平均 出席率	平均 出席率		86	4096	4170	192	218	144	74	86.4	73.8	

※今年度はI M組毎に分類させていただきます。

文庫通信

—234号—

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの源流

- ◎「奉仕こそわがつとめ」 R.I. 1979 140p
- ◎「奉仕の冒険」 R.I. 1981 130p
- ◎「平和への七つの道」 R.I. 1959 118p
- ◎「われらのつとめ—ロータリー物語 (1)」 直木太一郎 神戸 R.C. 1964 99p
- ◎「世界と共に—ロータリー物語 (2)」 直木太一郎 神戸 R.C. 1965 129p
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]
- ◎「ロータリーの理想と友愛」 ポール P. ハリス著；米山梅吉訳 1978 295p
- ◎「ロータリー・モザイク」
ハロルド T. トーマス著；松本兼二郎訳 1977 327p
[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

宮坂 松央 君 (大阪堂島RC)

平成19年2月10日逝去(享年71歳)

米山功労者
ポール・ハリス・フェロー

松田 道夫 君 (吹田西RC)

平成19年2月16日逝去(享年75歳)

クラブ規定委員長
職業奉仕委員長・理事
クラブ規定・ロータリー情報委員長

米山功労者 (マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

湯田 浩 君 (大阪南RC)

平成19年2月26日逝去(享年65歳)

地域発展委員長、出席委員長
青少年活動委員長

※最新のロータリーレートは
RI ウェブサイト上でご確認ください。
(<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html>)

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 岩田宙造
- ・地区代表幹事 山本博史
- ・地区副代表幹事 谷 明
- ・担当地区幹事 木村芳樹
- ・担当地区幹事 鈴木慶一
- ・担当地区幹事 横尾國治
- ・事務局長 今井貢二

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田	宙造
地区代表幹事	山本	博史
地区副代表幹事	谷	明
事務局長	今井	貢二
事務局長	栗正	久美
	春名	志保
	藤本	緑

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日
 夏季 2007年8月13日(月)～8月16日(木)
 年末年始 2007年12月29日(土)～2008年1月4日(金)

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

所在地・電話・ファックス

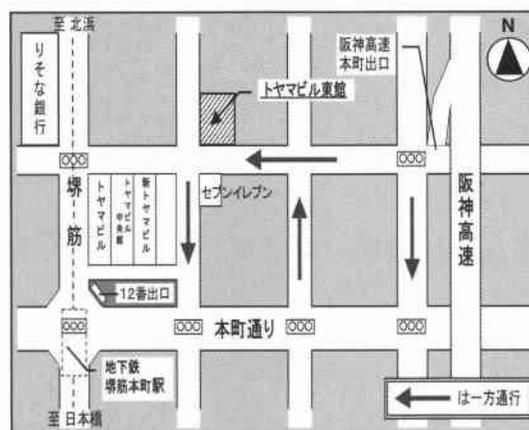
〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ



Lead The Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

率先しよう

Lead The Way

G GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER ガバナー月信



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
国際ロータリー第 2660 地区
'06-'07 ガバナー 岩田宙造

5

2007 No.11

目 次

ガバナーメッセージ クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)について	岩田 宙造	1
2006～2007年度 I.M.第4組報告	小路 徹二	3
2006～2007年度 I.M.第6組報告	平岡 龍人／更家 悠介／佐野 吉彦	4
2007～2008年度のための地区チーム研修セミナー報告	中堂 武賢	5
2007～2008年度ロータリー財団国際親善奨学生 第2回オリエンテーション報告	溝畑 正信	6
2006～2007年度 第2回クラブ世界社会奉仕委員長会議報告	植村宏一郎	7
地区米山奨学委員会より／米山功労者／米山功労クラブ ロータリー財団 ポール・ハリス・フェロー／ベネファクター		8
2007年3月度 会員数・出席報告		9
文庫通信／お知らせ／敬 弔／訂正とお詫び		10
月信編集委員会からのおねがい 2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区【ガバナー事務所案内】		11

ガバナーメッセージ

クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) について

国際ロータリー第2660地区

ガバナー **岩田 宙造**



今年度のガバナーに就任して早くも8ヶ月半が過ぎ、地区大会も皆様方のご支援により、RI会長代理がRI会長ノミニーになるといった予想外のこともありましたが、盛会に、無事済ませることができました。皆様方の心温まるご理解をいただきましたこと大変感謝いたしております。

就任当初から、1) 地区委員会に関する事、2) 地区リーダーシップ・プラン (DLP) について、3) CLPをRIが推奨していること、等々色々な課題を引き継いでスタートいたしました。新谷秀一ガバナー・エレクト、横山守雄ガバナー・ノミニー、両氏の方ならぬご支援と8人のガバナー補佐、地区幹事団の強力なバックアップがあって、1)、2) に関しては月信1月、2月、3月号でお知らせしましたように、地区委員会、ガバナー補佐および地区研修リーダーについて、その考え方を文章にしました。3) に関しては地区大会でCLPを推奨することが決議され、一応の結論を出すことができました。ご協力、ご支援をいただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

その中で特に皆様方に十分にご理解をいただきたいと願っています CLP について少し説明をさせていただきます。

ロータリーも第2世紀に入り地区組織の効率が問題となり、RIはまずDLPを考案し、ついでこの基本概念をクラブ・レベルに適用し、効果的なロータリークラブの管理の枠組みとしてCLPの採用を推奨、クラブのより一層の発展を期待することになりました。CLPの先行概念であるDLPはクラブに対する迅速な支援や、経験豊富な地区リーダーを育成することなどにより、クラブ強化に役立つことが期待され、CLPはこのDLPの延長線上にあると考えられています。

ロータリーの友2006年10月号にRI理事重田政信氏がCLPに関する記事を書かれています。その中で、この8月に実施されましたCLP導入について国内全地区でのアンケート調査から、約44%が実行段階、約13%が意思決定段階、約22%が研究段階であることが分かり、まだまだ日本ではCLP導入は過渡期的な状態であることが報告され、最後のまとめとして、『ロータリーが会員減少に直面し、私たちのクラブ活動が果たして社会のニーズの変動に正しく適応してきたのか、何か変革が求められているのではないか、という共通意識のもとに、CLPの導入に対して前向きの検討をお願いしたい。』ということです。『それは時代の波に迎合しようとするのではなく、ロータリー

の、他に類を見ない真の良さを再認識するために、それぞれのクラブ、独自の立場から会員全員が当事者意識を持ち、CLPの検討を機に、クラブ細則やクラブ運営でこれまで思いも及ばなかった改善すべき点を再点検されることをお願いします。その上で、新世紀に求められる魅力あるロータリーのあり方を明確にし、ロータリー第2世紀を再び輝かしい発展の時代にしようではありませんか。』と結ばれています。

このような状況下、当地区といたしましてもRIの要望にこたえるべく、CLPについて各クラブが十分にご検討をいただくことをお願いいたしております。クラブが主体であること、多様性こそがロータリーの強みであることも同時に、あわせて申しあげております。

CLPについて、これまでの4大奉仕を中心とする委員会とは全く違ったアイデアによって構成されているため、4大奉仕を軽視していると誤解されている向きもありますが、2007年規定審議会で制定予定の新クラブ細則では4大奉仕をクラブ活動のための理念と実践の枠組みとして位置づけ、クラブ委員会は4大奉仕に基づいた年次、および長期的な目標を推進する責任をもつこととなりますのでご了解いただきたいとのことです。

CLP導入の最大利点は、この機会に自分のクラブの細則を見直し、当事者意識を持ってクラブの活性化する意欲をわかせる点にあると思われれます。ロータリー章典にはCLPの目的は『効果的なクラブの管理の枠組みを提供することにより、ロータリー・クラブの強化を図ること』となっています。皆様方にはこれをきっかけにクラブの活性化についてあらためてご議論いただき、クラブの発展につなげていただきたいと思います。

『Lead The Way、率先しよう』です。よろしくお願いします。

2006～2007年度 I.M. 第4組報告

大阪柏原 RC 会長 小路 徹二

2007年2月17日（土）午後1時30分より、柏原市民文化会館リビエールホールにおいて第4組のI.M.が開催されました。テーマは、「私たちの家族」—青少年は今、何を—ということで、ロータリアンだけにとどまらず、広く一般の方々にも参加を呼びかけ、ロータリアン約300名、一般参加者約400名、合計約700名という多数の御参加をいただきました。

基調講演に高市早苗衆議院議員をお迎えし、約1時間にわたり御自身の幼少時の体験を基にしたお話から、現在取り組んでおられる少子化問題、教育基本法改定、学習指導要領の見直し、青少年を有害情報から守ることなどに関する取り組みに至るまで、大変わかりやすく話題提供をしていただきました。

続いて、当クラブI.M.委員長 林芳繁ロータリアンがコーディネーターとなり、パネリストに児童精神科医 北畑英樹氏、学校法人清風明育社 清風情報工科学院理事長・校長 平岡龍人氏、柏原市社会教育団体代表 吉見静香氏をお迎えして約1時間半にわたりシンポジウムが行われました。パネリストの皆様からの青少年問題に関する話題提供に対して、ロータリアン、一般参加の方々を交えた活発なディスカッションが行われました。参加された方々の心に残るようなI.M.が出来たのではないかと考えております。

報道関係の方々にも数社お越しいただき、当日夕方のNHKニュースで本I.M.の一部始終が放映されましたことをご報告いたします。

開催に当たりまして、岩田宙造G、井出幸彦G補佐、戸田孝PGには大変お世話になり誠にありがとうございました。また、東大阪、東大阪東、東大阪中央、東大阪西、東大阪みどり、八尾、八尾東、八尾中央各RCの会長・幹事の皆様方には準備、企画に当たり御指導、御助言を賜りまして誠にありがとうございました。



2006 ~ 2007 年度 I.M. 第6組報告

I.M. 第6組実行委員長 **平岡 龍人**(大阪 RC)

副委員長 **更家 悠介・佐野 吉彦** (大阪 RC)

I.M. 第6組は、ほとんどが中之島に位置している 12 クラブで構成されていますが、本年度は私ども大阪 RC がホストになり、2月24日(土)午後から大阪国際会議場で「美しい大阪・美しい中之島」というテーマで開催、美しい中之島づくりのために何が大切かを模索しました。

開催に先駆け、日本建築協会、NPO 法人エコデザイン・ネットワークと共催で、美しい中之島づくりのため、建築家による「デザインコンペ」、一般市民からの「私の一押しアイデア募集」などの事業を開催しました。それぞれ 16 点・65 点の応募があり、優秀賞は当日展示表彰式も挙行、マスコミでも報道されました。

表彰式のあと、元財団奨学生アレックス・カー氏による基調講演、平岡をモデレーターに、關淳一大阪市長、奥田務会長、佐藤茂雄会員らによるパネルディスカッションも開催し、参加者も 260 人と、多くの会員にご参加頂き、美しい中之島づくりに向け一石を投じたイベントになりました。今後更にこのシンポジウムの成果が社会奉仕活動に展開されることを期待しております。

なお、会議終了後、実行委員を中心に、他クラブ参加者にも呼びかけ、約 100 名の出席者を得て懇親会を開催、本当の意味の Intercity Meeting となりました。

最後になりましたが、岩田 G、小松 G 補佐始め、各参加 RC の会長・幹事・会員諸氏、そして大阪 RC の I.M. 担当実行委員の皆様には多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。

プログラム・進行表 (表中敬称略)

時間	事項	担当
13:00	開会式	司会 早嶋 茂
	点鐘	奥田 務
	国歌・奉仕の理想	リーダー 西岡信雄・指揮 グリークラブ
	開会の辞	実行委員長 平岡 龍人
	歓迎・参加者紹介	会長 奥田 務
	来賓挨拶	市長 關 淳一 ガバナー 岩田 宙造
13:25	表彰式	司会 佐野 吉彦
	審査結果発表	橋爪 紳也
	表彰式・授与	橋爪 紳也・奥田 務
13:45	基調講演	司会 更家 悠介
		東洋文化研究者 ALEX KERR
14:45	休憩・展示会場で受賞作品を鑑賞	
15:10		司会 更家 悠介
	パネル	モデレーター 平岡 龍人
	ディスカッション	パネリスト 關 淳一
	及び	パネリスト ALEX KERR
	中之島宣言	パネリスト 奥田 務
		パネリスト 佐藤 茂雄
16:40	閉会式	司会 早嶋 茂
	講評	ガバナー補佐 小松 弘人
	次年度ホストクラブ	大阪大手前会長 佐々木 宏
17:00	閉会挨拶・点鐘	会長 奥田 務
17:15	懇親会	司会 樋口 信治
		乾杯 岩田 宙造
		閉会 奥田 務
18:15	散会	手に手つないで 西岡信雄・指揮 グリークラブ

I.M. 第6組 12 クラブ別出席報告

クラブ名	会員数 (10/1 現在)	登録数	当日出席	懇親会
大阪東	119	37	24	8
大阪東淀	42	22	10	1
大阪城	13	9	3	0
大阪城東	46	46	13	2
大阪中之島	33	18	10	6
大阪大手前	50	29	17	5
大阪城北	62	21	13	1
大阪天満橋	81	31	15	9
大阪鶴見	42	8	6	1
大阪淀川	31	14	12	5
新大阪	43	27	18	0
大阪	267	108	98	64
合計	829	370	239	102
来賓			6	3
受賞者			12	5
6 組外			3	2
総合計			260	112



← パネルディスカッション

↓ グリークラブによる「奉仕の理想」



↓ アイデア作品展示
実行委員から説明をうける關市長



↓ デザイン・一押しコンペ表彰式



2007～2008年度のための地区チーム研修セミナー報告

次年度地区幹事・月信担当 **中堂 武賢** (池田くれは RC)

日 時：2007年3月10日(土)

場 所：薬業年金会館

出席者：岩田宙造 G、新谷秀一 GE、横山守雄 GN、大谷透次期 GN、PG 7名、
地区研修委員 5名、次期 G 補佐 8名、次期委員長 14名、次期地区幹事団 10名、
次期地区財務委員長 合計 49名

13:00 登録・受付開始、13:30 森茂寛 次期代表幹事の進行・司会により、岩田 G の開会挨拶に続いて、新谷 GE の次年度 RI テーマ「ロータリーはわかちあいの心」及び活動方針を、正面スクリーンにて披露されました。

- ・RCの原点を見つめ直し、テーマを理解していただくために研修を重点に置きます。
- ・RCのいろいろな奉仕活動を通じて、多くの友人を作ってください。

1. 会長の強調事項 ①水保全・識字率の向上・保健及び飢餓について、引き続き積極的に取り組みます。 ②RC家族
2. RC財団 財団の活動を十分に理解していただき、寄付の促進をお願いいたします。
3. 会長賞 クラブの活性化のためにも、ぜひ積極的に挑戦してください。
4. DLP・CLPの推進
5. 現会員の維持と新入会員の推進

地区研修サブリーダーでもあります神崎茂 PG より「ガバナー補佐の役割について」、研修リーダーの戸田孝 PG より「地区委員長に期待すること」と題し、L-E-A-D-E-R など細かに、楽しく講演していただきました。

15:00 より15分間の珈琲ブレイクの後、次年度の運営・活動方針を新谷 GE が発表されました。

北野紀之次期地区財務委員長より、地区予算についてプロジェクターを利用して、丁寧に説明していただきました。

森次期代表幹事より「運営上のお願い」として説明、活発な質疑応答をいただき、横山 GN、大谷次期 GN のご挨拶の後、新谷 GE の閉会挨拶で終了いたしました。



2007～2008年度ロータリー財団国際親善奨学生 第2回オリエンテーション報告

地区財団奨学金・学友委員会 委員長 **溝畑 正信** (東大阪東 RC)

日 時：2007年3月3日(土) 14:30～17:00

場 所：大阪企業家ミュージアム (大阪産業創造館 B1)

出席者：岩田宙造ガバナー、佐藤俊一ロータリー財団委員会委員長、溝畑正信財団奨学金・学友委員会委員長、梅崎道夫副委員長、丹羽一郎・栢本義臣・河野眞一郎・山下勝弘・高田利美各委員、奨学生候補者および顧問 Rn、PSC メンバーの牧尾晴喜・川中紀子・里井久輝・杉浦功一・大垣加代子・中川洋一および来日文化研修生 Hsu Wei Mei (台湾)、Ana Alcantara (カナダ)

今回のオリエンテーションは、これから留学する財団国際親善奨学生に、大阪発の企業(企業家)を認識していただき、第2660地区の財団奨学生としての海外における親善活動の一助になればと考へ、大阪企業家ミュージアムで開催しました。

まず、大阪企業家ミュージアム事務局長 坂上義明氏より「大阪商人の企業家精神と大阪企業家ミュージアム」のタイトルで講話を頂き、次いで館内見学をしました。当館は大阪を舞台に活躍した卓越した企業家105名を展示していますが、大阪商人の企業家精神の特質として、歴史的に自助独立、進取の気風、商人の倫理が、近代の大阪に受け継がれ今日の大阪において発展させた企業家のチャレンジとイノベーションの様を学びました。奨学生からは活発な質問が出て、世界理解と平和達成という財団の使命を担う彼らにとって意義のあるものだったと思います。

その後、場所を大阪産業創造館16F スターアイルに移して17:30～19:00にPSC主催の懇親会が開催されました。奨学生候補者の留学準備報告、先輩であるPSCメンバーとの質疑応答や顧問ロータリアンとの交流が和やかに行われました。また、来日財団文化研修生の日本語による報告がありました。今の時点では多くの奨学生候補者にとっては、RIから大学の指定校通知をもらって、これから大学から入学許可を得る段階のところであり、希望する留学先が無事決まるよう祈っています。



オリエンテーション



大阪企業家ミュージアム



大阪企業家ミュージアム 事務局長 坂上義明氏

2006～2007年度 第2回クラブ世界社会奉仕委員長会議 報告

地区世界社会奉仕委員会 委員長 **植村 宏一郎** (大阪平野RC)

日 時：2007年3月17日(土) 9:30～11:30

場 所：業業年金会館

出席者：岩田宙造ガバナー

国際奉仕委員会 盛田三五委員長・島井宏子副委員長、人道的補助金委員会 横井憲二副委員長、
世界社会奉仕委員会 植村宏一郎委員長及び委員、
地区内クラブ 2006-07年度及び2007-08年度 国際奉仕委員長及び世界社会奉仕委員長

「当地区では補助金を活用し、活発な人道的補助活動が行われている。今期74クラブが独自のWCS活動を実施し、6クラブは地区プロジェクトに参加している。今期も残すところ僅かとなったが、その他クラブのWCS活動の実施を期待するところである。」という岩田Gのご挨拶で会議は始まりました。

盛田委員長からは、ツインクラブ締結状況のアンケート結果報告がありました。国際奉仕やWCS活動に重要な役割を担うツインクラブの締結は、約80%クラブが実施しており、平均18年間その関係を継続しているとのことでした。

次に、植村委員長より、「地区WCS委員会では『地区主導型ではなく、クラブ主体のWCS活動』を方針に活動をすすめています。委員会では各クラブに年に数回、WCSアンケート調査を実施しており、皆様にお手数をおかけしています。個々のクラブの財産を地区内全てのクラブで共有したいという思いからであり、何卒ご協力をお願いします。WCS活動は、現地の調査・立案・実施と時間がかかることから、次年度の活動計画を早期にご検討願いたいと同時に、補助金の十分な理解と活用を是非お願いしたいのです。我々の拠出金は、東南アジアでは莫大な貨幣価値があり、有意義な人道支援が可能なのです。今期の地区活動の中で、特筆すべきは『インドネシアの地震災害の復興』事業として、地区内で集まった400万円にものぼる義捐金を、茨木RC及びジョグジャカルタRCの協力のもと、小学校再建事業を行いました。これは神崎PGの現地復興支援の強い思いから実現されたものです。また、大阪府の協力のもと、不要になった歩道橋をインドネシアの土石流災害地へ届けるというプロジェクトも着手致しました。現地被災者救援にとどまらず、当地区の人道支援プロジェクトとして多大な広報効果をもたらすでしょう。」との報告がありました。

続いて、横井副委員長から、マッチンググラントとDDFに関する財源の説明と、申請手続きに関して、大変分かり易い説明がありました。

戸田委員からは、今年度の地区WCS委員によるモンゴル視察の報告がありました。

最後に、再度盛田委員長より所感と閉会の挨拶があり閉会となりました。

当日、お忙しい中ご出席頂いた皆様に深く御礼申し上げますと共に、来期も引き続き、実り多い人道的補助・WCS活動を実現されますよう世界社会奉仕委員会一同、祈念致しております。



地区米山奨学委員会より

2007年2月末 全国寄付金合計額 1,158,376,865円 (前年度比0.39%増)
 〃 第2660地区寄付金合計額 67,746,179円 (前年度比0.91%減)

2007年2月末 全国寄付合計トップ10

1.	第2650地区	85,608,697円	6.	第2770地区	60,975,690円
2.	第2660地区	67,746,179円	7.	第2580地区	48,510,945円
3.	第2750地区	67,368,620円	8.	第2780地区	41,968,500円
4.	第2760地区	61,760,017円	9.	第2640地区	40,970,411円
5.	第2590地区	61,393,281円	10.	第2820地区	40,837,800円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2007年2月)

氏名	回数(回目)	クラブ名	氏名	回数(回目)	クラブ名
大西 寛治	3	大 東RC	中道 正伸	2	大阪中之島RC
西條 義昭	3	大 東RC	高島 凱夫	4	大阪中之島RC
山中 政治	3	大 東RC	榎木 登司雄	2	大阪東南RC
秋山 憲敏	2	守 口RC	内藤 雅敏	3	大阪東南RC
飯村 佳夫	2	大阪ちゃやまちRC	岡本 健治	6	大阪東南RC
奥 博行	7	大阪ちゃやまちRC			

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2007年2月)

クラブ名	回数(回目)	クラブ名	回数(回目)
大 東RC	30	大阪ちゃやまちRC	12
東大阪中央RC	31	大阪東南RC	22
守 口RC	29		

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2007)

義之 清規	東 大 阪RC	2/2
三木 武志	東大阪中央RC	2/2
山村 安徳	東 大 阪 東RC	2/9
甲斐 克宙	大 阪 西RC	2/23

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2007)

熊澤 忠躬	1回目	守 口RC	2/23
河佐 浩	1回目	大阪ちゃやまちRC	2/16
吉村 孝文	2回目	大 阪 東RC	2/23

ロータリー財団

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2007)

岩本 静江	大 東 中央RC	2/2
佐藤 三千秋	東大阪中央RC	2/2
北村 哲夫	大阪中之島RC	2/2

2007年3月度 会員数・出席報告

I M組	クラブ名	7月期初会員数		3月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率	I M組	クラブ名	7月期初会員数		3月末会員数		入会者数累計	退会者数累計	増減	例会数	出席率	ホームクラブ出席率
		全員	女性	全員	女性									全員	女性	全員	女性						
I M第1組	池田	41	41	2	0	0	0	0	3	71.43	63.81	I M第5組	大阪北	150	154	0	7	3	4	3	79.62	64.13	
	池田くれは	45	44	1	2	3	-1	4	78.69	72.79	大阪北梅田		43	45	2	2	0	2	4	83.14	69.77		
	箕面	33	33	0	0	0	0	4	81.00	77.00	大阪西		87	92	0	9	4	5	4	90.30	74.63		
	箕面中央	32	32	0	2	2	0	5	78.10	71.90	大阪大淀		47	49	0	2	0	2	5	78.35	66.49		
	豊中	44	48	2	5	1	4	3	96.62	83.01	大阪リバーサイド		32	33	3	1	0	1	5	80.69	71.73		
	豊中南	36	40	1	4	0	4	5	89.70	74.85	大阪西北		63	61	0	1	3	-2	3	92.40	79.54		
	豊中-大阪国際空港	24	23	0	0	1	-1	5	82.73	76.36	大阪そねざき		59	61	34	4	2	2	3	94.35	70.62		
	豊中千里	38	40	4	4	2	2	4	93.20	86.20	大阪梅田		48	50	0	5	3	2	4	91.08	80.36		
	小計	293	301	10	17	9	8		83.93	75.74	大阪梅田東		36	35	0	2	3	-1	5	84.56	71.42		
I M第2組	茨木	28	26	2	1	3	-2	3	87.13	64.81	大阪エニバーサルシティ	25	24	4	1	2	-1	4	84.09	68.18			
	茨木東	47	48	3	3	2	1	4	85.14	64.19	小計	708	721	50	40	27	13		86.03	71.61			
	茨木西	33	33	5	1	1	0	3	91.18	80.39	大阪	260	267	0	23	16	7	5	68.91	52.40			
	千里	49	50	0	1	0	1	4	73.22	59.82	大阪東	117	125	0	11	3	8	5	95.53	71.30			
	千里メイプル	24	27	3	3	0	3	4	89.81	81.48	大阪東淀	41	42	8	4	3	1	3	79.28	67.57			
	摂津	35	36	0	1	0	1	4	85.94	71.87	大阪城	13	12	0	0	1	-1	3	72.22	58.33			
	吹田	70	67	5	1	4	-3	4	96.89	86.59	大阪城東	44	45	4	2	1	1	5	80.60	72.11			
	吹田江坂	43	43	3	1	1	0	4	99.24	78.79	大阪中之島	31	36	0	5	0	5	4	89.70	82.35			
	吹田西	50	50	0	3	3	0	3	100.00	88.10	大阪大手前	51	48	0	2	5	-3	5	91.91	79.75			
I M第3組	高槻	48	46	2	5	7	-2	3	91.17	82.21	大阪城北	61	68	1	7	0	7	3	72.80	70.30			
	高槻東	44	44	0	1	1	0	4	98.28	86.82	大阪天満橋	81	78	0	2	5	-3	5	74.11	65.09			
	高槻西	31	31	0	0	0	0	4	82.40	81.50	大阪鶴見	42	43	1	1	0	1	4	77.35	70.32			
	小計	502	501	23	21	22	-1		90.03	77.21	大阪淀川	30	35	2	5	0	5	5	100.00	68.60			
	大東	53	52	0	2	3	-1	4	92.57	86.49	新大阪	29	42	0	14	1	13	3	82.65	71.42			
	大東中央	29	32	9	3	0	3	3	78.88	63.33	小計	800	841	16	76	35	41		82.09	69.13			
	枚方	44	45	0	3	2	1	4	92.26	81.95	大阪フレンド	20	22	7	2	0	2	3	66.66	63.33			
	門真	32	32	2	2	2	0	4	85.16	67.97	大阪本町	32	32	2	4	4	0	4	75.89	65.18			
	交野	32	30	1	1	3	-2	5	78.00	74.00	大阪御堂筋	36	37	0	2	1	1	5	89.14	70.86			
I M第4組	香里園	25	23	0	2	4	-2	3	85.72	69.85	大阪南	131	132	0	9	8	1	4	78.88	63.36			
	くすは	52	55	0	3	0	3	3	79.86	77.08	大阪難波	48	51	0	5	2	3	5	97.56	69.41			
	守口	53	52	3	1	2	-1	3	77.79	66.67	大阪なにわ	32	34	1	2	0	2	4	90.73	81.47			
	守口イブニング	25	25	5	2	2	0	4	70.00	64.00	大阪南西	28	29	5	2	1	1	3	73.33	61.33			
	寝屋川	40	42	3	2	0	2	5	96.41	81.54	大阪西南	95	96	14	2	1	1	3	100.00	77.53			
	四条畷	17	16	0	0	1	-1	3	96.97	77.58	大阪船場	45	46	0	3	2	1	4	98.00	85.00			
	小計	402	404	23	21	19	2		84.87	73.68	大阪心斎橋	43	42	0	1	2	-1	5	96.97	84.24			
	東大阪	76	78	0	2	0	2	3	79.76	69.64	大阪うつぼ	45	46	8	2	1	1	4	90.11	77.15			
	東大阪中央	47	45	0	0	2	-2	3	83.34	70.84	小計	555	567	37	34	22	12		87.02	72.62			
I M第5組	東大阪東	76	76	2	1	1	0	4	90.09	71.56	大阪阿倍野	26	22	3	1	5	-4	3	93.75	83.33			
	東大阪みどり	32	32	2	1	1	0	4	70.31	59.38	大阪阪南	47	45	1	0	2	-2	4	93.43	75.00			
	東大阪西	52	52	0	1	1	0	3	95.24	59.52	大阪平野	37	39	6	2	0	2	4	97.75	82.92			
	大阪柏原	38	36	3	0	2	-2	3	97.70	81.60	大阪イブニング	21	25	6	4	0	4	5	81.60	69.60			
	八尾	83	88	0	5	0	5	4	92.84	68.07	大阪城南	65	63	0	0	2	-2	4	98.81	81.54			
	八尾中央	29	28	2	0	1	-1	4	75.00	70.37	大阪咲洲	21	23	1	2	0	2	3	88.89	65.08			
	八尾東	39	34	4	1	6	-5	4	70.80	67.30	大阪住之江	28	27	0	0	1	-1	4	96.15	78.00			
	小計	472	469	13	11	14	-3		83.90	68.70	大阪住吉	40	41	3	1	0	1	5	86.79	76.10			
	大阪ちゃやまち	18	18	0	1	1	0	4	90.74	71.88	大阪天王寺	25	25	0	2	2	0	5	94.36	81.45			
I M第5組	大阪中央	61	61	6	5	5	0	4	96.71	74.41	大阪東南	54	58	0	4	0	4	4	93.10	66.38			
	大阪堂島	39	38	1	0	1	-1	4	72.37	67.76	小計	364	368	20	16	12	4		92.46	75.94			
	合計	86	4096	4172	192	236	160	76		86.3	73.1												

※今年度はI M組毎に分類させていただきます。

文庫通信

—235号—

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリアン・ロータリークラブの著書から

- ◎「ロータリーの心と原点 基本に返ろう」 廣畑富雄 2006 171p
[申込先：(株)エムケイスペース FAX(092)737-9557]
- ◎「道徳と資本」 佐藤千壽 D.2580・D.2760 2006 78p
[申込先：D.2580 FAX(03)3538-0212]
- ◎「物語職業奉仕」 菅正明 2006 205p
[申込先：戸畑東 RC FAX(093)871-8540]
- ◎「続・ロータリー情報の広場」 東京世田谷南 RC 2006 61p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリーと論語」 太田南 RC 2006 98p
[申込先：太田南 RC FAX(0276)45-0530]
- ◎「ロータリーへようこそ 新会員オリエンテーション」 D.2650 2006 27p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「東京ロータリークラブ カンボジア地雷除去活動視察団報告書」 東京 RC 2006 49p
[申込先：東京 RC FAX(03)3201-3413]
- ◎「外国人による日本語弁論大会報告書」 福知山西南 RC 2006 44p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小林 靖 君 (高槻東RC)

平成19年3月20日逝去(享年72歳)

東村 博 君 (大東RC)

平成19年3月27日逝去(享年64歳)

会長
国際奉仕委員長、雑誌委員長

米山功労者(マルチプル)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

飛驒 隆 君 (大東中央RC)

平成19年4月1日逝去(享年81歳)

出席委員長、ロータリー財団委員長

お知らせ

※最新のロータリーレートは

RIウェブサイト上でご確認下さい。

(<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html>)

訂正とお詫び

月信4月号で下記の通り誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

記

P12

井川 孝三 (大阪西 RC) → (八尾 RC)

P15

2007年2月度 会員数・出席報告

大阪堂島 2月末会員数・全員 98 → 38

出席率 75.69 → 75.96

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 投稿は原稿(写真付の場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコン、ワープロでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、ならびに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、当方にご一任下さい。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 岩田宙造
- ・地区代表幹事 山本博史
- ・地区副代表幹事 谷 明
- ・担当地区幹事 木村芳樹
- ・担当地区幹事 鈴木慶一
- ・担当地区幹事 横尾國治
- ・事務局長 今井貢二

2006～2007年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岩田	宙造
地区代表幹事	山本	博史
地区副代表幹事	谷	明
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	藤本	緑

執務時間

月～金曜日 9:30～17:00

休日

土曜、日曜、祝祭日
 夏季 2007年8月13日(月)～8月16日(木)
 年末年始 2007年12月29日(土)～2008年1月4日(金)

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。最多36名まで。

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

所在地・電話・ファックス

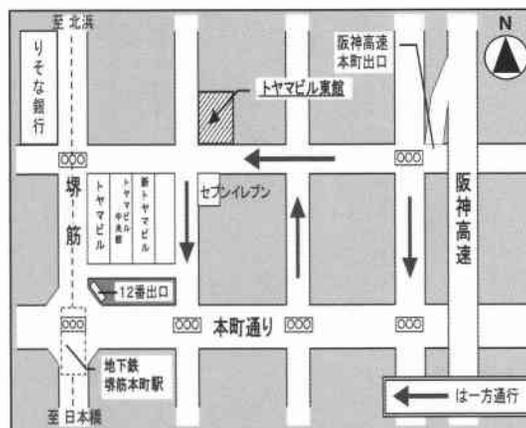
〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館6階
 TEL: 06-6264-2660
 FAX: 06-6264-2661

ホームページアドレス

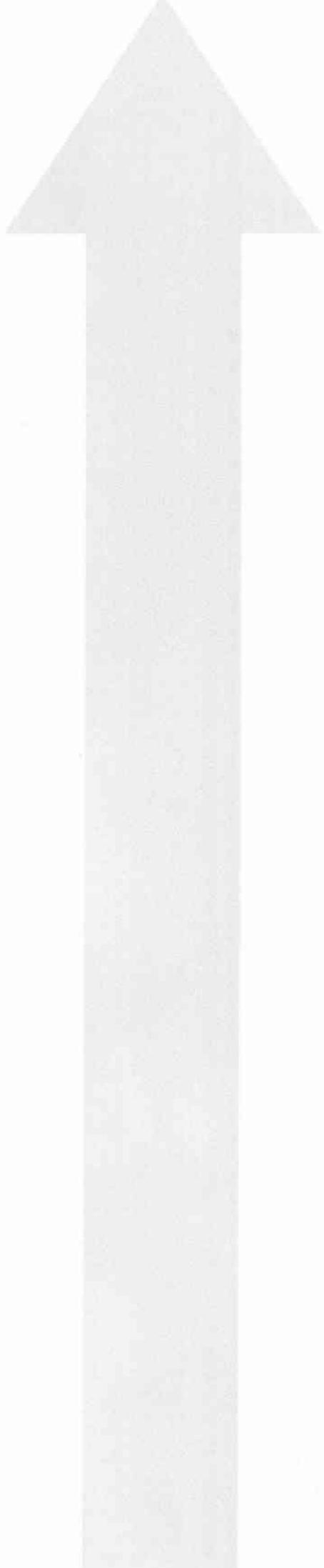
<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp



* 地下鉄堺筋本町駅 12番出口すぐ



Lead The Way

率先しよう。

ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力を



国際ロータリー第2660地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
〒541-0052 大阪市中央区安土町 1-5-11 トヤマビル東館 6F
tel 06-6264-2660 fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp